

ルノデアリマス、我國ノ現在ノ教育組織ヲ見マスルト云フト、甚ダ其負擔ガ重キニ失シテ居ル、其材料ハ極テ生硬デアリ、不消化デアリ、而シテ日常生活ニ甚ダ適切デナイモノガ澤山アツテ、所謂勞多クシテ效ハ之ニ伴ハナイト云フコトガ憾ミデアル、其根本ノ禍ノ原因ハドウデアアルカト云フト、先ヅ之ヲ三ツニ大別スルコトガ出來ルノデアリマス、第一ノ原因ハ教育萬能ノ思想ニ因ハレテ居ルト云フコトガ第一ノ禍根デアアル、第二ノ禍根ハ何デアアルカト云フト、世間ニ言ヒ古サレタコトデアアルガ、今尙ホ之ガ除外セラレテ居ラナイト云フハ漢字ト云フモノニ苦シメラレルコト、外國語ト云フモノニ苦シメラレルト云フコトガ第二禍ノ根本デアアル、第三ハ何デアアルカト云フト、文體ガ頗ル雜駁ニシテ、之ガ簡單デナイト云フコトガ第三ノ禍根デアアル、ソレデアル一ノ禍ノ爲ニハ如何ナルコトガ生ジテ居ルカト云フト、先ヅ教育萬能ナリト云フ思想カラ出發致シマシタカラシテ、此學校ト云フモノハ國民トシテ完全完具ナル資格ヲ授ケ得ル所デアアル、恰モ鑄物工場ニ於テ一定ノ型ヲ造ツテ、銅板ナリ、倭鋼ナリ、或ハ齒車ナリト云フモノガ自由自在ニ造ラレルガ如ク、國民ヲ學校ト云フ鑄型ノ中デ如何様ニモ造リ得ルト云フガ如キコトヲ基礎觀念トシテ仕組マレテ居ルト云フコトガ根柢ノ弊害デアアルノデアリマス、ソコデアノ學科モ必要デアアル、此科目モ必要デアアル、此課程ガ必要デアアル、斯ル教材ガ必要デアアルト云フコトデ幾多ノ材料ヲ以テ生徒ノ心力、體力ト云フモノヲ責付ケル、ソコデ兒童ノ總テノ學生ノ所謂個性ト云フモノハ全ク滅却セラレテ、ソレガ爲ニ注入的トナリ、強壓的トナリ、反射的トナツテ、更ニ考察的、獨創的ト云フ働キハ茲ニ缺ケテ居ルト云フコトガ大ナル弊害ト言ハナケレバナラナイソコデ第一ニ斯様ナ觀念カラ出發ヲ致シテ居リマスルガ上ニ、ドウ云フ事デアアルト云フト、試驗ト云フモノヲ以テ、何レノ學校ニ於テモ我國ノ今日ノ教育ト云フモノハ試驗ト云フモノヲ以テ、生徒ヲ苦シメル、更ニ又上級ノ學校ニ入ル關門トシテ、入學試驗ト云フモノニ依ツテ苦メラレル、ソレデ斯様ニ重キ負擔ノ上ニ更ニ此試驗ノ弊害ヲ以テ學生ノ身體、精神ヲ二ツナガラ苦シメルト云フガ爲ニ、如何ナル有様ニ陥ツテ居ルカト云フト、或ハ神經衰弱トナリ、或ハ呼吸器病トナリ、消化器病トナリ、若クハ近視眼トナツテ殆ド健全ニ無病ニ發育スルト云フコトガ餘程困

難デアルト云フノガ、今日ノ實際デアアル、ソコデ世ノ中ハ文明ガ段々進ンデ來テ、社會ノ事情ガ複雜トナツテ、各種ノ衝動ガ起ルガ爲ニ、人々ハ段々神經過敏トナリ易イノデアアル、此ニ於テ所謂社會心理、群衆心理、色々様々ナル此人心ノ變動ト云フモノガ段々機敏ニナツテ來ルト云フコトガ只サヘアルガ上ニ、此學校ノ教育ヲ以テ神經過敏ヲ一層ニ過敏ニスルト云フコトガ頗ル憂フベキ現象デアアル、歐羅巴ヤ亞米利加ニ於テハ小學校ノ兒童ガ一番取扱ガ困難デアアル、段々學級ガ進ムニ從ツテ紳士的トナツテ、極テ合理的トナツテ、教育ノ上ニ於テ學生ハ取扱ヒ好イト云フノデアアル、然ルニ我國ハ之ニ反シテ小學校ガ一番取扱ヒ易クシテ、段々學級ガ上ルニ從ツテ生徒ト云フ者ガ「ストライキ」ヲ起ストカ、教員征伐ヲヤルトカ云フガ如キ事ガ現レルト云フノハ、一ツハ教育ノ實質ガ之ヲ然ラシメテ居ルト言ハナケレバナラナイノデアリマス、ソレデ斯様ナ事デ非常ニ生徒ヲ苦シメテ居ル、詰リ謂ハバ教育ヲ餘リニ萬能視シタル弊害デアアル、ソコデ各種ノ副産物ト云フモノガ出テ來ル、ソレハドウ云フモノデアアルカト云フト、學校ノ卒業證書ヲ非常ニ之ヲ尊重シテ、卒業證書ヲ握レバ此人間ノ世界ト云フモノガ安全ニ通過シ得ルト云フ、所謂人生ノ行路ヲ通過スベキ之ヲ通り切符ノ如クニ心得テ居ルト云フ事ガ、之ガ一ツノ副産物デアアル、又證書サヘ握レバ人ハ「バン」ヲ得ベキモノナリト考ヘルト云フ事モ、一ツノ弊害デアアル、ソレカラ又此教育ト學問ト云フ事ヲ混同シテシマフ、教育ト云フモノハ所謂人自ラガ己レヲ教育スベキ唯其素地ヲ造ルモノニ過ギナイト云フノデ、直ニ之ヲ學問ヲスルガ如ク考ヘルト云フ事モ一ツノ弊害デアアル、又學校ヲ出タ所ノ者ガ己レノ家業ヲ厭フト云フ事ガ一般ノ氣風デアアル、之モ教育ヲ萬能視シタル弊害カラ出發シテ來タ結果デアアル、或ハ又學校ヲ卒業シタル者ヲ各種ノ會社、或ハ銀行等ニ使ツテ、實地ニ迂遠デアツテ役ニ立タナイト云フ事、是ハドウ云フ事デアアルカト云フト、即チ餘リニ此學校ヲ萬能ニ、人間ヲ如何様ニモ造リ得ルト信シタル即チ其結果デアアルト同時ニ、今日ノ教育ガ生活ト餘リニ距離ガ隔ツテ居ルト云フ事ヲ證明スベキ是ハ事實デアアルト思フノデアリマス、要スルニ教育ト云フモノハ畢竟肥料ニ過ギナイ、人間ノ個性ト云フモノガ種子デアアル、ソコデ此種子ト云フモノガ段々ト潤ヒヲ持ツテ緊張シテ葉トナリ、幹ヲ伸バシ枝ヲ伸バシ、葉ヲ

伸バシテ立派ナモノニナル、畢竟教育ハ肥料デアアル、然ル所我國ニ於テハ教育ト云フモノヲ萬能視シテ人ノ個性ヲ肥テ方ニ當嵌メテ行クト云フコトヲヤル、之ガ非常ナル缺陷デアアル、即チ教育ハ如何様ニシテモ松ヲ竹トナサスコトハ出來ナイ、竹ヲ松トナサスコトハ出來ナイ、細カク言ヘバ同シ松デモ黒松アリ、赤松アリ、紅葉松アリ、落葉松アリ、各、此松ノ性質ガ違フト同時ニ、其肥料モ違ハナケレバナラヌノデアアル、又竹ニシテモサウデアアル、孟宗竹アリ、寒竹アリ、苦竹アリ、各、性質ガ違ヘバ肥料モ變ラナケレバナラヌ、然ルニ之ヲ一ツノモノニ統一シ、一ツノ形ニ之ヲ育テ上ゲルト云フコトニ付テ非常ナル無理ガ出來テ居ル、斯ウ云フ事柄デアアルガ故ニ、此所謂生々宇宙間ノ大原則デアアル、此生々ノ即チ大原則ニ從ッテ之ニ肥料ヲ與ヘルト云フコトヲ、却テ其手段デアリ、方法デアアルモノヲ大切ナリトシテ、折角此生々ノ即チ原則ト云フモノヲ滅茶苦茶ニ壞サレテ居ルト云フコトガ、今日我國ノ非常ナル教育上ニ横ハリタル之ガ大ナル障害デアアルト云ハナケレバナラナイノデアアリマス、ソコデ斯様ナル事柄デアッテ、詰リ此餘リニ教育萬能視シタル弊害、ソコデ例ヘバ此庭ノ木ヲ見ルヤウニ、アノ枝ハ切ルベシ、此枝ハ曲ゲルベシト、自由自在ニ矯メテ、餘リニ技巧的ニ造リ出スカラ、一目スレバ如何ニモ綺麗ニ見エルヤウデアアルガ、實際彼ノ深山幽谷ニ於テ風雨寒暑ト戦ヒ、又自然淘汰ノ作用ヲ凌イデ、亭々トシテ天ヲ摩スル所ノ大樹木トナッテ、大建築ノ材料トモナリ、大艦船ヲ造ル即チ材料トモナルト云フ所ノ樹木トハナラナイノデアアル、即チ大ナル政治家、大ナル資産家トナリ、或ハ大ナル文學者、大ナル美術家トナルガ如キハ、心シモ大學ノ卒業生デナイト云フノハ、此間ノ消息ヲ確ニ裏書スベキ是ハ事實デアアル、即チ人ノ個性ヲ尊重シテ、個性ノ儘ニ伸バスト云フコトハ、一方ニ此教育ヲ萬能視シ、個性ヲ押付ケルト云フコトノ利害得失ハ、此間ニ確ニ現レテ居ルノデアアリマス、故ニ眞ニ人物ノ輕重ヲ量ルニ、學校ヲ以テ直ニ之ヲ標準ニスルト云フガ如キ思想ハ、非常ニ誤ッテ居ルト見ナケレバナラヌノデアアル、ソコデ第一ニ斯様ナル教育ノ萬能思想ト云フモノヲ以テ、今日小學ヨリ大學迄ノ科目、課程、教材、總テガ出來上ッテ居ルト云フコトニ根本改善ヲ加ヘナケレバ到底イケナイノデアアル、又第二ノ禍根ハ何デアアルカト云フト、世人モ言ヒ古シタル通り、歐羅巴ヤ亞米利加ニ於

テハ、三十字ニ足ラザル「アルファベット」デ足テ居ルモノガ、我國ニ於テハ五萬三千ノ漢字ノ中ニ、普通使フモノハ二千内外デアアル、此上ニ漢字ガ二字以上結合シテ熟語トナル、假ニ之ガ二回結合スルトスレバ、四千デアアル、三回結合スルト云フト平均シテ見ルト六千字トナル、兎ニ角此二千字内外ノ普通ノ漢字ガ、更ニ熟語ニ依ッテ幾千カノ困難ナル即チ文字ト云フコトニナッテ來ル、之ガ又教育ノ進歩ノ上ニ非常ナ障害ヲシテ居ル、更ニ又此外國語ト云フモノヲ覺エルト云フ爲メノ困難ト云フモノハ、非常ナルモノデアアルノデアアリマス、更ニ又此文體ト云フモノガ、漢文アリ、漢文崩シアリ、和文アリ、或ハ直譯的ノモノアリ、言文一致アリ、隨分複雑デアアル、斯様ナモノガ世間ニ通用致シテ居ル、斯様ナモノガ各種ノ教科書ニ現レテ居ルト云フノデアアルカラ、此學生ノ身體ノ發育ト、精神ノ暢達ノ上ニ障害ヲ來スト云フコトハ實ニ驚クベキモノデアアル、此第一ノ負擔、第二ノ負擔、第三ノ負擔ト云フモノハ、到底此歐羅巴ヤ亞米利加ノ學生ノ上デハ想像モ付カザル事柄デアアルノデアアリマス、ソコデ是等ノ負擔ヲ考ヘルト、例ヘバ亞米利加ヤ歐羅巴ノ學生ガ十科目ヲ課セラル、トスルト、我國ノ學生ハ到底十五科目ヤ十八科目ノ負擔デハナイ、殆ド二倍以上ノ力ヲ之ニ費サナケレバナラナイ、デアアルカラ此困難ヲ成ベク輕減シテ行カナケレバ到底イケナイノデアアル、即チ人ガ食物ヲ要求スルト云フノハ、生活ニ適當ナル「カロリー」ヲ必要トスル、生活ニ必要トスル以上ノ「カロリー」ヲ攝ルト云フコトハ、畢竟無用ニ屬スルノミナラズ、消化器ヲ害シ、延イテハ心身ノ發育ニ障害ヲ及ボスコトハ無論デアアル、教育ニ徒ニアレガ必要デアアル、之ガ必要デアアルト、矢鱈ニ學科ヲ取ラシムルト云フコトハ、心身ノ發育上害ハアッテモ決シテ利益ハナイノデアアル、故ニ是等ノ點ニ大ナル考慮ヲ回サナケレバナラヌ、彼ノ英國ノ如キハドウ云フ有様デアアルカト云フト、千九百十八年彼ノ「ロイドジョージ」ハ「フイッシャー」ヲシテ何等ノ拘束ヲ加ヘズシテ、思フ存分ニ教育ノ改善ヲヤラシメタノデアアル、ソコデ「フイッシャー」ガ如何ナル案ヲ立テタカト云フト、即チ吾々ガ英國ノ教育ヲ改善スル目的ハ、一人ノ學生ヲモ無益ナラシメザルニ在ル、此目的ヲ達シテ全英國ノ學生ヲシテ各、役立タシムル爲ニ必要ナル性格ヲ與ヘル爲ニハ、教育全般ノ施設ニ向ッテ、適切ニシテ而モ秩序アル改革ヲシ

ナケレバナラヌト、彼ハ斷定ヲ致シ、此目的ヲ達スルガ爲ニ、彼ハ第一ニ教育者ノ安定ヲ圖リ、更ニ各種教育機關ノ改善ヲ圖ル爲ニ、思切テ殆ド教育費ヲ倍加シタノデアアル、其額ハ如何ナルモノデアアルカト云フト、國庫ガ負擔スル有様ヲ申スト云フト、我國ノ文部省所管ノ國庫負擔額ニ二十倍スル所ノ、即チ支出ヲ彼ハ致シタノデアアル、サウシテ彼ハ英國ノ即チ學生ニ對シテ彼ハ如何ニモ均等ナル機會ヲ與ヘ、如何ニモ民衆的ニ徹底シタ教育ノ改善ヲ致シテ、サウシテ此個性ヲ尊重シ、能力ヲ暢達セシメテ、所謂「アングロサクソン」民族、大不列顛帝國ノ人民タルニ必要ナル性格ヲ與フベク、極力彼ハ力ヲ盡シテ、而モ日常生活ニ緊切ナル材料ヲ以テ、心身ヲ勞セズシテ多大ノ效果ヲ收ムルト云フ、即チ教育改善ヲ致シタノデアアル、御承知ノ通り彼ノ「ロイド」ジヨージ」ノ内治外交ニ於ケル經驗抱負ハ、當代ニ傑出致シテ居ルガ、殊ニ教育問題ニ付テ何等ノ拘束ヲ加ヘズシテ、自由ナル改善ヲ爲サシメ、思切タル費用ノ負擔ヲ支出スルト云フコトヲ議院ニ歡迎セシメテ、英吉利ノ教育機關ニ一新紀元ヲ畫イタト云フコトハ、實ニ「ロイド」ジヨージ」ノ一代功績中、特筆大書ニ値スベキモノナリト信ズルノデアアリマス、又彼ノ米國ニ於テハドウ云フ事ヲ致シタカト云フト、千九百十八年國民聯合會ノ教育會ノ決議ヲ致シタ所ノ宣言ヲ尊重ヲ致シテ、各種ノ教育機關改善ノ爲ニ思切タル費用ヲ支出ヲ致シテ居ル、即チ我國ノ費額ニ較ブレバ、彼ハ三十倍前後スル所ノ即チ改善費用ト云フモノヲ彼ハ支出ヲ致シテ居ルノデアアル、ソコデ此會議ガ軍備制限提唱以前ハ、御承知ノ通り、此米國ハ世界第一等ノ海軍國トナラザルベカラズト云フ信念ニ依ッテ、非常ナル此海軍ノ即チ軍備ト云フコトニ支出ヲ致シタノハ、諸君御承知ノ通りデアアル、其軍備ニ幾ラヲ出シテ居ルト言ヘバ、十二億デアアル、然ルニ彼ハ教育費ニハ幾ラノ金ヲ出シタカト云フト、世界一等ノ海軍國ヲ造ル艦隊ノ費用ヨリモ更ニ多額ナル十五億ノ金ヲ出シテ、此國民教育ニ徹底シタル仕事ヲシタト云フコトハ何故デアアルカ、即チ彼ノ亞米利加合衆國ハ此世界大戰ノ教訓ニ依ッテ、國ノカト云フモノハ陸軍ノ兵士ノ數デハナイ、海軍ノ艦隊ノ噸數デハナイ、金力デハナイ、即チ國家社會ノ各階級ノ間ニ完全ナル調和ト云フモノガアッテ、此調和ヲ基礎トシタル上ニ築カレタ文化ノ力デアアル、産業ノ力デアアルト云フコトヲ彼

ハ信ジタノデアアリマス、故ニ彼ハ何ヨリモ此教育費ニ多大ノ金ヲ投ジテ、即チ米國ノ文化及産業ヲ盛ナラシムベキ教育ノ大改善ヲ致シテ、サウシテ彼ハ徹底的ニ即チ米國市民トシテ善ク後ノ世界ニ善處スルニ於テ、遺憾ナキ民衆的ノ即チ教育施設ヲ致シ、サウシテ學生ノ體力ナリ、精神ナリヲ勞セズシテ而モ此目的ヲ達スベキ亞米利加的ノ即チ獨自一己ノ色彩ヲ濃厚ナラシメテ居ルト云フ點ニハ、吾々ノ學ブベキ所ガ多クアルト考ヘルノデアアリマス、ソコデ斯様ニ致シテ居ル所カラ考ヘルト云フト、我國ガ是迄試ミタル教育改善ノ仕事ハ、甚ダ不満足デアアルト云ハナケレバナラナイ、然ラバ第一ノ此我國教育ノ禍根ハ如何様ニシテ除キ得ルカト云フト、先ツ舊式ノ教育萬能論ト云フモノヲ一ツ抜イテ來ナケレバナラナイ、サウシテ此總テノ科目ノ中必要已ム可ラザル科目ヲ殘シテ、必要ノ成ベク薄キモノハ思切テ此際之ヲ節減シテシマフ、サウシテ成ベク此日常生活ニ必要ナル材料ニ依ッテ、教科目ナリ、課程ナリト云フモノ、即チ組立ヲ造ッテ、サウシテ成ベク無味乾燥ナル材料ヲ取除イテ、趣味豐富ナル材料ト云フモノヲ取ッテ、各學科目ノ間ノ即チ連絡統一ト云フモノヲ保ツベク遣ラナケレバナラナイト思フノデアアリマス、ソレカラ又第二ノ即チ禍根ハ何ニ依ッテ除クカト云フト、此漢字ヲ全廢スルト云フコトハ出來ナイ、世間或ハ漢字ヲ全廢シテ假名ヲ專用スベシト云フ議論モアル、或ハ又此羅馬字ヲ專用スベシト云フ議論モアル、或ハ又此「エスベラント」語ヲ專用スベシト云フ議論モアル、何レモ一理アル、併ナガラ今日ノ教育ヲ改善スルニ當ッテ、是等ノ總テノ即チ論說ヲ直ニ取入レテ實行スルト云フコトハ出來ナイノデアアリマスカラ、ドウシテモ此漢字ヲ成ベク制限スルト云フコトニシテ負擔ヲ輕減シナケレバナラナイ、又外國語ノ如キモ進ンデ上級ノ學校ニ這入ル爲ニハ必要デアアルガ、中等學校デ終ルト云フ者ノ爲ニハ莫大ナル時間ヲ割イテ、寧ロ日常生活ニハ餘リ必要デナイ外國語ヲ以テ虐メルト云フコトハ、大ニ是ハ考慮シナケレバナラナイ、又小學校ヨリ大學ニ至ル迄各種ノ教科書ノ文體ガ難駁デアアル如キモ、宜シク之ヲ統一シテ成ルベク口語體ニ直スト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイト思フノデアアリマス、斯ノ如クニシテ此學生ノ即チ心身ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトデナケレバナラヌ、若シ此改善ヲヤラズシテ從來ノ形式デ押通シテ行クト

云フコトニ於テハ、今日教育ノ目的ハ智育、德育、體育デアルト云フコトヲ口デハ唱ヘラレテ居ルガ、事實ハドウデアアルカト云フト智育偏重デアアル、ソコデ其結果ドウデアアルカト云フト、心ト云フモノハ申ス迄モナク智ト情ト意トノ三ツガ、即チ圓滿ニ完全ニ發達シナケレバナラナイモノガ、情ハ其方ニ退イテ居レ、意ハ其方ニ退イテ居レト云フノデ、唯智育偏重ニナツテ居ル、其結果ハドウデアアルカト云フノニ、教育ヲ受ケタル者ガ比較的大ナル犯罪ヲ爲ス、寧ロ教育ガナケレバ犯罪ノ局面ハ局限セラレルデアアルガ、教育アルガ爲ニ大ナル犯罪ヲ爲シテ、社會ノ廣キ部面ニ此犯罪ノ毒害ヲ流スト云フコトガ今日現ニアルデアアル、ソコデ心ト云フモノガ、智ト情ト意トノ三ツガ圓滿具足ニ發達スレバ、是等ノ弊害ヲ除クコトガ出來マス、意ト云フ強キモノガアツテ引留メ情ト云フ優シイモノガアツテ引留メレバ、智ヲ專ラニスルコトハ出來ナイ、情ト意ノ働ガ引留メズ居ルカラ、智ニ任シテ色々ノ恐ルベキ犯罪ト云フモノガ行ハレルデアアル、現ニ先達モ度々此壇上ニ於テ恆ノ産アル者ハ恆ノ心アリト云フコトノ議論ガ屢、交換サレタノデアリマス、是等モ東洋ノ思想トシテ孟子ノ如キ道義感情論ニ出發シテ居ル、政治道德論ニ於テハ恆ノ産アル者ハ恆ノ心アリト云フガ、寧ロ功利派ト目スベキ管仲ナドノ説ニモ、矢張斯様ナ思想ハ流レテ居ルト云フガ、是ハ其一ヲ知ツテ其二ヲ知ラザルモノデ、即チ此產所謂富ヲ造ルト云フコトハ經濟ノ働キデアアルガ、經濟ノ働キハ少クトモ己ガ利スルト共ニ、他ヲ利シナケレバナラヌ、若シ他ヲ利シナイマデモ、セメテ他ヲ害セズシテ己ノ利益ヲ計ラナケレバナラヌ、故ニ先ヅ恆ノ心ガアツテ即チ道德心ガアツテ、後ニ此經營ナリ産業ノ働キト云フモノガ起ルデアリマス、若シ陰性ニモ陽性ニモ、即チ積極的ニ現在スルカ、消極ニ潜在スルカ、之ヲ此道德ト云フモノノ上ニ經濟ト云フモノガ働イテ、茲ニ産ト云フモノヲ造ツテ、此產ヲ永久ニ保持スルカラ、茲ニ産ト云フモノガ起ル、故ニ恆ノ産ヲ造ル前ニ恆ノ心ト云フモノガアル、産カラ後ニ心ガ出來ルノデハナイ、心アツテ後ニ産ト云フモノガ出來ルデアリマス、又國士デアアル國家ノ事ヲ憂フル、或ハ美術家デアアル、教育家デアアル、宗教家デアアルト云フ如キ、テンデ産ヲ造ルト云フコトヲ考ヘテ居ラナイ、故ニ恆ノ産ナキ者ハ恆ノ心ナシト云フ議論ハ、是ハ大變ナ問題デアアル兎ニ角心ト云フモノガ

教育ノ最モ大切ナル之ガ主張デアアルカラ、ドウデモ之ヲ圓滿ニヤルト云フノニハ、教育上ノ我國ノ三ツノ大ナル障碍ヲ除イテ往クト云フコトデナケレバナラヌデアリマス、ソコデ之ヲヤルニハドウスルカト云フト、以上ノ如クシテ段々三ツノ弊害ヲ除イテ往ツテ、即チ能力ノ上ニモ時間ノ上ニモ、經濟ノ上ニモ、成ベク少キヲ費シテ而シテ多クノ效果ヲ收メサセル、言換フルト云フト、人ノ總テノ官能ヲシテ完全ナル調和アル、完全ナル秩序アル上ニ、之ヲ引伸シテ往ツテ更ニ之ヲ力即チ力ノ幅、力ノ厚ミ及力ノ長サ、即チ彈力ヲ加ヘテ、之ニ國民的ノ色彩ヲ帶ビシメテ、サウシテ其戰後ノ世界ニ處スベキ完全ナル性格ヲ得セシメテ、今日ノ人生ヲ完全ナル人生ニ進ムベク寄與セシメル、此活動ヲスル爲ニ必要ナル事理ヲ理解スベキ素地ヲ造ルト云フコトヲ以テ、教育改善ノ之ヲ基礎觀念トシナケレバナラヌデアリマス、此基礎觀念ノ上ニ於テ初テ學校ノ系統論モ築カレ、學校ノ年限論モ築カレ、又教育擴張モ築カレナケレバナラヌ、即チ一例ヲ舉ダテ申シマス、米國ノ如キハ、一例ハ即チ中等學校「ハイスクール」ニ於テハ、一日ノ教授時間ハ僅カ四時間デアアル、我國ハ五時間若クハ六時間ヲ一日ニ費シテ居ル、即チ能力ノ上ニ於テモ一日ノ時間ニ於テ我國ノ學生ガ三割乃至五割ハ彼ヨリ重キ負擔ヲ致シテ居ル、又我國ノ小學校ハ六年デアツテ、中學校ガ五年デアツテ、是デ十一年、更ニ高等學校三年即チ十四年デアアル、若シ中學ヲ四年ニ致シテモ、十三年、十三年カ十四年掛ラナケレバ大學校ニ這入レナイ、之ニ大學校ノ三年四年ヲ加ヘルト云フト、小學校ヨリ大學ヲ通ジテ十七八年間ヲ要スルデアアル、米國ノ如キハ即チ小學校ハ八年デアリマスケレドモ、最モ能力ニ於テ優越セル者ハ七年若クハ六年デ小學校ヲ卒ヘルデアアル、之ニ「ハイスクール」ガ四年デアアル、能力ノ最モ卓越セル者ハ三年デ濟ム、然ラバ小學校カラ「ハイスクール」ニ至ル迄九年ニシテ大學校ニ這入ル、小學校ヨリ大學校ヲ卒業スルマデニ三十四年デ足リルデアアル、我國ハ十七八年モ掛ラナケレバ大學校ヲ卒業スルコトガ出來ヌト云フノデアアルガ、若シ吾々ノ此傳統的的教育機關ヲ構成シタル思想ニ基イテ考ヘマスト、時間ヲ長ク掛ツテ完全ナル教育ヲ施サネバ、教育ノ效果ガ舉ラヌト云フナラバ、我國ノ學生ノ大學ヲ卒業シタ能力ハ、米國ニ比シテ五割モ六割モ優越シテ居ラナケレバナラヌ、然ルニサ

ウデナイノハ、彼ハ完全ニ消化スル「エネルギー」ヲ取ラシメテ居ル、我ハ消化シ能ハザル幾多ノ困難ヲ與ヘテ居ルノガ事實デアアル、彼ハ石炭ヲ焚クニ致シマシテモ、煙ガ出テ居ルノハ石炭ノ燃ユベキ「エネルギー」ガ酸素ノ供給不足ノ爲ニ煙トナツテ飛ンデ居ル、世界ノ石炭ノ壽命ガ將ニ盡キントスル時代ニ於テ、此惜ムベキ石炭ノ煙ヲ空ニ飛バスト云フノハ何故デアアル、即チ熱力ト空氣ノ壓力、比熱、壓量ノ三ツノ調和點ヲ發見スレバ、茲ニ完全ナル燃燒ガ行ハレル、所ガ世界始マツテ幾多ノ熱、壓、量ノ三ツノ調和點ヲ發見スル科學ガ行ハレテ居ラヌカラ、現在ニ於テ無用ニ使用スルノミナラズ、其罐ヲ傷メ、非常ナル不經濟ヲヤツテ居ル、我國ノ教育ハソレデアアル、餘リ其材料ガ豊富ニシテ、兒童ノ心身學生ノ心身ヲ阻碍シテ效果ハ少ナイノデアアリマスカラ、ドウシテモ我國ノ教育ハ根柢カラ之ガ改善ヲ爲サナケレバ、ナラヌノデアアリマス、然ルニ教育萬能ノ思想ヨリ脱却セズ、舊式ノ教育論ニ囚ハレテ、今日ノ我國ノ教育ヲ根柢カラ大改正ヲ加ヘルコトヲ怠ッタナラバ、如何デアアルカ、世界ノ力ハ今ヤ權力デナイ、兵力デナイ、艦隊ノ噸數デナイ、各階級ノ完全ナル調和ノ上ニ築カレタ文化ノ力デアアル、産業ノ力デアアル、此競争ヲ爲スニ當ツテ、吾々ハ何ヲ以テ列強ト對抗スルカト云フコトヲ今日吾々ハ非常ニ憂慮スルノデアアリマス、吾々ガ教育改善ヲ叫ブコトハ、三年五年デナイ、歴代ノ内閣ニ向ツテ警告ヲ與ヘテ居ルノデアアルガ、何時ノ内閣モ御趣意ハ御尤デアアルガ、教育ノ事ハ直ニ實施スルコトハ出來ナイカラ、緩々攻究シテ御希望ニ副ヘマスト云フ遁辭ヲ與ヘルノデアアル、願クハ諸君此黨派問題ヲ超越シタル我國ノ國力、我國ノ能力ヲ改善スベキ此國家の大國策ニ對シテ、之ヲ實現スベク、然ルベク御努力アラシムコトヲ偏ニ諸君ニ希望致シマス

次テ本案ハ守屋松之助君外一名提出小學校教員俸給國庫負擔額増加ニ關スル建議案(一一)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

九七 朝鮮ニ於ケル參政權ニ關スル建議案

朝鮮統治ノ現狀ニ鑑ミ其ノ居住臣民ニ漸次參政權ヲ付與スルノ必要アルヲ認ム政府ハ速ニ適當ノ制度ヲ設ケ其ノ實施ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右八十一年三月二日多木久米次郎君外四名之ヲ提出ス同月二十五日日程ニ上リタルモ院議ヲ經ルニ至ラザリキ

九八 阿武隈川阿賀川改修工事費國庫補助増額ニ關スル建議案

福島縣下阿武隈阿賀ノ二川ハ單ニ縣内ニ於ケル最大河川タルノミナラス實ニ全國中屈指ノ大河川ニ屬シ隨テ利害ノ關係極メテ大ナルモノアリ而カモ近時水源地ノ荒廢ニ伴ヒ河狀漸次不良ニ傾キ爲ニ洪水時ニ於ケル被害ノ程度逐年増大スルノ實狀ヲ呈ス茲ニ於テ右二大川ノ改修ハ多年ノ懸案タリシナリ今ヤ機運漸ク熟シ大正八年度ヨリ同二十二年度ニ至ル十五箇年繼續事業トシ

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案 二千三十九

總工費金千四百五十萬圓ニ對シ國庫ヨリ其ノ二分ノ一ノ補助ヲ受ケ政府ノ直接施行トシテ起工ノ緒ニ就クニ至レリ然ルニ計畫後ニ於ケル物價ノ變動ハ豫定工費ヲ以テ之カ完成ヲ期シ難キ虞アルノミナラス經濟界ノ變動就中縣重要物産タル蠶絲ノ不況米價ノ暴落ニテ民力ノ疲弊甚シク殊ニ大正九年前後二回ノ災害ニテ之カ復舊費ハ國庫ノ補助ヲ仰クモ仍百六十餘萬圓ノ負擔ヲ爲ササルヘカラス而カモ斯ノ如キ現象ハ將來幾度反覆スルコトナキヲ保セス茲ニ於テカ縣民中急聲疾呼本事業ノ中止ヲ唱フル者漸ク多ク本事業ノ前途ヤ實ニ不安ノ陰翳ヲ以テ蔽ハルルノ實狀ニ在リ然リト雖本事業タル縣下將來ノ禍根ヲ絶チ恆久ノ福利ヲ増進スヘク所謂百年ノ長計トシテ縣民宿昔ノ希望茲ニ實現シタルモノニシテ之カ成否ハ單ニ縣下ノ問題タルニ止マラス延テ國家ノ利害ニ影響スル處尠シトセス而シテ其ノ成否如何ハ一ニ懸リテ縣民負擔ノ關係如何ニ在リテ存ス

依テ政府ハ本事業ノ所要經費ニ對シ現行制度ニ於ケル最高限度迄國庫補助ヲ増額シ以テ其ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十一年三月二日八田宗吉君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(八田宗吉

君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極テ簡單ニ提案ノ趣旨ヲ申述ベマス、本建議案ハ昨年第四十四議會ニ於キマシテ可決セラレタ
ル案デアリマス、即チ此阿武隈川、阿賀川、此川ハ獨リ福島縣ニ於ケル大河川デアリマスルノミ
ナラズ、全國ニ於ケル著名ノ大河川デアリマシテ、第二期河川ノ筆頭ニ位シテ居ルモノデアリマ
ス、然ルニ近年此水害ノ程度ガ非常ニ甚シクアリマスル爲ニ、福島縣ハ此水害ニ苦メラレ、勸業
モ、土木モ、皆之ヲ第二位ニ置クト云フヤウナ狀態ニ陥ッテ居ッタデアリマス、爲ニ茲ニ縣民ノ
叫ビ聲トナッテ、遂ニ治水調査會ヲ設置致シマシテ、此協議ニ基キ福島縣會ノ議ヲ經テ、去ル大正
八年カラ二十二年マデ、十五箇年ニ亙ッテ千五百萬圓ノ工費ヲ爲スコトニ致シマシテ、全ク此河
川ノ根本改修工費ヲ爲スコトニ議一決致シマシテ、今現ニ國家ハ之ニ對シテ二分ノ一ノ補助ヲ
與ヘ、内務省ハ此工費ヲ直接ニ監督シテ、今實施シツ、アルノデアリマス、ケレドモ兎ニ角此物
價ノ騰貴ガ豫算ヲ狂ハセルコトニナッテ參リマシテ、計上シタル豫算ガ到底ソレヲ以テ實行スル
コトノ出來ナイ狀態ニナッテ居ルノミナラズ、經濟界ノ變動ハ甚シク此工費ニ對シテ前途ヲ不安
ニ陥ラシムル狀態ニ在ルノデアリマス、殊ニ甚シイノハ年ニ二回位ノ水害ガ新ニ起キテ來ル、之
ガ爲ニハ大正九年ニ於キマシテ百六十萬圓ト云フ國家ノ補助ヲ受ケテモ、尙且ツ新ニ此費用ヲ
支出シナケレバナラヌ狀態ニアリマスル故ヲ以テ、福島縣民ノ或ル一部ニ於キマシテ、此根本治
水政策ハ天殃甚シキ禍ヲスルモノデアアルカラ、此工費ヲ宜シク中止スベシ、斯様ナ聲ガ各所ニ
揚ッテ來ル狀態ハ、實ニ憂慮ニ堪ヘザル次第デアリマス、吾々ノ考フル所ニ依リマス、近來地方
ノ農村ノ衰頹ノ甚シイノハ、國家ノ上カラ考ヘマシテ實ニ憂慮措ク能ハザル狀勢デアルト吾々
ハ考ヘテ居リマス、其原因ノ中ニ於キマシテ、一番近イ原因ハ何デアアルカト申シマス、地方ノ
農村ニ於ケル人民ハ折角此業務ニ勵ンデモ、生産シタル所ノ物ガ水害ニ依ッテ一朝ニシテ烏有ニ
歸ス、水害ニ遭ッテ無クシテシマフ、辛苦粒々シテ穫リマシタ米ガ、價ノ少イノミナラズ一朝ニシ
テ此水害ニ葬リ去ラル、ト云フ狀態ハ、此地方ニ於ケル農業ヲ厭ウテ都會地ニ走ルト云フ原因
ガ其邊ニ在ル、根本原因ヲ究メテ見マスルト色々アリマスケレドモ、地方ノ人民ガ自分ノ農村ニ

居ルコトガ極テ不安定デアルト、斯様ニ感ジマスルコトガ、一番ノ大原因デアアル、殊ニ不安定ノ中ニ於テモ、折角穫リタル收穫物ヲ埋没シ去ル悲惨ナル水害ガ、其大原因デアアルト感ジマス、此見地ヨリ致シマシテ、私共ハ治水ノ根本政策ハ國家ガ徹底的ニ實行シテ、各河川共ニ根本的ノ改修ヲ爲スコトガ急務デアルト考ヘマス、斯様ナ私ハ考ヲ持チマシテ、福島縣ガ國家ノ當然爲スベキ工事ニ對シテ、縣ガ半分ノ負擔ヲ爲スト云フ場合ニ當ツテ、國家ハ宜シク福島縣民ノ爲シツツアル事業ニ對シテ、出來得ルダケノ大ナル補助ヲ與ヘテ、此工事ヲ挫折スルコトナカラシメル、獨リ福島縣許リデナイ國家ノ利害ニ大關係ノ有ル問題ニ對シテ努力サレテ、此増額ヲ望ム者デアリマス、既ニ第二期ノ治水工事ニ關シマシテハ、川原茂輔君等ヨリシテ建議案トナツテ、委員會ニ付託サレテ居リマスケレドモ、ドウカ建議案ハ福島縣ノ問題デナク、各地方ノ大問題デアルト考ヘマス、ドウカ宜シク御贊同ヲ願ヒマス

次テ本案ハ前田米藏君外九名提出多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(六)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六)參看)

九九 新舊文官恩給並遺族扶助料不權衡更正ニ關スル建議案

明治四十三年四月一日ニ於テ文武官一般ノ俸給ヲ二割五分増額シタルガ故ニ恩給法規定ノ結果トシテ同日前後ノ恩給扶助料ニ二割五分ノ等差ヲ生シ其ノ後今日ニ至ル迄何等ノ更正ヲ加ヘサ

リシハ均シク公務ノ犠牲ト爲リタル官吏ヲ遇スルノ道ニ非ス明治四十四年武官恩給法改正ノ結果新舊武官ノ間ニモ右ト同様ノ不權衡ヲ見タリト雖大正六年ヨリ八年ノ間ニ於テ舊恩給扶助料ニ新恩給法ヲ適用スルニ至リ新舊平等ト爲レルヲ以テ新舊文官ノ不權衡ハ一層顯著ト爲レリ依テ政府ハ右不權衡更正ニ關スル法律案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月二日河上哲太君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山口義一君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單ニ説明致シマス、明治四十三年三月三十一日ト、同年四月一日トヲ限界ト致シマシテ、僅ニ一日ノ差ヲ以テ、新舊ノ文官恩給並扶助料ノ間ニ於キマシテ、約二割五歩ノ差等ガアルノデアリマス、此權衡ヲ改正シテ貫ヒタイト云フノガ、此建議案ノ要旨デアリマス、既ニ一昨年第四十三議會ニ於キマシテ、文武官恩給並ニ扶助料約七割増ト云フ討議ノ際ニ於キマシテ、横田政府委員ハ次ノ如キ事ヲ申サレテ居ルノデアリマス、從來文武官ノ恩給ノ問題ニ付テ屢、議論ヲ承ツテ居ッタガ、兎角武官ニ重ク文官ニ薄イ嫌ガアル、然ルニ文武兩官ハ車ノ兩輪ノ如キモノデアツテ、彼此厚薄ノアルベキモノデナイ、然ルニ今回提出セラレタル政友會ノ三土君ノ案ハ、文武平等新舊平等ノ頗ル公平ナル案デアアルガ故ニ、政府ハ之ニ贊成スルト申サレテ居ルノデアリマス、此趣旨カラ申シマスルト、既ニ一昨年ニ於テ斯ノ如キ問題ガ解決セラレテアルベキ筈デアアルノデアリマス、然ルニ只今ニ至ル迄此缺點ガ除カレテ居ラヌノデアリマス、斯ノ如キ不權衡ハ、當事者ノ請願ノアルヲ待ツ迄モナク、政府ニ於テ速ニ改正セラレベキガ當然デアルト考ヘルノデアリマス、

ドウカ諸君ニ於カセラレマシテモ、本建議案ニ御賛成アルコトヲ望ム次第デアリマス
次テ本案ハ永屋茂君外二名提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(三三)外八件委員ニ
併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十八日報告書ヲ議長ニ提出
セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一〇〇 「ローマ」字普及ニ關スル建議案

文明日進ノ今日「ローマ」字ヲ知ルノ要ハ假名文字ノ必要ニ讓ラス而シテ「ローマ」字ハ之ヲ習フ
ニ易ク之ヲ用ユルニ甚ダ簡易ナルヲ以テ學齡兒童ヲシテ修習セシムルニ多クノ困難ナク進テ外
國語ヲ學フニ當リテハ其ノ修習シタル「ローマ」字ノ素養ハ多大ノ助トナルヤ必セリ夫ノ「アラ
ビヤ」數字ハ早く既ニ小學教育ノ一科目トシテ教習セラレ今ヤ全國ニ普及シ其ノ教育上ニ社會
上ニ與ヘタル利益ト便宜トハ舉テ數フヘカラス「ローマ」字ノ普及ハ更ニ之ヨリ多大ノ便利ヲ國
民ニ與フルモノナルニ依リ政府ハ速ニ小學教育ノ一科ニ「ローマ」字ノ教習ヲ加ヘラレムコトヲ
望ム
右建議ス

右八十一年三月三日松本君平君外七名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松本君
平君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本員ハ茲ニ「ローマ」字普及ニ關スル建議案ヲ提出致シマシテ、各員ノ御考慮ヲ煩ハシタク思フ
ノデアリマス、此「ローマ」字普及ニ關スル建議案ハ、小學ノ教育ノ一科トシテ「ローマ」字ノ教習
ヲ加ヘルト云フコトガ本意デゴザイマス、本案ト同一ノ建議案ハ、曾テ四十年ノ議會ニ於キマシ
テ、提出致シマシテ、議院ヲ通過シタノデアリマス、本年モソレト同一ノ建議案ヲ政友會ノ諸君、
並ニ憲政會ノ諸君、國民黨、庚申俱樂部、無所屬、院內ニ於ケル各派ヲ通ジテ此案ヲ提出シタ譯デ
アリマス、ソレハ此案ハ簡單ナル一建議案デアリマスルガ、將來ニ於ケル日本ノ文化運動ノ出發
點——起點トシタイト云フ所デアアルノデアリマス、今ヨリ殆ト十五年前ニ、同一ノ建議案ハ曾テ
衆議院ヲ通過シタノデアリマスルガ、其後政府ハ七回更迭致シ、文部大臣ハ十二人變更ヲ致シマ
シタケレドモ、斯ウ云フ施設ニ對シテハ未ダ何等ノ進行ヲ見ナイノデアリマス、然ルニ近時世界
ニ於ケル文化ハ、一大激變ヲ致シマシテ、總テノ方面ニ於テ新シキ文化運動ガ起ツテ居ルニ拘ラ
ズ、我國ニ於テ尙ホ文教ノ上ニ、遠大ノ文化政策ヲ樹ツル所ノ何等ノ經綸施設ノナイト云フコト
ハ、本員ノ甚ダ遺憾トシテ居ル所デアリマス、私ハ此羅馬字ノ普及ヲ唱道スルニ付テ、必シモ漢
字ヲ排斥スルト云フ意味デアアリマセヌ、漢字ヲ排斥スル所ノ意味ニ依ツテ此案ヲ出シタノデハ
アリマセヌ、本員ハ漢學ニ對シテハ最モ敬意ヲ表スル所ノ一人デアリマス、又漢學ニ付テハ大ナ
ル趣味ト感興ヲ持ツテ居ル一人デ、此點ニ於テハ決シテ漢學唱道者ニ劣ル者デハナイト信ジテ居
ルノデアリマス、而シテ此羅馬字普及ニ關スル建議案ヲ提出シタ理由ハ、先年此議場ニ於テ提出
致シマシタルトキト、何等ノ變リハアリマセヌノミナラズ、私ノ信念ハ益々強ク、一日モ速ニ此施
設ヲシナケレバナラヌコトヲ時勢ノ進歩ト共ニ痛切ニ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、今爰ニ
概略本案ヲ提出シマシタル所ノ理由ヲ三ツノ點ヨリ説明シテ置キタイト思ヒマス、第一ハ教

育ノ進歩ノ爲ニ此案ヲ提出致シタノデアリマス、現在ノ我國ノ國語ハ、申ス迄モナク漢字ト假名
ノ併用ヲ致シテ國語ヲ以ッテ居ルノデアリマスガ、凡ソ漢字程厄介ナルモノハナイト思ヒマス、
元來漢字ハ形象文字ノ變化シタル所ノ一ツノ符合字デアリマシテ、眼ニ依ッテ見ル所ノ一文字デ
アッテ、耳ニ依ッテ聽クコトニ於テハ甚ダ不完全ナ判リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク
判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シ
ク之ガ讀メルト云フコトハ非常ニ困難ナモノデアリマス、一ツノ漢字ニ付テ幾通りカノ發音モ
アレバ、意味ガ違フト云フコトデアリマシテ、此漢字程厄介ナ代物ハナイト思ヒマス、又吾々ノ
姓名ニ付キマシテモ、或ハ地名ニ付キマシテモ、正當ニ讀ミ得ル者ハ——知ラナイ所ノ姓名、或
ハ人名ヲ正當ニ讀ミ得ル者ハ殆ド無イト云フ位デアリマス、御互ニ此議員ガ能ク顔ヲ知ッテ居リ
マスガ、此議員ノ姓名サヘモ相當ニ發音シ若クハ完全ニ讀下シヲナシ得ル者ハ、議員中甚ダ少イ
ト思ヒマス、又斯ウ云フ面倒ナ厄介ナ漢字ヲ使ッテ、今日ノ吾々ノ國語ヲ綴ッテ居ルノデアリマス
此ガ爲ニ、吾々國民ガ漢字ノ爲ニドレダケノ時間ヲ無益ニ費シテ居ルカ、又ドレダケノ國民ノ
「エネルギー」ヲ浪費シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、非常ニ驚クベキ所ノ損失ヲシ
テ居ルノデアリマス、近頃文部省ガ國語調査會ヲ開イテ、サウシテ漢字ヲ制限スルト云フコトノ
企ヲシテ居リマス、是ハ必シモ惡イコトデアナイ、惡イコトデアリマセヌガ、漢字ヲ制限シテ
サウシテ日本ノ國語ヲ發達セシメヤウト云フヤウナ考ハ、甚ダ不徹底ナル政策デアッテ、私ハ決
シテ之ヲ絶對ニ排斥スル者デアナイガ、漢字ヲ制限シテソレニ依ッテ日本ノ國語ヲ綴ルヤウナコ
トハ、非常ニ不賢明ナ政策デアルト思フノデアリマス、ソレハ何故デアルカト云フト、元來漢字
ト云フモノハ澤山ニ文字ヲ知ッテ居ル所ニ非常ニ趣味ガアルノデ、良イ文章ヲ綴リ、氣力アル或ハ
優美ナル文字ヲ澤山竝べルト云フコトニ漢字ト云フモノハ趣味ガアルノデ、其趣味ヲ取除ケテ、
サウシテ僅カナナル二千字デアルトカ、二千五百字ナリト云フヤウナ判リ切ッタ簡單ナ漢字ノミニ
制限シテ、之ニ依ッテ文章ヲ書イタリ綴ッタリスルト云フコトハ、漢字ノ一番長所ヲ没却スルモ
ノデ、其色々ノムツカシイ、込入ッダ畫ノヤウナ文字ヲ排斥スルト云フコトハ、漢字ノ精神ヲ失ク

スルコトデアアル、斯ウ云フ事ニ依ッテ日本ノ國語ヲ綴ラントスルト云フコトハ、全く不徹底ナ話
デアルト思ヒマス、丁度漢字ハ阿片ニ中毒シテ居ル所ノ患者ノヤウナモノデ、阿片中毒ノ患者ハ
喫メバ喫ム程愉快ヲ感ズル、漢字モ多クノ文字ヲ知レバ知ル程面白味、趣味ヲ感ジテ來ル、然ル
ニ阿片中毒ノ患者ガ多ク阿片ヲ吸ハナイヤウニスルト云フコト、同シヤウニ、是ハ言フベクシ
テ行ハレナイコトデアッテ、縦シ文部省ガ國語調査會ニ於テ二千字ト文字ヲ限ッタ所ガ、ソレハ決
シテ行ハレルモノデアナイ、段々漢字ノ趣味ヲ覺エレバ覺エル程、多クノ文字ヲ用キタクナルト
云フコトハ當然ノ事デアリマス、要スルニ漢字ト云フモノハ非常ニ不便ナモノデ之ガ爲ニドレ
ダケ國民ノ「エネルギー」ト時間ヲ空シク費シテ居ルカ國民全體ガドレダケノ驚クベキ損失ヲ來
シテ居ルカト云フコトヲ考ヘルトキニ、吾々ハ將來ノ日本ノ爲ニ日本ノ文學ノ爲ニ、遠大ノ計畫
ヲ立テ、國語ノ進歩ヲ圖ラゲレバナラス、ソレニハ茲ニ新シキ國語ヲ定メル必要ト云フコト
ガ起ッテ來ル、是ハ現代ノ人ガ後世子孫ノ爲ニ篤ト考慮シテ、現代利害得失ノミヲ考ヘズニ、後世
子孫ノ教育文學ノ爲ニ新シキ國字最モ便利ナル、最モ開明シタル、簡單ニシテ容易ナル文字ヲ
造ッテ、ソレヲ新國語ニシナケレバナラスト云フコトヲ御互ニ考ヘナケレバナラス時デアルト思
フノデアリマス、ソレニハ結局「ローマ」字ヲ採用シテ行クト云フヨリ外ニハナイト思ヒマス、「ロ
ーマ」字ノ使用ヲ普及スルト云フコトハ、詰リ吾々ガ現代ニ於テ幾ラカ犠牲ヲ拂ッテ、後世子孫ノ
爲ニ新シキ國字ト新國語ヲ造ルベキ準備ヲ致スト云フコトデアリマス、「ローマ」字ノ數ハ申ス
迄モナク平假名ニ較ベテモ、片假名ニ較ベテモ遙ニ簡單デアリマス、其數モ少クシテ最モ綴ルコ
トガ易ク又書クコトニ於テモ甚ダ便利デアリマス、其文字自身ハ、曲線ノ美ニ富ンデ居ッテ、子
供ノ眼ニ非常ニ快感ヲ與ヘル所ノ文字デアリマス、美術的ニ構造ガ出來テ居ル所ノ非常ニ巧妙
ナ文字デ蓋シ人類ノ知識ヲ發明シタルモノ、中ニ於テハ、最モ偉大ナル發明デアッタト私ハ信ズ
ルノデアリマス、結局「ローマ」字ヲ國民ノ間ニ普及スルト云フコトガ、今日ニ於テ將來ノ新國字
ヲ造ル上ニ於テ大ナル基礎ヲ爲ス所以デアルト思フノデアリマス、ソレデ「ローマ」字ノ使用シ
テ居ル所ノ、現今ノ歐羅巴亞米利加ニ於ケル子供ト、漢字ヲ學ンデ居ル日本ノ兒童ガ、ドレダケ

時間ト勢力ノ相違ヲ來シテ居ルカ、此點カラ考ヘテ見マスルトキハ、驚クベキ相違ノアルコトヲ發見スルノデアリマス、日本ト歐米トニ於テ國語ノ教育ニ關スル比較ノ調査ニ付テ見マスルト、小學ニ於テ國語ノ每週ノ教授時間ト云フモノハ、歐米ノ小學校ニ於テハ六箇年ヲ通ジテ平均八時間ヅ、教ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ日本ノ小學校ニ於テハ、六年間ニ於テ平均十二時間位教ヘテ居ルノデアリマス、是ダケ小學校兒童ハ六年間ニ歐米ニ於テハ八時間、日本ニ於テハ十二時間、即チ四時間ト云フモノガ六年ヲ通ジテ日本ノ小學校兒童ガ時間ヲ多ク費シテ居ル、日本兒童ガ比較的ニ非常ニ重キ負擔ニ苦ンデ居ルノミナラズ、其結果ハドウデアルカ、其結果ヲ見レバ、更ニ驚クベキ事實ガアルノデアリマス、歐米ニ於キマシテ、普通ノ書類ヲ讀ミ得ル程度即チ新聞ヲ讀ミ得ル程度ニ至ルニテ、一年半ニテ歐米ニ於ケル小學校兒童ガ新聞ヲ容易ニ讀ミ得ルヤウニナリマス、然ルニ漢字ヲ學ンデ居ル日本ニ於テハ、中學ノ二年マデ掛カルノデアリマス、サウスルト殆ド六倍ノ損失ヲシテ居ルコトニナルノデアリマス、歐米ノ兒童ガ尋常ノ二年デ新聞ヲ自由ニ讀ミ得ルト云フコト、又我國ニ於テハ中學三年デナケレバ自由ニ新聞ヲ讀メナイト云フコトハ、茲ニ驚クベキ時間ノ相違ト勢力ノ浪費ノアルコトヲ發見スルノデアリマス、ソレデ所謂教育ノ進歩ノ爲ノ先ヅ第一ノ理由トシテ、「ローマ」字ヲ普及スルガ爲ニ小學教育ノ一科ニ入レタイト云フノデアリマス、第二ハ國語ト文學トノ發達ノ爲ニ、「ローマ」字ノ普及ヲ圖リタイト思フノデアリマス、日本國民ノ所謂民族語ト云フモノハ、申スマデモナク吾々ガ今使ッテ居ルノハ優美ナル大和言葉デアアル、此大和言葉ノ本質ノ上ヨリ研究致シマス、非常ニ母音ガ多クシテ、耳ニ滑カニ且ツ柔カク、丁度南歐羅巴ノ伊太利語、或ハ佛蘭西語古ノ羅典語ニ髣髴タル音調ヲ持ッテ居リマス、此點ガ今日ノ北歐羅巴ノ芬蘭、若クハ「ジャマニ」邊リノ言葉ヨリモ、非常ニ滑カニシテ優美ナル性質ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、此大和言葉ヲ發達スル事ハ眞ノ日本ノ文學ヲ發達スル上ニ於テ、非常ニ必要ナルコトデアリマス、日本ノ眞ノ文學ヲ發達スルニハ、吾々ノ民族語ヲ能ク整頓シテ、之ヲ發達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガ、ドレ程日本民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居

ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申スヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノデアッテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアッテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デアッテハナイ隨テ見ナケレバ判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間ニ別々ノ相違ヲ起ス所以デアッテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナッテ日本ノ國語ハ話ス言葉ト、書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異ツタ状態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通リニ岐レテ居ルノデ、斯ル不完全ナル日本語ノ状態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナイ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先ヅ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入サレタ漢字ヲ學ブガ爲ニ、絶エズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見レバ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成ッテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶エズ日本人ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持ッテ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使ッテ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ル——糟粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々ガ平素使用シテ居ルガ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラザレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモノハ起ッテ來ナイト信ズルノデアリマス、其著シキ例ハ丁度歐羅巴ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利語モ、佛蘭西語モ、起ッテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニナッテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興リ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピヤ」ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起ッテ來タノデアアル民族ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來テ、茲ニ完全ナル國文ガ出來ルヤウニナッテ、其國ノ文學ガ興ッテ來タノデアリマス、吾々ハ決シテ漢字ヲ此儘ニ抛ッテシマフト云フコトヲ言フノデハナイ、此議會ニ於テモ既ニ漢學振興ノ建議案ナドモ出マシタ、又漢學熱心ノ諸君モアリマス、吾々之ニ反對スルノデハナイガ漢字ヲ一般普通國民ノ教育カ

ラ取去ッテ漢學ハ丁度歐羅巴ノ學者ガ羅匈語ヤ希臘語ヲ研究スルト同ジヤウナ深イ研究ニ任シテ、普通ノ教育ヨリ漢學ヲ取ルコト、歐羅巴ニ於テ羅匈語ノ使用ヲ普通教育ヨリ取ルト同ジヤウナ意味ニ於テシタイト云フノデアリマス、支那ニ於キマシテ——今漢字ノ本場デアリマスル支那ニ於キマシテモ、諸君ハ或ハ御承知カ知リマセヌガ最近ニ文化運動ト云フモノガ起ッテ來テ居リマス、支那ニ於ケル文化運動トハ何デアルカト云フト、字母ト云フモノヲ改造スルト云フノデアリマス、今ノ漢字ト云フモノガ支那ニ於テ教育ノ普及ニ甚ダ害ニナルト云フコトヲ感ジテサウシテ字母ヲ發明シテ所謂「アルハベット」ヲ造ッテヤラウト云フコトガ、支那ノ文化運動ニ最モ盛ナル力ヲ成シテ居ルノデアリマス、漢文字ヲ廢シテ字母ヲ以テ詞ヲ綴ッテ往ク所ノ「アルハベット」ニ依ッテ、支那語ヲ綴ルト云フ運動ガ盛ニ支那ニ於テ文化運動トシテ起ッテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ觀テモ漢字ノ本場デアアル支那デスタ、漢字ノ不便ヲ一般ノ使用カラ取ルト云フコトニ付テ、民族發展ノ爲ニ強イ運動ヲ起シテ居ルト云フコトヲ見テモ明カナ事實デアリマス、之ガ第二ノ「ローマ」字普及ニ關スル點デアリマス、第三ノ點ハ日本ノ文化ヲ世界的ナラシムル爲ニ、ドウシテモ「ローマ」字ヲ普及シタイト思フノデアリマス、此國民ガ武力ニ依ッテ世界ニ大ナル力ヲ得タト云フコトハ申ス迄モナイ話デアッテ、吾々ハ今世界文明ノ三大強國ノ一員ト言ヒ、或ハ五大強國ノ一員ナリト言ウテ居リマスルガ、ソレハ日本ノ武力ニ依ッテ贏チ得タル地位デアリマス、或ハ日清戰爭、日露戰爭、日獨戰爭、是等ノ世界ノ大戰ニ參加シテ、武力ニ依ッテ日本ガ贏チ得タル此日本ノ世界的地位ハ、文化的ニ考ヘテ見レバ殆ド汗顔ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、日本人ノ文化ニ依ッテ世界ノ文明ニ貢獻シテ行クト云フコトデナケレバ、文化ノ點カラ見レバ非常ニ遺憾ノ所ガ多イノデアリマス、今ヤ世界ハ平和ノ時代ニ這入ッテ來テ居ル華盛頓會議ニ於テモ、或ハ歐羅巴ノ列國會議ニ於テモ、平和ノ聲ガ世界ノ大ナル思潮トナッテ居ル、茲ニ武力ヲ偃セ文化ノ大運動ヲ起サントスル時ニ當ッテ居ルノデアリマス、吾々日本國民ハ文化的內容改善ノ爲ニ大ナル努力ヲ拂ハナケレバナラヌ、時代ガ來タト思ヒマス、然ラバ此文化運動ノ根本問題タル所ノ國字ノ改善、及文學ノ基礎トナルベキ所ノ是等ノ新シキ運動ハ、先ツ第一ニ世界

一ノ最モムツカシイ、不便ナ文字デアアル吾々ガ使ッテ居ル所ノ現代ノ文字ヲ改造シテ行カナケレバナラヌト云フ必要ガ起ッテ來テ居ルノデアリマス、今日吾々ガ使ッテ居ル所ノ文字ハアリマスケレドモ、コンナムヅカシイ又不便ナル文字ハナイ、一種ノ是ハ遊戲的ニ文字デアアル、又惡ク言ヘバ是ハ貴族的ニ文字デアッテ、骨董的ニ閑文字ヲ閑人ガ弄ンデ居ルトキニハ、或ハ宜イカモ知レヌガ、今ノヤウナ繁劇ナサウシテ此「デモクラチック」ノ時代ニ於テ、總テノ民衆ハ文化ノ要素トシテ大ニ力ヲ伸バサナケレバナラヌ時ニ於テハ、斯クノ如キ文字ハドウモ時代ニ相應ハシクナイ所ノ文字デアリマス、此點カラ文字ノ改造ヲシナケレバナラヌ、其シナケレバナラヌ所ノ第一ノ問題トシテ、「ローマ」字ヲ小學教育ニ入レナケレバナラヌ、併シ今直ニ「ローマ」字ヲ以テ國民ノ新シキ文字トスル意味デハナイ、之ニ依ッテ先ヅ小學ノ兒童ヲシテ目ニ慣ラシ、耳ニ慣ラシ、サウシテ自由ニ之ヲ書キ得ルヤウニナッテ、初テ茲ニ日本ガ「ローマ」字ヲ以テ國語ヲ綴リ得ルヤウナ時代ヲ造リ出スコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、又「ローマ」字ガ世界的デ、今列國ニ於テ「ローマ」字ヲ用キナイ所ノ文明國ハナイノデアリマス、然ラバ此「ローマ」字ト云フモノハ今日ニ於テハ世界的文字デアリマシテ、又最モ簡單ニシテ經濟的ナ文字デアリマス、又最モ「デモクラチック」ナ文字デアリマス又「ローマ」字ヲ使用スルガ爲ニ世界的知識ヲ吸收スル點ニ付テ、又同時ニ日本民族ノ思想ヲ世界ニ普及スルト云フコトニ付テ、ドウシテモ此新文字ヲ採用スルノ必要ガアルノデアリマス、英語或ハ佛語ガ今世界ノ流行語トナリ、商用語トナリ、國際上ノ語トナッテ居ルヤウニ、吾々ノ民族ノ大和言葉ガ世界ノ流行語トナルヤウナ時代ヲ造ラナケレバナラヌノデアアル、ソレハ「ローマ」字ノ普及ニ依ッテ世界ノ知識、世界ノ思想ヲ吸收スルト同時ニ、「ローマ」字ニ依ッテ日本ノ國語ヲ世界ニ普及スル所ノ大ナル效用ガアリマス、隨テ世界的大詩人ヲ造リ、世界的大文學者ノ起ルト云フ時代ヲ吾々ガ今日ヨリ之ヲ造ッテ置カナケレバナラヌト思フ、吾々ハ現代ノ政治ノ得失ヲ利害ニノミ没頭ヲ爲シテ居ル時デハナイ、サウ云フヤウナ卑近ノ問題ニノミ携ハッテ居ル時デハナイ、法律ヲ作り政治ノ懸引ヲナシ目前ノ利害得失ノミヲ爭フヤウナコトニノミ吾々議員ハ没頭シテ居ッテハイケナイ、吾々ハ子孫後昆ノ爲ニ國民ノ永遠ノ利

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

益、幸福、民族ノ世界的發展ニ關シテ遠大ナル考慮ヲセナケレバナラヌ時デアルト思フノデアリ
マス、是ガ此案ヲ提出シタル所ノ主ナル理由ノ第二デアリマス

次テ本案ハ福井甚三君外四名提出奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(二一)外六件委員ニ併セ付
託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタル
モ議決ヲ經ルニ至ラサリキ

一〇一 日足鐵道速成ニ關スル建議案

栃木縣上都賀郡日光驛(日光線)ヨリ足尾驛(足尾線)ニ達スル十五哩間ノ日足鐵道ハ既ニ政府提
出ノ鐵道敷設法案別表中ニ編入セラレ居ルノミナラス産業上交通殊ニ大日光國立公園設置計畫
調査地域内ニ在ル極メテ重要ナル線路ニ付政府ハ速ニ敷設完成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十一年三月四日松岡俊三君之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ
辯明セリ

只今議題トナリマシタル日足鐵道速成ニ關スル建議案ニ付テ、簡單ニ理由ヲ説明致シマス、日足
鐵道ハ日光線ノ日光驛カラシテ足尾線ノ足尾ニ通ズル、僅ニ十五哩ノ鐵道デアリマス、申上ダ

迄モナク日光ト足尾トハ、共ニ栃木縣上都賀郡、此郡内ノ同一行政區劃デアリマス、然ルニ拘ラ
ズ、足尾ノ者ガ其行政官廳タル所ノ上都賀郡役所ニ參リマスルニ付テ、群馬縣、栃木縣ノ此二縣
八郡百二十哩ノ間ヲ迂回シナケレバナラヌデアリマス、僅ニ十五哩ノ間ニ鐵道ノ無イ爲ニ、二
縣八郡百二十哩ヲ、而モ一日ヲ費シテ辛ウジテ達スルヤウナ、洵ニ氣ノ毒ノ次第デアアルノデアリ
マス、日光及足尾ハ、既ニ昨年ノ議會ノ豫算委員會ニ於キマシテ、政府委員ヨリシテ大日光國立
公園ノ地帶ト致シマシテ、ドウシテモ將來設備ヲ施サナケレバナラヌ地帶デアルト、斯様ニ答辯
ヲ得テ居ルノデアリマス、現ニ日光ノ全山ガ如何ニ形勝ノ地ニ在ルカト云フコトハ、今更本員ガ
申スマデモアリマセヌ、既ニ世界ノ間ニ於ケル所ノ日光トシテ、現ニ近ク英國皇太子殿下ガ御渡
來ニナリマシテモ、此日光ノ中禪寺ニハ御出デニナルト云フコトニサヘモ、御内定ニナッテ居ル
カニ聞イテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ形勝ノ日光、竝ニ鑛業地トシテ有數ナル所ノ足尾、此足
尾ノ銅山ニ於ケル兩方ノ地帶ガ僅々十五哩ノ爲ニ、全國ヨリ若クハ其以外ノ旅行者ガ、足尾ヲモ
見、日光ノ形勝ヲ探ラントスル場合ニ於テ、此十五哩ノ鐵道ガ無イ爲ニ、二縣八郡百二十哩ヲ迂
回セナケレバナラヌト云フ、此煩瑣ナル、又ムヅカシイ事アルガ爲ニ、遂ニ此兩方ノ地帶ヲ同一
時間ニ見ルコトノ出來ナイ、洵ニ氣ノ毒ノ状態ニ在ルノデアリマス、日光ニハ一年ノ間ニ登見ス
ル者ガ約五十萬、足尾ニ參リマスル者モ學生其他ノ見學ガ頗ル多イノデアリマス、若シ此十五哩
ノ鐵道ニシテ貫通スルヤウニナリマシタナラバ、全國ヨリ來リマスル所ノ學生ガ、見學ノ爲ニ足
尾ヲ見、而シテ世界ノ形勝デアアル所ノ日光竝ニ中禪寺、殊ニ男體山ヲ中心トスル方十哩ノ間ハ、
將來大日光國立公園トナルベキ所ノ、此形勝ナル地帶ヲ見ルコトガ出來マスレバ、實ニ經濟上、
殊ニ其見學ノ上ニ於テモ、非常ニ有益ナルコトハ申上ダラバ、行詰リニナッタ所ノ日光線、又同一行詰
若シ國有鐵道ト云フモノ、意義アルモノデアッタナラバ、行詰リニナッタ所ノ日光線、又同一行詰
リニナッタ所ノ足尾線、此兩行詰リノ處ノ連結ヲ僅ニ十五哩ノ爲ニ爲シテ、其效果モ斯ノ如ク學
生ノ見學、一般觀覽者ノ全國ノ悉クノ人ヲ喜バシムルト云フヤウナ工合ニナリマスレバ、一ハ
信州善光寺ノ方カラ足尾モ見、日光ノ形勝モ見、而シテ奥州方面ニ到ルト云フコトニナッテ、實ニ

此鐵道ノ有益ナルコトハ、申上グル必要モナイコトデアラウト思フノデアリマス、國有鐵道ト云フモノハ、如何ニ困難ナル工事デアリマシテモガ、斯ノ如ク非常ニ困難ナル處ニ敷設セラレテコソ、眞ニ國有鐵道ノ其意味ガ有ルダラウト思フノデアリマスカラ、希クハ滿場ノ諸君ニ於カレマシテモ、何卒本建議ノ趣意ヲ御諒承下サイマシテ、御同情ノ上御賛成下サレンコトヲ切望ニ堪ヘヌノデアリマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一〇二 五條町新宮町間ノ各郵便局ニ公衆電話事務開始ニ關スル建議案

奈良縣五條町和歌山縣新宮町トノ中間ニ配在セル二十一郵便局所在地附近ハ所謂吉野、熊野ノ大森林ヲ包容シ天與ノ物資豊富ニシテ眞ニ國家ノ寶庫タリ而シテ又歷史上風物上名所舊蹟甚タ多シ然ルニ未タ通信機關ノ完備セサルハ文化產業ノ振興上誠ニ遺憾トスルトコロナリ因テ速ニ電話事務開始セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月四日玉置良直君外一名之ヲ提出シタルモ日程ニ上スニ至ラザリキ

一〇三 古墳發掘竝埋藏物處分ニ關スル建議案

現行法令ニ據レハ古墳ノ發掘ニ關シテハ其ノ所有者ヲ拘束シ埋藏物ニ關シテハ發見者及其ノ所在土地所有者ノ自由處分ヲ許ササルヲ以テ之カ密掘密賣ノ弊ヲ生シテ止マス從テ諸種ノ調査研究上障害ヲ來スコト尠カラズ依テ強テ現行法令ヲ襲用セムトセハ現在未發掘ニシテ私有地内ニ在ル古墳ハ全部政府ニ於テ之ヲ買上クヘシ然ラサレハ其ノ發掘ハ一ニ土地所有者ノ隨意トシ且發掘物ハ其ノ土地所有者ノ所有ニ歸セシムル如ク速ニ法規ヲ改正スヘシ

右建議ス

右ハ十一年三月四日龍野周一郎君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(土井權大君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極テ簡單デアリマス、御承知ノ通り現代ノ文明ハ過去ノ文明ニ進歩改良ヲ加ヘタニ過ギヌノデアリマス、故ニ將來ノ進歩改良ヲ圖ラウト致シマシタナラバ、必ズヤ過去ヲ研究調査スルノ必要アルコトハ喋々ノ要ハアリマセヌ、一言以テ申上ゲマシタナラバ、社會ト云フモノハ繼續的ノモ

ノデアリマス、波動的ノモノデアリマス、事ヲ我國ノ社界變遷ノ事蹟ニ鑑ミマシテモ、即チ日本ノ古代文明ト、現代文明トハ極テ深キ關係ヲ持ッテ居ルコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、是ニ於テカ我國ニ於キマシテモ、將來ノ文明ヲ推測スル上ニ於テモ、將タ將來ノ社界ヲ進歩改良ヲスル上ニ於テモ、古代文明ヲ研究スル必要アルコトハ是亦多辯ヲ要シナイデアリマス、然ルニ悲シイ哉、我國ニハ古代文明ニ關スル所ノ記錄ガ無イデアリマス、即チ文獻以テ徵スルニ足ラズ、已ムナクンバ此古墳ヲ基礎トシ科學的研究ヲ爲スノ外ナイデアリマス、所謂我國ニ於キマシテハ古墳ト云フモノガ我國古代ノ歴史ノ象徴デアアル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル次第デアリマス、是程歴史上學術上、將タ社會改良進歩ノ上ニ必要ナル、而モ大切ナル古墳ト云フモノハ、我が日本ニ於テハ之ヲ密掘スル者アリ、密ニ發ク者アリ、或ハ密ニ賣ル所ノ所謂密賣者ガアルト云フガ如キ現狀デアリマス、斯様ナ狀態デアリマスルガ故ニ、總テノ調査研究上、所謂歴史上、學術上、社會改良進歩發達ノ上ニ於テ色々ノ障礙ヲ來スコトガ多イデアリマス、ソレハ何故デアアルカト申上ゲマスレバ、蓋シ現在ノ法律ガ不備デアアル、制度ガ不完全デアアル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアアル、仍テ本建議ヲ提案致シマシテ、不備ヲ補ヒ法制ヲ改善シタイノデアリマス、其趣旨ハ極テ簡單デアリマスカラ、朗讀致シマス「現行法令ニ據レハ古墳ノ發掘ニ關シテハ其ノ所有者ヲ拘束シ埋藏物ニ關シテハ發見者及其ノ所在土地所有者ノ自由處分ヲ許ササルヲ以テ之カ密掘密賣ノ弊ヲ生シテ止マス從テ諸種ノ調査研究上障害ヲ來スコト尠カラス依テ強テ現行法令ヲ襲用セムトセハ現在未發掘ニシテ私有地内ニ在ル古墳ハ全部政府ニ於テ之ヲ買上クヘシ然ラサレハ其ノ發掘ハ一ニ土地所有者ノ隨意トシ且發掘物ハ其ノ土地所有者ノ所有ニ歸セシムル如ク速ニ法規ヲ改正スヘシ右建議ス」何卒宜シク……

次テ本案ハ八田宗吉君外二名提出國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案
 (三五)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラザリキ

一〇四 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案

帝國陸海軍ノ現役豫後備將校下士卒並廢兵ノ待遇ニ關スル規定ハ孰レモ數十年前ノ制定ニ係リ時勢ノ進展ニ伴ハサル點甚タ多シ近年少シク改善セラレタルトコロアリト雖殆ト謂フニ足ラス若此ノ儘ニ推移シテ顧ルナカラムカ實ニ國防ノ基礎ヲ危クスルノミナラス軍人思想ノ惡化ヲ來スモノナリト認ム依テ政府ハ尠クモ左記諸項ニ就テ速ニ審議改善ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

一 陸軍現役兵一、二等卒ノ日給ハ少クモ二十錢ニ増額スルコト

現役兵ノ日給ハ少額ニ過キ物價騰貴ノ今日ニ於テハ日用ヲ辨スルニ足ラス故ニ少クモ二十錢ニ増額シ以テ家庭ヨリ送金スルノ要ナキニ至ラシメ其ノ他日用消耗品ノ給與ニモ總テ改善ヲ施サレタシ

一 一年以上ノ陸海軍現役完了者ニハ選舉權ヲ付與スルコト

兵役ノ義務ト納稅ノ義務トハ憲法上ニ規定セラレタル臣民ノ二大義務ニシテ彼是甲乙アルコトナシ然ルニ現行制度ニ於テハ納稅ノ義務ノミヲ認容シテ兵役ノ義務ヲ度外視サレアルハ甚タ不均衡ノ制度ト謂ハサルヘカラス抑兵役義務ハ現役間ノミニ在ラス豫後備役及國民軍ヲ通シ幾ト終身血稅ヲ拂ヒ國家ノ干城ニ任スル者ナリ然ルニ兵役義務者ニ對シ何等措テ願ミル處

ナキハ公平ヲ缺クノ甚シキモノト認ム故ニ一年以上ノ陸海軍現役完了者竝一年未滿ト雖戰役ニ從ヒシ者ニハ選舉權ヲ付與セラレムコトヲ望ム

一軍人恩給法ヲ根本ヨリ改正シ公正ヲ得セシメ増加恩給及遺族扶助料ヲ増額シ且戰傷及公傷ニ基因シテ身體機能ノ障碍者若ハ疾病者ニ對シテハ何時ニテモ本人ノ願ニ依リ再ヒ症項査定ヲ爲シ恩給授與ノ途ヲ開クコト

軍人恩給法ハ數次改正セラレタルモ皆一時ノ彌縫策ニシテ不備不公平時勢ノ進歩ニ伴ハス故ヲ以テ四十三回議會ニ於テハ政府ハ恩給法ヲ根柢ヨリ改正スヘク宣明サレタルニ拘ラス毫モ改正サルルノ模様ナク之カ爲受恩給者生計ノ窮困依然トシテ減少セサルコトハ今期議會ニ出テシ恩給法改正請願者ノ多數ナルヲ以テモ之ヲ證シテ餘リアリ殊ニ下士以下ノ廢兵ニ至テハ國家ヨリ受クルトコロノ待遇菲薄ニシテ實ニ慘憺タルモノアリ父母妻子ハ勿論自己ノ糊口ニモ窮スルノ状態ニ在リ過般廢兵ノ一團上京シテ大藏大臣及二三ノ貴族院議員ニ情願セリト聞ク是レ決シテ一小些事トシテ看過スヘキニ非ス今ニシテ恩給法ノ改善ヲ講セラレスムハ或ハ恐ル戰傷者等ノ悲惨ナル運命ヲ目觀セル國民ハ之カ爲終ニ忠勇ノ精神ヲ完ク消滅シ去ルニ至ラムコトヲ

尙附言スヘキハ文官ノ遺族扶助料ハ増加恩給ヲ加ヘタル三分一ナルニ拘ラス陸海軍將校下士

卒ノ遺族扶助料ハ本恩給ノ三分ノ一ニ止マル如キ又近頃改正サレタル司法官恩給トノ均衡ヲ考フトキハ不公平不備ノ點甚タ多キヲ見ル要ハ速ニ恩給法全般ノ改正ヲ施シ以テ待遇ヲ改善セラレムコトヲ望ム

一廢兵(恩給法第九條第六項症以上)ハ將校下士卒ヲ問ハス介助者(恩給法第九條第四項症以上)ト共ニ一律ニ官私汽車船無賃乘リ込ミヲ許スハ勿論其ノ手續ヲ簡單ニシ又戰闘或ハ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ死没シタル者及廢兵ノ遺族ニ對シテハ各種學校ノ授業料ヲ免除シ又廢病院入院者ノ家族ニハ恩給全額ヲ與フルハ勿論同伴セシ家族ニハ住家ヲ無賃貸與スヘク其ノ他廢兵ナル名稱ハ不穩當ナルニ依リ改メテ勳士若ハ功勞兵ト爲シ公會祭祀等ノ機會ニ於テ可及的名譽ヲ與フルコト以上ノ外聯隊區司令官或ハ部員ハ少クモ年一回廢兵ノ家宅ヲ慰問シ生活狀態ヲ視察シ廢兵ノ所要スル眼鏡義手足等ノ不適當ナルモノハ陸軍省醫務局長ト交渉シテ實用ニ適スルモノト交換セシメ之カ爲ニ上京ノ必要生スルトキハ往復舟車ノ無賃乘用竝滯京中ハ廢病院ニ無償宿泊シ得ル煩勞ヲ執ラレタシ從來廢兵ノ旅行ハ頗ル不便不利ニシテ同情スヘキ點甚タ多ク又彼等ノ家族遺族ヲ保護シ彼等ニ禮遇ヲ與ヘ及適當ノ生業ニ就カシムルコトニ就キ遺憾少カラス依テ前記ノ如ク改善ヲ望ム

之ヲ要スルニ今日ノ社會ニ於テ不幸不遇最憐ムヘキ境遇ニ在ルモノハ下級軍人殊ハ廢兵遺族ト

ス故ニ之カ待遇ヲ改善スルハ當ニ彼等ヲ満足歡喜セシムル爲ノミナラス延テ一般國民ヲシテ感奮興起犧牲的精神ヲ以テ國家社會ニ奉仕セムトスルノ念ヲ生セシムルモノナレハ特ハ審議アラムコトヲ切望ス

右建議ス

右ハ十一年三月四日仙波太郎君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(仙波太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ノ建議案ハ下級軍人ノ待遇法デアリマス、前置キハ茲ニ除キマシテ、其第一ハ現役兵ノ目下ノ日給ハ十二錢デアリマス、到底是デハ兵營中ニ於テ自分ノ需要ヲ滿タスコトガ出來ナイ、ソレガ爲ニ私ハ日給二十錢ニ増額ヲサレタイト申スノデ、モウ此事ハ既ニ去年ノ議會ニ於テ申述ベテ、委員會ニ於テハ滿場一致デ賛成ヲ受ケマシタニ、最後ニ事アツテ到頭本會議ニ上ラズ、其儘埋没シテシマツタ譯デスガ、ドウゾ是ハ本年ニ於テ是非共諸君ノ御贊助ヲ得テ、此建議案ノ成立ツコトヲ私ハ希望シタイ、ソレカラ次ハ一年以上ノ兵役ヲ完了シタ者、及一年以下ト雖モ戰役ニ從事シタ者ニハ選舉權ヲ與ヘラレタイト申スコトデアリマス、現行制ニ依リマシタナラバ、三圓以上ノ納稅額ヲ有スル者ニハ選舉權ヲ御付與ニナツテ居ル、然ルニ是マデ軍人ニ對シテハ未ダ曾テ選舉權ハ許サレナイ、私ハ甚ダ遺憾トスル、彼等ハ唯ニ現役間ノミデナク豫備、後備、國民軍間ヲ通ジテ、殆ト一生ノ間國家ノ爲ニ獻身的ニ御奉公致シテ居ル者デアリマス、殊ニ彼等ハ比較的ニ教育モ進ンデ居ル、又自制克己ノ念ハ軍隊ニ於テ養成サレテアル、是等ニ對シテ選舉權ヲ御與ヘニナルト云フコトハ、決シテ不適當デナイト私ハ信ズル、要ハ今日彼等ニ對シテ選舉權ヲ付與

サレテ、彼等ヲシテ自尊自重、國家ニ對シテノ責任ヲ感ゼシメラレンコトヲ祈リマス、次ニ第三恩給、殊ニ廢兵ノ増加恩給及扶助料デアリマスガ、此事ハ本日政府委員カラシテ吾々ニハ吉報ヲ得マシタ、何トモ喜悅ニ堪ヘナイ、デ是ハ茲ニ省略ヲ致シマス、其他廢兵ニ對シテ二三待遇法ガゴザイマス、是ハ委員會ニ於テ開陳セシメラレンコトヲ私ハ乞ヒマス、是デ私ノ説明ハ終リマス

次テ本案ハ永屋茂君外二名提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(三三)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一〇五 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案

宮崎縣西諸縣郡高原村鎮座狹野神社ハ官幣大社宮崎神宮ノ別宮ニシテ皇祖神武天皇御降誕ノ靈蹟ナリ人皇五代孝昭天皇御宇ノ御造營ニ係リ第三十代敏達天皇御詔書ヲ以テ霧島狹野權現ト改メラレ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ明治維新ノ際狹野神社ト稱セラルル而シテ神武天皇ノ御幼名ヲ狹野尊ト稱シ奉リシモ全ク御降誕地名ヲ用ヒ給ヒシコトハ舊記ニ明ナリ故ニ歷代天皇ノ崇敬篤ク舊薩摩藩主島津公ノ此ノ地ヲ領セラルルヤ尊崇殊ニ深ク社領五百石ヲ供進シ十數回ニ涉ル社殿ノ改修ハ總テ藩費ヲ以テ支辨サレタリ明治六年縣社ニ列セラレタリト雖苟モ天皇御發祥ノ靈地狹野神社ヲシテ縣社タラシムルハ誠ニ恐懼ニ堪ヘサルヲ以テ宮崎神宮ハ最密接至大ノ關係ヲ有ス

ルカ爲大正四年六月其ノ別宮ニ指定セラレタリト雖之カ爲ニ却テ神饌幣帛供進ノ祭祀ヲ廢止セラレタルハ御神靈奉慰ノ道ヲ缺キ延テ神祇崇敬ノ念ヲ減退セシムルノ恐アルヲ遺憾トス
本社境内ハ一萬九千餘坪ヲ有シ十六萬餘圓ノ資金ヲ有ス更ニ境内ノ老杉所謂狹野杉ハ時價百萬圓ヲ下ラス之ヲ官幣社ニ昇格セラルルモ其ノ維持經營上毫モ憂フルトコロナシ曩ニ 今上陛下未タ東宮ニ在マスノ時偶宮崎縣ニ行啓アラセラルルヤ特ニ侍從ヲ遣ハサレ幣帛ノ奉納アリ尙大正九年三月 皇太子殿下宮崎縣下行啓ニ際シテハ畏クモ御直參アラセラレ幣帛ノ奉納竝御手植ノ御事アリタリ建國二千六百年前皇祖神武天皇御發祥ノ靈蹟タル狹野神社ニ對シ僅ニ宮崎神宮ノ指定別宮トシテ待遇セラルルハ誠ニ恐懼措クトコロヲ知ラス依テ宮崎神宮ヨリ分立シテ更ニ官幣社ニ昇格セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月六日陣軍吉君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(陣軍吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

時間ノ節約上極テ簡單ニ本案ノ説明ヲ致シマス、別宮狹野神社ハ官幣大社宮崎神宮ノ別宮トシテ指定サレタル所ノ神社デゴザイマス、是ハ神武天皇御發祥ノ地デアリマシテ、矢張神武天皇ヲ

祭神トシタル所ノ神社デゴザイマス、歷代ノ天皇モ厚ク崇敬セラレマシテ、最モ由緒深キ神社デアルノデゴザイマス、故ニ之ヲ宮崎神宮ヨリ分立致シマシテ、單獨ニ官幣社ニ昇格セラレタイト云フ建議案デゴザイマス、詳細ハ議長ノ許可ヲ得マシテ、速記録ニ登載致スコトニ致シマスカラ、何卒御賛成アランコトヲ冀ヒマス
(參照ハ略ス)

次テ本案ハ高草美代藏君提出樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(五)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一〇六 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

政府當局ハ速ニ東京帝國大學農學部實科ヲ現在ノ場所ニ於テ農學部ヨリ分離セシメ專門學校令ニ依ル獨立シタル農林學校ニ改定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月六日有馬秀雄君外四名之ヲ提出ス、三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(有馬秀

雄君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今議題ニナリマシタ建議案ハ既ニ前議會即チ四十四議會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ案ナノデアリマス、故ニ今回ハ極テ要點ノミヲ簡單ニ説明致シマス、此農科大學ノ實科ナルモノハ、駒場農學校設置以來既ニ三十年以上ヲ經過致シテ居リマシテ、其卒業生ヲ出スコトガ既ニ二千五百名以上ニ達シテ居リマス、而シテ此卒業生ナルモノハ、所謂實科ノ名ニ背カズ、自ラ草鞋ヲ穿キ、或ハ鋤ヲ執ッテ耕作ニ從事シテ、而シテ奉職シテ居リマス者モ農事試驗場、大林區署、或ハ宮内省ノ御料地等ニ職ヲ奉ジテ居リマスガ故ニ、此實地ノ農事ニ總テ携ハッテ居リマス、斯様ナ意味ニ於テ學理ヲ最初ニ實地ニ應用シテ現在ノ程度マデニ我が農業ノ進歩發達ニ力ヲ盡シタコトハ多大ナモノデアリマス、而シテ現在ニ於テモ、近來ノ一番重大問題デアアル食糧問題ノ基礎トモ申スベキ農業ノ各方面ニ活動且ツ國家ニ貢獻シテ居リマス、斯ノ如ク卒業生ハ隨分國家ニ貢獻致シテ居リマスルニ拘ラズ、其母校タル實科ハ舊態依然トシテ改マラズ、單ニ農科大學部ノ附屬トシテ專門學校令ニ準ズルト云フ位ノ程度ニ取扱ハレテ、寔ニ日蔭者ノ、ヤウニナッテ居リマスカラ、本建議案ヲ提出スルニ付キマシテモ、議員諸君モ何物デアアルカト云フコトヲ御承知ニナラナイ方モ多クアルヤウナ次第デゴザイマス、而シテ其經費ナルモノモ大學部ト實科部ト一絡ニ合セラレテアリマスガ爲ニ常ニ、主タル大學部ノ改良施設ノミニ費サレテ、此從タル實科ノ方ニ廻サレル經費ガ僅少ナルモノデアアル、隨テ御承知ノ通り今日ノヤウニ學術ガ日ニ日ニ進歩シテ居ル時勢ニ伴フダケノ設備ガ出來ナイ、是レ寔ニ遺憾トスル次第デアリマス、惟フニ先年盛岡或ハ鹿兒島ニ農林學校ガ設置セラレタ際ニ、此實科ナルモノハ第一番ニ所謂獨立ノ農林學校ニ改訂セラレベキモノデアッタラウト思ヒマスケレドモ、一向今日マデ此改訂ノ實ガ舉ラザルヲ、現在ノ生徒ハ勿論卒業生ガ大ニ遺憾トスル次第デアリマス、デ最近ニ於テハ十年カララ十三年度ニ掛ケテ各地ニ農林學校ガ設置セラレタニ拘ラズ、今尚ホ此實科ニ於テハ何等ノ考慮ヲ致サレテ居リマセヌ、之ガ即チ卒業生ハ勿論現在ノ生徒ニ於テモ現狀ニ甘ンジ忍バントシテ忍ブ能ハザル所以デアリマス、斯ノ如キ狀態ニアリマスガ故ニ、此大學部ノ生徒ト實科ノ生徒

トハ感情上甚ダ面白クアリマセヌ、其證據ハ此運動會ナドニ往々衝突軋轢ヲ生ジテ、甚ダ文教上面白カラザル傾向ガアルノデアリマスカラシテ、是ハ是非共十二年度ニ於テ農學部ヨリ分離シテ、獨立ノ計畫ヲ立テ、戴キタイノデアリマス、而シテ其經費ノ如キハ即チ現在ノ場所ニ於テ獨立ヲシテ戴クト云フ考デアリマスカラ、敷地モアリ建物モアリマス以上ハ、新設ニ要スル費用ト云フモノハ僅カデアアル、唯年々ノ經費ヲ幾分カ増加スレバソレデ事足ルト思ヒマスカラシテ、是非共次年度ニ於テハ豫算ニ計上サレンコトヲ切ニ希望致シマス譯デアリマス、何卒昨年同様、滿場ノ御賛成アラントラ願ヒマス

次テ本案ハ福井甚三君外四名提出奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(二一)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラザリキ

一〇七 群山港修築國營ニ關スル建議案

群山港ハ南朝鮮ノ一大要港トシテ輓近産業ノ開發運輸交通機關ノ整備ト共ニ其ノ貿易額ハ著シク激増シ殊ニ米穀ノ輸移出港トシテハ朝鮮ノ各開港中其ノ首位ヲ占メ又遠カラス南朝鮮鐵道及京南鐵道ノ開通ト相俟テ其ノ貿易カ一層ノ進展ヲ來スヘキハ疑ヲ容レス然ルニ現在ノ港灣設備ハ舊態ヲ脱セサルヲ以テ物資ノ輸移出入ニ蒙ル不便ト損害トハ實ニ尠少ナラサルモノアルノミナラス陸上交通機關ノ整備ニ伴ハサルノ憾アリ政府ニシテ本港灣ヲ修築セハ其ノ貿易ノ發達

ヲ助長シ朝鮮ノ殖産興業ニ偉大ナル貢獻ヲ齎ラスト共ニ總督府ノ産米増殖計畫ノ進捗ト相俟テ運賃荷役費等ノ關係上帝國食糧問題解決ノ一端ニモ資スルコトヲ得ヘシ依テ政府ハ速ニ國費ヲ以テ本港修築ノ計畫ヲ立テ之ヲ發案セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月六日牧山耕藏君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(阪上貞信君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

群山港ノ國營修築ニ關シマスル建議案ニ付キマシテ、提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、群山港ハ明治三十二年五月ノ開港デアリマシテ、此朝鮮ノ南方ニ位シテ居ル所ノ一要港デアアルノデアリマス、輓近産業ノ開發、運輸交通機關ノ整備ト相俟チマシテ、群山港ノ貿易ハ著シク増進ヲシテ居ルノデアリマス、昨大正十年ノ統計ニ依リマスルト貿易額ハ二千六百有餘萬圓ヲ示シテ居ルノデアリマス、殊ニ此群山港ノ最モ誇トスル所ノモノハ、單リ朝鮮ノミナラズ我が内地ヲ通ジマシテ、米穀ノ移出額ニ於キマシテハ殆ド内地ニ於テモ其比ヲ見ルコトガ出來ナイト云フ有様デアリマス、即チ其總額ニ於キマシテ七十萬石以上ノ移出ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク貿易港トシマシテハ朝鮮ニ於テモ最モ有數ナル港デアリマスニモ拘ラズ、港灣ノ状態ハ明治三十二年以來二十有餘年間ヲ經過致シテ居ルニモ拘ラズ、依然トシテ舊態ヲ存シテ居ルノデアリマス、纔ニ港ノ前面ニ於キマスル所ノ外壁、竝ニ稅關構内ノ設備トカ若クハ港内ニ於キマスル所ノ浚渫ヲ除キマスル外ハ、未ダ此群山港ニ關スル所ノ修築ト云フモノハ何等見テ居ラヌノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、此群山港ハ近キ將來ニ於キマシテハ南朝鮮鐵道ノ開通、竝ニ朝鮮

慶南鐵道ノ開通ト相俟チテ、益々輸出港タル所ノ實ヲ發揮セントスル所ノ状態ニ在ルノデアリマス、此時ニ當リマシテ今申上ゲマスル如ク、港灣ガ洵ニ不十分ニシテ大船巨船ヲ自由ニ碇繋シ、船舶ノ荷役等ニ於キマシテ完全ニ其目的ヲ達スルコトガ出來得ナイト云フ有様デアリマス、斯ノ如キ状態デアリマスルガ故ニ、一日モ速ニ政府ハ此群山港修築ニ對シテ調査ヲ開始シ、進ンデ當港ノ修築ヲ完成セラレンコトヲ切望シテ止マヌノデアリマス、即チ本案建議ノ大體ノ趣意ヲ申上ゲテ御賛成ヲ仰ギタイト思ヒマス

次テ本案ハ成田榮信君外五名提出三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案(七)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一〇八 神社調査會設置ニ關スル建議案

政府ハ神祇制度ヲ確立セムカ爲ニ速ニ神社調査會ヲ設立スヘシ
右建議ス

一〇九 官國幣社國庫供進金増額ニ關スル建議案

政府ハ官國幣社ノ本質現狀ニ鑑ミ此ノ際國庫供進金ヲ増額シ以テ其ノ體面ヲ保持スヘシ
右建議ス

一一〇 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案

政府ハ神社ノ本質ニ鑒ミ府縣鄉村社ニ對シ年額百萬圓支辨ノ計ヲ立テ速ニ其ノ豫算ヲ提出スヘシ

右建議ス

右三案ハ孰レモ十一年三月六日岩崎勳君外十二名之ヲ提出ス三月二十二日三案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ三案ハ高草美代藏君提出樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(五)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末孰レモ原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一一一 牧野法制定ニ關スル建議案

政府ハ畜産業ノ發達ヲ期スル爲左ノ箇條ヲ主眼トシ速ニ牧野法ヲ制定セラレムコトヲ望ム

- 一 牧野ノ定義ヲ明ニスルコト
 - 二 牧野ト開墾地、植林地等ノ管理區分ヲ明ニスルコト
 - 三 牧野ノ整理及設備ヲ命スルコト
 - 四 牧野ノ保護、維持ニ關スル事項ヲ制定スルコト
 - 五 牧野ノ整理、設備、維持ニ關シ獎勵金ヲ交付スルコト
- 右建議ス

右ハ十一年三月七日吉良元夫君之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今日程ニ上リマシタ牧野法制定ニ關スル建議、是ハ決シテ私ノ御土産案デモゴザイマセヌ、賣名案デモゴザイマセヌ、實ニ此現在我が帝國ニ於キマシテ、畜産業ノ現在ノ状態ガ、外ノ産業ニ比シマシテハ洵ニ微々トシテ振ヒマセヌコトハ、其原因ガ種々複雑ナル原因モゴザイマスケレドモガ、要スルニ此牧野ニ關スル法律ノ制定ト云フモノガ我國ニ於テ閑却サレテ居リマスコトガ、一ツノ大缺點デアルト信ズルノデアリマス、故ニ近年此我國ニ於ケル牧野ノ地域ト云フモノハ非常ニ縮少サレツ、アリマス、サウシテ又牧草ヲ發育サスヘキ所ノ地力ノ荒廢ト云フモノガ、非常ナル荒廢ニ歸シツ、アルノデアリマシテ、是ガ即チ我國ノ畜産業ノ不振ヲ來シツ、アル、最大原因デアルト信ズルノデアリマス、我國ノ現在ニ於ケル馬ハ約百五十萬頭デアリマシテ、牛ハ百三十萬頭デアリマスルガ、實ニ此牛馬ヲ總計致シマシテ僅カ二百八十萬頭ニ過ギヌト云フコ

トハ、國家ノ生存ノ上ニ付テ甚シク遺憾ヲ感ズルモノデアリマス、現在吾々ノ手許ニ、馬政局カラ馬政ノ現狀ト云フ書物ヲ配付サレテ居リマスルガ、之ニ依ッテ見マシテモ、私ノ此法案ヲ制定サレンコトヲ要求スル、非常ニ緊要ナル事デアリマスヤウニ心得マスル、デ我が帝國ニ於ケル畜産業ノ發達ト云フモノ、狀況ヲ見テ視マスルノニ、生産頭數ガ多イ、又飼養シテ居ル頭數ノ多イト云フ所ハ、主ニ此牧野ノ發達致シテ居リマスル所ノ東京若クハ九州地方ニ於テ、此畜産業ノ發達ト云フモノガ現在認メ得ラレテ居リマスルノデアリマス、凡ソ國土ヲ基礎ト致シテ經營サレツ、アル事業ニ於キマシテハ、其土地ノ保安ニ關スル國法ノ保護保障ト云フモノガアリマシテ、各種ノ産業ノ發達ハソレカラ招徠シテ居ルノデアリマス、即チ農業ニ於テモ十分ナル政策ヲ執ッテ居ラレマス、又森林業ノ如キニ至リマシテモ、政府ハ非常ナル注意ヲ拂ハレマシテ、此森林經營ト云フ事ニモ努力致サレテ居リマス、殊ニ此森林及植林ニ關スル政策ト致シマシテ、森林法ノ制定ノ如キニ至リマシテハ、其保護ガ實ニ至レリ盡セリト謂フベキ次第デアリマシテ、即チ土地立木權利保障、造林ノ命令、造林地ニ對スル地租公課ノ免除、保安林編入ノ命令、開墾ノ制限、林產物運搬上ノ特權、森林組合ノ設置、森林警察ノ行使、火入ノ禁止、部落有林野ノ統一、造林獎勵及獎勵金ノ交付、官行造林ノ設定、植樹獎勵金ノ交付等法規ノ保護ノ下ニ、年々頗ル多額ノ獎勵金ヲ御交付ニナリマシテ、即チ本年迄ニハ、先般吾々ノ手ニ御示ニナッタヤウナル成績ヲ擧ゲテ居リマスルノデアリマス、又政府ハ開墾助成法ナルモノヲ、數年前、帝國議會ノ協贊ヲ經テ御出シニナリマシテ、サウシテ開墾立干拓開田等ヲ爲ス者ニ付テモ、十分ナル助成金ヲ御交付ニ相成リマシテ、之ヲ獎勵ニナッテ居リマスル、是ハ洵ニ國策トシテ其當ヲ得タモノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ我國ノ産業ハ、其目的ニ向ッテ相當ノ發達ヲ致シテ居ルニモ拘ラズ、獨リ畜産業ノ現況ガ甚シク之ニ伴ヒマセヌ所以ノモノハ、其根本問題タル所ノ牧野法ト云フモノ、制定ガアリマセヌ爲ニ、其保護獎勵ニ關シマスル國策ト云フモノヲ今日更ニ閉却サレテ居リマスルト云フコトハ、實ニ國家ノ爲ニ吾々ハ慨歎ニ堪ヘヌ者デアリマス、現在我が帝國ニ於テ三百五十萬町歩ノ原野ハ、現今ノ國家ノ規定ニ依リマスル法律ニ依リマスレバ、早晚造林又ハ開墾セラレバ

キモノト解釋ヲ下サケレバナリマセヌ、世人ハ此原野ト云フモノ、存在ヲ、甚シク土地ノ利用ノ不經濟ナルモノト唱道シテ居ルケレドモ、決シテソノナモノデハナイノデアリマス、此畜産ヲ發達セシメント欲セバ、牧草ヲ造ル所ノ原野ト云フモノヲ、相當ニ國家ガ之ヲ法律ヲ以テ保護致シマセヌケレバナラヌモノト、私ハ確信シテ疑ハヌノデアリマス、ソコデ私ノ希望致シマス所ノ牧野法ナルモノハ、凡ソ左ノ事項ヲ希望スル所ノ法令デアリマシテ、以テ畜産業ノ振興ノ基礎ヲ速ニ御確立アラシメコトヲ熱望スルノデアリマス、第一ハ牧野ノ定義ヲ明ニスル事、第二ハ牧野ト開墾地植林地等ノ管理區分ヲ明ニ制定セラル、事、第三ハ牧野ノ整理及設備ヲ命スル事、第四ハ牧野ノ保護維持ニ關スル事項ヲ制定スル事、第五ハ牧野ノ整理設備維持ニ關シ獎勵金ヲ國庫ヨリ交付サル、事、是ハ獨リ私ノ持論デハアリマセヌ、此件ハ大正十年ノ十二月ニ開催致サレマシタ所ノ第四次全國畜産組合代表者ノ會議ニ於キマシテモ、是ト殆ト同様ナル希望條件ヲ以テ當局者ニ願ッテ居ルノデアリマス、現在畜産ガ我國ニ於テ不振デアッテ我國ニ比シテ甚ダ劣ッテ居リマスルト云フコトハ、此馬政ノ現狀ニ見テモ明カデアリマス、英國ノ如キハ人口一千ニ付テ四十六頭ノ馬ガアル、佛國ノ如キハ八十一頭アル、米國ノ如キハ三百四十五頭アル、獨逸國ノ如キハ六十九頭アルニモ拘ラズ、我日本ハ僅ニ二十頭シカ無イト云フヤウナ次第デアリマス、此事ニ付テハ此印刷物ニ詳シク書イテゴザイマスルカラ喋々ヲ要シマセヌガ、私ノ此建議案ト云フコトニ付テ、最モ必要デアルト云フ事ガ此中ニ書イテアル、即チ放牧採草地ノ擴張及其管理ノ改善ヲ爲サナケレバナラヌト云フコトガアル、此放牧採草地ハ產馬事業ノ基礎デアルカラ、必要ナ地積ヲ供給シテ、管理ヲ改善シテ草ノ生育ヲ保護スルト云フコトハ、極テ產馬政策上必要ナモノデアルト云フコトガ此中ニモ書イテアルノデアリマシテ、是ハ即チ私ハ決シテ御土產案デハアリマセヌ、全體農商務省ニ於テ、今日迄馬政ヲ斯ノ如ク閉却サレタト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマスカラ、速ニ諸君ニ於テモ御贊成アラシメコトヲ望ミマス

次テ本案ハ土井權大君提出農業組合法案(三七)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ

著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

二千七十二

一一二 三國港築港ニ關スル建議案

福井縣三國港ハ縣下三大河川ノ湊合セル九頭龍川及竹田川ノ河口ニ位シ通舟ノ區域甚タ廣ク之
カ交通ノ便否ハ全縣下產業ノ發展ニ影響スル所大ナルノミナラス本港ノ築港事業ハ陸ニ鐵道ヲ
有スル今日海陸連絡上實ニ緊切ノ事業ナリトス依テ速ニ調査ヲ遂ケ少クトモ二千噸級以上ノ船
舶出入ニ支障ナキ程度ニ於テ築港ヲ爲シ以テ一ハ國家有事ノ際ニ備ヘ一ハ地方海陸產業ノ發展
ニ資シ日本海沿岸海陸交通ノ良商港タルニ至ラシメムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月七日野村勘左衛門君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(野
村勘左衛門君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

頗ル簡單デアリマスカラ、自席デ御許ヲ願ヒマス、此案ハ屢、提出セラレ、屢、本院ニ於テ可決セ
ラレタモノデアリマスルシ、其提出ノ理由ノ如キモ屢、繰返サレテ居リマス、昨年私共ノ申述ベ
マシタノト、今年ノト變リアリマセヌノミナラズ、此理由書ニ詳シク申述ベテアリマスルシ、又
要スレバ委員會ニ於テ詳細申述ベタイト思ヒマスカラ總テ省略致シマシテ、茲ニ御贊成ヲ願フ

ノデアリマス

次テ本案ハ成田榮信君外五名提出三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案(七)外六件委員ニ併セ付
託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一一三 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案

政府ハ宜シク速記者養成ノ方法ヲ講シ且其ノ優遇ノ途ヲ盡スヘシ

右建議ス

右ハ十一年三月七日木下成太郎君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シタルモ提出者
不在ナリシヲ以テ武藤金吉君ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ハ急速ヲ要スル案デアリマスカラ、委員會ニ付託ヲ致シマシテ、提出者ノ説明ヲ聽クコトニ
願ヒタイノデアリマス

院議異議ナク本動議ヲ可決シ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス
委員ハ翌二十三日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ

第二章 議事

第四節 議案

第二款

議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

二千七十三

三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一一四 國籍法中改正ニ關スル建議案

我カ國ハ四面環海領土狹隘人口稠密若其ノ將來ノ發達ヲ圖ラムト欲スレハ須ラク我カ國民ノ海外發展ヲ畫セサルヘカラス然ルニ現行國籍法ニ依レハ二重國籍制度ヲ維持シツツアルノミナラス海外ニ於テ出生シタルモノニシテ戶籍簿ニ其ノ出生地ヲ明記セサルモノハ父母ノ希望ニ依ルモ國籍離脫ヲ許可セラレス且海外ニ出生シタルモノト雖滿十七年ヲ超ユルトキハ其ノ本人ノ自由意志ニ依ルモ絕對ニ國籍離脫ヲ許可セラレサルナリ斯ル法規ノ存在ハ我カ國民ノ健全ナル海外發展ヲ阻害スルモノナリ政府ハ宜シク國籍法中此等ノ諸點ヲ改正セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月八日植原悦二郎君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今議題トナツテ居リマスル國籍法中改正ニ關スル建議案提出ノ理由ヲ説明致シマス、國籍法中

改正ト申シテ居リマスガ、此建議案ノ主トスル所ハ只今ノ二重國籍ニ關スル事デアリマス、現在我國ニ於テハ國籍ヲ定ムル上ニ於テ血族主義ヲ執ッテ居リマス、英米等ノ諸國ニ於テハ主トシテ出生地主義ヲ執ッテ居リマス、ソレ故ニ現在ニ於キマシテ我カ國民ノ海外ニ移住スル者、特ニ英領ノ土地デアリ、若クハ米國ノ領土デアル場合ニ於テ、其土地ニ於テ我カ大和民族ノ兩親ガ子供ヲ生ミマシタ場合ニ於テ、通例是ハ兩親直接ニ本國ニ届出ヲシタリ、若クハ我ガ現行ノ國籍法ニ依リマシテ、領事館等ニ於テハ之ヲ強制的ニ届出ヲサシムル事ノ方針ヲ執ラレテ居リマス、米國ノ領土ヤ、英國ノ領土ニ於キマシテハ、其地ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親ガ何處ノ國民タルニ拘ラズ、之ヲ市民トシテ取扱ッテ居リマスルガ故ニ、若シ日本ノ兩親デアリマシテモ、英國或ハ米國ノ領土内ニ在住スル者ニ對シテハ、其子供ガ生レタ場合届出ヲセシムルコトニナツテ居ルノデアリマス、其結果我カ國民ノ海外ニ居ル者ガ子供ヲ得マシタ場合ニ於テハ、其子供ハ日本ノ國籍法ニ依リマスレバ、帝國ノ臣民、英國又ハ米國ノ國籍ニ依リマスレバ其國ノ市民ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、數年前ニ我國ニ於キマシテモ此二重國籍カラ生ズル所ノ國際間ノ紛議ト、又海外ニ於ケル大和民族發展ノ爲ニ、國籍法ヲ改正致シマシテ、兩親ガ其外國ニ於テ生レタル所ノ子供ヲシテ、帝國ノ臣民タル事カラ國籍ヲ離脫シヤウトスル場合ニ於テ、合法ノ届出ヲナセバ之ガ出來ルコトノ規定ダケヲ設ケラレタノデアリマス、併ナガラ滿十七歲以上ノ者ニナリマシテハ、絕對ニ二重國籍ヲ有シテ居リマシテモ、我國ノ國籍ヲ離脫スル現行法ニ於テハ途ガアリマセヌ、兩親ト致シマシテハ、自分ハ日本ニ生レ、サウシテ外國ニ移住シタル者ナルガ故ニ、相當ノ成功ヲ致シマスレバ、日本ニ歸リタイト云フ希望ヲ有シテ居ルノハ當然デアリマス、其故ニ海外ニ居ル間已ムヲ得ズ其居住スル處ノ國ニ於キマシテ子供ヲ養育シ、教育スルコトヲ致シマスケレドモ、相當ニ成功致シマスレバ、其子供ヲ故國ニ伴レテ歸リタイト云フ希望ヲ有シテ居ルガ故ニ、兩親ハ進ンデ國籍ヲ離脫スルト云フガ如キ實例ハ極テ少イノデアリマス、併ナガラ外國ニ生レタ所ノ子供ハ、其兩親ガ外國ニ居住致シテ居リマスレバ、當然外國ニ於キマシテ教養ヲ受ケルノデアリマス、教養ヲ受ケマスルト云フト、外國ニ生レテ外國ノ教育ヲ受ケマスレバ、日本ノ事

ヲ全ク知リマセヌ、是ガ滿十七歲以上ニナリマシテ、日本語ハ更ニ解シナイ、自分ノ生レ育テラレタル所ハ外國デアアル、而シテ其當時ニ於テ自分ガ市民タル資格ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、我國ニ國籍ガアルガ故ニ、二重ノ國籍ヲ有シテ居リ、若シ日本ヲ訪問スルガ如キコトガアリマスレバ、現行ノ日本ノ徵兵令ニ依リマシテ、日本語一言モ知ラナイ所ノ者ヲ、滿二十歲以上ニナリマスレバ兵役ノ義務ヲ課セシメナケレバナラヌヤウナ實例ガ一面ニアルト共ニ、他面ニ於キマシテハ其本人ガ生レ育テラレタル所ノ土地ニ於テ、將來ノ發展ヲ期サウト致シマシテモ、自由意思ニ依ッテ自分ノ國籍ヲ定メルコトノ出來ナイ所ノ規定ヲ現行法ハ有シテ居ルノデアリマス、其故ニ若シ米國ニ於キマシテ日本人ノ子供デアッテ、米國ニ生レタ者ガ滿十七歲以上ニナレバ、日本ハソレヲ兵役ノ義務ニ服セシメマスルノミナラズ、動モスレバ此者ノ自由意思ニ基キ國籍離脱ヲモ嚴禁スル方針ヲ執ラウトスルガ故ニ、米國ニ置クコトハ却テ健全ナル所ノ彼等ノ發達ヲナシ得ザルノミナラズ、米國カラ申シマスレバ外國人ヲ永久ニ同一ナル所ノ權利ヲ與ヘテ、國內ニ居住セシメナケレバナラナイ危險ノ状態ヲ生ズルト云フ理由ニ依リマシテ、今日ニ於テ既ニ二三萬アル所ノ日本ノ米國生レノ兒童ニ對シマシテ、其將來ヲ制限スルト云フガ如キ運動ガアルノデアリマス、是等ハ實ニ海外ニ於テ、海外ニ生レマシタ所ノ兒童ノ將來ニ對シテ由シキ事ナルノミナラズ、此問題ガアル爲ニ民族ノ發展ヲ期スルコトガ出來ナイノミナラズ、動モスレバ實際ノ紛議ヲ生ズルヤウナ問題ガ起ルノデアリマス、實ハ異様な實例ガアルカラ之ヲ諸君ニ申上ゲマセウガ、米國ニ於テ生レタ所ノ子供ガ、其親ガ米國ニ永住スル積リデ國籍離脱ヲ圖ッタノデアリマス、然ルニ日本ノ戶籍面ニ於テ、此子供ガ領事館ノ手ヲ經由致シマシテ、出產届ヲ致シテナク、親ガ直接其故國ニ於ケル所ノ親戚ニ託シマシテ入籍致シタ關係上、戶籍簿ノ上ニ是等ノ子供ガ米國ニ生レタト云フ規定ガナイ故ニ、日本ニ於テハ之ヲ國籍離脱ヲ拒絕シタノデアリマス、已ムヲ得ズ致シマシテ米國ニ於ケル兩親ハ、米國ノ官憲ニ依ッテ米國ニ生レタト云フ證明書ヲ取ッテ、サウシテ日本ノ内務省ヘ願出デマシタケレドモ、國籍表ニ於テ米國ニ生レタト云フコトノ記入ガナイ以上ハ、假令米國ノ官憲ガ米國ニ生レタト云フコトヲ證明シテモ、現在其子供ガ米

國ニ居住シテ居ッテモ、其國籍離脱ハ不可能ダト云フヤウナ決定ヲシタ事實ガアルノデアリマス、ソレ故ニ現行ノ國籍法ニ依リマスレバ、親ガ其子供ノ將來ヲ考ヘ、日本國民ノ海外ノ民族ノ發展ヲ考慮致シマシテ、子供ノ國籍離脱ヲ圖ラウトシテモ出來ナイ、十七歲ニナリマシタ者ガ、自由意思ニ依ッテ國籍離脱ヲ企テマシテモ、之ガ不可能ト云フコトデアリマス、斯ノ如キ制度ガ存在シテ居リマス間ハ、日本ノ民族ノ海外發展ハ殆ド不可能ナルノミナラズ、此爲ニ動モスレバ國際ノ紛議ヲ生ジ甚シキニ至リマシテハ、海外ニ於テ生レタ大和民族數萬若クハ將來ニ於キマシテハ數十萬ノ運命ニ於キマシテ、殆ド世界中ニ於ケル無籍者タラシムルガ如キ境遇ヲ造ルベキ虞アルモノデアリマス、ソレ故ニ現行ノ國籍法ヲ改メテ、國籍離脱ヲ滿十七歲以下ニ於テハ親ノ意見ニ依リ、十七歲以上ニナリマシテハ本人ノ自由意思ニ依ッテ國籍離脱ヲ決セシムルヤウニ、現行ノ國籍法ヲ改メタイト云フコトガ、本建議案ノ趣意デアリマス、何卒諸君ニ於カレマシテモ慎重審議、御贊同アランコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ上昌益三郎提出家産法案(七)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一一五 松江隱岐間海底電信電話増設速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ松江隱岐間ノ海底電信電話ヲ増設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月八日若林德懋君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(若林德懋君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ當席カラ御許ヲ願ヒマス、本案ヲ提出致シマシタ理由ノ概要ハ、之ヲ其理由書ニ記載シテ置キマシタカラ御承知ノコト、存ジマス、尙ホ其詳細ニ至リマシテハ委員會等ニ於テ陳述致シタイト思ヒマス、尙ホ本案ハ曩ニ四十四議會ニ於キマシテモ提出致シマシテ満場一致ヲ以テ可決サレタ案デアリマス、今回モ亦同様満場一致可決アランコトヲ望ミマス

次テ本案ハ木下甚三郎君外一名提出電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案(三)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一一六 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成ニ關スル建議案

一 滋賀縣甲賀郡貴生川村ヨリ京都府相樂郡加茂村ニ達スル鐵道

政府ハ速ニ前記ノ鐵道ニ關スル豫算ヲ定メ其ノ敷設ニ著手シ以テ交通運輸ヲ便ナラシメ産業開發ノ實ヲ擧ケラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月八日安原仁兵衛君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一一七 淀川改修増補工事速成ニ關スル建議案

淀川治水事業ノ一日モ緩フスヘカラサルハ既往水害ノ歴史ニ徴シテ明ナルトコロニシテ去ル大正六年ニ於ケル大塚決潰ノ慘禍ニ依リ最明ニ其ノ缺陷ヲ暴露セルモノト謂フヘシ故ニ政府ハ急遽五百九十餘萬圓ノ工事費ヲ支出シ目下増補工事施行中ニ在リ然ルニ當時ノ豫算カ財政ノ都合上増補工事ヲ完成スルニ不十分ナリシコトハ議會既ニ唱ヘ政府モ亦之ヲ認メテ他日適當ナル工事追加ヲ必要トスル旨ヲ言明セラレタルニ依ルモ明白ナルノミナラス其ノ後工事材料、工賃等ノ騰貴ニ依リ一層工費ノ不足ヲ告ケ豫定ノ工事ヲ進ムコト能ハサルヲ以テ政府ハ更ニ大正十年

度ノ工事費追加トシテ金六十萬圓ヲ第四十四回議會ニ要求セラレタリ而シテ大正十一年度ニ於ケル工事費ハ其ノ年度割當額カ前述ノ如ク當初豫算ノ不十分ナリシト物價工賃ノ尙未タ低落セサルトニ依リ工事ノ執行上大ナル不足ヲ生スヘキハ自明ノ理ニシテ政府ハ更ニ今期議會ニ對シ相當ナル追加豫算ヲ要求セラルヘキハ當然ノ歸趨ナリト信シタリシモ未タ其ノ實現ヲ見ス若シ此ノ儘ニ推移セムカ其ノ結果既往數年ノ間多額ノ國帑ヲ費シテ施行セラレタル増補工事カ治水上完全ニ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルニ至リ淀川治水事業ヲ根本的ニ完成スルノ上ニ於テ誠ニ遺憾ニ堪ヘサルトコロナリ現ニ本年九月二十六日ノ降雨ニ際シテモ本川枚方ニ於ケル量水標カ十七尺九寸五分ノ増水ヲ示シ左岸堤防ノ危險ニ瀕シタル事實アリ萬一左岸ノ何レカニ於テ決潰ノ不幸ヲ見ムカ我カ國經濟上ノ中心都市タル大阪市及附近町村ハ去ル明治十八年ニ於ケル大洪水以上ノ慘害ヲ被リ其ノ被害ノ及フ處獨リ大阪府市ニ止マラス國家カ被ル處ノ經濟上百般ノ損害實ニ擧ケテ數フヘカラス依テ政府ハ速ニ増補工事ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月九日吉川吉郎兵衛君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デスカラ自席カラ御許ヲ願ヒマス、淀川治水工事ハ一日モ忽ニスルコトガ出來ヌノデアリマス、是ハ今日迄ノ歴史ニ依リマシテ明カナコトデアリマスルガ、大正六年大塚ガ非常ナル缺潰ヲ見マシテ、大ナル慘禍ヲ受ケタノデアリマス、其時ニ當リマシテ、工事費約六百萬圓ヲ出シテ増補工事ヲスルコトニナッタノデアリマシテ、其時デスラモ工事費ニ不足ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、財政上ノ都合デ其時ハ其位ニシテ置イテ、後日相當ノ經費ヲ出シテ、此工事ノ完成ヲスルト云フコトデアッタノデアリマスガ、其後工事費ナリ、材料ノ段々騰貴スルニ隨ヒマシテ、先ヅ工事費ニ不足ヲ告ゲタノデアリマス、昨年ハ六十萬圓ノ追加豫算ヲ第四十四議會ニ提出サレマシテ、相當ノ増補工事ヲ施シタノデアリマスガ、十一年度ニ於キマシテハ何等追加豫算ヲ提出サレタヤウニモ見エマセヌ、若シ果シテ此金ヲ出シテ貫フコトガ出來ヌコトニナリマスレバ、今日迄多額ノ國帑ヲ費シマシテ相當ノ工事ヲ致シタニモ拘ラズ、一朝不幸ヲ見マシタナラバ、是迄ノ工事、國帑ハ全部ゼロニ歸スルヤウナ場合ガナイトモ限ラナイノデ、非常ニ沿岸民ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、此際政府ハ相當ノ追加豫算ヲ提出セラレ、此工事ヲ完成セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス、何卒皆様ノ御賛同ヲ得マシテ、政府ガ速ニ相當ノ金ヲ出シテ其工事ノ完成ヲ望ム次第デアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ申上ゲル考デアリマス

次テ本案ハ前田米藏君外九名提出多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(六)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六)參看)

一一八 鹿兒島加世田間鐵道速成ニ關スル建議案

一鹿兒島市ヨリ揖宿郡ヲ經テ枕崎ヲ過キ加世田ニ達スル鐵道
本鐵道ハ産業ノ開發ニ資シ交通ノ不備ヲ補フ爲急設ヲ要スルノミナラス軍事上ニ於テモ亦樞要
ノ線路ト認メラレ既ニ本院ニ於テ決議シタル鐵道敷設法ノ豫定線ニ編入サレタル重要ノ路線ニ
屬シ沿線ニハ海陸ノ物資甚々豐富ナリ依テ政府ハ速ニ本鐵道ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十一年三月九日樋渡次右衛門君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(樋
渡次右衛門君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デスカラ此席カラ申上ゲマス只今議題トナリマシタ建議案ノ說明ヲ極ク簡單ニ其大要ダケ
ヲ申述ベタイト思ヒマス、本線ハ鹿兒島市ヨリ鹿兒島ノ南端ナル揖宿郡ヲ經テ加世田ニ至リ、此
加世田ニ於テ南北ノ鐵道ガ通ズルト云フ線路デアリマス、此中間ハ中々物資ガ豐富デアッテ其主
ナルモノヲ擧ゲテ申シマスレバ、煙草、魚類、及畜産、林産、鑛産、其他米麥等多クアルノデアリマ
ス、其間ニ於テ高知縣ニ勝レリト謂ハレテ居ル薩摩節ノ主産地モ此方面ニ在ルノデアリマス、又
皆樣ノ日々御嗜好ニナッテ居ル卷煙草ノ敷島ノ原料ニ使用サレル煙草モ、此方面ニ出來ルノデア
リマス、又大分ノ別府溫泉ニモ優レリト稱セラル、溫泉ナドノ天惠モ得テ居リマス、而シテ其近
傍タル枕崎ノ如キ鯉漁業ノ根據地トナル處ガアッテ、遠クハ靜岡縣、近クハ宮崎縣等ノ漁業者ガ
來ッテ、此處ヲ根據地ト致シテ居リマス、而シテ是等ノ鯉漁業者或ハ各縣ノ鯉節製業者ニ於テモ

此鐵道ノ貫通スルコトヲ希望スルノデアリマシテ、獨リ沿道人民ガ希望シテ居ルノデハナイノ
デアリマス、故ニ同地ノ文化ヲ進メ又産業ノ開發ヲ圖リ又一面ニ於テハ同地方ノ人ニ便利ト幸
福ヲ與ヘルト云フ意味ニ於テ、此建議案ヲ提出シ次第デアリマス、ドウカ滿場諸君ノ御贊成ヲ
希望致シマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十件委員ニ併
セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出
セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一一九 寺泊築港ニ關スル建議案

新潟縣寺泊港ハ同縣沿岸ニ於ケル良好ナル一港灣ニシテ地形西南ニ開キ東彌彥山ヲ負ヒ西北佐
渡島ニ對シ僅ニ二十一海里ヲ隔テテ赤泊港ト定期ノ航海アリ其ノ陸上交通ハ本港長岡間ノ鐵道
ニ依リ大河津驛ニ於テ越後鐵道ヲ利用シ柏崎新潟兩方面ニ連絡ス他日上越鐵道ノ開通スルニ至
ラハ東京方面トノ連絡益密接ナルヲ得ヘシ而シテ新潟縣ニ於ケル計畫ハ之ヲ漁港ノ程度ニ止ム
ト雖既設突堤ヲ繼足シ適當ノ延長ヲ爲シ一方適當ノ位置ニ於テ延長百十間許ノ防波堤ヲ築造ス
ルトキハ本港ハ優ニ沿岸航海船ヲ寄泊スルコトヲ得ヘク且今春新潟港へ輸入スヘキ貨物ハ多ク

本港ニ於テ荷揚ヲ爲シタル例アルヲ以テ他日新海築港ノ完成ヲ告クルニ至ラハ同港ノ副港トシテ最有利ナル效果ヲ舉クルコトヲ得ヘシ依テ政府ハ速ニ寺泊港修築ノ調査ヲ遂ケケ之カ發案アラムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十一日高橋金治郎君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ成田榮信君外五名提出三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案(七)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一〇 乃木神社昇格ニ關スル建議案

縣社乃木神社ヲ別格官幣社ニ昇格セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右八十一年三月十一日植竹龍三郎君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(石川玄三君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

植竹君ガ居リマセヌカラ、提案者ノ一人トシテ私カラ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、現時ノ如ク思想ノ動搖甚シキ時ニ當ツテ、國民思想ノ惡化ヲ防グニハ、一知半解ノ知識ヲ弄シテ、亞米利加ガドウノ、歐羅巴ガ斯ウノト、御門違ヒノ御託宣ヲ並ベルヨリハ、先ヅ第一ニ我が國體ノ萬古ニ超絶シ宇内ニ優秀ナル所以ヲ直覺的ニ、感得セシメルノガ最モ肝要ト信ジマス、其昔シ金毛九尾ノ狐ニ依ツテ名ヲ知ラレタ下野ノ那須野原ハ維新以來官僚閥族ノ徒ニ占領セラレマシテ、其間ニ介在シテ居リマス草深キ石材ノ一部落ニ、乃木將軍ガ僅カナ土地ヲ購ヒマシテ、此所ニ些ヤカナル庵ヲ結ンデ以テ別墅ニ宛テ、君國ニ仕ヘル餘暇ニハ、此處ニ來テ浩然ノ氣ヲ養ヒ、時ニ或ハ鋤鋤ヲ執ツテ土地ノ農民ト親ミ、彼等ニ深キ一感化ヲ與ヘタノデアリマス、明治大帝崩御ノ際、乃木將軍夫妻ハ其後ヲ慕ヒ奉ツテ殉死ヲ遂ゲラレタト云フコトヲ、其深キ德化ニ浴セル農民達ガ聞傳ヘテ、相倚リ相助ケテ應分ノ淨財ヲ投ジ、更ニ一般有志ノ寄附ヲ仰イデ、乃木將軍ガ生前ニ愛好セラレタ別墅地ニ隣接スル所ニ敷地ヲ選定致シマシテ、新ニ社殿ヲ建設致シマシテ、茲ニ乃木將軍夫妻ノ英靈ヲ祀リマシタノデアリマス、之ガ今日下野ノ石林ナル縣社乃木神社デアリマス、斯ノ如ク偉大ナル神靈ヲ祀ルノハ、決シテ地方ノ一團體ノ手ニ委シテ國家ハ之ヲ捨置クベキモノデナイト考ヘマス、幸ニシテ此建議案ノ趣旨ガ貫徹シテ、別格官幣社ニ昇格スルニ至ラバ其神靈ハ更ニ尊嚴ノ度ヲ増シ、國民思想ノ上ニ及ボス感化ノ靈顯ハ一層偉大ナルモノガアルト確信致シマス

次テ本案ハ高草美代藏君提出樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(五)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ

提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一 御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案
一 静岡縣御殿場ヨリ山梨縣吉田ヲ經テ静岡縣大宮ニ至ル鐵道及吉田ヨリ分岐シテ大月ニ至ル鐵道

本鐵道ハ本期議會ニ於テ既ニ本院ヲ通過セル鐵道敷設法案中ノ一線ニシテ中央東線ト東海道線トヲ連絡シ交通運輸地方開發軍事用兵上極メテ必要ナル線路ナルノミナラス殊ニ扶桑第一ノ觀タル富士山ヲ廻リ登山者ノ便ヲ計ルコト亦大ナルモノアリ依テ政府ハ速ニ本鐵道ノ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一 熱海下田松崎大仁間鐵道速成ニ關スル建議案

一 静岡縣熱海ヨリ下田、松崎ヲ經テ大仁ニ至ル鐵道

右鐵道ハ本期議會ニ於テ既ニ本院ヲ通過セル鐵道敷設法案中ノ一線ニシテ殊ニ下田港ノ如キハ歴史アル有名ナル港灣タルノミナラス船舶ノ出入多ク沿線地方ハ溫泉ニ富ミ亦海產物ヲ始メ木

材及礦物ヲ産シ經濟上地方開發上將交通運輸上一日モ忽ニスヘカラサル線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ本線敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十一年三月十一日第一案(一一一)ハ小泉策太郎君外一名、第二案(一一二)ハ岩崎勳君外一名之ヲ提出ス三月二十二日兩案及(一一三)案ヲ一括シテ院議ニ付シ兩案提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ兩案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末孰レモ原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一 狩野川改修ニ關スル建議案

静岡縣狩野川流域ハ堤防ノ不完全ナル爲洪水毎ニ其ノ被害甚タ多ク而シテ特ニ此ノ水害ヲ被ル地方ハ同縣田方郡及駿東郡ニ於ケル十六箇町村餘ニ及ヒ毎年其ノ慘禍名狀スヘカラサルモノアリ故ニ政府ハ速ニ相當ノ計畫ヲ立テ之カ改修工事ヲ施行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二千八十八

右ハ十一年三月十一日岩崎勳君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案及(一一二)、(一一三)案ヲ一括シテ院議ニ付シ本案提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス
次テ本案ハ前田米藏君提出多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(六)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六)參看)

一一四 日本銀行及特殊銀行條例中改正ニ關スル建議案

時代ノ進運ト財政經濟ノ趨勢トニ鑑ミ日本銀行及特殊銀行條例中改正ヲ要スヘキ點尠シトセス例ヘハ日本銀行ニ在リテハ政府ノ監督權ヲ縮小制限シ利益配當ヲ制限シ行務内容ノ公開ヲ徹底セシムルカ如キ正金銀行ニ在リテハ政府融通資金ヲ廢止シ爲替業務ノ壟斷ヲ抑制スルカ如キ臺灣及朝鮮兩銀行ニ在リテハ兌換銀行券發行權ヲ廢止シ勸業及興業銀行ヲ合併スルカ如キ其ノ他是等特殊銀行重役選任ノ方法ヲ改正シ或ハ鑑定業務及會計檢査ニ關スル特設機關ヲ設ケ以テ營

利事業本位ヨリ脱シテ公共事業化セシムルハ刻下緊急ノ要務ナリトス政府ハ速ニ改正案ヲ提出スヘシ
右建議ス

右ハ十一年三月十一日星島二郎君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

議案輻湊ノ折デアリマスカラ、十分ニ說明致シタイノデアリマスガ、極テ綱領ダケヲ說明シナケレバ誤解ヲ招キマスカラ、ホンノ綱領ダケヲ申上ゲタイト思ヒマス、極テ重大ナル案デアリマスルガ、私ハ現在ノ日本ノ金融機關ノ中心デアアル日本銀行其他特殊ノ銀行ハ、一言ニシテ申シマスレバ、營利本位ヨリ離レテ公共化シナケレバナラヌ、即チ公共事業ノ本質トナラナケレバナラヌ之ガ根本ノ改造ノ精神デアリマス、サウシマス爲ニハ尠クトモ綱領ダケヲ申シマスレバ、現在ノ日本銀行ハ餘リニ政府ノ監督權ガ強クシテ、是ハ民衆ノ金融機關タルコトガ極テ薄イ、其爲ニ政府ノ監督權ヲ縮小制限スルガ爲ニ總裁、副總裁ノ任命權ヲモウ少シ擴メル——政府ヨリ取ツテ、或ハ之ヲ評議機關ナリ何ナリ、其他ノ機關ヲ設ケテスル、是ハ現ニ亞米利加或ハ獨逸、其他ノ帝國銀行、中央銀行ガ皆其例ニ倣ウテ居ルノデアリマシテ、今日日本ニ於テハ一千萬圓以上ノ金融機關ト云フモノハ、ドウシテモ政府ノ鼻息ヲ窺ハナケレバ何トモ仕様ガナイト云フコトハ、是ハ今日ノ民本主義ノ國勢ニ對シテ大ニ恥カシイト思ヒマスカラ、ソレヲ第一ニ主張致シマス、第二ハ營利事業デナイ、殊ニ國庫ニ非常ナ後援ガアツテ初テ事業ガ成立ッテ居ルノデアリマスカラ、株主ニ利益ヲ分ケル必要ハナイ、八朱トカ一割トカ、一定ノ利益配當ノ限度以上ハ國家ノ爲ニ儲ケタノデアアル、日本銀行ガ矢張仕事ヲシナイデ可ナリ儲ケテ居ル、ソレガ儲カッタナラバ國庫ニ歸

納スルノガ是ガ第二デアリマス、ソレカラモウ少シ日本銀行ノ内容ガ國民一般ニ公開サレテ居
 ラナケレバナラス、總テ日本銀行ナリ、其他ノ特殊銀行ニ致シマシテモ、營利本位ヨリ離レテ公
 共化スルト云フコト、今一ツハ公開的ニ「オーブン」ニスルト云フコトハ、私ハ改造ノ根本デア
 ルト思フノデアリマス、其他澤山アリマスケレドモ、要點ハ其三ツ是ハ太政官時代ノ日本銀行條
 例デアリマスカラ、今日此進運シタル時代ニ當リマシテハ、進ンデ日本銀行條例ヲ改正スベシト
 云フコトヲ建議致シテ、政府ハ速ニ此改正法案ヲ此議會ニ出シテ戴キタイト云フコトガ、之ガ根
 本デアリマス、第一ハ正金銀行、是ハ今日爲替業務ハ殆ド正金銀行ヲ獨占セラレ、非常ナル利益
 ヲ得テ居ル其上ニ、二千萬圓以上國庫ガ後援シテ居ル、聞ク所ニ依レバ外國ニ在ル所ノ政府ノ金
 一億數千萬圓ト云フモノヲ爲替尻ニ用キテ運用シテ居ル、斯ウ云フコトヲスル必要ハナイ、正金
 銀行ハ立派ニ獨立シテヤツテ往ケルノデアルカラ、サウ云フコトヲ削除シタイ、其次ハ臺灣銀行
 竝ニ朝鮮銀行、今日ハ兌換券ノ發行ヲ許シテ居ルノデ、ソレガ爲ニ非常ニ貸出ヲ放漫ニスル、是
 ハ詳シク申上ゲタイノデアリマスガ、時間ガナイカラ省キマスガ、最近朝鮮銀行ハ八千二百萬圓
 以上ノ不當貸付ヲヤツテ居ル、又臺灣銀行モ不當ノ貸付ヲ致シテ居ル、是ハ根本ノ調査ヲスレバ
 網紀肅正ノ大問題デアルト思ヒマスガ、ソレハ省キマス、日本内地ト朝鮮若クハ臺灣トハ金融上
 密接シテ居リマシテ、殊更ニ獨立シテ兌換券ヲ發スル必要ハナイ、是ハ日本銀行金券ト合同シテ
 統一スルガ宜シイト云フノガ其根本デアリマス、第四ハ勸業銀行ト興業銀行、是ナドモ大體ニ於
 キマシテ性質ガ同ジデアルカラ之ヲ合併致シマシテ、モット統一アルモノニシタイ、是モ理由ヲ
 申シマスレバ隨分長イケレドモ省キマス、此勸業銀行、興業銀行、正金銀行其他拓殖銀行色々ノ
 政府ノ特殊銀行ニ於テハ、矢張日本銀行同様ニ官選ノ總裁ガ——殆ド官選ニ近イ總裁、副總裁ガ
 アツテ、ソレガ爲ニ非常ナ所謂官僚臭味ヲ帶ビテ、一般ノ金融界ノ爲ニ禍ヲ爲シテ居リマスカラ、
 矢張今ノ日本銀行同様、總裁、副總裁ハ特別機關ヲ造リマシテ、ソレニ依ッテ總裁、副總裁ヲ定メ
 ルト云フコトニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、矢張此日本銀行ト同ジヤウニ特殊ノ
 政府ノ後援ガアツテ、事業ガ成ツテ居ルノデアリマスカラ、矢張同ジヤウニ利益ノ配當ヲ制限シ、

例ヘバ一割以上ノ利益ハ配當スルコトハナラス、ソレ以上ハ國庫ニ歸納スル、斯ウ云フ風ニ特殊
 ノ擁護ヲシテ居ル、國庫ノ力ニ依ッテ多クノ利益ヲ得ルモノハ、少數ノ株主ニ利益ヲヤル必要ハ
 ナイ、斯ウ云フノガ改造ノ根本デアリマス、サウシテ今日特殊銀行竝ニ特殊會社ノ非常ナル弊ハ
 會計検査ガ徹底シテ居ナイ、ソレカラ鑑定業務ニ非常ナ不公平ガアル、サウ云フ譯デアリマスガ
 ラ、出來得ルナラバ鑑定業務ヲ政府ニ於テ統一シテ、勸銀デモ興銀デモ、或ハ東拓デモ、滿鐵デ
 モ、其他特殊ノ銀行會社ニ付キマシテハ、鑑定機關ヲ統一シテ、其鑑定機關ヲ通シテ鑑定シタル
 モノニ對シテハ「オーソリチー」ヲ認メル、ソレニ依ッテ初テ貸出ヲスルト云フコトニナリマスレ
 バ、隨テ惡イ、運動其他ニ依ッテ動かサレルコトガナクナルト思フノデアリマスカラ、今大ザッパ
 ニ申シマシタガ、日本銀行、興業銀行、正金銀行、其他特殊銀行ニ付キマシテ改正ノ根本趣旨ハ左
 様ナ事デアリマス、要スルニ公開化ト、公共化ト此二ツノ精神ヲ以テ政府ハ速ニ此古イ銀行條例
 ヲ改正シテ、時代ノ進運ニ伴フヤウナ改正案ヲ提出アランコトヲ希望スルノデアリマス、宜シク
 御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ山邊常重君提出印紙稅法中改正法律案(三〇)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ
 審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一二五 都市計畫促進ニ關スル建議案

都市ハ文化ノ中心ニシテ其ノ整備ハ國運ノ振興ニ關スルトコロ頗ル大ナリトシ惟フニ近世ニ於
 テル都市發展ノ趨勢ハ世界共通ノ一大現象ニシテ歐米ノ諸國咸テ法制ヲ定メ技術ヲ竭シテ都市
 改善ノ對策ヲ講セサルハナシ翻テ我カ國都市ノ現狀ヲ見ルニ其ノ交通、衛生、保安、經濟等ニ關

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

スル施設殆ト混亂ノ狀ヲ呈シ都市生活ノ不快ト不安ハ到底一日モ之ヲ看過スルヲ許ササルトコロナリトス政府ハ曩ニ都市計畫ノ基準タル都市計畫法及市街地建築物法ノ二大法律ヲ制定セラレ都市改善ノ方針ヲ示サルルトコロアリシモ同法施行以來之カ實行ハ尙國民ノ輿望ニ副ハサルモノ多ク今ヤ大都市ニ在リテハ都市計畫事業遂行ノ資源ニ窮シ其ノ他ノ中小都市ニ至リテハ同法施行ノ希望切ナルニ拘ラス政府ハ未タ之カ指定ヲ爲サス法制完備シテ實行之ニ伴ハサルノ憾頗ル大ナリ政府ハ宜シク世界ノ趨勢ニ照シ我カ國ノ現狀ニ顧ミ最重要ナル文化事業ノ一タル都市計畫ノ促進ト普及トヲ計ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十三日河上哲太君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ安達謙藏君外九名提出市制中改正法律案(二二)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一二六 第六回内國博覽會開催ニ關スル建議案

政府ハ第六回内國博覽會ヲ適當ノ時期ニ於テ名古屋市又ハ其ノ附近ニ開催スヘク計畫セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十三日加藤重三郎君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(下出民義君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此内國博覽會ハ今日マデニ五回開カレマシタガ、第一回、第二回、第三回ハ東京ニ於テ開カレ第四回ハ京都ニ開カレマシタ、第五回ハ大阪ニ開カレタノデアリマス、我が日本ノ六大都市ノ中デ未ダ内國博覽會ノ開カレテナイノハ横濱、名古屋、神戸ノ三市デアリマスルガ、横濱ハ東京ニ於テ開カレタ場合ニ、又神戸ハ京都大阪ニ開カレタ場合ニ、殆ド其地域ニ這入ッタヤウナ觀ガアリマスルガ、名古屋ハマダ一回モ此内國博覽會ト云フモノニ付テハ開催ヲ許シテ居ラナイノデアリマス、御承知ノ通り名古屋ハ今日人口ガ既ニ六十萬ヲ有シテ居リマス、又名古屋港ハ第三期ノ擴張ニ模ヲ以テ改築スル事ニナツテ、今既ニ工事ニ著手ヲシテ居リマス、又名古屋港ハ第三期ノ擴張ニ移リマシテ、是モ工事中デアリマスルガ、遠カラズシテ名古屋ニ於ケル海ト陸ノ玄關モ大規模ニ改良サレルノデアリマス、尙又此名古屋ハ我國ノ水力發電地點ニ最モ接近ヲシテ居リマシテ、周圍ニハ尾張平野ヲ控エ、工業土地トシテ最モ一般ニ望ヲ囑セラレテ居ル土地デアリマスルカラ、名古屋ニ次ノ博覽會ヲ開クト云フ事ハ最モ適當ト信ズルノデアリマスルカラ、ドウカ皆サン此建議案ニ御賛成ヲ願ヒタウ存ジマス

次テ本案ハ福井甚三君外四名提出奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(二一)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラザリキ

一二七 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法改正ニ關スル建議案

現行工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法ヲ改正シテ我カ國製藥業ニ戻税ノ恩典ヲ付與セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十三日植場平君外七名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(植場平君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此席ヨリ説明ヲ致シマス、現行ノ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法ニ依リマスルト、工業家ノ工業ニ使用致シマスル所ノ酒精ニ對シマシテハ、本人ノ請求ニ依ッテ政府ハ既納ノ税金ヲ拂戻スノ恩典ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ獨リ製藥業者ノ使用致シマスル所ノ酒精ニ對シマシテハ、此恩典ヨリ除外致サレテ、之ニ浴スル事ガ出來ナイノデアリマス、ソレニ反シマシテ外國ニ於ケル製藥業者ノ製藥ノ爲ニ使用致シマスル酒精ニ對シマシテハ、税ハ課シテ居ラナイ、所謂無税デアアルノデアリマス、ソレ故ニ製品ハ廉價ニ販賣スルコトガ出來マシテ、之ニ我國

ノ製藥業者ハ對抗競争スルコトガ出來ナイノデアリマス、其能ハザルノミナラズ、而モ歐洲ノ大戰以來ハ各國共ニ競ウテ産業ヲ獎勵シマシテ、世界的産業ノ競争ニ移ラントシツ、アル今日ニ於キマシテ、國家ハ大ニ此事柄ニ付キマシテハ、注意ヲ拂ハザルベカラザル事ヲ信ズルノデアリマス、此際此時ニ當リマシテハ、政府ハ速ニ現行ノ戻税法ヲ改正致シマシテ、製藥業者ニモ工業家同様ニ其恩典ニ浴セシメラレンコトヲ切ニ望ム次第デアリマス、殊ニ我國ノ如キ工業幼稚ノモノニ對シマシテハ、一層獎勵ト保護ヲ最モ厚カラシメンコトヲ望ムノデアリマス、更ニ一言ヲ加ヘタイノハ、政府ハ斯ク改正ヲ致シマスルト取締上ニ付テ如何デアラウカ、甚ダ之ヲ杞憂致サレテ居ルヤウデアリマスガ、此取締法ニ付キマシテハ私共ハ大ニ腹案ヲ持ッテ居ル、左程政府ガ御心配ナサルヤウナ事ハ無用ナコト、思ヒマスガ、是等ノ事ニ付キマシテノ詳細ハ、委員會ニ於テ詳細説明致シマス、以上申述ベル理由ニ依リマシテ、戻税法ヲ速ニ改正セラレンコトヲ政府ニ建議ヲ致スノデアリマス、ドウカ滿場ノ御同意ヲ得ンコトヲ冀ヒマス

次テ本案ハ高田耘平君提出煙草專賣法中改正法律案(四〇)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一二八 農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案

現今農業經營上ノ一大難問題ハ農業勞力缺乏ノ對策ニシテ其ノ方法ハ種々アルヘキモ可及的精良ナル器具機械ヲ利用スルヲ最徑捷トス然ルニ現在ノ農具ハ小規模ナル勞力の集約農法用ノ極メテ簡單ナルモノニシテ改良セル組織經營ニ適セサルヲ以テ政府ハ特殊ノ獎勵法ヲ設ケ農業用

機械ノ研究發明ヲ促進スヘシ

右建議ス

右八十一年三月十三日成田榮信君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案及(一二九)、(一三〇)案ヲ一括シテ院議ニ付シ本案提出者(野溝傳一郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程ニナリマシタ建議案ニ付キマシテ、努テ簡單ニ其提出ノ理由ヲ申述ベタイト思ヒマス、由來此農業ノ利益ト云フモノハ極テ薄イモノデアリマシテ、動モスレバ收支相償ハナイヤウナ事モアルノデアリマス、ソレガ殊ニ最近各種ノ産業ガ發達シテ參リマシタニ伴レテ、益、此農業ハ割ノ惡イモノトサレルヤウニナリマシテ、隨テ其從業者ハ年ト共ニ他ニ轉業ヲ致シテ、茲ニ農村ノ衰退ヲ來スヤウニナツテ來テ、國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘナイ次第デアリマスコトハ、誰人モ認メテ居ル所デアリマスガ、斯クナリマスル原因ヲ算ヘテ見マスルト種々算ヘラレルノデアリマスガ、其主ナル一ツハ農村ノ勞力ガ缺乏シテ參リマシテ、隨テ其勞銀ナルモノガ非常ニ高イ、其爲ニ生産費ガ非常ニ嵩ンデ參ッテ、茲ニ收益ガ極テ減少致スト云フコトニナツテ、農業ノ經營ガ極テ不利困難ニ陥ッテ來ルト云フコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此農村ノ状態ヲ救濟致シマスニハ其方法ノ一ツトシテ此缺乏シツ、アル所ノ農業ノ勞力ヲ供給ヲスルト云フコトニアルト思ヒマスガ、ソレニハドウシテモ機械力ノ應用ヲ大ニ盛ニスルト云フコトヲシナケレバナラヌト思ヒマス、所ガ我國ノ現在ノ農具ヲ見マスと云フト、勿論此時勢ノ進歩ニ伴レテ多少ノ改良ハ施サレテ居ルノデアリマスケレドモ、併ナガラ一般的ニ此農業界ノ利益ヲ大ニ増進スルマデニ、此農具ノ改良發達ト云フコトガ出來テ居ラナイノデアリマス、デ實際ヲ見マスルト云フト、甚シキハ數十年來若クハ數百年來ノ舊態ヲ依然トシテ存シテ居ルト云フヤウナ狀

態デアアルノデアリマス、此農具ハ改良ガ斯ク必要デアアルニモ拘ラズ、之ニ對シテ我が政府當局ニ於テモ又民間ノ當業者ニ於テモ、如何ニ力ヲ致シテ居ラレカト見マス、此政府ノ施設トシマシテハ、僅ニ國立農事試驗場若クハ慥カ愛知ノ農事試驗場邊リニ於テ、僅少ノ費用ヲ以テ之ガ研究ヲ致シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、又更ニ民間當業者ノ状態ヲ見マスと云フト、資力モアリ又時間ノ餘裕モアルヤウナ地主階級ノ者ハ、多クハ自ラ其事業ニ携ハリマセヌガ爲ニ、是等ノ事ヲ等閑ニ付サレテ居ルノデアリマス、偕テ實際ニ其事實ニ當ッテ利害ヲ直接ニ感ズル所ノ農業者ニ至リマシテハ、折角之ガ改良發達ヲ期シヤウト思ヒマシテモ、資力ノ點ニ於テ或ハ又時間ノ點ニ於テ許サヌト云フヤウナ状態デ、心ナラズモ依然トシテ傳統的ノ農法ニ支配サレテ行クト云フヤウナ悲シムベキ状態ニ在ルノデアリマス、更ニ此農具ノ改良ニ付キマシテハ、外國ニ之ヲ仰グト云フヤウナ事モノノ方法ニナツテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ外國ノ農業ト我國ノ農業トハ、御承知ノ如ク事情ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマスカラ、外國ノ機械ガ直ニ我國ニ適スルト云フコトハ極テ少イノデアリマシテ、其多クハ不適當ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ我が國內ニ於テ矢張大ニ此農具ノ改良發達ヲ促サネバナラヌト思フノデアリマス、此趣意ニ於キマシテ本建議案ヲ提出致シタノデアリマス、幸ニ此建議案ガ實現サレマシテ、サウシテ或ハ獎勵金ヲ交付スルトカ、或ハ補助ヲ與ヘルトカ云フヤウナ事ニ依リマシテ、大ニ此農業機械ノ改良發明ト云フヤウナ事ヲ獎勵サレマシタナラバ、其經費ハ割合ニ少クシテ、サウシテ其效果ハ随分大キナモノガアラウカト斯ウ思フノデアリマスルカラシテ、ドウカ滿場ノ御贊成ヲ得マシテ、速ニ此建議案ノ趣意ガ實現サレンコトヲ希望致スノデアリマス

次テ三案ハ土井權大君提出農業組合法案(三七)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千九十七

一二九 農業用機械輸入税免除ニ關スル建議案

商工業ノ發展ニ伴ヒ農村ノ勞働者ヲ吸收シ農村ノ勞力缺乏ノ結果ハ生産能率ノ減退ヲ來シ小作問題ノ如キハ其ノ解決ノ一層困難ト爲リツツアリ其ノ對策トシテ可及的經營ノ規模ヲ大ニシ機械ヲ應用スルヲ最善ノ方法トス然ルニ現在各地方ニテ試用セラレツツアル小形發動機械ハ殆ト歐米ヨリノ輸入ニシテ多額ノ輸入税ノ負課ノ爲非常ノ高價ト爲リ資本ニ缺乏セル多數ノ農家ハ之ヲ購入シ得サル狀況ニ在ルヲ以テ農村ニ於ケル勞力問題小作問題乃至ハ食糧問題等ノ解決ノ一助トシテ特ニ農業用機械ノ輸入税ヲ免除スヘシ

右建議ス

右ハ十一年三月十三日成田榮信君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案及(一二八)、(一三〇)案ヲ一括シテ院議ニ付シ本案賛成者(高草美代藏君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程致シマシタ農業用機械輸入税免除ニ關スル建議案デアリマスガ、先刻野溝君ガ御説明ニナリマシタ案モ、私ガ今説明ヲ致ス案モ、此次ノ公課負擔軽減ニ關スル件、何レモ三派協定ヲサレマシテ提案ヲサレマシタル案デアリマス、簡單ニ説明ヲ致サウト考ヘマス、御承知ノ通りニ最近我が日本ハ非常ニ人口ガ繁殖致シマシテ、現二年々六七十萬人ヅ、ノ増加率ヲ示シテ居リマスノデ、斯ウ云フ事ヲ考ヘマス、非常ニ此將來ノ人口ノ増加ト云ヒマスル事ハ、驚クベキ數ニナルト思フノデアリマス、而シテ斯ノ如ク人口ガ繁殖スルト云ヒ、増加スルト申シマスコトニ

付キマシテ、第一ニ寒心ニ堪ヘマセヌノハ何デアアルカト云ヘバ、即チ此食糧問題デアリマス、現ニ我國ニ於キマシテ、主要ノ食物ト致シテ居リマス米ノ不足ヲ告ゲテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、大正八年度ノ如キハ金額殆ト八千五百萬圓ノ外米ヲ購入シ、今ニ猶ホ政府ハ五十萬石内外ノ米ヲ貯藏致シテ居ルト云フ現況デアアルノデアリマス、兎モ角日本人ガ斯クノ如ク主要食物ノ米ノ殆ト毎年ノ如ク不足ヲ告ゲルト云フコトハ、實ニ吾々生存ノ上カラ申シマシテ、由々シキ大事ト謂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ノ如ク需給ノ關係カラ致シマシテ、農家ガ少シク豊作ナル時ニハ忽チ米價ガ低落致シマス、又低落スルト同時ニ農家經濟ヲシテ困難ナラシメ、之ニ反シテ農家ガ凶年不作ナル時ニハ、忽チ米價ノ暴騰ヲ來シマシテ、一般需要家、就中中産階級以下ノ者ヲシテ生活ヲ脅カサシムル等、兩者交々誠ニ憂フベキ大問題ト思フノデアリマス、現在ノ人口ヲ以テシテ、斯ノ如ク年々殆ト二三百萬石ノ米ノ不足ヲ告ゲルトセバ更ニ將來ニ於テ是ハドウナルノデアリマセウカ、成程一方ニ於テハ御承知ノ通り耕地整理ニ依リ、或ハ開墾助成法ニ依リテ、年々耕地ノ面積ハ増加シテ居リマスケレドモ、併ナガラ又一方ニ於テハ御承知ノ通り段々世ガ進ムニ從ヒマシテ、新ニ市若クハ町村、國、縣、斯ノ斯キ道路ノ擴張若クハ新設ヲ致シマス爲ニ、耕地ヲ失ヒ、又鐵道、電車ノ便ガ開ケルニ伴ヒマシテ、從來ノ耕地カラ更ニ耕作地ヲ奪フト云フヤウナ如キ、或ハ又此外工業ノ發達進歩ノ結果、耕地ヲ工場敷地トスルガ如キ、更ニ人口ガ繁殖致シマスレバ、新ニ居住スル家屋ノ建設ヲスルガ如キ、兎ニ角是等ノ諸原因カラ致シマシテ、年々歳々耕地若クハ土地ヲ狹隘ナラシメルコトモ亦已ムヲ得ザル事態デアリマスケレドモ、是ト共ニ一面ニ於テハ食糧米ヲ收穫スル面積ノ減少ヲ來スト云フコトモ、一面少少デナイト云フコトヲ私共信ズルノデアリマス、現在ニ於ケル我國ノ耕地ノ面積ハ、田ガ三百六七千萬町歩、此外畑ガ三百萬町歩アリマシテ、更ニ將來開墾ヲ爲シ得ル土地ガドノ位アルカト云フコトヲ調べテ見マスルト、内地ニ於テ百六七十萬町歩、北海道ニ於テ五六十萬町歩アルト云フコトデアリマスガ、併ナガラ之ガ果シテ經濟的可能性ヲ有シテ居ルカドウカ、是ハ頗ル吾々共疑問トスルノデアリマス、以上ノ如ク觀察致シマスレバ、我國ニ於ケル食糧問題ハ一日片時モ忽セ

ニ出來ナイ問題デアルト思フノデアリマス、然ルニ現在我國ノ文明ノ施設ト云フモノハ、主トシテ御承知ノ通り商業ガ中心デアリマス、而シテ國策モ亦殆ト商工業立國主義ニ在ルヤウニ思ハレルノデアリマス、然シテ爲政家モ亦商工業者モ都會ノ背景ニ農村アリ、又商業ノ基礎ハ全ク農業ニアルコトヲ閑却セル者ガ多イト云フコトハ、洵ニ吾々農業者ニ取リマシテハ痛嘆ニ堪ヘヌノデアリマス、惟フニ今日ノ農村問題ハ、其研究スベキ事項ハ頗ル多クアリマス、到底一朝一夕ニ論究スベキコトデアリマセヌケレドモ、先ヅ差當リ如何ナル事ヲ爲シテ宜イカト言ヒマスレバ、第一ニ考究スベキ問題ハ、如何ニ此農民ヲシテ成ベク勞力ヲ省キ、而シテ收穫ヲ多クシテ、所謂經濟的勞力ヲ施シ、經濟的ニ收穫セシメ、而シテ米ノ價ヲシテ相當ナ價格ヲ維持セシメルト云フコトガ、急務中ノ最モ急務ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、若シ今日ノ如キ農家ノ状態ニ放任ヲ致シテ置キマス、諸種ノ洵ニ忌ハシキ問題ガ勃發スルト云フ事モ亦已ムヲ得ヌコト、考ヘルノデアリマス、今茲ニ私共ノ縣岡山縣ノ農會ガ各郡ノ農會ニ委囑致シマシテ大正十年度ノ産米ニ要シマス平均ノ生産費、ソレカラ施肥費、俵裝費、農具ノ損料、其他全部ノ生産費ヲ調査致シマシテ、丁度一市九郡ノ統計ガ出來上ツタノデアリマスガ、今其統計ノ三四ヲ茲ニ申上ゲマス、岡山市ガ一石ニ付キマシテ三十九圓五十八錢一厘掛ルノデアリマス、御津郡ガ三十九圓七十七錢四厘、兒島郡ガ三十九圓四十一錢九厘、都窪郡ガ三十七圓六十六錢二厘、淺口郡ガ四十五圓三十九錢、後月郡ガ四十五圓八十錢一厘、吉備郡ガ四十五圓三十二錢、上房郡ガ三十五圓九十八錢七厘、川上郡ガ三十七圓五十六錢六厘、小田郡ガ四十三圓九十九錢五厘、斯ウ云フ統計ガ出テ居ルノデアリマスガ、此統計ニ示ス所ノモノヲ以テマシテ、目下米ノ定期相場ニ較ベテ見マス、實ニ平均十圓内外ノ缺損ヲ來シテ居ル所ノ譯ニナルノデアリマス、斯ノ如クナレバ當ニ諸種ノ不祥ナル問題ヲ惹起セシムルノミナラズ、農業者ヲシテ詰リ年ト共ニ他ノ職業ニ轉ゼシムルニ至ルト云フコトモ亦圖リ知ラレヌト思フノデアリマス、現ニ近年斯ノ如キ傾向ヲ帶ビ來テ居ルト云フコトハ誠ニ痛心スベキコトデアリマシテ、萬一此儘ニ放任致シテ置キマス、政府ガ折角獎勵ヲ現ニ致シテ居ラレマス所ノ耕地整理、若クハ開墾助成法モ、遂ニハ之ガ實行者ガ無イヤウ

ニナリハシマイカト吾々共ハ杞憂致シテ居ルノデアリマス、而シテ一方ニ於テハ前ニ申シマスヤウニ、人口ハ年々増加致シマスシ、耕地ガ又從ツテ減少致シマスシ、他方ニ於テハ斯ノ多ク農業者ガ年ト共ニ減少スルコトニナレバ、食糧問題、即チ米ノ問題ノ解決ハ愈々困難ナル場合ニ到來スルト思フノデアリマス、ドウシテモ此際世ノ爲政家タル者ハ大ニ茲ニ著眼ヲ致シマシテ、農家經濟ノ方策ヲ講ジナケレバナリマセヌ、農家救済ニ關スル政策ガ茲ニ確立致シマスレバ、食糧問題ガ茲ニ解決シ、米ノ問題ハ茲ニ緩和スルト思フノデアリマス、而シテ其方法ハ色々アリマセウガ、一方ニ於キマシテハ國庫財政ノ事モ亦無論考ヘナケレバナリマセウカラ、今俄ニ非常ナル多額ノ資金ヲ要求スルト云フコトハ、無論不可能デアリマセウケレドモ、先ヅ第一ニ農民ガ目下非常ニ苦シデ居リマス所ノ公課ノ負擔ヲ輕減シ、所謂民力ノ涵養ヲ第一ニ圖ラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、之ヲ遂行スル方法ハ他ニハナイ、即チ今日ハ義務教育ノ國庫負擔金ヲ此際一日モ速ニ解決スルコトガ最善ノ方法デアラウト思フノデアリマスガ、斯クシテ一方ニ於テ農民ヲシテ多少懷中ニ餘裕ヲ生ゼシメ、一方ニ於テ又大ニ農業獎勵ノ方策ヲ講ゼラレンコトヲ考ヘルノデアリマシテ、今茲ニ而モ國庫ニ失フ所ノ金額ハ極テ少額ニシテ、農民タル所ノ人ガ頗ル多大ナル、所謂農民救済、否寧ロ農業獎勵方策ノ一端ト致シマシテ、茲ニ本案ヲ提出シタノデアリマシテ、本案ノ主眼トスル所ハ御承知ノ通り從來ニ於キマシテ、我國ニ於キマスル農業ノ状態ハ田地ノ區劃ガ割合ニ狹小デアアル、而シテ其形ガ千差萬別デアリマスカラ、之ヲ以テマシテ極テ集約的ノ方法デ人力ヲ漫ニ費スコトガ多イノデアリマス、隨テ不經濟ニ陥ルノ結果ヲ茲ニ來スノデアリマスカラ、近時大ニ農家モ覺醒スル所ガアリマシテ、耕地ヲ整理シテ其面積ヲ成ベク廣メ、區劃ヲ正シウシ隨テ人力ヲ省キ、機械ニ依ッテ耕作シテ、今ハ其數ヲ次第ニ増加シテ來タノデアリマス、斯ノ如ク機械ヲ應用スルニ至ラバ、從來ノ人力ニ比シ其耕作物ガ非常ニ多ク、收穫モ亦隨テ増加スルニ至ルハ、是ハ必然ノ事デアリマシテ、蓋シ我國ノ地形上亞米利加ノ如キ大農組織ハ到底出來マセヌカラ、是ハ必然ノ方法ヲ以テ、場所ニ依リ處ニ依ッテハ成ベク他ノ種々ナル方法ヲ施シテ、中農組織ニ改メテ、サウシテ出來ルダケ諸種ノ機械ヲ使用セシメテ、從來ニ於ケル無益

ナル勞力ヲ省キ、大ニ増殖ヲ圖ルト云フコトガ必要ト考ヘルノデアリマス、現ニ收納調整機械ノ如キ、或ハ耕耘機械ノ如キ、年々使用者ガ増加シテ參リマシタノハ洵ニ慶ブベキ現象デアリマス、然ルニ斯ノ如キ機械使用ノ盛大ヲ來ス上ニ於テ、頗ル遺憾ナ事ガアルノデアリマス、ソレハ何デアルカト申シマス、即チ此發動機械輸入關稅問題デアリマス、今茲ニ其稅率ヲ申上ゲマスルト、百「キロ」マデハ每百斤ニ付三十圓掛カルノデアリマス、百「キロ」以上二百五十「キロ」マデハ每百斤ニ付二十圓掛カルノデアリマス、千「キロ」以下每百斤ニ付九圓、二千五百「キロ」マデハ每百斤ニ付七圓、一萬「キロ」マデハ每百斤ニ付五圓、五萬「キロ」マデハ每百斤ニ付四圓五十錢、十萬「キロ」マデハ每百斤ニ付四圓、其他ハ每百斤ニ付三圓五十錢、斯ノ如キ關稅ガ掛カルノデアリマシテ、而シテ目下我國農業者ガ多ク使用シテ居ルモノハドウ云フモノヲ使用シテ居ルカト言ヒマス、先ヅ收納調整機械ノ方ハ百「キロ」以上二百五十「キロ」以内ノ範圍ニ互ルモノデアリマシテ、即チ目方約五、六十貫、代價三百圓内外ノモノデアリマシテ、之ニ關稅ガドノ位掛カルカト言ヒマス、僅カ三百圓ノ價ノモノデア六、七十圓ノ關稅ガ掛カルノデアリマス、現在使用ノ小型發動機ノ種類ハドウ云フモノカト言ヒマス、粃摺、稻扱、麥扱、精米、精麥、水揚等ガ其主ナルモノデアリマス、耕耘機械ト致シマシテハ、二百五十「キロ」以上千「キロ」以下ノモノガ近來瑞西ヨリ輸入サレマシテ目下岐阜、愛知及滋賀等ニ大分ノヲ使用スルヤウニナッタノデアリマス、以上ノ如ク代價三百圓内外ノ機械ニ對シマシテ、關稅ガ六、七十圓ヲ要スルト云フガ如キハ、是ハ實ニ法外ナル稅率デアリマシテ、之ガ爲ニ農業者ノ需要ニ支障ヲ來シ、農業政策上其不利益ハ實ニ計ルコトガ出來スト思フノデアリマス、斯ノ如キ有様デアリマスカラ、是非共諸君ノ御贊成ヲ願ヒマシテ、農業用發動機械輸入關稅ノ廢止ヲ行ヒ、而シテ農家ヲシテ出來ルダケ人力ヲ省キ、機械力ノ應用ヲ盛ニシテ、而シテ所謂經濟的ノ勞働ヲナサシメ、他ノ農業政策ト相俟チマシテ將來食糧政策——即チ米ノ問題ヲ解決センガ爲ニ、茲ニ本案ヲ提出致シタ、所以デアリマスガ故ニ、何卒滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

(委員並議事ノ經過及結果ハ本項(一二八)參看)

一三〇 農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

近時農業者ノ公課負擔ノ激増セルコトハ何人ト雖之ヲ認ムルトコロニシテ商工業者公課負擔ニ比較スルニ尙幾倍ノ過重タリ特ニ小作爭議ノ如キ畢竟スルトコロ農家ノ經濟問題ニシテ主トシテ收入ノ僅少ニシテ負擔ノ過大ナルニ起因セスムハ非ス斯ノ如キハ農村自治ノ發展ヲ阻害シ生産上思想上頗ル憂慮スヘキ狀態ナルヲ以テ政府ハ速ニ稅制整理ヲ行ヒ農業者ノ負擔輕減均衡ヲ期スヘシ

右建議ス

右ハ十一年三月十三日成田榮信君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案及(一二八)、(一二九)案ヲ一括シテ院議ニ付シ本案贊成者(八田宗吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極テ簡略デアリマスカラ殆ド原稿ヲ讀ンデ御贊成ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ハ公平ニシナクテハナラヌト云フコトハ、敢テ申スマデモナイコトデアリマス、若シモソコニ不公平ナル事ガアッタナラバ、之ヲ公平ナラシムベク努メルコトガ政治ノ要諦デアルト信ジマス私共熟、今日ノ農民ノ狀況ヨリ考ヘ來リマシテ申シマス云フト、今日農民ノ負擔ノ過重ナルコトハ正ニ言語ニ絶シテ居ル程度デアルト考ヘル者デアリマス、由來我國ノ農民ハ長イノ封建時代ノ間、壓迫ヲ被ッテ居リマシタル結果、殆ド要求ヲ爲スト云フヤウナ術ヲ知ラズ、徒ニ上ノ言フ所之ニ從

フコトヲ以テ道德ノ信條ト考ヘテ居リマシタルコトガ因襲的ニ、傳統的ニ彼等ヲ驅ツテ此負擔ノ如キモノニ對シテモ叫聲ヲ揚ゲテ、サウシテ之ヲ輕減スル要求ヲ爲スト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、從來甚シク其邊ニ對シテ缺クル所ガアッタノデアリマス、即チ封建時代ノ農民ナル者ハ一個人ノ倉庫デアッタ、大名ノ倉庫デアツテ、品物ヲソコカラ自由ニ取ツテ之ヲ使用スルト云フ状態デアツテ、言換ヘレバ一個ノ納稅機械デアッタ——納稅機關デアッタト言ツテモ宜イト思フ、市街地ニ於キマシテハ、御承知ノ通り封建時代ニ於テハ何等ノ稅金ヲモ負擔スル事ガナカッタ處ガ多カッタト云フ状態デアッタノデアリマス、サウ云フヤウナ事ガズツト傳統性ヲナシテ、今日ノ農村ノ負擔ナルモノガ今日ノ過重ナル狀況ニナツテ居ルノデアリマス今帝國農會ガ永ラクノ間辛苦艱難シテ調ベマシタル茲ニ調査ノ結果ガアリマスカラ、之ニ依ツテ私ハ私ノ申ス事ヲ立證スル所ノ材料ト致ス積リデアリマス、暫時御清聽ヲ願ヒマス例ヘバ市町村稅ヲ申シマスト云フト、明治二十四年ニ千五百六十三萬三千五百七十五圓デアッタノデアリマス、指數ニシテ是ガ一〇〇デアアル一戸當リニシテ二圓ト三厘、ソレガ大正九年ニナツテ二億九千九百四十八萬千八百八十八圓ト云フヤウニ市町村稅ノ負擔ガ増加シ來ッタノデアリマス、斯ノ如ク市町村稅ハ明治二十四年ニ比シテ約二十倍ノ増大デアアルニ、一方收入ト云フ方ヲ顧ミマスト云フト、米ニ付テ申シマスト、明治二十一年ヨリ明治二十五年ニ至ル間ガ三千八百八十三萬八千五百九十六石、指數ニシテ一〇〇デアアル、ソレガ大正十一年ニナツテ五千七百七十二萬三千八百二十六石、指數ニシテ一四三、僅ニ四割三分ノ増加ニ過ギナイノデアリマス、負擔ガ重クシテ、サウシテ收入ノ少イコトハ之ヲ以テモ明カデアリマス、之ヲ郵便貯金ノ職業別ニ付テ一人當リヲ申シマスト云フト、大正七年ニ於キマシテ、一人ノ平均ガ三十圓十四錢、農業者ハ二十三圓ト六十三錢五厘、全ク此平均額ニ達シテ居ラヌノデアリマス、商業者ノ平均ハドウナツテ居ルカト云ヒマスト、四十五圓八十三錢四厘デアツテ、農業者ノ約倍額ニ當ツテ居ル一般ノ被雇人デアルトカ、使用人デスラモ、此郵便貯金ガ二十八圓六十三錢三厘デアツテ、農業者ヨリモ多イト云フ狀況デアリマス、又農業者

ノ負債ノ額ヲ推測ツテ見マスルノニ、大正九年ニ於テハ土地抵當債務推定ハ約二十五億圓デアツテ、内農業者ノ土地抵當債務ハ約二十億圓デアルト思ハレル、更ニ進ンデ此農業者ト商業者ト公課負擔ノ額ヲ比較シテ見マスルノニ、地主ノ經濟ニアリマシテハ、七千圓ノ所得ニ對シテ諸公課負擔額ハ三千八百八十二圓、即チ收入ノ四割強ト云フモノヲ負擔シテ居ルノデアリマス、然ルニ農業者ハ七千七百圓ノ所得ニ對シテ八百八十七圓、即チ一割強デアツテ、兩者ヲ比較對照スルニ農業者ハ約三倍以上ノ公課ヲ負擔スルモノデアルト云フコトガ出來ルノデアリマス、而シテ地方稅ノ激增、近年殊ニ著シクナツテ參リマシテ尙更過重ノ傾向ノアル時ニ當ツテ今ノヤウナ負擔ヲ致シテ居ルノデアアルカラシテ、是等ノ數字ニ付テ觀察シマシテモ、農業者ノ負擔ノ過重デアアルト云フ事ハ、洵ニ明瞭ナル事實デアリマス、現今我國ノ人が最モ御同様憂慮ニ堪ヘザル所ノモノハ小作爭議デアリマス、小作爭議ナルモノモ其原因ヲ探究シテ見マスルト云フト、先刻提案者ヨリソレノ御説明ノアリマシタル通り、實際收入ガ少クシテ、地主モ間ニ合ハナケレバ、小作人モ間ニ合ハナイ、大原因ハ全クソレデアリマス、單ニ思想問題ヲ以テ彼レ申スト云フヤウナ事ハ農村ノ實情ニ通ゼザルモノデアリマシテ、若シ農民ノ收入ニシテ彼ヲ満足セシムルモノデアツタナラバ、誰カ此平和ナル農村ニ居ツテ相爭フ者アラシヤデアリマス、全ク此小作爭議ノ原因ヲ探究シテ到達スル所ハ、收入過小ニシテ負擔ノ過重ニ在ル、小作人モ地主モ共ニ農村ニ居ルコトヲ以テ、非常ニ不安心デアルト感シ來ツタ所ニ在ルノデアリマス、現今我が農業者ガ、國家ニ貢獻シテ居ル點ハ實ニ偉大ナルモノデアリマス、年々此農產物ノ生産額ガ四十億——四十億以上ニ達シテ居ル、我國ノ商工業ハ此生産額ノ大部分ヲ利用シテ、サウシテ商工ヲ營ンデ居ル、農業ヲ立脚地トシテ存在シテ居ルノデアリマス、又兵役義務ノ關係ニ付キマシテモ、農村ガ多大ナル負擔ヲ爲シテ、良兵良農ヲ輩出シテ居リマスル所ノ狀況ニ付キマシテハ、先般此本會デ國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シテ、交付金下付ニ關スル建議案ノ説明ノ際ニ、陸軍省發表ノ表ヲ以テ、サウシテ詳シク申上ゲテ置イタノデアリマスカラ、既ニ御了承ニナツテ居ルカラ、今更ニ茲ニ申上ゲマセヌ、要スルニ農村興廢ノ如何ハ國家經濟ノ興廢デアリマス、一日之ヲ緩ウセバ、國家

ハ一日ノ損失ヲ招クノデアリマス、全ク農村不振ノ原因ハ經濟力ノ足ラザル點ニ在リマス、故ヲ以テマシテ此經濟力ヲ回復スルト云フコトニ向ッテ、國家ハ努メテ行カナケレバナラヌト云フコトハ、敢テ詳シク申上ゲル必要ハナカラウト信ジマス、農村經濟力ガ回復シテ來マシタナラバ、農村ソレ自身健全ナルモノトナッテ來テ國家ノ基礎ガ安定サレルコトニナルノデアリマス、即チ農村ハ思想上ヨリ申シマシテモ、經濟上ヨリ申シマシテモ、實ニ國家ノ安全辦デアリマス、此安全辦ニ對シテ若シモ國家ガ保護ヲ加フルコトヲ怠ッタナラバ、國家ノ基礎ガ危クナッテ來ルコトハ、繰返シテ申ス必要ハナカラウト信ジマス、吾々ハ茲ニ此負擔ノ點ヨリ考ヘマシテ、農民ガ收入ニ對シテ約四割以上ヲ負擔シテ居ルト云フ、不公平極マル多大ナル負擔ニ對シテ、國家ハ速ニ稅制ノ整理ヲ爲シテ爰ニ低減ヲ圖ッテ、農民ヲシテ地方ニ安定セシムルダケノ事ヲ探ルコトガ、最モ今日ノ急務中ノ急務デアルト信ジマシテ、茲ニ提案致シマシタ次第デアリマス、時間ガ無イカラ簡單ニ申上ゲマシタ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

(委員並議事ノ經過及結果ハ本項(一二八)參看)

一三一 大直鐵道建設速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ久大線大分縣大分郡庄内郷ヨリ直入郡西北部長湯、都野、久住ヲ經テ豊肥線ニ接續スル横斷鐵道ヲ建設スヘシ
右建議ス

右ハ十一年三月十三日吉良元夫君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(吉良

元夫君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ自席ヨリ申上ゲマス、本建議案ハ第四十四議會ニ於テモ、滿場一致ヲ以テ通過致シテ居ル案デアリマス、即チ久大線大分縣庄内郷ヨリ直入郡西北部長湯、都野、久住ヲ經テ、豊肥線ニ聯絡致シマス鐵道デアリマス、然ルニ此鐵道ハ只今通過致シマシタ所ノ鐵道敷設法案ニハ載ッテ居リマセヌ、此載ッテ居リマセヌ理由ハ、現鐵道大臣ガ極テ公平ニシテ、此線路ノ必要ト云フコトハ非常ニ認メルケレドモガ、ドウモ大分縣ニ鐵道ヲ敷クト云フコトハ、洵ニ自分ノ出身地トシテ困ルト云フコトデ、故ラニ是ハ御回避ニナッテ居ラレル、然ルニ此線路ハ昨年説明ヲ致シテ置キマシタ通りニ、獨特ノ理由ガアル線路デアリマスルカラシテ、本年モ是非共是ガ成立致スヤウニ希望致ス次第デアリマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一三二 竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案

本線ハ豊肥線中竹田町ヨリ分岐シ玉來、宮砥ヲ經テ熊本縣阿蘇郡草部村ニ於テ高森町ヨリ南走スル延岡線ニ合シ宮崎縣西臼杵郡三田井ニ至ルモノニシテ竹田三田井間ヲ聯絡スル線路ナリ此ノ線ハ地方産業ノ開發ニ至大ノ關係ヲ有スル線路ナルニ依リ政府ハ速ニ其ノ敷設ヲ急ニセラレ

ムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十三日吉良元夫君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(吉良元夫君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

自席ヨリ説明申上ゲマス、本線ハ昨年モ滿場一致ヲ以テ通過致シテ居ルモノデアリマス、是ハ現ニ工事中デアアル所ノ豊肥線中竹田町ヨリ分岐シテ、玉來、宮砥ヲ經テ熊本縣阿蘇郡草部村ニ於テ、高森町ヨリ南走致シマス所ノ延岡線ニ合シマシテ、宮崎縣ノ臼杵郡三田井ニ至ル線路デアリマス、而シテ是ハ鐵道敷設法案ノ百十九番目ニ在リマス所ニ接續スル、極テ必要ナル線路デアリマス、是ハ將來其筋ニ於テモ必ず敷設セラレルト云フコトヲ御言明ニナツテ居ル線路デアリマス、ドウカ滿場一致御贊成ヲ希望致シマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一三三 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案

軍人恩給法中ニ改正ヲ加ヘ北海道元屯田兵ニ對シ普通師團勤務將校下士卒ト同一ニ速ニ恩給ノ恩典ニ浴セシメラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十三日松實喜代太君外四名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松實喜代太君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ノ標題ハ軍人恩給法中改正ニ關スル建議案デアリマスガ、其内容ニ至リマシテハ、普通ノ軍人恩給トハ違フデアリマス、即チ軍人恩給法中ニ改正ヲ加ヘ、北海道元屯田兵ニ對シテ、普通師團勤務ノ將校下士卒ト同一ニ、速ニ恩給ノ恩典ニ浴セシメラレンコトヲ望ムト云フ建議案デアリマスガ、時間ノ甚ダ乏シイ場合ニ喋々此事ヲ述ベルノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、多クハ此北海道ノ屯田兵ト云フコトニ付テ御承知ノナイ方ガアラウト思ヒマスカラ、少シク述ベサセテ戴キタイト思ヒマス、倍テ北海道ニ於ケル屯田兵ト云フノハ、明治八年ニ屯田兵制ト云フモノガ制定サレタノデアリマスガ、爾來第七師團設置セラレ、即チ明治二十九年ノ五月ニ至ルマデ、此兵制ト云フモノハ存置シテ居タノデアリマス、而シテ屯田兵ハ何ノ爲ニ設ケラレタカト云フト是ハ北門ノ警備ニ當リ、又北海道拓殖ノ先驅者タル使命ヲ持ツテ、屯田兵ガ北海道ニ移住サレタノデアリマス、其ノ當時北海道ハ荒寥タル原野、又鬱蒼タル森林デアツテ、サウシテ其土地ニハ熊ヤ狼ノヤウナ猛獸ガ跋扈跳梁シテ居ッタノデアリマス、其間ニ於キマシテ其戸主タル兵員ハ軍事教練ニ從事シテ、又其ノ家族ハ開墾ニ從事シタト云フヤウナコトデ、實ニソレハ苦心慘澹タル有様デアツタノデアリマス、北海道ニ住ンデ居ル人々サヘモ其當時ノ狀況ヲ想像シテ餘リアルノデアリマスカラ、況ンヤ天下ノ諸君ハ勿論想像シ能ハザル所デアリマス、屯田兵ノ現役ハ最初三箇

年デアッタノデアリマスガ、段々改正ヲ致シマシテ七箇年トナリ、又二十五年ニハ八箇年ノ現役ト改正サレマシタ、而シテ最初ノ屯田兵ハ軍事教練ト云フモノハ餘リ嚴密デナカッタノデアリマスケレドモ、日清戰爭前、即チ明治二十五年頃、東洋ノ風雲ノ急ナルトキ從來ノ方針ヲ一變致シマシテ、非常ニ嚴格ナル、且ツ繁劇ナ軍事教練ヲ施スヤウニナッタノデアリマス、而シテ日清戰爭ガ起リ、又日露戰爭ガ續イテ起ッタノデアリマスカラ、中々屯田兵ノ軍事教練ハ、普通ノ法規上繁劇、且ツ嚴重ニナッタノデアリマス、而シテ屯田兵ハ明治十年ノ西南ノ役、續イテ明治二十七八年ノ日清戰役、三十七八年ノ日露戰役ニモ參加シタノデアリマス、ソコデ先程申上ゲマシタ明治二十九年ニ第七師團ヲ置イタ時ニ、其屯田兵ノ司令長官ハ第七師團長トナリ、サウシテ屯田兵ハ別ニ獨立大隊ト致シマシテ歸農兵トナッタノデアリマス、サウシテ軍事教練ノ上ニ於テハ茲ニ其當時ノ渡邊ト云フ陸軍少將ガ證明サレテ居リマスガ、其成績ハ實ニ佳良デアッタト云フコトデアリマス、斯ノ如キ歴史ト、斯ノ如キ勳功ヲ持ッテ居ル北海道屯田兵ニ對シテ、其移住當時ニ於テ僅ナル救助ガアッタト云フ故ヲ以チマシテ、普通ノ師團兵ト違ッテ恩給ニ浴スルコトガ出來ナイノデアリマス、實ニ愍レムベキ彼等ハ立場ニ立ッテ居ルノデアリマス、此例ヘバ恩給ガ何程賈ツタ給與ハ何程賈ツタカト言ヒマス、例ヘバ家族ガ十人アリマシテモ、五人以下ト云フコトニ制限サレテ、サウシテ大人、中人、小人、斯ウ云フ風ニ區別シテ、大人ハ一日ニ玄米五合五勺、中人ハ五合、小人ハ三合、鹽菜料ト云フテ副食物ノ代價デアリマスルガ、是ハ大ガ一錢五厘、中ガ一錢、小ガ七厘ト云フ割合ヲ以テ、六年ヤツテモ八年ヤツテモ、唯單ニ僅ニ三箇年ダケノ給與ホカ無イノデアリマス、斯ノ如ク僅カナ給與ガアル爲ニ、前申上ゲタヤウナ軍功ト歴史ガアルニ拘ラズ、此屯田兵ニ對シテ恩給法ヲ施行スルコトガ出來ナイト云フコトハ、頗ル遺憾ナコトデアリマス、尤モ大正六年ニ軍人恩給法ヲ改正シマシテ、屯田ノ常務ニ服スル者ハ恩給ニ浴スルコトガ出來タ、常務ニ服スルトハ何デアアルカト申シマス、即チ此屯田兵ノ營村ヲ監視シタトカ、或ハ屯田兵ノ部隊附トナッテ射撃、給與、靴工、縫工、斯ウ云フヤウナ比較的閑職ニ在ル者ハ、恩給ニ浴スルコトガ出來タノデアリマスケレドモ、毎日實際ノ此軍事教練ヲ受ケル所ノ屯田兵ニ向ッテ

ハ、此恩典ニ浴セナイ、即チ是ハ寧ロ主客顛倒ヲシテ居ル觀ガアルノデアリマス、故ニ屯田兵ト云フ者ハ今日ニ至ルマデマダ恩給ニ浴スルコトガ出來ヌノデアリマスルカラ、是非共此場合ニ於テ此改正ヲ願ヒマシテ、サウシテ屯田兵ヲシテ他ノ師團ノ勤務兵卒ト同様ノ恩典ニ浴セシメタイト云フ希望デアリマス、尙ホ終リニ一言申上ゲテ置キタイノハ、斯ウ云フコトヲ非公式ニ當局者ニ交渉致シマシタ所ガ、當局者ハソレハ屯田兵ハ最初移住ノ際ニ屯田兵ニナル際ニ既ニ之ヲ承知シテ居ッタノデアアルカラ、今日ニ至ッテソレヲ言フノハ甚ダ其意ヲ得ヌデナイカト言ヒマスガ、併シ一般ノ軍人ノ恩給、又文官ニ於キマシテモ、屢改正サレテ居リマス、其筆法カラ申シマスレバ、其當時之ヲ承諾シテ恩給若クハ恩典ニ浴スル者ガ、後デ増額スル必要ガ無イノデアリマス、既ニ一般ノ軍人、一般ノ文官ノ恩給ヲ改正シテ、以前ニ遡ッテ恩典ヲ與ヘル以上ハ、此屯田兵ニ對シテモ相當ノ恩給ニ浴セシムルコトガ當然ノ處置ト私ハ信ジマスカラ、ドウカ皆サソレノ滿場一致ノ賛成ヲ得マシテ、此可憐ナル屯田兵ニ對シテ恩給ノ恩典ニ浴セシメラレソトヲ切ニ希望致シマス

次テ本案ハ永屋茂君外二名提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(三三)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一三四 京都市内鐵道線路改築ニ關スル建議案

京都市内ヲ貫通スル東海道本線及山陰線路ヲ高架線ニ改築セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十三日渡邊昭君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(渡邊昭君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

議題トナリマシタ京都市内鐵道線路改築ニ關シマスル建議案ノ理由ニ付キマシテ、簡單ニ申述ベマス、本建議案ノ趣旨ハ、京都市内ヲ貫通致シテ居リマス東海道本線、及山陰鐵道線路ヲ高架式ニ改築セラレンコトヲ望ムト云フ趣旨ニ過ギヌノデアリマス、京都市ハ大正七年ノ四月ニ隣接町村ヲ市部ニ編入致シマシテ、現在七十有餘萬ノ人口ヲ有シテ居リマス、又大正八年四月ニ都市計畫法ガ發布セラレマシテ、都市計畫京都地方委員會ナルモノガ、設置セラレマシタ、此會ニ於キマシテ此京都市ノ區域ヲ擴張致シマシテ、將來大京都市ト致シマシテ、人口二百萬以上ヲ收容スルト云フ計畫ヲ確立シタノデアリマス、現在ノ京都市ニ比較致シマスレバ、其區域ハ數倍ニ擴大サレテ居リマス、此擴大サレマシタ所ノ區域ハ、主トシテ京都市ノ西ノ方、及南ノ方ニ相成ツテ居リマシテ、此方面ノ發展ヲ期スベク斯様ナ計畫ニ相成ツタノデアリマス、然ルニ此京都市ハ東部及北部ト云フモノハ發展ノ餘地ガ殆ド無イノデアリマス、而シテ西部及南部ハ京都市ノ工業地トシテ重要ナル地域ニナツテ居リマス、自然的ノ地形上將來京都市ガ其ノ驥足ヲ伸バサントスルナラバ、此西部及南部ノ方面ヲ措イテ、他ニ求ムルコトガ出來ナイノデアリマス、斯様ナ現狀デアリマスカラ、將來ノ大京都市ハ西南方面ニ向ツテ發展ヲ計畫致シタノデアリマス、而シテ此市ノ南部ハ東海道本線ニ依ツテ橫斷セラレテ居リマス、其西部ハ京都驛ヲ起點ト致シマシテ、出雲大社ニ達スル所ノ山陰線ニ依ツテ閉塞サレテ居ルノデアリマス、此南部ノ方、即チ此東海道本線ニ於テ橫斷セラレテ居リマス所ハ、南北ヲ通ジマスル道路ハ七線デアリマス、七線ノ中、四箇所ハ隧道ニ依ツテ交通ヲ圖ツテ居リマス、二箇所ハ陸橋ニ依ツテ通ジテ居リマス、一箇所ハ水

平交叉ニ依リマシテ通ジテ居リマス、ソレカラ此山陰線ニ關シマスル線路ニ於キマシテハ、東西ニ通ズル所ノ通路ハ二線デアリマシテ、一箇所ハ隧道、一箇所ハ水平交叉ニ依ツテ通ジテ居リマス、以上ノ如ク此西部及南部ニ於キマスル所ノ通路ト云フモノハ、公道ト云フ價值ハ無イノデアリマシテ、唯人道ニ過ギヌノデアリマス、人ガ通ジテ居ルダケニホカ過ギヌノデアリマシテ、洵ニ不完全極マルモノデアリマス、所謂國家ノ施設ト云フモノガ、京都市ノ膨脹發展ノ趨勢ヲ阻礙スルコトガ洵ニ多大デアリマスガ故ニ、交通運輸並ニ經濟上ノ圓滿ナル發達ヲ圖ラントスルナラバ現在ノ鐵道線路ヲ高架線ニ改築スルト云フコトノ急務ナルコトヲ認ムルノデアリマス、故ニ政府ハ速ニ之ガ調査ヲ遂ゲマシテ、其實現ノ速カナランコトヲ望ミマス、御審議ノ上御協贊ヲ請ヒマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一三五 「タール」色素並「カラメル」使用取締ニ關スル建議案

方今飲食物ノ著色料トシテ最汎ク且盛ニ使用サレツアルモノハ有機性色素殊ニ「タール」色素及「カラメル」ノ二種ナリ而シテ「タール」色素中ニハ人體ニ無害ナルモノノ存スルト同時ニ亦極メテ有害ナルモノ頗ル多シトス

又「カラメル」ハ葡萄酒、「ウイスキー」、醬油、味噌其ノ他一般飲食物ノ著色資料トシテ廣ク應用セラレツツアリ而シテ「カラメル」ハ普通砂糖ヲ燻燒シ之ヲ製造シタルモノニテ其ノ製造中ニ於テ「フォルムアルデヒド」ノ成生スルコトハ既ニ化學者ノ實驗證明セルトコロニシテ「フォルムアルデヒド」ノ人體ニ有害ナルコトハ敢テ多言ヲ要セス爲ニ内務省ニ於テハ先年飲食物防腐劑取締規則ヲ發布シ以テ飲食物中ニ「フォルムアルデヒド」ノ配合ヲ絶對禁止セルニ拘ラス敍上ノ如ク「フォルムアルデヒド」ヲ含有スル物質即チ「カラメル」ノ如キモノノ使用ニ對シテハ何等制限ノ規定ヲ見サルハ實ニ甚シキ矛盾ト謂ハサルヘカラス是レ國民保健上決シテ忽諸ニ付スヘカラサルモノト認ム故ニ政府ハ現行ノ有害性著色料取締規則ニ適當ナル改正ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十四日大林森次郎君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(大林森次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此席カラ申上ゲマス——吾々ガ日常用キテ居リマスル所ノ飲食物ハ人工ニ著色シテ居ルモノガ多イノデアリマスガ、其著色料トシテ最モ廣ク且ツ盛ニ用キラレテ居ル所ノモノハ「タール」色素及「カラメル」デアリマス、「カラメル」ハ普通澱粉又ハ砂糖ヲ燻燒シテ製スルモノデアリマス、砂糖ノ中デモ黄「ザラ」ト申シマス物ヲ熱シマス、其熱度ガ百五十度ニ達スレバ、茲ニ最モ恐ルベキ有毒ナル「フォルムアルデヒド」ト云フモノガ出來ルノデアリマス、然ルニ「カラメル」ハ、百八十度乃至二百度ノ熱ヲ加ヘテ製シタモノデアリマスカラ、「カラメル」中ニハ「フォルムアルデヒド」ガ千分ノ一乃至三ヲ含ンデ居ル、而シテ此「フォルムアルデヒド」ナルモノハ、吾々ノ健康ニ向ヒマシテハ、非常ニ有毒ナモノデアリマス、ソレ故ニ飲食物取締規則ニ於テハ、絶對ニ之ヲ飲食物ニ加ヘルコトヲ禁止サレテ居ルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ飲食物ノ著色ヲスルニ「カラメル」ヲ用キテアル、其「カラメル」ノ中ニハ「フォルムアルデヒド」ヲ含ンデ居ルガ故ニ、嚴重ニ之ヲ取締ルト云フト、殆ド販賣サレテ居ル所ノ飲食物ニ於キマシテモ、禁止ヲシナケレバナラヌモノガ多イノデアリマス、ソレ故ニ此「カラメル」ノ使用ニ付テ制限ヲ加ヘテ貫ヒタイ、又「タール」色素ニ付キマシテモ、申上ゲタイ事ハ色々アリマスケレドモ、是レハ専門ニ屬スル事デアリマスカラ、詳細ハ委員會デ申述ベルコトニ致シマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ伊藤廣幾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案(一七)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一七)參看)

一三六 千代川改修速成ニ關スル建議案

鳥取縣下千代川ハ源ヲ同縣八頭郡智頭ニ發シ鳥取市ノ西南部ヲ北ニ流レ加露港ニ入ル大川ニシテ本川ハ頻年河水ノ氾濫甚シク土地家屋農作ノ被害多大ニシテ殊ニ去大正七年九月ノ大洪水ノ

如キハ市部ニ於テ數百萬圓郡部ニ於テ千數百萬圓ノ損害ヲ被ムルニ至レリ爲ニ農作意ノ如ク進
マス洪水不安ノ爲産工業ノ見ルヘキ計畫ヲ爲スモノナシ該川ハ治水調査會ニ於テ第二期治水計
畫中ニ編入セラレアルモ此ノ際政府ハ速急ノカ防備ノ改修工事施行ノ計ヲ立テラレムコトヲ望
ム

右建議ス

右ハ十一年三月十四日山本藤助君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山本
藤助君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上案サレマシタ此千代川ト申シマスノハ、鳥取縣下ノ西南部ヲ北ニ流レテ居リマス此邊デ
ノ可ナリ大キナ川デアリマス、此川ノ水源地ノ山林ガ濫伐サレマシテ、又一ニハ河床ガ高クナリ
マシテ、少シ降雨ガ重ナリマス、河水ガ氾濫致シマシテ、度々其附近ニ被害ヲ及ボスノデアリ
マス、殊ニ去ル大正七年九月ノ大洪水ノ如キハ、其當時新聞デモ御承知デアリマセウガ、非常ナ
慘狀ヲ來シマシテ、市内ニ於テモ數百萬圓ノ損害ガアッタデアリマス、又郡部ニ於テモ千數百
萬ノ損害ガアッタデアリマス、由來此山陰ハ産業モ工業モ振ハナイノデアリマス、其原因ハ海
ニ良港ガ無ク、又鐵道ノ敷設ガ非常ニ遅レタ爲デアリマスガ、併シ最モ主ナル原因ハ、此千代川
ノ河水ガ度々氾濫致シマシテ、洪水ガ起リマス爲ニ、其不安デ産業工業ヲ起スコトヲ見合セル次
第デアリマス、ソレ故此地方ニ産業工業ガ一モ見ルベキモノガ無イ次第デアリマス、政府ハ早ク
此施設ノ計畫ヲセラレマシテ、速ニ改修ノ實ヲ擧ゲラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、此案
ノ早ク成立スルト否トハ此地方ノ洵ニ死活問題デアリマスガ故ニ、是非皆様ノ御贊同ヲ得マシ

テ早ク成立ツコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ前田米藏君外九名提出多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案(六)外七件
委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議
長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六)參看)

一三七 國有林野法中改正ニ關スル建議案

國有林野法第十八條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改正セラレムコトヲ望ム

國有林野ニシテ保護上必要ナル場合又ハ町村若ハ其ノ一部ノ産業上必要ナル場合ニ於テハ町
村若ハ其ノ一部ニ保護ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ受託者ニ林野產物ヲ讓與シ又其ノ主產物賣拂代金ノ十分ノ三ヲ讓與
スルコトヲ得

右建議ス

右ハ十一年三月十四日八田宗吉君外二名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(八田

宗吉君ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

國有林野法中ニ委託林ト云フモノガ明示サレテ居ルニモ拘ラズ、本法發布以來二十年ヲ經過シテ居リマスガ、未ダ之ヲ實行サレテ居リマセヌ、依テ其實行ヲ確定スベク茲ニ改正ヲ試ミ、且ツ委託ヲ實行シタ際ニ、其產物ヲ讓與スル際ニ當ツテ、其實拂代金ノ十分ノ三ヲ其地方ニ讓與セシムルト云フコトガ、本案提出ノ主ナル理由デアリマス、詳シイ事ハ委員會ニ於テ申述ベマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ八田宗吉君外二名提出國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案(三五)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラサリキ

一三八 青年團經費補助ニ關スル建議案

地方青年團ノ健全ナル發達ヲ助長シ青年ノ修養ト其ノ品性ノ向上トヲ圖ルハ社會教育上極メテ必要ナルノミナラス戰後社會組織ノ上ニ大變動ヲ來シ思想惡化ノ傾向アル今日ニ於テ特ニ緊要ノ事項ナリト認ム政府ハ宜シク補助金支出ノ途ヲ開キ其ノ發達ヲ促進スルノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十四日樋口秀雄君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極メテ簡單ニ要旨ヲ申上ゲマス、近來地方青年團ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテ種々配慮セラレテ、漸次此青年團ノ發達ヲ見マスコトハ、吾々ノ大ニ喜ブ所デアリマスガ、之ヲ他國ノ例ニ比ベテ見マシテモ、只今ノ儘ヲ以テ致シマシテハ、青年團ノ發達ト云フコトニ十分デアルト云フコトハ信ゼラレナイノデアリマス、米國ナドニ於キマシテハ、青年團ヲ補習教育ト看做シマシテ、國家ガ其發達ノ爲ニ多大ノ經費ヲ投ジテ居リマス、又獨逸等ニ於キマシテハ、義務教育ノ延長ナリト云フ主張モアリマシテ、種々國家デモ補助致シテ居リマス、但シ私ガ爰ニ提出致シマシタノハ必シモ國庫ヨリ補助シテ戴キタイト云フ意味デハナイ、是ハ他國ノ例ニヨリマシテモ地方團體カラ主トシテ補助ヲ致シ更ニ國家ガ地方團體ニ獎勵費ヲ下付スルト云フ制度モアリマスシ、又非公式デハアリマスガ、内務當局ノ意嚮ヲ確メマシタ所、當局ニ於テモ既ニ其企ガアルト云フコトデアリマスカラ、本案ニ付キマシテハ、諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、如何ナル方法ナリトモ、國庫カラ補助ヲ致スナリ、或ハ地方費カラ、補助ヲサセテ、更ニ國家ガ之ヲ獎勵スルナリ、其方法ハ當局ニ一任致シマシテ、此青年團ノ發達ヲ圖ツテ、義務教育ノ年限ガ未ダ不十分ナル日本ニ於テ、特ニ必要ト認ムル青年團ノ教化施設ヲセラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、何卒全院ノ御協賛ヲ願ヒマス

次テ本案ハ安達謙藏君外九名提出市制中改正法律案(二二)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一三九 營業稅全廢ニ關スル建議案

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

現行營業稅ハ明治二十七八年戰役當時ニ於ケル戰時非常特別稅トシテ實施シタルモノニシテ當時時局ノ終了ト共ニ之ヲ廢止スヘキモノナルニ拘ラス今尙存續スルハ甚タ其ノ當ヲ得サルモノナリ從來全國各地ノ從業者ヨリ其ノ撤廢ヲ促スノ聲頻々タル亦宜ナリ而シテ業ニ二十五年ヲ經過シタル今日ニ於テハ施行當時ニ比シ社會上經濟上著シキ變遷ヲ來シ時世ニ適應セサル稅法ト謂フヘク且其ノ不備ノ點ハ(一)徵稅方法ノ不公平(二)稅率ノ苛重(三)商工業發達ノ阻遏等本法ノ惡弊擧テ數フヘカラス抑本法ノ徵稅主義ハ一種ノ行爲稅ニシテ商工業者ノ働其ノモノニ對シテノミ課稅ヲ爲スカ故ニ營業ノ損益如何ニ拘ラス所定ノ課稅ヲ爲ササルヘカラサル實狀ニシテ斯ノ如キ不當ナル稅法ハ世界文明國到ル處其ノ例ヲ見サルナリ依テ政府ハ速ニ之カ全廢ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十四日上田彌兵衛君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ本案ノ提出者ト致シマシテ、提案ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイト存ジマス、我國ノ商工業者ガ此營業稅ノ全廢ヲ熱望シテ居リマスコトハ、嘗ニ昨今ノ問題デハナイノデアリマス、過去十數年來、或ハ請願ニ或ハ陳情ニ、時ノ政府竝ニ議會ニ向ヒマシテ、其希望ヲ開陳シテ居ルノデアリマスガ、不幸ニシテ未ダ其聲明ガ徹底致シマセヌガ故ニ、今尙其目的ヲ達スルコトガ出來得マセヌノハ、私共ノ洵ニ遺憾ニ存ジテ居リマスル次第デゴザイマス、然ラバ何故カ商工業者ガ營業稅ノ廢止ヲ熱望致シマスカト申シマスルト、此營業稅法——現行ノ營業稅法ニハ、洵ニ多クノ缺陷ノ合理ナル點ガ多クアルノデゴザイマス、隨テ營業上ニ多大ノ困苦ト苦痛ヲ與ヘル次第デアリマシテ、延テハ我が商工業ノ發展ヲ阻害スルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、諸君、凡ソ租稅ノ原則ト致シマシテハ、國民負擔ノ上ニ合理的ニ平等デアラネバナラヌノデアリマス、又課稅ノ標準ト致シマシテハ、見易キモノデナケレバナラヌノデアリマス、而モ徵稅ノ上ニ於キマシテ、紛議ノ生ゼザルモノヲ最モ善良ナルモノトスルノデゴザイマス、然ルニ此營業稅ハ、是等ノ要點ニ對シマシテ、一モ合致セル所ガ無イノデゴザイマス、現行營業稅法ハ、外形標準ニ依ツテ課セラル、モノデアリマシテ、即チ賣上金額、資本金額、又ハ建物ノ賃借價格、從業員等ノ外形ノ標準デアリマスカラ、之ニ依ツテ査定サレマス以上ハ、其營業ノ種類ニ依リマシテ、又商品ノ種類ニ依リマシテハ、營業ノ種類ニ依リマシテ又商品ノ種類ニ依リマシテハ、營業者ノ負擔ノ上ニ極メテ大ナル不公平ガ生ジテ參ルノデゴザイマス、殊ニ例ヘテ申シマスルト、賣上金額ガ同一デアリマシテモ、甲乙丙丁ト其人ニ依リマシテ課稅セラル、額ガ違フノデアリマス、又現行法ハ、收益ノ有無多少ヲ法理上度外ニシテ居リマスガ故ニ、所謂勉強ヲ致シマシテ、薄利多賣主義ニ依ツテ多クノ賣上ヲ得、而シテ少キ利益ヲ取リマシタ者ガ、所謂暴利ニ依リマシテ、少ク賣上ゲテ多クノ利益ヲ取ツタ者ヨリモ、反比例ニ多クノ營業稅ヲ負擔シナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如キハ即チ商業道德ヲ破壞スルモノデアリマシテ、又商人ノ節制ヲ無節制ニ導ク虞ガアルノデアリマス、殊ニ外形標準デアリマスガ故ニ……此ハ案極テ商工業者ニ取リマシテ重要ナルモノデアリマス、ルカラ、暫ク御清聽ヲ願ヒマス、此現行ノ營業稅法ハ、損失ヲ致シマシタ者ニ對シテモ、矢張同率ノ課稅ヲサレマスルガ故ニ、其負擔ニ堪ヘズシテ廢業スル者ガアリ、又之ガ爲ニ破産ノ運命ニ遭遇シタ者モ少クナイノデアリマス、尙ホ課稅ノ稅率ガ過重デアリマスルガ故ニ、普通一般ノ場合ニ於キマシテモ、本稅ニ所得稅竝ニ附加稅ヲ加算致シマスルナラバ、到底營業上ノ收益ヲ以チマ

シテハ、負擔ヲ支辨スルコトが出来ナイノデアリマス、ソレ故ニ課税ノ上ニ於キマシテハ常ニ紛議ガ生ジマシテ、又虚偽リガ起リマシテ、營業者ト徵稅者ノ間ニハ一種ノ懸引ガ起リマシテ、常ニ混雜ヲ生ジテ居ルノデアリマス、斯ノ如キハ所謂商業道德ヲ破壞シ、且此虚偽リヲ申スト云フ事ハ、聽テハ思想ヲ惡化セシムルト云フ缺點ガアルノデゴザイマス、惟フニ此稅法ハ最初佛蘭西ニ起リマシテ、我國ガ之ヲ模倣シタモノデアリマス、今日デハ世界ノ何レニ於キマシテモ、營業稅法ヲ國稅トシテノ制度ハ有セラレテ居ラナイノデアリマス、此一事ニ於キマシテモ、廢止スベキガ至當デアラウト思フデアリマス、其他此稅ハ日清戰爭ノ後ニ於キマシテ、政費膨脹ノ爲ニ新設セラレタモノデアリマシテ、日露戰後ニ於キマシテハ非常特別稅トシテ十五割ノ増徴ヲセラレテ居ルノデアリマス、其際ニモ時ノ政府ハ戰後直ニ之ヲ廢スルト云フコトヲ聲明セラレテ居ルノデアリマス、其後軍備擴張ノ爲ニ、遂ニ恆久稅トシテ今日ニ至ツタノデアリマス、今ヤ軍縮ノ結果軍備ガ縮少サレルト云フコトデアリマシラバ、此歴史沿革カラ行キマシテモ、當然廢止サルベキモノト信ズルノデアリマス、私共ハ此營業稅ノ全廢ヲ主張ハシテ居リマス、之ガ爲ニ我商工業者ヲシテ、何等ノ負擔ヲモサセナイト云フ意味デハナイノデアリマス、若シ國民全體ト致シマシテ、合理的平等ナル課稅デアリマシラバ、商工業者モ亦之ヲ負擔スベキハ當然ノ事ト思ヒマス、此意味合ニ於キマシテ營業稅ノ廢止ヲ主張スル所以デアリマス、カラ、ドウカ皆様ニ於キマシテモ、慎重御審議ノ結果、本案ニ御賛成アラントヲ希望スル次第デアリマス

次テ本案ハ大岡育造君外二十九名提出軍備縮少ニ基因シテ生スヘキ失業労働者ノ善後ニ關スル建議案(二七)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一四〇 鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關スル建議案

鹿兒島縣大島郡大島名瀬港喜界島灣港德之島龜德港冲永良部島和泊港ノ築港計畫ニ對シ政府ハ速ニ之カ調査ヲ遂ケ國庫ヨリ相當補助ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

一四一 鹿兒島地方裁判所大島支部ノ事務取扱權限復活ニ關スル建議案

政府ハ速ニ鹿兒島地方裁判所大島支部ニ民事刑事ノ訴訟非訟事件ノ第一審裁判事務ヲ取扱ハシムル權限復活ノ計畫ヲ樹立シテ其ノ命令ヲ發セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十一年三月十四日禱苗代君之ヲ提出ス三月二十二日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ兩案ハ成田榮信君外五名提出三津濱港築港國庫補助ニ關スル建議案(七)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末孰レモ原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一四二 營業税法改正ニ關スル建議案

現行營業税法ハ過重ニ失シ且其ノ徵集方法宜シキヲ得サル爲商工業ノ發展ヲ阻害スルモノナルニ依リ政府ハ速ニ同法ノ改正ニ關スル法律案ヲ提出シ之カ實施ヲ期スヘシ
右建議ス

右ハ十一年三月十四日竹上藤次郎君外二十一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(竹上藤次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

時間ガ切迫シテ居リマスカラ、極ク大要ヲ簡略ニ申上ゲテ、諸君ノ御協賛ヲ得タイト思ヒマス、營業稅ノ惡稅タル事ハ、實業社會ノ輿論トナツテ居ルノデアリマスガ、唯實業者ハ何ノ爲ニ惡稅デアルカト云フコトハ、少シ不明瞭デアアルノデアリマス、私ガ之ヲ考ヘマスルト、一ツハ收益稅ニ非ザルガ爲ニ、擔稅能力無キ者モ亦之ヲ負擔センケレバナラヌカラ、惡稅ナリト唱フル、モウ一ツハ營業稅ハ其徵收方法ガ惡キガ爲ニ惡稅デアルト唱フル、是ヨリ先ニ織物稅ガ非常ニ惡稅ト唱ヘラレテ居ツタ時ガアルノデアリマス、併ナガラ之ヲバ稅務署直轄ニ徵收セズシテ、組合ヲシテ徵收セシメタ後ニ於キマシテ、交付金ヲ之ニ交付スル結果、織物稅ノ惡稅タルコトハ最早聲ヲ潛メテ、今日デハ善稅トナツテ居ルノデアリマスガ、營業稅モ矢張此徵收方法ヲ變ヘマスレバ、營業稅ハ善稅デアルト私ハ信ズルノデアリマス、大體此營業稅ノ歴史ヲ考ヘマスト、今モ上田君ガ少シ申サレタヤウニ、軍費ノ爲ニ營業稅ガ起リ、且増稅サレタノデアリマスガ故ニ、

軍備ノ縮少サレル今ノ場合ニ於テハ、全廢デナクシテ、吾々ハ輕減サレルガ本當デアルト思ヒマス、若シ軍備ノ全廢ヲサレル時ニハ、營業稅亦全廢サレテ可ナリト信ズルノデアリマス、而シテ私ハ十五億圓ノ豫算ニ僅カ、七千萬圓位ノ營業稅ノ廢稅ヲスルノハ何デモナイト云フ議論デアリマス、又軍縮ニ依ツテ三億圓以上ノ金ガ餘ルカラ、之ニ依ツテ營業稅ヲ全廢セヨト云フ實業社會ノ輿論デアリマス、併ナガラ是ハ政治ニ疎キ、財政ヲ知ラナイ所ノ實業者デアルカラ斯様ナ事ヲ言フノデアアル、十五億圓ノ豫算ハ、一千万圓ノ教育資金ヌラ出來ナイ所ノ緊縮シタル所ノ豫算デアアル、且又軍縮ニ依リマシテ——吾々ハ尙ホ調査中デアリマスガ、是モ約一億圓程シカ無イノデアリマスカラ、我黨ハ治水モヤラナケレバナラヌ、教育費ニモ之ヲ増サナケレバナラヌ、而シテ其殘リヲ營業稅ニ貫ツテ丁度宜イモノト思ツテ、私ハ全廢說ニ反對シテ、若シ國庫ニ餘裕ガ有リマスナラバ全廢ヲ希望シ、餘裕ノ無イ場合ニ於テハ輕減說ヲ私ハ主張スルノデアアル、殊ニ此院内カラ全廢說ノ如キモノヲ述ブルコトハ、甚ダ慎ンデ貫ヒタイト思フノデアリマス、何故ナラバ知ラナイ所ノ實業家ガ全廢說ヲ唱ヘテ居ルノニ、之ニ共鳴スレバ政府ガソレヲ行ハザル時ニ於テハ、其政府ハ惡イ政府トナル、サウデハナイ實際ニ吾々ハ御互ニ豫算ノ審議權ヲ持チ、豫算ヲ知ツテ居ルノデアアルカラ、茲ニ輕減說ニ止メテ置クノデアアル、全廢ニ共鳴スルコトハ所謂煽動政治家トナルノデアリマス、丁度大隈内閣ノ以前山本内閣ノ時ニ、憲政會ノ諸君ガ吾々同業者ヲ約二千人許リ東京ニ集メテ、而シテ我黨一度内閣ヲ組織スルトキハ、營業稅ハ全廢シテヤルト云フコトヲ明ニ言ハレタノデアアル、ソレカラ營業稅ト云フモノハ惡稅デアルト云フコトヲ吾々ハ初テ知ツテ、之ニ共鳴シタノデアアル、所ガ憲政會内閣ガ出來マスト、其事ヲバ吾々ガ申込ミマス、現ニ武富君ヤ尾崎君ト吾々ハ演說シテ巡ツタノデアアツテ、長ク一緒ニ運動シタノデアアル、サウシテ内閣ノ出來マシタ時ハドウデアリマスカ、サウ云フ事ハケロリト忘レタヤウナ顔ヲシテ出來ナイト言ハレタ、即チ憲政會ハ營業稅ニ對シテ二枚舌ヲ使ハレタノデアアル、遠キ將來ニ憲政會内閣ガ出來テ、營業稅全廢ヲ行ハレタナラバ兎モ角モ、又實行不可能ナトキニハ四枚舌トナリマスカラ、此私ノ改正案位ニ、罪滅シノ爲ニ御贊成ヲ願ヒタイノデアリマス

作間耕逸君ハ質疑ヲ爲シ竹上藤次郎君之ニ應答ス
作間耕逸君ノ質疑

本案ハ建議案デハアリマスケレドモ、政友會中ノ有力ナル竹上藤次郎君外二十一名ノ御提案デ
アリ、之ニ同黨ノ有力ナル議員數十名署名シテオキデアリマスカラ、私ハ本案ヲ以テ政友會ノ
營業稅改正案トシテ之ヲ謹聽スルノデアリマス、而シテ他ノ國民黨、並憲政會、並ニ庚申俱樂部
ノ意見ヨリ後レテ、後カラ出サレテ參ラレマシタケレドモ、併ナガラ兎ニ角時ハ遅レテ跡ヲ追駈
ケラレマシタトハ申セ此案ヲ出サレタト云フコトニ對シマシテハ、私ハ十分ノ敬意ヲ表シマス
ルガ、案其モノ、内容ニ付テ、只今提案者タル竹上君ハ大ニ氣焰ヲ吐カレマシタガ、其内容ノ疑
義ノ主ナルモノニ付キマシテ、一二御尋ヲ致シテ置キタイ點ガアルノデアリマス、詳細ノ點ハ無
論委員會ニ讓リマスガ、案ガ重要ノ案デアリ、疑問ガ又大キナ疑問デアリマスカラ、特ニ此席ニ
於テ御尋ヲ致ス、竹上君ノ建議案ヲ拜見致シマス、營業稅ハ過重ニ失シ、且ツ徵稅方法宜シキ
ヲ得ナイトアリマス、吾々モ無論同感デアリマス、過重ニ失スト云フコトガ即チ輕減ヲ圖ルト云
フ意味デアルト云フコトハ、今竹上君ガ仰セラレマシタ、併ナガラ私ノ伺ヒタイ所ハ、其ノ輕減
ヲ圖ラントセラル、金額ハ大體ニ於テ凡ソ幾許ナルヤ、而シテソレガ現在ノ稅額ノ凡ソ何割ニ
當ルヤト云フ、大體ノ御見當ガ伺ヒタイノデアアル、而シテ尙ホ其財源ハ軍縮ノ結果ニ依ル剩餘金
ヲ以テ之ニ充テルト云フコトデアリマスルガ、唯茲ニ大ニ惑ナキ能ハザルノハ、政友會ノ總裁ニ
シテ大藏大臣タル高橋是清氏ハ、現ニ今期議會ノ冒頭ニ於キマシテ、軍縮ノ結果相當ノ金ハ餘ル
カモ知レナイケレドモ、其使途ニ付テハ十分講究ヲシナケレバナラヌガ、先ヅ第一ニ義務教育費
ノ國庫負擔ノ増額ニ充テ、次デ事業費ニ充テ、考デアルト云フノデ、減稅等ノ事ハ一言モ言及サ
レテ居ナイノデアアルマス、又貴族院並ニ衆議院ノ豫算委員會ノ席上ニ於テモ、目下ノ所財源ノ關
係上減稅ノ意思ナシ、減稅ノ見込ナシト云フ趣旨ヲ明ニ聲明セラレテ居ルノデアリマスルガ、サ
ウ致シマスルト、諸君ノ屬シテ居ラレル所ノ政友會總裁ノ御意見ト而シテ諸君多數ノ御意見

トハ、其點ニ於テ明ニ撞著矛盾ヲ致シテ居ル次第デアリマス、吾々ハ願クハ高橋總裁相ノ聲明
ガ間違デアツテ、諸君提案ノ御意見ガ實現サレルコトヲ國民多數ノ爲ニ之ヲ期待シテ居ルノデア
リマスガ、抑、提案者ガ實現サセヤウト思召ニナツテ居リマス所ノ減稅ノ程度、並ニ財源ノ程度、
之ヲ申シ換ヘマスレバ、軍縮ノ結果、第一ニ義務教育費國庫負擔増額ヲ差引キ、第二ニ治水事業費
ヲ差引キマシテ、其餘リガ約ソ幾ラアルト思召シテ、而シテ其餘リヲ以テ幾何幾割ノ減稅ヲ行フ
ト云フ思召デアリマスカ、原案トモ見ラレベキ提出者竹上君ノ御意見ガ既ニ定テ居ルナラバ、此
點ヲ伺ヒタイノデアリマス、而シテマダソレハ定ラナイ、餘ッダ上ノ事デアアル、取ラヌ狸ノ皮算用
デアアル、今ハマダ方針見當モ定テ居ラナイノデアアル、何等モ旨ヲ減稅政府ノ調査ニ委スノデア
ルト云フコトデアアルナラバ、ソレデモ宜シイノデアリマスケレドモ、一應此機會ニ於テ其點ヲ伺
ヒタイノデアリマス

竹上藤次郎君ノ應答

只今ノ作間君ニ對スル答辯ハ委員會ニ於テ御答致シマス

次テ本案ハ大岡育造君外二十九名提出軍備縮少ニ基因シテ生スヘキ失業勞働者ノ善後ニ關スル建
議案(二七)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一四三 露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救濟ニ關スル建議案

政府ハ露國政變及西比利亞事變ノ際直接又ハ間接ニ損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對シ適當ノ方法
ヲ以テ救濟ヲ爲シ以テ我カ對露貿易ノ發展ニ資スルノ途ヲ講セラレンコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十五日佐々木平次郎君外七名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ本案賛成者(廣瀬鎮之君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此案ハ露國政變及西比利亞事變ノ爲、我ガ帝國臣民ノ被リタル損害ヲ此度救濟致シタイト云フ案デリマス、御承知ノ通り此度ノ事變政變ハ極テ廣ク、之ガ爲ニ被リマシタル損害モ亦極テ多額ニ屬スルノデアリマス、故ニ此儘ニ打棄テ置キマシテハ、我ガ對露貿易ノ上ニ於テ、又露國ニ對スル産業經濟ノ上ニ於テ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマス、故ニ此際一時ノ救濟ト致シマシテ、政府ハ或ハ低利資金ヲ以テ之ニ貸付ラスルカ、何カ適當ノ方法ヲ以テ是等ノ總テノ臣民ヲ救フト云フコトハ最モ必要デアルト感ズルノデアリマス、故ニ此案ヲ提出シタ次第デアリマスカラ、願クハ審議サレシコトヲ望ミマス

次テ本案ハ荒川五郎君外十一名提出義和團事件賠償金還付ニ關スル建議案(三四)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(一)ハ委員會修正)

露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救濟ニ關スル建議

政府ハ露國政變及西比利亞事變ノ際直接又ハ間接ニ損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對シ適當ノ方法

ヲ以テ救濟ヲ爲シ以テ我カ對露貿易ノ發展ニ資スルノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一四四 衛生行政機關ノ統一擴大ニ關スル建議案

帝國ノ衛生行政ハ主トシテ內務省ニ屬スト雖學校衛生工場衛生其ノ他調査研究ノ機關ハ其ノ分屬區々ニシテ其ノ間往々聯絡ヲ缺キ國民ノ衛生保健ニ障害ヲ及ホスコト少カラス故ニ政府ハ速ニ此等ノ機關ヲ統一擴大シ其ノ施設ノ刷新改善ヲ計リ國民ノ衛生保健ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一四五 藥品新製劑及滋養品等ノ取締ニ關スル建議案

藥品ノ精粗眞贋カ治病濟生ニ至大ノ關係ヲ有シ更ニ滋養品ノ良否カ國民ノ保健衛生ニ影響スルトコロ尠カラサルハ言フ俟タサルトコロナリ然ルニ近來新藥新製劑滋養品等ノ簇出殆ト應接ニ遑アラズ殊ニ誇大ナル廣告ト巧妙ナル宣傳ニ依リテ世人ヲ瞞著シ暴利ヲ貪ル者無シト云フヘカラス政府ハ宜シク學術的ニ之カ研究鑑定ヲ行ヒ其ノ成績ヲ公表シテ精粗眞贋及效力ノ確否優劣

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千百二十九

等ヲ指示セムコトヲ望ムニ依テ、同案ヲ議決スルニ付、其ノ決議ニ依リ、滋養品ノ製造、貯蔵、運送、及、其ノ品質ノ検査、等ニ關スル事項、ハ、衛生行政機關ノ統一擴大ニ關スル建議案ハ、四十
右建議スルニ依リ、大ニ、滋養品ノ製造、貯蔵、運送、及、其ノ品質ノ検査、等ニ關スル事項、ハ、衛生行政機關ノ統一擴大ニ關スル建議案ハ、四十
右兩案ハ、孰レモ十一年三月十五日山田永俊君外五名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提
出者(大林森次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

山田君ガ居リマセヌカラ本員ヨリ申上ゲマス、衛生行政機關ノ統一擴大ニ關スル建議案ハ、四十
四議會ニ提出致シマシテ、滿場ノ御賛成ニ依ッテ通過シテ居リマス案デアリマスカラ、説明ヲ略
シマシテ諸君ノ御賛成ヲ御願致シマス、次ニ藥品新製劑及滋養品等ノ取締ニ關スル建議案ニ付
テ簡單ニ提出ノ要旨ヲ申上ゲマスガ、近來新藥、新製劑、滋養品等ガ續々製出サレマスガ、殊ニ誇
大ナル廣告ヲシ、又巧妙ナル宣傳ニ依ッテ世人ヲ瞞著シテ暴利ヲ貪ル者ガアリマスガ、藥品ノ精
粗ハ直ニ治病濟生ノ上ニ關係ガアリマスルシ、又滋養品ノ良否ハ國民ノ保健衛生ニ重大ナル關
係ノアルモノデアリマスカラ、政府ハ此際ニ是等ノモノニ對シマシテ、學術的ニ研究鑑定ヲ行ハ
レ、其成績ヲ發表シテ、精粗、眞贋、及效力ノ確否、優劣等ヲ示サレンコトヲ望ムノデアリマス、是
ガ本案提出ノ理由デアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイ

一四六 家祿賞典祿給與未濟額給與ニ關スル建議案

次テ兩案ハ伊藤廣幾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案(一七)外五件委員ニ併セ付託スル
ニ決ス委員ハ審査ノ未孰レモ原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(一七)參看)

政府ハ速ニ明治三年九月十日藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者ニシテ明治九年太政官第百
八號布告及同年太政官第百五十二號布告ヲ施行スル迄ノ間ニ於テ其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與
ヲ受ケサル者若ハ相當額給與ニ不足アル者ニ對シ明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法及
明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ヲ準用シ祿高整理ノ爲發行スル公債證書
ヲ以テ之ヲ給與スヘキ法律案ヲ制定シ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス
右ハ十一年三月十五日萩亮君外五名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(萩亮君)ハ
左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

明治三年太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者ニ在リマシテハ、明治九年太政官第
百八號布告及同年太政官第百五十二號布告施行ノ際、其祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケザル
者、若クハ相當額ニ不足アル者ニ限リ、皆様御承知ノ通り政府ハ明治三十年法律第五十號、及明
治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行ニ依リマシテ、其祿高整理ノ爲ニ發行スル公
債證書ヲ以テ之ヲ給與スルコト、ナリマシタ、然ルニ茲ニ明治三年九月十日以後明治九年ノ布
告ノ間ニ於ケル同様ノ給與サレタル者、若クハ給與不足ノ者ニ對シマシテハ、此明治三十年ノ法
律第五十號ヲ適用スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレヲ政府ハ此明治三十年法律第五十號及
此施行法ヲ右期間ノ者ニモ準用セラル、ノ法律ヲ制定シテ議會ニ提出セラレンコトヲ希望シ
マス、是ガ本案ノ提出ノ理由デアリマス、滿場諸君ノ御賛成ヲ仰ギマス

次テ本案ハ長屋茂君外二名提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(三三)外十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一四七 硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案

政府ハ硫化染料製造業者ニ對シ其ノ製造ニ依ル硫化染料ヲ外國ニ輸出スルコトヲ獎勵スル爲左記各項ノ趣旨ニ基キ法律案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

一 輸出ニ係ル硫化染料ニ對シテハ獎勵金ヲ交付スルコト

二 輸出ニ係ル硫化染料ノ原料トシテ使用セル石炭酸ノ輸入關稅全部ヲ下戻スコト

右建議ス

右ハ十一年三月十五日金光庸夫君之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

硫化染料ノ製造事業ハ最近數年間ニ於キマシテ、非常ナル發達ヲ致シマシテ、内地ノ需要ヲ充

シ、尙ホ海外ニ輸出スルコト六百萬斤ノ多キニ達シ、益、販路ノ擴張ヲ見ントスル時ニ方リマシテ、獨逸ヤ米國ノ商品ガ支那市場ニ於テ我國ノ製品ヲ驅逐セントシテ非常ナル大競争中ニアリノデアリマス、サウシテ我が硫化染料者ハ非常ナル困憊ニ陥ッテ居ルノデアリマス、然ルニ此硫化染料ノ原料品ハ火藥ノ原料ノ硝石等モ含ンデ居リマス、火藥ノ爆發ヲ防グ所ノ安定藥タル「ヂフエニールアミン」ノ原料タル「アニリン油」及「アリニンサルト」等ヲモ使用スルノデアリマスカラ、此染料製造業ヲ存續セシムルトキハ、一朝有事ノ際ニ於テ軍需品トシテ之ヲ利用スルコトガ出來マスカラ軍備縮少ノ標語タル經濟的軍備ノ意義ニモ最モ適應スルノデアルト思ヒマス、隨テ硫化染料ノ輸出ニ對シテ獎勵法ヲ設クルト云フコトハ大ニ意義アルコトデアリマス、是レ本案ヲ提出シタル理由デアリマス

次テ本案ハ山邊常重君提出印紙稅法中改正法律案(三〇)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラサリキ

一四八 古社寺保存法改正ニ關スル建議案

政府ハ速ニ古社寺保存法第十二條ヲ改正シ保護金ノ増額ヲ爲シ特別保護建造物並國寶類保存ノ目的ヲ達スルコトニ努メラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十六日木下謙次郎君外五名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木下謙次郎君)ハ説明材料ヲ速記録ニ掲載ノ許可ヲ得テ趣旨辯明ヲ省略ス(參照ハ略ス)

次テ本案ハ高草美代藏君提出樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(五)外十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一四九 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ既成線タル奈良縣櫻井驛ヨリ三重縣松坂驛ニ連絡セシメムトスル線路ニシテ地方ノ資源ヲ開發シテ産業ヲ促進シ伊勢參宮者ノ便ヲ圖リテ國民敬神ノ實ヲ舉ケムトス其ノ産業上風教上ニ益スルコト極メテ大ナリ殊ニ此ノ線ハ我カ邦交通網ノ大幹線ノ一部ヲ爲スヘク國家的見地ヨリ之カ建設ハ一日モ忽ニスヘカラサルモノアリ當局ハ宜シク速ニ豫算ニ計上シ起工ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十六日大道寺慶男君外六名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(大道寺慶男君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極ク簡單デスカラ、此席カラ説明致シマス、本鐵道ハ既成線デアリマスル奈良ノ櫻井驛カラ伊賀ノ南部ヲ通過致シマシテ、三重縣松坂驛ニ連絡スル線路デアリマス、此速成建議案ハ前年來既ニ二回本院ヲ通過シテ居ルモノデアリマスカラ、理由ノ詳細ハ説明ヲ省略致シマス、兎ニ角我カ鐵道網中第一ニ著手スヘキ必要ノ線路デアルト思ヒマスカラ、ドウカ滿場一致御賛成アラントコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一五〇 四日市關ケ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案

本鐵道ハ關西線四日市驛ヨリ東海道線關ケ原驛ヲ經由シテ北陸線木ノ本驛ニ達スル線路ニシテ本州中部ニ於ケル太平洋ト日本海トヲ聯絡接續スル最短距離ノ橫斷線ニシテ三重岐阜滋賀ノ三

縣ニ渉ル沿道ノ富源ヲ開發シ國家産業政策上ニ資スルコト多大ナルノミナラス四日市港ト敦賀港ノ接觸ヲ保チ延テ浦鹽方面元山方面トノ交通ヲ盛ニシ更ニ軍事國防上一日ヲ緩フスヘカラサル重要ノ幹線ナリトス政府ハ速ニ豫算ヲ定メ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十六日天春文衛君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(伊坂秀五郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

天春君ガ缺席デアリマスカラ、代ッテ本案提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ三重縣ノ四日市ヨリ滋賀縣ノ木ノ本ニ達スル鐵道敷設ニ關スル速成ノ建議案デアリマス、本案ハ豫テ本會ニ於テモ通過ヲ致シテ居リマスル關係モアリマスカラ、何卒先例ニ從ッテ滿場ノ諸君ノ御賛成アラントトヲ望ミマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一五一 東京神戸間高速度交通機關設備ニ關スル建議案

東京神戸間ノ鐵道ハ今日既ニ輸送力ノ餘裕無ク往々乗客ノ滿員貨物ノ澁滯ヲ告ケツツアリ若現狀ニ放任セムカ國運ノ進展ニ伴ヒ日ニ交通ノ頻繁ヲ加フルニ從ヒ遠カラス其ノ運輸ニ支障ヲ來スハ明ナルトコロナルノミナラス全國ニ於ケル鐵道ノ延長竝増設ハ勢ヒ鐵道線路ノ中樞タル本線ニ乗客貨物集中スヘキヲ以テ其ノ輸送力ノ缺乏ハ遂ニ全國鐵道ニ一大障害ヲ招クヘキハ疑ヲ容レサルトコロナリ故ニ政府ハ速ニ電氣動力ニ據ル高速度交通機關ノ設備ヲ爲シ從來ノ幹線ニ對スル補助機關トシテ遠距離乗客ヲ運ヒ以テ一般乗客及貨物輸送ノ圓滑ヲ計ルコト最急務ナリト認ム

右建議ス

右八十一年三月十六日櫻内幸雄君外三名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(櫻内幸雄君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ極テ簡單デアリマスカラ、當席カラ御許シヲ願ヒマス、提案ノ趣旨ハ御手許ニ廻シテアリマス建議案ノ案文ニ詳カデアリマスカラ、詳細ノ説明ハ委員會ニ讓リマシテ、皆様ノ御賛成ヲ仰ギタイト思フノデアリマス

次テ本案ハ植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案(一八)外二十七件委員ニ

併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

生絲ノ検査ヲ統一シ且正量取引ヲ實行シテ其ノ貿易ノ發展ヲ圖ル爲生絲検査所ヲ擴張セラレム

コトヲ望ム

右建議ス

右八十一年三月十七日武藤金吉君外一名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(武藤金吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

當席ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒタイ、横濱市場ニ於ケル生絲取引ヲ、世界共通ノ正量取引ニ改メルニ付テ、現在ノ検査所ニ於キマシテハ狹隘デアリ、且ツ總テノ機關ガ足りマセヌカラ、之ヲ擴張シタイト云フ希望ノ建議デアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマスハ河卒御賛成ヲ仰ギマス

次テ本案ハ土井權大君提出農業組合法案(三七)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末

原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

政府ハ速ニ案ヲ具シテ宗敎法制定ノ調査機關ヲ設置スヘシ

右建議ス

右八十一年三月十八日高見之通君外九名之ヲ提出ス三月二十二日本案ヲ院議ニ付シ提出者(高見之通君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

當席ヨリ辯明スル事ヲ御許シテ願ヒマス、此建議案ハ非常ニ重大デアリマスケレドモ、之ニ關スル參考資料トシテ提出致シマスルモノハ、特ニ議長ノ許可ヲ得テ速記録ニ載セルコトヲ御許シテ願ヒマス、而シテ案ノ意味ハ、宗敎法ヲ制定スル爲ニ調査機關ヲ設置シテ戴キタイト云フノガ目的デアリマス、今日此宗敎ニ關スル色々ノ規則ガアリマスルケレドモ、非常ニ不完備デアアル爲ニ、權利義務ノ關係ハ如何ニモ不安定ノ状態ニナッテ居ルノデアリマスカラ、速ニ適當ノ案ヲ立テ、此宗敎法ト云フモノヲ作ッテ貫ヒタイ、然ルニ今日宗敎ハ色々ノ種類ガゴザイマスルカラシテ、此法案ヲ作ルニ付テハ、一朝一夕ニハイカヌト思ヒマスルカラ、特ニ調査機關ヲ設ケテ之ヲ促進スルヤウナ途ヲ開カレンコトヲ希望スル爲ニ此案ヲ出シタノデゴザイマスカラ、滿場ノ諸君ノ御賛成アラントコトヲ望ミマス

次テ本案ハ高草美代藏君提出檀原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(五)外十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一五四 曆法改正ニ關スル建議案

曆ハ人生ノ尺度タル年月行路ノ標目ニシテ忽ニスヘカラサルモノナリ殊ニ我カ國ニ於テハ皇道教化ノ規定タラサルヘカラス故ニ現行ノ羅馬曆ヲ改メ以テ皇國曆ノ實行ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月十八日早川龍介君之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

是ハ簡單ニ理由書ニゴザイマスルガ、詳シク申述バマスルト殆ド一時間餘モ掛リマセウト存ジマス、玆ニ記載致シテ居リマスモノヲ御承認ヲ得マシテ、之ヲ速記ニ掲載ヲ致シマスルコトニ致シタイ、ソレデドウゾ御賛同アラムコトヲ願ヒマス

(參照ハ略ス)

次テ本案ハ福井甚三君外四名提出奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(二一)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一五五 毛織物ノ廉價供給ニ關スル建議案

洋服ハ漸次國民ノ常用ト爲リ毛織物ノ需要年々激増スト雖其ノ價格甚タ不廉ナル爲需要者ヲシテ殆ト苦痛ニ堪ヘサラシムルモノアリ政府ハ製造業者ノ保護ニノミ偏セス須ラク原料供給ノ便宜ヲ計リ或ハ關係物貨ノ關稅ヲ減免スル等之カ價格ノ低下ニ努メ國民大多數ノ利益ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月二十二日多木久米次郎君外二名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ土井權大君提出農業組合法案(三七)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

一五六 行政整理ニ關スル建議案

行政各部ノ制度及其ノ機關ヲ整備統一改善シテ其ノ運用ヲ敏活ニシ依テ以テ政務ノ能率ヲ增進シ政策ノ徹底ヲ贏得シ併テ政費ノ緊縮ヲ計ルハ刻下ノ急務ナリ政府ハ須ラク速ニ案ヲ立テ之ヲ斷行スヘシ

右建議ス

右ハ十一年三月二十二日岡崎邦輔君外二十六名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山本悌二郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

行政整理ニ關スル建議案ノ說明ヲ致シマス、此建議案提出ノ理由ハ、建議案ニ附帶セル所ノ理由書ニ依ツテ、大體明カデアラウト存ジマスルガ故ニ、私ハ極テ簡單ニ之ヲ敷衍シテ申上ゲルコトニシタイト思ヒマス、行政整理ハ歴代ノ内閣ニ於テ幾度カ企テラレタノデアリマス、而シテ幾度カ又實行サレタノデアリマス、併ナガラ其多クハ、單ニ一時ノ經費ヲ節約緊縮スルト云フ目的ニ止ッタノデアリマスノミナラズ、其節約緊縮ナルモノモ、唯ダ總經費ノ上ヨリシテ其一割ヲ減ズル、乃至ハ其二割ヲ減ズル所謂天引ト云フヤウナ方法ニ依ッタ場合ガ甚ダ多イノデアリマス、行政ノ制度組織ノ根幹ニ遡ツテ此行政ノ整理ヲシ、其結果トシテ經費ノ節約ヲ來スト云フ徹底的ノ行政整理ト云フモノハ、未ダ行ハレテ居ラナカッタノデアリマス、而シテ今日現在ノ事情如何ト顧ミマスレバ、當ニ斯ノ如キ意味ニ於ケル所ノ、徹底的ノ行政整理ヲ爲スベキ時機ニ到達致シ

テ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、例ヘバ制度ノ上ニ於キ、機關ノ上ニ於テモ、統一ヲ缺イテ居ル事柄ハ一ニシテ足リマセヌ、極テ卑近ナ數例ヲ申セバ、貿易及海外ノ企業ニ關スル事柄ニ付テハ、農商務省、外務省、大藏省、悉クガ之ニ關係ヲシテ居ル、之ヲ管掌シテ居リマスルガ故ニ、此海外事業若クハ海外貿易ノ當事者ト云フモノハ、何レノ省ニ附クノガ適當ナルカ、殆下之ニ迷フト云フ状態デアアル、又馬政ノ如キハ陸軍ニ馬政局ト云フモノガアツテ、主トシテ馬政ノ事ヲ掌ラレルカト思ヘバ、又農商務省ニハ畜産ニ關スル所ノ掛ガアル、労働問題ニ付テハ農商務省モ關係シ、乃至ハ内務省モ之ニ關係シテ居ル、更ニ又教育方面カラノ一例ヲ申シマスレバ、陸軍ノ方デハ陸軍ニ特殊ノ學校ヲ持ッテ居ルカト思ヘバ之ニ類似シタルモノハ、矢張同ジク文部省所管ノ學校中ニモアル、航空事業ノ如キハ、之ニ付テハ既ニ建議案モ出テ居リマスケレドモ、海軍ニ航空ニ關スル掛ガアル、陸軍ニモ同ジク之ニ類シタモノガアルノデアアル、サウカト思ヘバ又文部省ノ下ニ、即チ大學ニ之ニ關スルノ研究所ガ設ケラレテ居ルト云フヤウナコトデ、一ツノ航空事業ト云フコトニ對シ勢院マデガ之ニ矢張關聯シテ持ッテ居ルト云フヤウナコトデ、一ツノ航空事業ト云フコトニ對シテ、四ツノ省ガ各自之ニ關係シテ居ルト云フヤウナコトニナツテ居ル、斯様ナ事ハ當然何レニカ統一スベキモノデハナイカ、斯様ニ本員ノ如キハ考ヘルノデアアル、サウカト思フト又更ニ分割ヲ要スル所ノ事柄デアアル、ソレハ此議會ニ於テモ既ニ議員ノ諸君ノ方面カラモ唱道サレタ問題デアリマスケレドモ、今日農商務省ト云フ此農業、商業、工業ヲ兼ネタル所ノ一國務省ニ於テハ、其仕事ノ分量ガ餘リニ多過ギテ居ルト云フコトノ實情デアアル、商工ノ事柄ハ非常ニ其量ニ於テ増加シテ居ルニ拘ラズ、一方農業方面ニ於テハ小作問題、是等ノ農業労働問題、農業小作問題、食糧ノ問題、食糧増殖ノ問題、是等ハ當然非常ナル努力ヲ以テ、之ヲ完成シナケレバナラヌ事業ガ横ハツテ居ルノデアアル、更ニ又労働問題ニ付テハ只今申上ゲル通り、各省ニ引張風ニナツテ居ルヤウナ今日ノ状態デハ、此重大ナル所ノ労働問題ト云フモノヲ解釋スルト云フコトニハ、甚ダ物足りナイノデアアル、労働立法、労働行政、前途労働ノ問題ニ付テ爲スベキ事ハ實ニ山ノ如ク横ハツテ居ルノデアアル、是等ハ内務省農商務省ノ一部分ノ片手間ノ仕事トシテ解決スベキモノデハナイノ

デアツテ、寧ろ別ニ勞働ニ關スル獨立專門ノ省ナリ院ナリト云フモノヲ設ケテ、此所ニ於テ此重大ナル問題ヲ研究モシ、實行モシテ行クト云フコトニ相成ラナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアル、又拓殖務省或ハ拓殖院ト云フヤウナモノヲ、茲ニ新設シナケレバナラヌデハナイカト云フ聲モ此頃高クナツテ居ル、是モ強チ初ヨリ否認スベキ問題デハナイノデアツテ、大ニ此行政整理ノ場合ニ於テ考慮スベキ問題デアルト思ヒマス、前年拓殖務省ト云フモノガ設立サレテ、是ガ幾許モナラズシテ廢省ニナタト云フコトヲ理由ト致シマシテ拓殖務省ナド、云フモノヲ此際新ニ設ケルト云フコトハ、必要ガ無イト唱ヘル向モアルヤウデアリマスケレドモ、私共ハ左様ニ考ヘテ居ナイノデアアル、朝鮮、臺灣、關東州ノ租借地、是等ノ經營開發ニ於テ、果シテ成功スルヤ否ヤト云フコトハ、我が此物資ニ乏シイ、人口非常ニ稠密ナル所ノ我が日本帝國ニ取ツテハ、實ニ重大ナル問題デアルト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ此新領土及本土ヲ打ツテ一團トシテ、此合一セラル所ノ帝國ノ基礎ノ上ニ、領土政策ト云フモノヲ立テ、行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ガ今日ハ或ハ大藏省ノ所管ニナツテ居ッテ見タリ、或ハ内閣ノ直屬ニナツテ居ッテ見タリ個々分立シテ、其政策モ統一ヲ缺クト云フコトニナツテ居ルガ故ニ、是ハ矢張時代ノ進運ニ適應シテ、適當ナル獨立ノ機關ヲ設ケル必要ガアリハセヌカト考ヘルノデアリマス、更ニ各省ニ互ツテ見渡シテ見マスト、同一ノ仕事ヲ各省ニ於テ銘々各、其係ヲ設ケ、其機關ヲ設ケテ、之ヲ行ウテ居ルト云フコトガ非常ニ多イノデアリマス、例ヘバ品物、即チ官廳ニ——國家ニ要スル所ノ此品物ヲ購入スル場合ニ於テモ、同一ノ品物ヲ各省ニ於テ各、勝手ナ方法ニ依ツテ勝手ナ價格ニ依ツテ購入シテ居ルト云フ有様デアアル、我が國費ノ大部分——十五億ノ國費ノ大部分ハ、實ハ此物件費デアルト云フコトハ諸君御案内ノ通りデアアル、即チ政府ナルモノノ國家ナルモノハ、消費者ノ中ノ最モ大ナル消費者デアアルノデアアル、此個々分立シテ同ジ購買同ジ買入ヲシテ居ルト云フコトヲ、何等カノ形ニ於テ統一シタナラバ、是ニ於テ節約スルコトハ甚ダ大ナルモノデハナイカト信ズルノデアリマス、又小サイ事デアアリマスケレドモ、拂下品ニシマシテモ、或ハ備品等ニ致シマシテモ、一ツノ廳ニ於テハ品物有餘ツテ拂下ヲシテ居ル、其同一ノ品物ガ他ノ省ニ於テハ缺乏シテ居

ルガ故ニ、新ニ之ヲ新調シ若クハ購入シナケレバナラヌト云フヤウナコトモシテ居ルノデアアル、斯様ナ事モ一ツノ機關ニ纏メマシタナラバ、恐ラク有無相通ズル方法ヲ發見スルコトガ出來ハシナイカト思フノデアリマス……其他營繕ノ仕事等ニ於テモ、又土木ノ仕事等ニ於テモ其通りデアアル、各省ガ銘々ニ入用ナ物ヲ自分ノ手ニ於テ建造シ、自分ノ手ニ於テ土木營繕ト云フモノヲ實行シテ居ルノデアリマス、是モ同ジク一ノ手ニ纏メタナラバ、ドノ位ナ節約ガ出來ヤウカ、實ニ其額ハ決シテ少イモノデハナイト私ハ信ズルノデアリマス、又補助金等ニ於テモ同ジク其通りデアアル、之ガ各省ノ間ニ於テ同一ノ補助金ヲ與ヘラレタモノモ、往々ニシテ發見致シテ居ルノデアリマス、一省ノ中ニ於テモ亦各件々ニ依ツテ補助ヲスル、其金額性質甚ダ統一ヲ缺イテ居ルモノガアルコトヲ私ハ發見致シマス、斯様ナ事柄ハ何レカニ一纏メニシテ之ヲ行フコトハ、極メテ良好ナル結果ヲ齎スト云フコトハ、何人ニモ明カデアラウト思フ、現ニ米國等ニ於テハ、之ヲ既ニ行ツテ居ル實例ガアルノデアアル、此各省ノ同一ナル仕事ハ、之ヲ一ツノ官廳ニ纏メテ其手デ之ヲ統一シ整理シテ、成ベク豫算實行ノ上ニ節約ヲ圖ルト云フ制度ハ、是ハ即チ米國ニ於テ實行致シテ居リマスガ、最新ノ報告ニ依ツテ見マス、即チ二月三日ノ大統領ノ「アドレス」ニ依ツテ見マスレバ、過去僅ニ四箇月ノ豫算實行ニ於テ、千四百萬弗ノ經費ヲ此方法ニ依ツテ節約シ得タト云フコトヲ報告シテ居ルノデアリマス、斯様ナ實例モ既ニアルノデアリマスカラシテ、其通りニ出來ルカ否ヤハ是ハヤツテ見ナケレバ分リマセヌケレドモ、少クトモ斯ノ如キ趣意ニ依ツテ行政上ノ統一ヲ圖ツテ、同時ニ經費ノ緊縮節約ヲ圖ルト云フコトハ必要デアアルノミナラズ、必ズ相當ノ目的ヲ達セラレ得ベキモノト私ハ信ズルノデアアル、斯様ニ根本ヨリ其制度機關ヨリ改正ヲシテ行ツタ行政整理デアアルナラバ、是ガ即チ眞ノ行政整理デアツテ、之ニ依ツテ政策ノ徹底ヲ期スルコトモ出來マセウ、之ニ依ツテ政務ノ能率ヲ増進スルコトモ出來マセウ、之ニ依ツテ經費ノ節約ヲ圖ルコトモ出來マセウ、即チ此根本的ノ行政整理ニ依ツテ得ル所ノモノハ、洵ニ國家ノ政策ノ上ニ於テ重大ナル效果ヲ齎スモノト信ズルノデアリマス、現内閣ハ高橋總理大臣ガ大命ヲ拜シテ以來日尙ホ淺イノデアリマス、恐クハ是カラシテ著々其經綸ニ著手スルコト、考ヘルノデアリ

マスガ故ニ、此經綸ノ一ツトシテ斯ノ如キ根本的徹底的ノ行政整理ヲ爲スト云フコトハ、恐クハ政府ニ於テモ異存ノナイ所デアアルノミナラズ、喜ンデ之ヲ其政綱ノ一ツトシテ、實行スルデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ此建議ニ基イテ、政府ハ速ニ此徹底的ナル行政整理ヲ斷行スベシト云フノガ、即チ此建議案ノ趣旨デアアルノデアリマス、願クハ滿場一致ヲ以テ御協賛アラントトヲ希望致シマス

次テ本案ハ議長指名(十八名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌二十五日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日本案ハ他ノ議案ト共ニ日程ノ順序ヲ變更シテ順次院議ニ付スルニ決シ砂田重政君外二名提出小學校教員俸給國庫負擔額増加ニ關スル建議案(一)外三案ノ議事中再ヒ岩崎勳君提出ノ議事進行ニ關スル動議即チ一時其ノ議事ヲ中止シ或日程ハ之ヲ除キ其ノ他ノ日程ハ全部委員會決定ノ通可決確定スヘシトノ動議ヲ可決シタル結果本案ハ委員長ノ報告ヲ省略シテ可決確定シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五七 恩給年限ノ加算ニ關スル建議案

現行官吏恩給法ハ官吏任命ノ日ヨリ起算シ在職十五年以上ニシテ恩給ヲ受クルノ資格ヲ生スル

モ任命以前ニ於ケル雇員在職年數ハ一日モ加算スルコトナシ而シテ現ニ諸官廳ノ判任官中ニハ事務練熟者ノ登用及定員ノ關係上ヨリ數年若ハ十數年以上雇員トシテノ在職者ヨリ登用任命セラレタル者甚タ多ク此等ノ官吏ハ五十歳以上ニシテ尙且恩給年限ニ達セサル者多シ斯ノ如キハ官吏ニ準シ刑法上ノ制裁ヲ受ケ官吏服務規律ニ從フヘキ雇員ニ對シテ甚タ不當ナリト認ム依テ政府ハ速ニ官吏ノ恩給年限通算ニ際シ雇員在職年數ノ一部ヲ加算シ得ルノ規定ヲ設ケラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十一年三月二十二日加藤紋右衛門君外二名之ヲ提出ス三月二十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(加藤紋右衛門君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ當席ヨリ恩給年限ノ加算ニ關スル建議案發言ノ御許シヲ願ヒマス、只今上程サレマシタ建議案ハ、第四十三議會ニ於テ本會議ヲ通過シタ建議案デアリマス、内容ノ大略ハ理由書ニアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマス、願クハ全會一致御贊成アラントトヲ希望致シマス

次テ本案ハ永屋茂君外二名提出巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(三三)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

第六項 決議案

一 決議案

政府當局ハ華盛頓會議ノ經過ニ就テ國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分ナルモノト認ム
右決議ス

右ハ十年十二月二十七日中野正剛君之ヲ提出ス二月十八日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

「政府當局ハ華盛頓會議ノ經過ニ就テ國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分ナルモノト認ム」ト云フノガ本決議案デアリマスガ、政府ハ速ニ我國ガ如何ナル國際的地位ニ置カレタルカヲ明白ニシ、此新時代ニ適應スベク、國民ト共ニ拮据經營ノ決意ヲ定メヨト云フノガ本案ヲ提出スル根本理由デアリマス、今簡單ニ此根本理由ヲ説明致シマス、凡ソ國家トシテノ不幸ハ、其國民ガ自ラ所屬スル國家ノ地位ヲ諒解セザルヨリ甚シキモノハアリマセヌ、政府當局者ハ須ラク國民ニ向ッテ國家ノ現存スル地位ヲ解セシメ、此正當ナル諒解ノ上ニ立テテ、正當ナル努力ニ出デシムルコトガ最も必要デアルト思フデアリマス、我國ハ巴里講和會議ニ於テ、其意味ノ明白ニ徹底セシムルコトガ出來ズ、サウシテ華盛頓會議ニ臨ンダ、華盛頓會議ノ結末ハ、幾多忌ムベキ悲ムベキ事デアル、多クノ效果ヲ齎シタル半面ニ、多クノ悲ムベキ事實ガアル、曩ニ巴里講和會議ノ意義ヲ自ラ

明白ニセズ、國民ニ明白ナル諒解ヲ求メズシテ、華盛頓會議ニ臨ンダル政府當局者ハ、今日其意義ヲ國民ニ徹底セシメザルニ於テハ、來ルベキ國際政局ニ於テ、更ニ「悲ムベキ地位ニ陥ル」デアラウト云フコトヲ、本員ハ衷心ヨリ憂慮ニ堪ヘナイノデアアル、英吉利ノ「ロイドジョージ」ガ大戰ノ最初英吉利ガ幾多ノ不覺ヲ取リタル時ニ、吾々ハ世界ノ那邊ニ置カレタルカ、明ニ事實ヲ直視スルコトガ、即チ正當ナル努力ニ出ヅル第一歩ナリト稱シ、政府當局者ノ一員デアリナガラ、國民ノ前ニ英吉利ノ失態ヲ暴露シ、努力ヲ求メタルコトガ、英國ヲシテ此大戰ノ「チャンピオン」タラシメタル所以デアルト信ズル、高橋總理大臣モ此處ニ述ベラレマシタヤウニ、國ノ進ミガケニハ樂デアアルガ、退却際ハ色々困難デアルト言ハレタ、日本ハ外交的地位、經濟、産業、貿易ノ大勢カラ見マシテモ、此國ハ明ニ難局ニ置カレテ居ル、或意味ニ於テ退潮ニ引立テラレテ居ル、此際ニ於テ國民ヲ緊縮セシメ、國民ヲシテ其居ル所ノ地位ヲ理解セシメ、努力ニ出ヅルコトガ、最も急務デアアル、徒ニ自國ノ地位ヲ誇揚シ、其誇揚シタル地位ヲ以テ自己内閣ノ成功ナルガ如クニ吹聴シ、弛緩セル人心ヲシテ益々緊張ヲ缺カシムルガ如キハ、邦家ノ爲ニ取ラザル所ト私ハ信ジマス、想フニ巴里講和會議ヨリ華盛頓會議ヲ經テ、幾多我國ノ前ニ困難ナル問題ガ提供セラレテ居ルガ、其事實ガ明白ニナッテ居ナイ、外務當局者ハ此頃書類ヲ頻ニ發表シテ、華盛頓會議ヲ文書的に公開セラレテ居リマスルガ、其根本ノ意味ガ、少シモ國民ニ明白ニナッテ居ナイ、吾々ハ諸君ト共ニ、此議場ニ於テ當局者ノ外交上ノ意見ヲ承リマシタガ、諸君ノ中ノ如何ナル人ト雖モ、アノ形式一片ノ報告ヲ以テ御満足ハ爲サルマイ、國民ニ代ッテ眞意義ヲ諒解セシメント欲セバ、モウ少シ政府當局者ヲシテ振假名拔キノ、玄人ニ分カル、而シテ徹底シ易キ意味ヲ發表セシムルト云フヤウナ御希望ガ無イ筈ハナイノデアアル、然ルニ此意味ガ何故明白ニナラヌカト言ヘバ、第一政府當局者ハ國家ノ地位ハ困難デアアル、外交ハ至難デアアル、我日本ノ前途ハ安クナイト言ヘバ、直グ自分ノ失敗カノ如クニ了解サレヤウト云フ怖ヲ懷イテ居ラレル、ソコデ時局ヲ明白ニスルト、國ノ困難ナル所以ガ分カリ、之ニ關聯シテ自己ノ失敗ガ出テ來ル、ソレガ厭ヤナノデアアル、即チ内閣諸公ハ、國家ヲ重シトシナイコトハアリマスマイガ、更ニ一身ノ地位ヲ重シトスル感情ニ支配

セラレテ、端的ニ國民ノ前ニ事實ヲサラケ出ス勇氣ヲ持ッテ居ラレナイ、モウ一ツハ、私ハ、今日ノ官僚外交家、政治家、舊式ノ頭腦ヲ有スル人ニハ、世界ノ形勢ガ分ラナイト思フ、形ノ上ノ形勢ハ分ッテ居リマセウガ、其形勢ヲ造ル世界ノ人心ノ波ノ打チ加減ガ分ッテ居ナイト思フ、更ニ其人心ヲ造ル世界ノ經濟狀態、世界人類ノ生活ノ實情ニ徹底シテ居ラレナイト思フ、私ハ前者デアラナラバ、明白ニ不徳デアアル、知リナガラ國民ノ前ニ發表シナイノハ不徳デアアルト思フ、知ッテ之ヲ……知リテ之ヲ明白ニシナイノハ不徳デアアルガ、形勢ヲ理解シナイコトモ亦不徳デアアル、今日ノ倫理觀念ニ於テ、極メテ無智ナルコトハ、極メテ不徳ナルコト、一致スル、況ヤ先日外務大臣ガ此壇上デ本員ノ質疑ニ對スル答辯ノ如キハ、最モ奇々怪々デアリマス、私ハ此新形勢ニ對シテ、總理大臣ト共ニ經濟的ニ解説ヲ下シ、明白ニ御説明ヲ願ヒタイト、斯ウ云ヘバ、新シク出來タ四國協約其他ニ向ッテ疑義ヲ挾ミ、他國ノ動機ヲ疑ウ、言葉ハ古イ、世界ハ國際協力ノ時代デアッテ、ソレナ競争時代デハナイ、アナタハ「インペリアルイズム」ノ思想ヲ持ッテ居ルノダト、私ハ其答辯ヲ聞イテ實ニ驚イタ、左様ニ簡單ニ、世界ノ問題ガ、昔ハ國際競争デアッタガ、今日ハ國際協力ガ人間ノ心ガ、サウ十年二十年ニハ一變シナイ、國際協力モアレバ國際競争モアル、競争シナガラ協力スル、協力シナガラ競争スルノガ今日ノ實狀デアアル、又強テ列國ノ侵略主義トカ、軍國主義ト云フモノガ無イニシテモ、列國共ニ産業立國主義ヲ捨テナイ、國民黨ヨリ軍備縮少案ガ出テ居リマスガ、同ジ國民黨ハ同時ニ産業立國主義デアアル、産業國ヲ立テヨト言ヒ國ヲ廢セヨトハ言ハナイ、乃チ産業立國主義ガ存スル以上ハ、原料問題トナリ、市場問題トナリ、世界列國ノ間ニ競争ノ起ルコトハ、必然ノ結果デアアル、即チ競争ヲ緩和シ、協力シナガラ世界ノ大勢ニ後レナイダケノ實力ヲ養ハナケレバナラヌ、其實力ヲ涵養スベク、今日ノ外交ガ果シテ我國ニ十分ノ餘地ヲ與ヘタカドウカト云フノガ私ノ質問デアッタ、其意味スラ御了解ニナラナイ、昔ハ國際的競争ヲシタガ是カラ後ハ協力デアアルト、私ハ國民生活ノ苦痛ヲ自ラ嘗メナイ所ノ官僚者流ノ言トシテ、多ク之ヲ恠マナイガ、私ハ其簡單ナル議論ニ驚カザルヲ得ヌ、丁度帝國主義ノ種積流義ノ憲法デガチ、ニ固メラレタ無智ノ學生ガ、少シ風ノ吹キ廻ハシデ「ウキルソ」ノ十四箇條ニ有頂天

ニナッテ嘆美スル、一轉シテ「マルクス」ニナリ、再轉シテ「クロボトキン」ニナル、ソレト同ジデアアル、昨日マデ西伯利出兵ヲ裏書キシタ内閣ノ外務大臣ガ、今度ノ日本ノ外交ガ退潮ニナッテ、敵ハヌトナッテノ穩健沙汰デ、今度ハ協力ダト云フ、丁度無智ナル學生ガ種積流ノ憲法ヨリ「クロボトキン」ニ急轉直下シタト同ジデアアル、是ハ頭腦ガ無イカラデアアル、現實ノ苦惱ヲ經テナイカラデアアル、内閣諸公ノ中ニハ高橋總理大臣ノ如キ、野田卯太郎君ノ如キ、今度華盛頓會議ニオイデニナッタ横田千之助君ノ如キ、現實ノ波ヲ潜ッタ人ガ居ラレル、政友會ノ領袖諸君ガ、戰鬥力ヲ有セラル、ノハ、其現實ノ試練ヲ受ケテ居ラレル其人、ガ、モウ少シ世界ノ狀況ヲ常識ヲ以テ判斷シ、其常識ヲ以テ國ヲ立テル根本精神ヲ何故維持セラレナイカト言ヒタイノデアリマス、巴里講和會議ニ於ケル世界ノ外交ガ、舊式ノ駈引デナクシテ、國際生活ノ現實ノ相磨擦スル舞臺デアアルコトヲ知ラズシテ、殿上人ノ西園寺公ヲ任命シタル内閣ハ、同ジク華盛頓會議ニ徳川公爵ヲ任命シタ、私ハ徳川公爵ニ對シテ何等批評ヲ挾マナイ、サリナガラ彼ノ人ハ生レナガラニシテアノ貴イ人デアアル、國民生活ノ現實ヲ經ナイアノ人ガ、國民生活ヲ按排セントスル所ノ國際舞臺ニ立ッテ、何程ノ胸中ノ衝動ヲ感ズルカ、假ニ英語ヲ話シテモ、外交ヲ論ジテモ、産業ヲ説イテモ、ソレハ自ラ體驗セザル言葉デアアル、左様ナ事デハ、主張ニ壓力ナク、世界ノ列國ノ千辛萬苦ヲ經來タツタル政治家外交家ノ中ニ立チテハ、恰モ田舎ノ會長カ何カノヤウナ感ジヲ與ヘタコトハ、理ノ當然デアアルガ、國民トシテハ最モ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアアル、抑モ我當局者ハ、最初ヨリ華盛頓會議ノ意味ヲ了解シテ居ナカッタ、軍備制限ナドト云フコトハ、先ヅ出來ル問題デモナカラウ、出來タ所デ徹底的ニ行クマイ、ソレニハ地位アリ、名望アル公爵ヲ出シタラ、ソレデ宜カラウト、其態度ガ國際競争ノ間ニ立チテ、我國ヲ困難ニ陥ル、根本理由デアアルト私ハ思フ、抑モ華盛頓會議ナルモノガ如何ナル理由ニ依ッテ始メラレタカ、軍備制限ナル聲ハ、是ハ世界人類ノ聲デアアル、此軍備制限ト云フ案ヲ協定シタダケガ成功デアルト云フナラバ、如何ナル人ヲ出シテモ、又日本ヨリ委員ヲ出サズ、英米ニ委託シテ旨印ヲ捺シテモ、是ダケハ成功スルニ決マッテ居ル、世界ハ四年半ノ大戦争ヲ經テ、彼ノ一大破壊ヲ終ヘタル後ニハ、經濟ニ於テモ、金融ニ於テモ其組織ヲ恢復ス

ルコトガ急務デアル、國民ハ又負擔ノ輕減ヲ圖リタイ、資本家ハ租税ノ輕減ヲ圖リタイ、亞米利加ニ於テモ其レデアル、即チ軍備縮少ト云フ聲ハ、世界人類ノ生活問題ト關聯シテ居ル、即チ力ノ第一義ノ上ニ居ル、此軍備縮少即チ世界人類ノ生活問題ト關聯スル案ヲ提ダテ立上ツタ亞米利加ノ政治家ハ、如何ナル者デアアルカト云フコトヲ、當局者ハ了解シテ居ナイ、亞米利加ノ國民ハ租税ノ輕減ヲ希フ外ニ別ニ考ヘナイ、サリナガラ亞米利加ノ時局ニ與ッテ居ル此共和黨ノ「ハイング」其背後ニ居ル幾多ノ政治家ハ、皆帝國主義者デアアル、此人、ガ世界人類ノ生活ヲ緩和セントスル其力ニ依ッテ外交問題ヲ解決シヤウト云フノガ、今度ノ華盛頓會議デアアル、即チ軍備制限ト云フモノハ、生活問題ニ關聯スル、譬ヘバ機關車デアレバ隨分強イ石炭ガ燒カレタ、此強力ナル機關車ヲ以テ、世界萬國ノ反對シ得ザル問題ヲ先キニ立テ、實際ノ外交問題ヲ處理シヤウトシタノガ、即チ亞米利加ノ政治家ノ魂膽デアアル、此意味ガ日本ノ政治家ニ徹底シテ居ナイ、私共ハ軍備制限ニ付テハ、少シモ異議ヲ挾マスト共ニ、最モ熱心ナル贊成者デアアル、サリナガラ抑モ軍備制限ト云フ問題ガ起ッテ之ニ太平洋ト云フモノヲ關聯シテ提案シタ時ニ、政府當局者ハ何故モウ少シ考ヘナカッタカ、太平洋問題——軍備制限ナラバ、世界普遍ノ問題デアアル、世界到ル處ニ戰爭ノ危機ハ伏在シテ居ル、其戰爭ノ危機ヲ除カンガ爲ニ、軍備制限ト共ニ外交問題ヲ議スルナラバ、國際聯盟ノ繼續デ宜シイ、何モ太平洋ニ限ルコトハナイ、軍備制限ト太平洋問題トヲ關聯セシメテ提案シタ所ニ、亞米利加ノ實際政治家ノ魂膽ガアル、而モ太平洋問題ナラバマダ宜イガ、軍備制限及太平洋極東問題ト來テ居ル、若シモ英吉利ニ對シテ軍備制限及印度洋印度問題會議ヲ開カウト言ッたら、英吉利ハ之ヲドウシマスカ、亞米利加ニ對シテ太平洋問題及墨西哥會議ヲ開カウト言ッたらドウシマスカ、佛蘭西ニ對シテ地中海問題及「モロッコ」問題ヲ會議ノ題トシヤウト言ッたら贊成シマスカ、軍備縮少ト共ニ太平洋極東問題、即チ日本生死殺活ヲ託スル重大問題ノ中心ヲ世界ノ一番人氣ノ好イ軍備制限問題ト結附ケテ提案シ來ツタ所ニ、亞米利加ノ實際政治家ノ深キ手腕ガアル、私ハ國際問題ニ對シテ、他ヲ疑フ心ヲ持ツコトヲ必要トハシマセヌガ、他ニ欺カレザル聰明ハ、國民ノ爲ニ政府當局者ガ持ッテ居ナケレバナラヌト思フ、其極東會議ガ

開カレル、太平洋會議ガ開カレルノヲヂット見テ居ッテ御覽ナサイ其太平洋會議ハ、何時ノ間ニカ東經百八十度以西ノ問題トナツタ、太平洋ノ真中カラ中斷シテ、亞米利加ノ力ノ及ブ東ノ半面ハ取ッテ除ケテ、日本ヲ拘束スル百八十度以西ノ問題即チ太平洋問題トナツタ、更ニ御覽ナサイ、國防制限區域ヲ御覽ニナルト、東經百八十度カラ東經百十度マデ、而モ赤道以北ニシテ北緯三十度以南ト云フ丁度日本ヲ中心トシテ日本ノ國防ヲ制限スル所ダケガ國防制限區域ニナツテ居ル、東京府下小笠原島ガ國防制限區域ノ中ニ置カレテ居ル、亞米利加ハ二千哩ヲ飛ンデ、日本ニ近接シタル布哇ヲ十分ニ防備シテ宜イコトニナツテ居ル、常識デ考ヘテ、東京府下ニ防備制限ヲ命ゼラレ、他ヲシテ二千哩ニ突出セシムル、此ヤリ方ガ果シテ常識ヲ以テ成功デアルト見ラレルカドウカ、太平洋問題ヲ軍備縮少會議ト結附ケタル事、既ニ失敗デアアル、更ニ其太平洋ガ太平洋ノ波打ツ所ノ總テノ問題トシ、或ハ墨西哥ニ及ボシ、或ハ巴拿馬ニ及ボシ、南米ニ及ボシ、全太平洋ノ問題トシテ、日本ガ世界人類ノ爲ニ最モ公平ナル立場ヲ闡明スルト共ニ、亞米利加ヲシテ此日本ノ態度ニ倣ハシムルダケノ大主張ヲ爲シ得ズシテ、唯有耶無耶ノ間ニ自己ノ主張ニノミ制限ヲ加ヘルガ如キ會議ト爲シタルコトハ、常識ヨリ判斷シテ、甚シキ大失態ト私ハ斷言シタイノデアアル、凡ソ斯ノ如キ立場ニナツタ時ニ——臥薪嘗膽ト仰シヤルガ、臥薪嘗膽ハ當年ノ武力侵略ニ對スル國民ノ覺悟デアアルガ、私ハ此經濟的難局、經濟的列國ノ壓迫ニ對スル拮据經營ヲ諸君ノ前ニ説クノデアアル、是ガ最モ必要デアアルト私ハ思フ、太平洋問題ハ斯ノ如クシテ解釋セラレ、四國協約ハ英米佛三國ノ多數決ヲ以テ臨ム時ハ、日本ノ生死殺活ヲ託スル大問題ヲ、此多數決ノ判斷ニ御委セスルト云フ、三國干涉ヲ文字ノ上ニ許シタノガ、四國協約デアアルト、此間此壇上ニ突込ンダ時ニ、外務大臣ハ何タル御答モ出來ナカッタ、更ニ又進ンデ御考ヘニナルト、極東問題デス、緩クリ吞氣ニ考ヘテ居ルト、幾多ノ問題ガ安逸ニ流レタル我國民ヲシテ、近接スルニ違アラシメズ、後カラ後カラ追隨シテ來ル、支那問題ニ於テドンナ事ガ決マツタカ諸君御存ジデアリマセウ、九箇國條約ガ決ツタ、「ルート」四原則ガ決マツタ、更ニ支那ノ經濟開放ニ對スル日本支那兩國ノ宣言ガ發表セラレタ、是等ヲ捉ヘテ當局者ハ總テ成功ナリト言ヒ、是レアルガ故ニ日本ノ立場ハ益

益安泰トナツタト言ハレル、私ハ是等ノ條約及協約宣言ノ内容ヲ見マスルト云フト、餘リ具體的ナモノハナイ、併ナガラ經濟學デ申セバ「コスモポリチカル」國際經濟主義ノ原則ガ亞細亞ニ適用セラレルト云フ意味デアル、至極私ハ結構デアル、サリナガラ是程徹底的ノ國際經濟主義ヲ極東ニ適用スルナラバ、同ジク經濟開放ヲ何故南米ニモ、墨西哥ニモ、印度ニモ、適用シナイカト私ハ言ヒタイ、凡ソ世界人類ガ平和ヲ樂シマント欲セバ、世界人類各、立場ヲ曝ケ出シテ、互ニ公平ニ向フ事デナケレバナラヌ、今日國際協約ト當局者ガ唱ヘラレルケレドモ、國際協約ノ基礎トナルモノハ、國際經濟政策デナケレバナラヌ、昔「アダム、スミス」ガ國際經濟論ヲ唱ヘタ時ニ、ソノ盟ノ如キモノガナケレバ駄目ダト言ウタ、今日モ同様デアツテ、國際協約ヲ説クナラバ、國際經濟主義、國家經濟ヲ超越シタ超國家的經濟主義、國境ヲ排スルヤウナ經濟主義デナケレバナラヌ、然ラザル限リ、其國際協約論ハ理想デアリマスガ、未ダ机上ノ空論デアルト思フ、而モ其國際經濟主義ヲ東洋ニ於テノミ之ヲ強制シ、彼等ノ歐米デハ一切之ニ反對スル經濟的鎖國主義、國家主義ヲ高調シ來ツテ居ルノガ現實デナイカ、私ハ之ヲ衷心ヨリ遺憾ニ思フ、支那ニ於ケル門戶開放、機會均等ト云フコトハ、言換ヘレバ支那ノ自主的、自發的意見ニ藉リテ、他ノ強力ナル經濟的ニ優越ナル國ガ、日本ヲ支那ヨリ驅逐スル前提トナルコトハ明白ナル事實デアルト私ハ論斷シタイ、斯ク申セバトテ、私ハ亞米利加ノ帝國主義ヲ云々スルノデハナイ、亞米利加ノ產業立國主義ハ、既ニ斯ノ如キ政策ニ出ヅルノ已ムヲ得ザル所ニ進ンデ居ル、亞米利加ハ當年ノ原料國デナクシテ、今日ハ製造工業品ヲ賣出シテ、原料ヲ輸入スル勢トナツテ居ル、此國ガ市場ヲ求メ、原料ヲ求メ、太平洋ヲ躍リ越エテ、支那ニ進ンデ來ル時、茲ニ支那ノ原料ヲ獨占シ、市場ヲ獨占スル所ノ政策ヲ生ムハ必然ノ勢デアルト思フ、是ト協力セント欲セバ、是ハ協力スルニ足ル堅實ナル立場ヲ以テ、彼ヲシテ侵サシメザルダケノ地位ヲ維持セザレバ、協力ハ無意味デアル、絶對ノ強者ト絶對ノ弱者トノ間ニハ協力ハナイ、太平洋問題ヲ西太平洋問題トナシ、赤道以南トナシ、丁度大阪ノ冬ノ陣ニ外濠ヲ埋メテ、講和ヲナシタヤウナ大勢ヲ促シタル曉ニ、此極東ニ於ケル列國ト

ノ角逐ニ於テ、日本ガ如何ナル地位ニ陥レラレルカト云フコトハ、常識アル諸君ガ御考ヘニナレバ、私ハ明白ナル事實トシテ分ルデアラウト思フ、モウ一ツ諸君ト共ニ一考セザルベカラザルコトハ、山東問題デス、山東問題ハ未解決デアルト云フコトハ、私ガ巴里講和會議ヲ見テ歸ツテ來タ時ニ、天下ニ宣傳シタ、當局者ハ其時ニ何ヲ言ツテ居ルノダ、別ナ事ハ兎モ角モ、山東問題ハ巴里デ立派ニ濟ンダ、之ヲ以テ天下ニ御臨ミニナツタ、サリナガラ支那ガ對獨講和條約ニ調印セズ、亞米利加ガ自ラ唱ヘ出シタル國際聯盟ヲ足蹴ニシテ、聯盟ノ外ニ立チタル時ニ、米國ガ支那ヲシテ山東問題ヲ次ニ提グシムルコトハ、明白ナル事實デアツタ、此常識ヲ以テ了解シ得ベキ事實ヲスラ否認シテ、華盛頓會議ニ臨ンダデハナイカ、而モ其山東ニ於ケル讓歩ノ有様ハ、恰モ縁日商人ガ懸値ヲ言フヤウナモノデ、先ヅ青島膠州灣ニ對スル議論ハ、最初專管居留地論、其次ハ共同居留地、モウ一ツ讓ツテ今度ハ自開商埠トナツテ居ル、巴里ニ於テ共同居留地ニ出來ルコトヲ、華盛頓マデ引張ツテ自開商埠ニシタ、山東鐵道問題デモ、最初ハ山東鐵道ヲ自ラ獨占スル積リ、其次ハ借款鐵道ニスル積リ、モウ一ツ讓ツテ買収——買収ヲ許ス其年限モ、二十年カラ十年、五年ト云フ風ニ段々讓ツテ、其讓ツタルハ何ガ故ニ讓ツタカト云ヘバ、支那ニ對スル親善ノ意義ヲ徹底セシメン爲デハナクシテ、英米ニ對スル恐怖屈辱ノ政策ガ産ンダル結果デアル、宜ナル哉、支那ノ全權ハ華盛頓ニ於テ山東問題ヲ日本ト共ニ議スル時ニ、日本ニ向ツテハ議論セズ、恰モ陪審官ノ如キ位地ニ置カレタル英米ニ向ツテ哀訴歎願シタ、英米ガ睨メバ何處マデモ下ル、自ラ極東ニ於テ日支親善ノ大策ヲ持チ、此亞細亞ノ平和ヲ保全スル任務ニ居ル日本ガ、支那ニ向ツテハ少シモ親善ノ考ヲ持タヌ、國際協約ノ時代トナツタナド、仰シヤルケレドモ、腹ノ底ニ支那ニ對シテハ何處マデモ高壓主義ヲ持チナガラ、英米カラ睨マレテ敵ハヌト見テハ穩健沙汰トナル、乃チ苛メレバ何處マデモ下ル、此大和民族ノ傳來的仁俠ノ精神ニ背イタル政策ガ、即チ山東問題ノ交渉ノ經緯デアツテ、ソレヲ今日ノ程度ニ讓ツタト云フコトハ私ハ怪マナイガ其讓方ノ陋劣ナルコト、以テ日本ノ國柄ヲ世界ノ前ニ如何ニ卑シクシタカト云フコトハ、諸君ト共ニ如何ニモ殘念ニ堪ヘヌノデアリマス、ソコデ山東問題ガアンナ風ニ解決シタ、アレデ御安心ニナツテ居ルト、又次ノ問題

ガ起リマス、巴里デ夢ヲ見テ居ッタト同様、華盛頓會議デ山東問題ガ濟ンダト思ッテ居レバ、又次ニ問題ガ起ル、何カト申シマスレバ、山東問題ハ所謂對支二十一箇條ノ要求中ニ、獨逸ノ權利ヲ繼承スルト云フコトハ、チヤント極ッテ居ッタ、華盛頓會議ガ開カレタ最初ニ於テ、當局者ハ揚言シテ曰ク、特殊國家間ノ條約及既定ノ事實ニハ斷ジテ遡ラナイト仰シヤッタ、ソレガ遡ッタ、山東問題ハ遡ッテ日本ノ立場ヲ今日ノ如ク極メタノデアアル、此ニ於テカ對支二十一箇條ノ要求ナルモノハ、既ニ部分的ニ破壊セラレタ、又當然投出シテ然ルベキ第五項ノ保留ヲ投出サレタノモ尤デアアル、ソレモ支那ニ對スル親善ノ大策ニ依ルニアラズ、英米ノ前ニ恐怖シテ投出シタノデアアル、此ニ於テカ英米ニ對スル恐怖ノ爲ニ日本ハ對支二十一箇條ノ問題ヲ切放シテ、既ニ讓歩シ始メタ、ソコデ今日對支二十一箇條ノ問題ハ國際政局ニ於テ既定ノ問題ニアラズシテ、未定ノ問題トシテ、今懸案トナサレテ居ル、此ニ於テカ次ノ問題ハ必然ニ起ッテ來ル、諸君ト共ニ大ニ警戒スベキ事デアアル、對支二十一箇條ノ要求ニ於テ、旅順、大連ヲ含ム關東州ノ租借期限ハ、二十五箇年ヨリ九十九年ニ延バサレタノデアリマスルガ、既ニ對支二十一箇條ノ要求ヲ切レ、ニ拋棄シタトスレバ、此問題モ亦起ッテ來ル、二十五箇年トスレバ千九百二十三年、乃チ來年ハ旅順大連ヲ含ム關東州ノ租借期限ガ切レル、支那ハ必ズ是ガ還付ヲ要求スル、亞米利加ハ必ズ之ヲ後援スル、更ニモウ少シ延ビテ、千九百二十九年ニハ例ノ三十六箇年ノ滿洲鐵道ノ期限ガ切レル、滿鐵モ千九百三十九年ニハ支那ガ之ヲ要求シテ、亞米利加ハ必ズ之ヲ後援スル、而シテ滿鐵ヲ其際日本ガ投出シタ利那、支那自ラ之ヲ經營スルコト能ハズシテ、其後ノ富強ナル國ノ影ガ映ジ來ッテ、我滿洲ニ太平洋ノ彼岸ニ於ケル加州ノ如キ狀態ヲ演出シ來ルコトハ、今日ヨリ豫メ警戒スベキ問題デアアルト私ハ思フ、斯ノ如キ事ハ國家ノ根本問題デアアル、決シテ政黨ノ立場ニ依ッテ見解ヲ二ツニスベキ事デナイ、或ル政府當局者ノ宣傳係ハ述ベテ曰ク、ソレナ夢ヲ見ナクテモ宜イ、華盛頓ニ於ケル空氣ハ全然サウデナイ亞米利加人モ現ニ言ッテ居ル、關東州トカ滿鐵トカ、云フモノガ問題ニナルモノカト言ッテ居ル、併シソレナコトヲ言ヒナガラ何時モソレガ問題ニナッテ來ルノデス、問題ニシナイノナラバ、此機會ニ是ハ問題ニナラナイト云フコトヲ國際條約ニ於テ極メナケ

レバナラス、明白ニ極メズシテ、窃ニ亞米利加人ガ言ッタカラ大丈夫ダ、是ハ問題ニナラヌト言ッテ吞氣ニ構ヘテ居ルト云フコトガ、是ガ所謂日本ノ今迄ノ傳統的外務省ノヤリ方デアッテ、有利ナ事ハ決定セズシテ延シテ置ク、延シテ置イテ更ニ日本ノ地位ガ不利ナル時ニ之ヲ押付ケラレルノガ、今マデノ傳統的ヤリ方デアアル、斯ク申セバトテ私ハ關東州及滿洲ニ對シテ帝國主義ノ政策ヲ執レト言フノデハナイ、滿洲鐵道ノ如キハ世界列國ノ公道トシテ、世界ノ前ニ公開スルコトニ付テ、其ヤリ方ニ依ッテハハットモ私ハ反對シナイ、例ヘバ滿鐵ヲ投出シ、露西亞ヲシテ西伯利鐵道ヲ投出サシメ、日露兩國ヲ以テ西伯利滿洲鐵道ノ合辦ヲヤル、亞米利加ガ異存ヲ提起スルナラバ、亞米利加ヨリモ金ヲ借りテヤルト云フ位ノ雄圖大略ハ、日本人ガ持タナケレバナラスガ、今日ノ當局者ノ頭ハ、依然トシテ「インペリアリズム」デアリマシテ、讓ッタノヲ言譯スル爲メニ、世界ハ以前ノ如ク競争時代デナクシテ、協力時代デアルト云フヤウナコトヲ陳ベテ居ル、是ガ日本ノ爲メニ最モ憂慮スベキ現象デアルト私ハ思フ、マダレ見レバ澤山アリマスガ、太平洋ノ防備協定區域ヲ御覽ニナッテモ、如何ニ太平洋會議ナルモノガ偏務的ノモノデアアルカト云フコトハ、何ヲ言ッテ居ルカ、君ダッテ分ル、能ク見ルト分ル、モウ一ツ進ンデ見テ、支那問題ダッテ、此明白ナ事實ト云フモノハ、如何ナル無智ナル者モ分ル、分ルナラバ此新時局ニ對應スベク國民ニ拮据經營セヨト云フ、拮据經營ヲスル前提ニ先ヅ此新時勢ヲ了解セヨト云フノデス、徒ラニ自己ノ地位ヲ維持センガ爲メニ、ウカ、ト色々ナ事ヲ言ッテ、日本ハ三大國ノ地位ニ上ッタトカ、或ハ我當局者ノ立場トシテ大イニ宜シイトカ、左様ナ言論ヲナスベキ時代デハナイ、思フニ政友會ノ中カラモ現實ニ徹底セル諸君ガ華盛頓ニ行ッテ御覽ニナッテ居ルカラ、如何ニ日本ノ立場ガ困難デアッタカ、御了解デアラウト思フ、私ハ此際ニモウ少シ徹底セル意義ヲ提ゲテ國民ノ諒解ヲ求メ、次ニ脅シ來ラントスル幾多ノ問題ニ對シテ舊式ノ頭デナク、世界列國ノ承認スルガ如キ方法ニ於テ大ナル經綸ヲ立テ、上下ノ力ヲ戮セテ此經綸ヲ遂行セヨト云フノガ私ノ議論デアアル、此議論ヲ遂行スルノ前提トシテ、政府當局者ヲシテ吾々ノ前ニモウ少シ意義ガ徹底スルヤウニ、華盛頓會議ヲ中心トシテ其經過ナリ、其結果ナリヲ明白ニセシメ、諸君ノ了解ヲ求メテ、サウシ

テ天下國民ノ了解ヲ求メシメ、臥薪嘗膽ト迄ハ言ハズトモ、國民ヲシテモ少シ緊張セシムルノ態度ニ出デ、貫ヒタイト思フ、政府ガ財政ヲドウスルトカ、國民ニ儉約ヲ獎勵スルトカ、色々ナ事ヲ言ハレルケレドモ、日本ノ立場ハ大丈夫ダ、國際的地位ト云フモノハ好都合ダト、大ニ浮カラカシテ置イテハ、國民ハ緊張シナイ國民ヲ緊張セシムル大前提トシテ、國民ニ此現存スル所ノ地位ヲ明白ニ了解セシムルト云フ事ガ、今日當局者ノ責任デアリ、又政友會ト憲政會ト國民黨ト吾々トヲ問ハズ議員諸君ガ此方針ヲ以テ政府當局者ニ迫リ、サウシテ政府當局者ヲシテ其責任ヲ遂行セシムルコトガ、私ハ日本國民ニ對スル諸君ノ本分デアルト信ズル、此問題ニ對シテハ、私ハ恐ラク如何ナル御方モ御反對ノ御方ハナカラウト思フ、ドウゾ滿場一致ノ御賛成ヲ願フテ演壇ヲ退キマス

討論ニ入り林毅陸君ハ反對、田淵豊吉君ハ賛成ノ演説ヲ爲ス

林毅陸君ノ反對演説

諸君、私ハ只今中野君ニ依ッテ御説明ニナリマシタ決議案ニ反對致ス者デアリマス、此決議案ハ只今モ申サレマシタ通り、政府當局ハ華盛頓會議ノ經過ニ付テ國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分ナルモノト認ム、斯ウ云フノデアリマシテ、十二月二十七日ニ御提出ニナッテ居ルノデアリマス、只今御演説ヲ拜聴致シマシテ、中野君ガ我が國際關係ノ事柄ニ付テ、多大ノ注意ヲ拂ハレ、大ナル熱心ヲ以テ、之ヲ論ゼラレマシタニ對シテハ、甚ダ敬意ヲ表スルノデアリマスガ、唯其御説明ハ、多ク今日マデノ外交問題ニ付テノ同君ノ所見ヲ發表セラレタモノ、ヤウデアリマス、此決議案ノ理由ヲ説明スルモノトシテハ、甚ダ其要領ヲ捉フルニ苦ンダノデアリマス、華盛頓會議ハ御承知ノ通り二月六日ニ至ッテ終了致シタノデアアル、二月六日ニ於テ重要ナル條約等モ調印ヲ了シ、愈、閉會ヲ告ゲタノデアアル、十二月末頃ニ於キマシテハ、マダ此會議ガ如何ナル結末ニナラカ、確定的ノモノトハナッテ居ナカッタノデアリマス、其十二月末ニ於テ此決議案ガ出サレテ、華

盛頓會議ノ經過ニ付テ國民ノ理解ヲ求ムルニ不十分デアルト御叱責ニナリマシタガ、此場合ニ於テハ、マダ此會議ノ成績等ニ付テ、十分ノ説明ヲスベキ場合ニモ實ハナッテ居ナイノデアアル、今年ノ一月ニ至ッテ議會ガ開カレマシテ、一月二十一日ノ本議場ニ於テ、外務大臣ハ稍、大體ノ經過ニ付テノ説明ガ出來マスノデ、ソレト必要ノ部分、又説明シ得ラレル部分ニ付テハ、此處デ演説ガアッタノデアリマス、サウシテ其時ノ演説ノ最後ノ部分ニ於キマシテ、今日ノ國際狀態ハドウデアアル、世界ノ大勢ハ如何ニ動キツ、アルカ、又今日ノ場合ニ於テ、吾々トシテ如何ナル點ニ注意スベキデアアルカト云フ、餘程廣イ國際政治ノ全局ニ涉ッテノ注意スベキ點ヲ外務大臣ガ指摘シテ居ラレルノデアリマス、中野君ハ先程ノ御演説ノ中ニ、國家ノ地位ノ諒解ヲ爲サシメルコトガ必要デアアル、國民ヲシテ居ル所ヲ知ラシムルコトガ必要デアアル、斯ウ云フ點ニ付テノ諒解ヲ國民ニサセナケレバナラヌト云フコトヲ申サレタノハ、如何ニモ其通りデアアルガ、此一月ノ二十一日ノ外務大臣ノ演説ノ末節ヲ御一讀ニナリマスナラバ、今日ノ場合ニ於テ、我國民ハ如何ニ此國際政局ヲ見ルベキデアアルカ、今日我國ハ如何ナル狀況ノ下ニ居ルカト云フコトヲ、十分説明シテ居ルノデアリマス、多分此點ハ御聽キニナッタニ相違ナイ、私ハ中野君ニ向ッテ一應更ニソレヲ繰返シ、一讀セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、デ中野君ノ段々御話ヲ承ッテ居リマスト云フト、實ハ斯ウ云フ風ニ見ルノデアリマス、政府當局ハ華盛頓會議ニ付テ理解ガナイ、華盛頓會議ト云フモノガ能ク分ッテ居ナカッタノダ、軍備制限、海軍制限ト云フ、サウ云フ問題ニ付テモ、ドウ云フモノデアアルカト云フ理解モナク、大體此華盛頓會議ト云フモノニ付テ、分ラズニ居タノダト云フヤウナ意味ノ御意見ガアッタヤウデス、ソコニナレバ華盛頓會議ニ付テ國民ニ理解セシムルノ問題デナイ、華盛頓會議ニ付テ、政府當局ガ理解シテ居ラナイト云フ問題デアッテ、是ハ御意見ノ儘、如何様トモ御隨意デアリマス、又此會議中ニ出來マシタ事柄ニ付テ、太平洋ノ防備現狀維持ノ協定ノ意味デアリマセウ、之ニ付テ斯クノニナッタコトハ、是ハ日本ニ取ッテ甚ダ失態デアルトカ、大變是ハ日本ニ取ッテ不利益ナ協定ニナッタモノト認メラレルヤウデアアル、是ハ併ナガラ御意見、若シ彼ノ太平洋防備現狀維持ニ付テノ協定ニ御不滿デアアル、國家ノ爲ニ甚ダ不利益ナル

モノデアルト云フ御意見デアレバ、ソレハ又御意見デアッテ、若シ其問題ヲ提ゲテ政府ヲ責メン
トセラレラバ、吾々又相當ノ辯論モ致ス、併ナガラ今日ハソノ議論ヲスルノガ此案ノ目的
デハナイ、今日ノ此決議案ト云フノハ、唯政府ガ國民ノ理解ヲ求メルニ不十分デアルト云フ趣意
カラノ決議案デアリマス、華府會議ノ成績ニ付テ、是ガ成功デアルトカ、失敗デアルトカ、サウ云
フコトヲスルノガ今日ノ問題デハナイト私ハ考ヘル、若シ華府會議ノ成績ニ付テ、果シテソレガ
成功デアルカ、失敗デアルカ、ドノ點ニ付テ國家ノ爲ニソレガ禍ヲ爲スモノデアルカ、サウ云フ
コトヲ大ニ論ジテ當局ヲ責メヤウト云フコトデアラバ、私ハ更ニ案ヲ改メテ、サウ云フ問題
ヲ御提出ニナルコトヲ希望スル、山東問題ニ付テモ同ジク然リデアリマス、山東問題ニ付テ、日
本ハ大ニ讓歩シテ斯ク、デアルトカ、或ハ第五項ノ問題ガドウデアルトカ、或ハ更ニ滿洲ノ問
題ガ是カラ後ニ問題トナルデアラウトカ、色々御意見ガアリマシタガ、是ハモウ唯承リ置クベキ
ダケノモノデアッテ、今之ニ付テ論戰ヲ交ハス必要ハナイト思フ、要スルニ中野君ノ御演說ハ、幾
多ノ外交上ノ事柄ニ付テノ御意見ヲ御發表ニナッタノガ主デアリマシテ、此決議案ノ文面ニ對シ
テ、其趣旨ヲ説明セラレルモノトシテハ、甚ダ其要領ガ捕捉シ難カッタデアリマス、併ナガラ斯
ウ云フ點ハ、私ハ多分斯ウ云フ意味デナイカト推測致ス、此今日ノ國際政局ト云フモノハ、サウ
氣樂ニ見ルベキモノデアナイ、政府當局者ハ、口ヲ開ケバ國際協調デアルトカ、平和デアルトカ、
正義デアルトカ、能ク言フ、併ナガラサウ暢氣ニ居ラレルモノデアナイ、中ノ國際ノ競争ト云フ
モノハ激シイ、英米皆色々ナタクラミヲ以テ我ニ壓迫ヲ加ヘントシテ居ルノデアアル、油斷シ難キ
場合デアアル、東洋ノ問題、極東ノ問題ニ付テモ、如何ナル事ヲ他ノ國等ガ持チ出シテ來ルカモ知
レヌ、決シテ油斷ハ出來ナイ、敢テ臥薪嘗膽トマデハ言ヘナイガ、併シ是ハ用心シテ掛ラネバナ
ラヌ、危險ナモノデアルト云フコトヲ思ハネバナラヌ、其點ニ付テ政府當局者ガ、十分ニ國民ニ
向ッテ其注意ヲ喚起スルダケノコトヲシナイノガ不都合デアアル、斯ウ云フ精神デハナイカト思
フ、多分斯ウ云フ御精神デアラウト思フ、ソレハ成程中野君ノ御意見トシテ、私ハ尊重シテ其御
意見ハ承ッテ置キタイ、サリナガラ政府當局者ニ向ッテ、ヤレ英吉利ガ斯ウ云フ計畫ガアルゾヨ、

亞米利加ガ油斷ナリ難イ計畫ヲ持ッテ居ルゾヨ、諸君ハ大ニ用心シテ居レト云フヤウナコトヲ政
府當局者カラ國民ニ向ッテ言ヘトハ、是ハドウモ中野君トシテ如何ナルモノデアラウカ、所謂先
程モ常識ヲ以テ判斷セヨト云フ御尋デアリマシタガ、此邊ハ少シク常識デ御考ヲ願ヒタイト思
フ、政府當局トシテハ大體ニ於テ、今日ノ國際狀勢ノ如何ニ推移シツ、アルカト云フコトヲ見
テ、國際聯盟ハ夢ノ如クニ思ハレテ居タモノガ、既ニ成立ラシタ、華盛頓會議ニ於テハ益々平和
正義ノ思想ガ國際政治ノ上ニ現レツ、アル、此國際協調ノ新シイ大ナル機運、大ナル傾向ニ順
應ヲシテ立ツト云フノガ、即チ今日ノ場合ニ於テ最モ吾々ノ心掛ケネバナラヌ點デアアル、即チ其
點ニ於テ政府當局者ガ機會アル毎ニ、之ヲ高調スルト云フノハ、是ハ至當ノ事デアアル、サリナガラ
又反面ニ於テ中野君ノ言ハレルヤウニ、競争モアルデアラウ、油斷シテ居レナイト云フコトモア
ルデアラウ、ソレハソレデ又愛國者ガ識者ガ、ソレト國民ヲ警醒スレバ宜シイ、政府ノ當局者
ガサウ云フコトヲ言ハナイ、何ダカドウモ唯平和ノ風許リ吹イテ居ッテ、一向國際競争上ノ臥薪
嘗膽トマデ行カナイニシテモ、國民ノ油斷ナリ難シト云フコトニ付テノ注意ヲ喚起スルヤウナ
コトヲ言ハナイノガ不都合デアアル、ソレガ即チ國民ヲ十分ニ理解セシメザル點デアルト云フ御
趣意デアアルト、私ハ察セラレルガ、ソレハソレヲ爲ス人自ラ他ニアルベク、中野君ノ如キ即チ最
モ其人デアアル、私ハ同君ニ對シテ其方ノ意味ニ於テ重大ナル使命ヲ有セラレルコトヲ敢テ同君
ニ申上ゲルノデアリマス、國際問題ヲ論ズルニ當テハ、各、其立場々々ガアル、ソレニハ其人ノ責
任ノ地位ガアリ、無責任ノ地位ガアル、是ハ大抵常識ヲ以テ解ッテ居ルコトデアリマス、故ニサ
ウ云フ次第デアリマスカラ、此議決ノ文面、即チ華盛頓會議ノ經過ニ付テ、國民ノ理解ヲ求ムル
ニ不十分ナリト認ムト云フ此文面ハ甚ダ當ヲ得ナイモノト吾々ハ信ズル、政府當局ハ機會アル
毎ニ、華盛頓會議ニ付テノ情報ヲ發表シ、或ハ各種ノ決議等ニ付テモ、出來ルダケ之ヲ速ニ發表
シ、或ハ確定トナラザル場合デスラモ、之ヲ發表スルコトハ努メテヤッテ居ル、サウシテ當ニサウ
云フ文書類ヲ發表スルバカリデハナイ、又演說ニ於テ——外務大臣ノ演說ニ於テモ、ソレト必
要ナル言明モシテ居ル程デアリマス、之ニ對シテ理解ヲ求ムルニ不十分ナルモノト認ムト云フ

決議ヲシヤウト云フコトハ、甚ダ是ハ穩當デナイ、當ヲ得ナイモノト思フノデアリマス、若シ政府ニ甚ダ怠慢ノ點ガアリ、大ニ之ヲ彈劾セザルヲ得ズト云フ次第デアラナラバ、十分其理由ヲ擧ゲテ攻撃ノ案ヲ御提出ニナレバ宜シイガ、此決議案ハソレ程ノモノデモナイヤウデアリマス、要スルニ中野君ノ段々長ク御述ニナリマシタ御意見ハ、私モ大ニ尊敬ヲ拂ッテ承リマシタガ、此決議案ノ理由ト致シテハ、甚ダ承服シ難イノデアリマス、且又斯ノ如キ理解ヲ求ムルニ十分ナリト認ムト云フヤウナ、甚ダ要領ヲ得ナイ、甚ダ理由ノ薄弱ナルモノヲ衆議院ノ決議トシテ、茲ニ決議スルト云フコトハ如何ノモノデアルカ、是モ亦私甚ダ提出者ノ一考ヲ煩シタイノデアリマス、苟モ衆議院ガ或ル決議ヲ議決スルト云フ場合ニ於テハ、十分ニ權威アル内容ヲ有シ、權威アル所ノモノデアラネバナラナイ、斯ノ如ク要領甚ダ漠然トシテ居リマシテ、何ノ爲ノ決議デアルカ、頗ル人ヲシテ其意ノ在ル所ヲ知ルニ迷ハシムルト云フヤウナモノヲ衆議院ノ名ニ於テ決議スレバ、却テ此衆議院ノ決議ナルモノ、權威ヲ失墜セシムル所以デアラウト思フ、苟モ決議ヲ爲シテ或ハ政府ノ反省ヲ促スナリ、當局ヲ責ムルナリ、爲スベキ必要ノアルト云フ場合デアレバ、十分其理由ヲ具ヘ、其形ヲ整ヘテ、堂々タル決議案トナシテ貫ヒタイト思フ、今茲ニ現ハレテ居リマスルガ如キ、唯何トカ、不十分ナリト認ムト云フ決議——ソナ事ヲ一々決議ヲシテ居リマシテハ、日モ亦足ラズ、實ニ毎日々々ヤレ文部大臣ハ何々スルニ熱心足ラサルモノト認ム、何々ハ骨折ラザルモノト認ムトカ、ソナ事ヲヤリ居ッタラ切リガナイ、マ少シ形ヲ整ヘタル決議案トシテ衆議院ノ名ニ背カザルヤウナモノナラバ、先ヅ傾聴シテ尊敬シテ見タイノデアリマスケレドモ即チ形ノ上ニ於テモ甚ダ私ハ贊成シ兼ネルノデアリマス、是ダケノ事ヲ以テ此案ニ反對致シマス

田淵豐吉君ノ贊成演説

今中野君カラ提案ニナリマシタ此決議案ニ付テ、私ハ茲ニ贊成ノ演説ヲ致ス積リデ、此處ニ參ッテヤウナ次第デアリマス、暫クドウカ御清聴ヲ煩シタイ……林君ノ今ノ反對演説ガアリマシタ

ガ、ソレニ付テ私ハ少シク又其反對ヲ述ベテ見タイ、一體林君ガ斯ウ言ッタカラト言ッテ、向キニナッテ其事バカリ言フ必要モナイデスケレドモ、政友會カラ代表シテ出ル位ノ人デスカラ、相當ナ考慮ヲ拂ッテ來タト思ッテ敬意ヲ表シテ、私モ少シク述ベテ見タイ、私ハ専門家デハゴザイマセヌカラ、其事實ガ日ガ幾日デアッタト云フ事ヲ到底知りマセヌノデ、林君ガ二月トカ、六日トカ、何トカ彼トカ言ヒマシタガ、ハッキリシマセヌデスケレドモ、大體ニ付テ、林君ノ言フ所デハ、中野君ノ演説ハ非常識ダト云フヤウナ事ヲ言ウテ居リマス、大分褒メタヤウナ、罵倒シタヤウナ、マルデ分ラヌヤウナ事デアアル、一體此世界ノ大勢ハ如何ニ動キツツアルカ、全局ヨリ外務大臣ガ指摘シテ居ルト云フヤウナコトヲ言ハレテアリマスガ、ドウモ外務大臣ノ言ウタ事ガサッパリ分ラヌ、此問題ニ付テモ私ハ後段々述ベテ見タイト思フ、サウシテ林君ハ華盛頓會議ガ分ラズニ行ッタノデハナイカト云フ、中野君ノ問ニ對シテハ、解ッテ行ッタノデアルト言ウテ怒ラナイヤウデアアル、之ヲ否認シナイ所ヲ見ルト、アノ人モ慥カ亞米利加へ行ッタ人デアアル、分ラナイデ亞米利加ニ行ッタノデアルト云フコトヲ是認ナスツタカト云フコトヲ聽キタイノデアアル、何ガ何ヤラ分ラヌ、一國ノ大使ハドウシテ行ッタノカト云フ事ガ分ラヌ、ソレカラ私ハドウモ怪シカラヌト思フノデアリマス、私モハッキリ先生ノ演説ガスッカリ分ラナンダガ、斯ウ云フ風デアリハセヌカ、私ニハ分ラヌコトガ多イカラ問ヒタイノデアアル、亞米利加ガドウダ、支那ガドウダト云フ事ハ、彈劾案ヲ出セバ宜イノデハナイカト言ハレルケレドモ、ドウモ言ウタコトガ少シハ彈劾的ニナルカモ知りマセヌケレドモ、政府ハモウ是デ天下ハ泰平ダ何デモ宜イ、是ハ世界ノ大潮ニ順應シタノデアルト言ハレルガ、吾々ハサウ云フ事ハ少シモ分ラヌノデアアル、故ニソレヲ問ヒタイノデアアル、サウ云フ林君ノ辯明ト云フモノモ、私ハドウモハッキリ分ラヌヤウニ思フ、マア林君ダケノ事ヲ愚圖々々言ッテ仕方ガナイカラ、私ハ此位デ措キマスガ、唯私ノ問ヒタイノハ、ドウモ外務省及政府ガ——政府當局ガデスネ、ドウモ國民ヲ嘘欺シテ居ルヤウニ私ハ思フ、ソレカラシテ第一分ラヌ、私カラシテ申シマス、ドウモ外交上ノ問題ハ成ベク外國ニモ嘘ヲ吐クノハ惡イケレドモ、日本人ニハ成ベク嘘ヲ吐イテ貫ヒタクナイト云フノガ私ノ問題デアアル、私等ハ何モ參考

書モナイ「レポート」モナイ、「エゼント」ヲ置イテナイ、日本ハ外務省ノ大部分ノ金ト云フモノハ「エゼント」ヲ置イテ、大使館トカ何トカヲ置イテアル、ソレガ一々此處へ來ル、外交調査會モ關係ガアルダラウガ、サウ云フ所カラ來ル、吾々ハ少シモ關係ガナイ、此處へ來テ居ラレマセヌガ、内田サンナドモ一寸何カ聽キニ行クト、何モ言ハナイ中カラ、祕密ニシテ置イテ吳レト言ッテ何モ言ハナイ、少シモ吾々ニ教ヘテ吳レナイ、故ニ吾々ハ眞面目ニ國家ノ大問題ヲ議スルニ當ッテ非常ニ材料ニ困ルト云フヤウナ状態デアル、是ハ私ハ非常ニ殘念ニ思ッテ居ル、今回デモサウデア、行ク時カラ殆ド何モ分ッテ居ナカッタ、ソレデ行ッテ來テカラドウカト云フト、殆ド成ッテ居ナイ、例ヘバ大臣ノ言フ事ニ付テモ、私ハ非常ニ懸念ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フ事ヲ高橋是清サンガ貴族院デ答ヘラレテ居ル、江木君ニ對スル説明デ、斯ウ云フ事ガ第一私等ニ分ラヌ、即チ防備ノ事柄ニ付テハ先刻モ申述ベタ云々ノ項デアル、ソレニ「無論日本ニ於テモ小笠原島等ニ於テ防備ハ現状ヲ維持スルモノト云フ、其諒解ノ下ニ商議ガ進ンデ居ッタ、其後専門家ノ會議ニ移ッテ大體ノ定ッタモノヲ條約文ニ作ルト云フ場合ニ於テ、其互ノ諒解ヲ十分ニ遂ゲテ居ナカッタト云フトガ分ッテ來タト、斯ウ察シラレルノデス、ドウモ暗號電報何カデアリマスカラ經緯ノ詳シイコトハ分リマセヌケレドモ、サウ察シラレテ居ル是レ以上申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、總テノ商議ガ濟ミマスルト云フト其邊モ明瞭ニナリマセウ」ト斯ウ云フトデアリマス、是ガ私ハ譯ガ分ラヌ、ドウ云フ譯デアルカ之ヲ私ハ知りタイ、詰リ御存知ノ通り要塞問題ニ付テ本土ト云フ問題「インシユラ」ボゼツジョン「ガ」インシユラ「ド」ミニオン「ニ」這入ッタト思フガ、日本デモ奄美、大島ヲ本土ト主張シ向フデハ撤廢スルヤウニ極ッテ居ッタ所ガ、本土ト云フトコトガ日本ニヤカマシクナッテ來タカラ、本土ハ取除ケテ貫ハナケレバナラヌ、併シオ前等ハ承諾シタデヤナイカト言フ、ソレガ日本ガ困ッタ、多分私ハ向フノ「ヒューズ」トカ何トカト聯絡シテ斯ウ云フ事ニシタ、ソレデ本土ト云フトハ亞米利加ハ言ハヌ、ソナコトハドウデモ宜イ、詰リ防備ノ會議デアルカラ、其問題ガ片付ケバ宜イ、ソレナラバ安心ダ、ソレハ内密ニシテ置イテ貫ヒタイ、其代リニ何ト云フ島ヲ列舉致シマセウ、布哇ハ別デスガ他ノ島ハ列舉致シマセウト、島ニ變

化致シタノデアリマス、是ハ私ノ推察デゴザイマスケレドモ、マサカ私ノ馬鹿ナ頭デモ、判斷ハ誤ラナイモノト確信スル者デアリマス、然ルニソレガドウモ暗號電報何カデアルカラ、經緯ノ詳シイ事ハ分ラナイ、暗號電報ハソレガ分ラナイヤウニヤッテ居ルノデハナイカト云フ疑ガアル、其罪ヲ暗號電報ニ持ッテ行ッテ、暗號電報デヤッテ居ルカラ間違ノ起ルノハ當然ダト云フヤウナコトデアアル、サウ云フヤウニ暗號電報ガ分ラヌヤウデハ、千里ニ使スル所ノ者ハ、昔ノ全權ノヤウニヤラナケレバナラヌ、然ルニ日本ノ全權ハ遠イカラ電報ヲ以テヤッテ居ル、固ヨリ成ッテ居ナイ、ソレデ以テ暗號電報デアルカラ分ラヌト云フト言フノハ、亞米利加ノ諒解ノ上デサウ云フトコトヲ言ッテ貴族院ノ速記録ニハ、斯ウ云フトコトガチヤント載ッテ居ルト云フノハ、亞米利加トグルニナッテ、日本國民ヲ馬鹿ニシテ騙シタノデ、怪シカラソコトデハナイカ、諸君之ヲ御覽ナサイ、笑ヒ事デハナイ、重大ナル問題デアアル、サウデセウ、第二ニ於キマシテ、私ガ聽キタイノハ此海軍ノ比例ト云フモノヲ、七割ト言ッテハ覺エハナイト云フトコトヲ内田大臣ガ言ハレテ居ル、七割ノ主張ハ七割トカ何トカ云フヤウナ的確ニ申シタコトハアリマセヌト言ッテ居ル、斯ウ云フヤウナ状態デアル、是ハ軍事當局モ言ッテ居ル、或ハ其當時行ッタ所ノ人ガ皆ナ之ヲ唱ヘテ居ル、亞米利加デモ多分サウ云フトコトニナッテ居ルダラウト思フ、日本デ吾々衆議院ニ於テ聽イテ見ルト、サウ云フトコトヲ言ウタ覺ガナイト云フトコトハ、何タル國民ヲ愚ニスルコトデハナイカ、亞米利加デハソレガチヤント分ッテ居ル、日本デハ斯ウ言ウタ者ガアルト云フトコトヲ英語ニ直シテ持ッテ行ッテ、日本人ハ大ナル抗議ヲ掲ゲルト云フトコトヲ言ハレタノハ、日本ノ外交ト云フモノハ内兜ヲ見透サレテ淺マシイト思フ、斯ウ云フトコトハ諸君ハ何ト見マスカ、非常ナ大ナル失策デハナイカト私ハ思フノデアリマス、其他色々ノ斯ウ云フ點ニ付テ、非常ニ疑惑ヲ懷イテ居ルヤウナ次第デアリマス、一體此海軍比例ニ致シマシテモ、詰リ向フガ五デアレバ、此方モ五デ、對等ニ行カナケレバナラヌモノデアリマセウ、此方ガ任意ニ金ガ無イカラヤルト云フトコトハ宜シイケレドモ、向フカラ「ヂクテート」サレテ、オ前ノ所ハ三デ宜イト云フヤウナコトヲ言ハレテ、ハイハイ宜シイト言ウテ承知シタコトヲ成功ト稱シテ居ルガ、何ガ成功デアアル、「ヂクテート」サレテ

居ル、日本ハ土耳其デハナイ、墨西哥デハナイ、併ナガラ英米ノ言フ通りニナッテ居ッテ「ヂクテ」トサレテ居ルノデアリマス、ソレガドウシテ成功ト言ハレヤウカ、私ハ非常ニ之ヲ遺憾トスル者デアリマス、ソレカラ要塞ノ點デアリマス、日本ノ總テノ要塞ヲ取ッテ——大方總テノ要塞ヲ取ッテシマッテ、而シテ布哇ト云フモノハ中野君ノ言ウタ通り、他ノモノハ悉ク填メテ居ルケレドモ、布哇ハ嚴然トシテ填メテナイコトニナッテ居ル、而シテ海軍ハドウデアアルカト云フト、米國ハ五デアッテ、日本ハ三デアアルト云フノデアリマス、サウ云フヤウナ殆ド戰ヘナイヤウナ状態ニ置イテ、サウシテアノ布哇ヲ措キ「ニユーギニヤ」ヲ措イテ、而シテ日本ガ皆取ッテシマフト云フコトハ、果シテソレデ國防ガ十分ニ完全ニ出來マセウカ、高橋是清サンモ國防ガ保テル所ノ最少限ダケハ承認シタト言ヒマスケレドモ、是ハ眞赤ナ僞デアラウト私ハ思フノデアリマス、然ラバドウシテモ亞米利加ニ敵ハナカッタカラ、斯ウク「斯ク」シタノデアルケレドモ、トウク「負ケテ歸ッテ來タノデアアル、政府モ仕方ガナク承認シタノデアアルナラバソレ迄デアアル、マルデ成功ノヤウナコトヲ言ウテ居ルノハ、國民ヲ侮辱シタモノデアッテ、外國ノ侮ヲ買フモノデアアルト思フノデアリマス、其他四國協約トカ條約トカ申シマスルガ、是等ニ於テモサウデアリマス、私ハ聞ク所ニ依ルト、太平洋上ノ孤島ニ起ッタ所ノ争ヲ、互ニ寄ッテ集ッテ極メヤウヂヤナイカト云フノデ、日英條約トカ他ノ條約トハ、マルデ違ッタモノデアアルト聞イテ居リマス、日英同盟ガ無クナッタガ、四國協約ガ有ルカラ宜イデヤナイカト云フコトヲ、私ハ片腹痛イト思フノデアリマス、是等モ一體國民ヲ愚ニシテ居ルノデハナイカト思フ、ソレカラ私ガ言ヒタイノハ、全權等ノ非常ナ手落ト云フ事ニモナリマセウカ、批准デス、批准ニ付テハ、亞米利加ハ前科者デアアル、言葉ハチト酷イカモ知レマセヌガ、非常ニ惡イノデアリマス、亞米利加ハ、彼ノ「ウイルソン」ガ「ヴェルサイユ」會議ニ於テ、堂々ト決メテ來タモノヲ批准シナイデアハリマセヌカ、然ラバ今回ノ事デモ批准スルカモ知レヌ、シナイカモ知レヌト云フヤウナ状態ニ思ッテ居ルデアリマセヌカ、日本ガ先ヅ批准スルト云フコトハ、或ハ國威ヲ失墜スルヤウナ状態ヲ來スデアリカト思フ、故ニ亞米利加ガ批准シタナレバ、日本モシヤウト云フコトニシナケレバナラヌ、何デモ彼デモ亞米利加ノ

言フ通りニナルト云フコトハ、日本ノ軟弱ナル所ノ外交ノ致ス所ト思ヒマス、此點ニ於テモ大ニ考慮スル必要アルト思フノデアリマス、ソレカラ其他私ハ四五述ベタイノデアリマスガ、第二ニ全權ノ任命ニ付テモ、ドウモ旨ク行ッテ居ナイヤウニ思フ、支那通ナント云フ者ハ行ッテ居ナイ、或ハ作病ヲ起シタト云フヤウナ噂モアル、或ハ又此貴族ノ人ヲ送ッテ、唯ダ政友會ガ、間違ッタ所ガ轉ンデモ只ダ起キヌト云フヤウナ政策ヲ執ッテ、サウ云フ人ヲ派遣シテ居ルト云フコトハ、詰リ内政上ニ使ッテ居ルヤウナ點ガアル、實ニ是等ノ人ニ對シテハ、氣ノ毒ノヤウナ感シガスルノデアリマス、皇太子殿下ハ、陛下御病中ニ拘ラズ、萬里ノ波濤ヲ蹴ッテ彼ノ民情ヲ視察シ、日本ノ國威ヲ輝カス爲ニ御出デニナラレタノデアアル、然ルニ原君ハ二週間デモ三週間デモ向フヘ行ッテ、大體ノ條項ヲ決メテ歸ッテ來ルノガ當然デアアルト云フコトハ當時國論デアッタ、然レドモ彼ノ行カナカッタ、故ニ氣ノ毒ニモ到頭殺サレタト云フ状態デアアル、詰リ向フデアハ御承知ノ通り、彼ノ「バルフォア」トカ、「ヒューズ」トカ、「ブリアン」トカ、或ハ「ジャンデル」ト云フヤウナ有名ナ人ガ行ッテ居ルノニ、日本ハ唯ダ二三見物ノヤウナ状態デ生命賭ケデヤッタノデアリ、彼ノ「ヴェルサイユ」會議ト同シヤウナ趣意デアッタト云フコトハ、如何ニ此華盛頓會議ハ、戰後海牙會議以後初メデアアルト云フ此種ヲ蒔クト云フ時ニ當ッテ、日本ガ眞面目ニシッカリ掛ッテ居ナイト云フコトハ、後年必ズ此收穫ト云フモノヲ、吾々ハ穫ラナケレバナラヌト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、然ルニ之ニ付テ政府竝ニ政友會ハ、何等考慮シテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ國民ノ大ナル任務ヲ負ウテ居ル人ト私ハ信ズルコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ斯ウ云フヤウナ意味カラシテ、今回ノ會議ト云フモノハ、マルデ失敗デアアルノミナラズ、失敗シタコトヲ皆ナ糊塗シテ、少シモ國民ニ知ラシメナイヤウナ、斯ウ云フ遣口デハ、日本ト云フモノハ非常ニ危イノデアリマス、政友會ノ諸君ハ危クナイト言ハレルカモ知レマセヌガ、吾々ハ危イト思フ、故ニ諸君ニ警告シ、又大臣ニ警告シ、此日本外交官ニ警告スル所以デアリマス、彼等ハ世界ノ大勢ニ通ジナイデ、吾々ハ悉ク物ヲ知ッテ居ルト云フヤウナ顔ヲシテヤッテ居ルノハ、是ハ非常ニ怪シカラヌ事ト思ヒマス、私ハ此日本ガ何ガ故ニ此日英同盟ト云フモノヲ、斯ノ如ク阪スク破棄シタカト云

フ點ニ付テモ、大ナル疑ヲ持ッテ居ル者デゴザイマス、此二十年モ續イタ所ノ同盟、之ヲ即チ廢メ
 ルト云フコトハ專ラデアリマシタケレドモ、是ト手ヲ切ルト云フトキニハ、非常ナル慎重審議ヲ
 シテソレト切レタナラバ、他ハドウスルト云フ重大ナル事ヲ考ヘナケレバナラヌコトハ、吾々國
 民ノ分リ切ツタ事デアリマス、然ルニ是ガドウナルカト云フコトモ知ラナイデ、我ガ全權ガウカ
 ウカト華盛頓會議ニ行ツタ、國民ガ如何ナル程度マデ輿論ガ考ヘテ居ルト云フコトヲモ糾サズニ
 行ツタト云フコトハ、大ナル縮尻デハナイカト思ヒマス、諸君ヨ、或ハ米國々民、英國々民ニ失禮
 デアルカ知ラヌガ、私ノ推察ヲ少シ述ベテ見タイ、彼ノ英國ノ愛蘭ノ問題ニ付テ、「エドワード
 レー」ガ愛蘭問題ノ爲ニ、英米ハ戰爭ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ル、其位ニ重大ニ
 思ッテ居ル、詰リ此亞米利加ガ愛蘭ニ軍器トカ金ヲ貸シテ、其獨立ヲ助ケテ居ルト云フコトデア
 リマス、故ニ此愛蘭問題ヲドウカ助ケナイヤウニ、亞米利加ニ頼ミタイト云フコトガ、一ツノ英
 國ノ魂膽デハナイカト思フノデアリマス、他ノ一ツノ魂膽ハ何カト云ヘバ、英國ガ米國ニ非常
 ニ大ナル借金ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、他ノ一ツハ戰爭ノ創痍ヲ受ケテ居ッテ、租稅ガ
 嵩ムトカ、色々ノ費用ガ嵩ムカラ、軍艦ヲ成ベク縮少シタイト云フヤウナ意思ガアル、或ハ現狀
 ニ置キタイト云フヤウナ意思ガアル、之ヲ満足シナケレバナラヌ、而シテ勞働黨ガ勃興シテ來マ
 シテ、其勢ガ強クナツテ來タ、又勢ヒ濠洲ハ英國ガ負擔シナケレバナラヌ七割何分ヲ英本國カラ
 ヤラナケレバナラヌ、サウスルト英國ガ費用ガ嵩サンデ來ルカラ、日本ノ海軍ヲ成ベク減サセ
 タイ、米國ノ海軍ニモ競争サセナイヤウニシタイト云フノデ、ソコデ英國ガ彼ノ「ノースクリ
 プ」記者ヲヤッタト申シマスガ、亞米利加ト手ヲ組ンデ、サウシテ亞米利加ニモ軍備ノ擴張ヲセヌ
 ヤウニシテ貫ヒタイト言フタンデアアル、亞米利加ガ宜シイ、然ラバ日英同盟ヲ破棄ナサイ、サウ
 言ウタンデアリマス、サウシテ更ニ曰ク日本ハ六割、五ト三ノ割合、十ト六ノ割合デヤラセレバ
 宜イデハナイカト、米國、英國ガ共同ノ上ニ決メタンデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ何
 故カト云フト、戰前私ガ獨逸ニ居リマシタ時ニハ、戰爭ノ一二年前ニ、獨逸ニ對シテ既ニ十ト十
 六ノ割合ト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、獨逸ガ應ジナカッタ、詰リ英國ガ勃興シテ、其跡

ニ跟イテ行カウト云フノデハ國威ニ關スルト云フコトデ、之ニ反對シマシタカラ、到頭遂ニ戰爭
 ニナツタト云フヤウナ狀態デアアル、此十ト十六ノ關係ヲ移シテ、日本ト米國、日本ト英國ニ持ッテ
 來タノハ、獨逸ニ對スル條約トマルデ一緒デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ意味ニ於
 テ、英國ガ米國ノ背後ヲツ、ツイテ、而シテ日本ニ斯ウサセルト云フノデ、日本ガ行ツタトキニ海
 軍ノ協定案ガ出タ、檢事ハ誰デアアルカト云フト、「ヒューズ」デアアルソレガ檢事ノ格デ、オ前サウ
 シナサイト云フコトヲ「ジクテイト」サレタ、日本ニ好意ヲ裝フテ居ルト言ッテハ少シ失禮カモ知
 レマセヌガ、日本ニ好意ヲ持ッテ居ルト推定サレタ「バルフォア」ガ、日本ヨ、オ前ハドウシテモ
 之ヲシナケレバイヤカヌヨト言フテツ、カレテ、日本ハ仕方ナク之ニ應ジタト云フコトデハナイ
 カト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ非常ナ入込ダ事ヲ前ニチヤントヤッテ居ルノデアリマス、御承
 知ノ通り此問題ニ付テハ、南阿ノ「スマツツ」將軍ハ、白人ト黒人トハ同一ノ場所ニ置イテハイ
 ケナイカラ、別ノ所ニ置カナケレバナラヌト云フノデ、人種不平等主義デアアル、此人等モ干與シ
 テ居ルト云フコトハ明ナル事實ト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ事デ、英國ト米國カラシテ居ツタノ
 ニ、日本ノ政府ハ果シテ之ヲ知ツタカ、知ラナカッタナラバ實ニ無能デアッテ、知ッテ居ツタナラバ、
 何故國民ノ前ニ披瀝シテ、國家ハ斯ノ如クデアルト云フコトヲ吾々ニ言フコトガ出來ナカッタカ、
 私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、私ハ此今回ノ日英同盟ガ斯ノ如ク輒ク破棄セラル、ト云フコト
 ハ、假令ソレハ何デモナイモノデアッタ所ガ、日本ノ面目ガ踏潰サレテ居ルト云フコトヲ思フノ
 デアリマス、而シテ英國ガ斯ノ如キ舉ニ出デタト云フコトハ、日本ノ政府、殊ニ「デモクラチック」
 デアル所ノ英國ガ、何ガ故ニ日本ノ政府ニ、日本ノ國民ニ十分ナル諒解ヲ求メナカッタト云フコ
 トモ、吾々ハ英國ニ對シテ大ナル不滿ヲ懷ク一人デゴザイマス、斯ウ云フ點ニ於テモ、私ハ英國
 ガ大ナル手落ラシテ居ルヨリ以上ニ、日本ノ政府ガ手落ラシテ居ルト思フノデアリマス、ソレカ
 ラ私ハ今日ノ戰爭ガデスネ、今日ノ戰爭ト云フモノガ、果シテ諸君ガ唱ヘテ居ル如ク、或ハ外務
 大臣ガ唱ヘテ居ル如ク、或ハ高橋サンガ言ハレテ居ル如ク、唯ダ單ニ此戰爭ガ斯ウ云フヤウナ華
 盛頓會議デ熄ムモノデアルト云フコトハデスネ、彼ノ伊太利ノ「シヤンテルス」ガ言ハレテ居ル、

即チ經濟ト云フモノ、安固ト云フコトヲ假令會議デ決メテモ、アカヌト云フコトヲ言ハレテ居ル、ソレヲドウ云フ目見テ居ラレルカ、私ハサウ云フ點ニ付テ聞キタイノデアリマス、諸君、吾君ハ諸君ハ何ト見テ居ルカモ知ラヌケレドモ、今日色々ノ日本人ガ排斥サレテ居ルコトハ、中野君モ言ハレマシタガ、排斥ヲ受ケテ居ル、或ハ「カリホルニヤ」ニ於テモ排斥ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、否ムコトガ出來ナイ、紳士協約ニ於テ唯ダ單ニ取止メテ居ルガ、體裁ノ好イ所ノ亂暴ヲ取扱フ受ケテ居ル、寫眞結婚ト云フヤウナ事ヲ禁止サレテ居ル、米國ハ何ト言ッタカ、寫眞結婚ト云フモノヲ何ト言ッテ居ルカト云フト、寫眞結婚ハ道德ニ反スルカライケナイト言ッテ居ルガ、道德ニ反スルカライケナイト言ッタノデハナイ、日本人ハ子ヲ産ンデ仕方ガナイ、子供ガ多ク殖エルト、市民權ヲ持ツ者ガ殖エテ困ルト云フ上カラ言ッタノデアアル、今回ノ華盛頓會議ヲ旨クヤルナラバ、平和ヲ持來スト言ヒマスケレドモ、私ハソコニ大ナル「エゴイズム」ガ含ンデ居ルト云フコトハ、私ハ中野君ト其揆ヲ一ニスル、諸君見給ヘ、布哇ノ防備ヲ撤廢シナイデナイカ、人種差別デ叩付ケテ置ケト云フノガ、大ナル政策デハナカラウカト思フ、日本移民ト云フモノハ、少シモ彼國ニ這入ルコトガ出來ナイ、又這入ッタ者ハドウカ、土地ヲ持ツコトサヘモ出來ヌト云フ、不平等極マル所ノ法律ヲ以テ、吾々ヲ侮辱シテ居ルデハアリマセヌカ、片方ニハサウ云フ事ヲヤッテ居リナガラ、一方ニ於テハ人種平等、機會均等トカ言ヒ兼ネマジキ口吻ヲ持ッテ居ル、又ソレヲ安請合ニ請合ッテ、外務大臣ノ内田ト云フヤウナ人ガ、ソレヲ受繼イデ平和ノ風ガ吹キ、自由平等デアアル、博愛デアアルトカ言ヒマジキ口吻ヲ以テ言ハル、ノハ、國民ヲ欺クモノデハナカラウカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ於テモ、吾々ハ非常ニ諒解スルコトガ出來ナイ、ソレカラ彼ノ「ヴェルサイユ」會議ニ人種平等案ガ提出サレタ、其人種平等案ガ提出サレタ時ニ、日本ノ使節ガ何ト言ッタカト云フト、是ハ移民問題トハ別問題ダカラ、通シテ吳レト言ッテ哀願シテ居ル、實ニ怪シカラヌ事デアアル、移民問題ハ吾々ハ堂々ト言フベキモノデアアル、又政府ガ言フコトガ、移民問題ヲ言フコトガ出來ナケレバ、人種平等問題ニ付テ、何故ニ堂々ト華盛頓會議ニ於テ言ハナイノデアアルカト云フコトヲ不思議ニ考ヘル、少シモサウ云フコトハ云ッテ居ナイデヤナイ

カ、私ハ「ジャンテルス」ト見テ同ジウスル、戰爭ト云フモノハ唯ダ單ニ兵隊トカ、或ハ要塞ダトカ、或ハ軍艦ヲ減スノミヲ以テ戰爭ヲ廢スコトハ出來ナイ、是ハ「エゴノミー」デアアル、戰爭ノ禍根ヲ絶ツコトガ、戰爭ノ根ヲ絶ツコトデアラウト思フ然ラバ其戰爭ノ根ヲ切ルト云フノハドウダ、日本ノ人民ガ彼ノ廣イ所ノ濠太利、或ハ加奈陀、或ハ亞米利加ト云フヤウナ國ニ溢レテ行クコトガ、又食糧問題ノ自給ガ旨ク解決スルト云フコトガ、日本ノ海外貿易ガ旨ク發展スルト云フコトガ、日本ノ接壤地ニ於ケル石井「ランシング」協約ト云フモノガ、十分ニ實行サレルト云フコトデナケレバ、假令五年八年平和ガ續イテモ其後ニ大ナル慘劇ト云フモノガ必ず來ルモノデアアルト云フコトヲ吾々ハ虞レルノデアアル、此點ヲドウ云フ風ニ見ラレテ居ルカト云フコトガ、私ハ非常ニ慨嘆ニ堪ヘナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ問題ニ於テ、日本ガ非常ニ大ナル侮辱ヲ受ケテ居ルノデアリマス、彼ノ「デットランド」ガ佛蘭西ヲ引受ケテ小國ヲ聯合シテ大國ニ當ッタト云フヤウナ歴史ガアルノデアリマス、日本ハ今ヤ此小國ノ味方ヲシテ、而シテ大國ニ向ッテ堂々ト反抗シテ行カナケレバナラヌ立場ニ在ル、斯ウ言ッテハ失禮デハアルカモ知レマセヌガ、庚申俱樂部ノヤウナ立場ニ在ル、大キナモノニ附カナケレバナラヌ、小ナルモノニモ附イテ行カナケレバナラヌヤウナ苦シイ立場ニ在ル、原サンノ死ト云フモノニ付テモ反對シナケレバナラヌ、或ハ又山縣サンノ國葬ニ付テモ反對シナケレバナラヌヤウナ事ヲ言フテ、善イカ惡イカト云フコトニ迷ッテ居ルヤウナモノデハナイカト思フ、甚ダ失禮デハゴザイマスケレドモ、日本ノ状態ガサウ云フヤウナ状態デアアル、故ニ日本ハ未ダ積極的ノ十分ナル政策ヲ執ルコトハ出來ナイ、政友會ハ内政ニ於テハ積極々々ト言ッテ居ルケレドモ、外政ニ於テハマルデ消極退嬰ノ主義ヲ執ッテ居ルト云フコトハ、明カナ事實デアリマス、サウ云フコトガアルト思フノデアリマス、私ハ今日日本人ダトカ、支那人ダトカ、或ハ色々ノ民族ガ非常ニ蹴ッたり、踏マレたりシテ居ル、國際的政策ト云フモノト、平和ト云フモノハ兩立スベキモノデアアル、國際的主義ノ衝動及實行ナクシテ、眞ノ平和ト云フコトハ出來ナイ、故ニ此點ニ於テハ十分ナル所ノ吾々ハ覺悟ヲ以テ、反對ヲシナケレバナラヌ、詰リ諸君モ御存ジノ通り、「デモクラシー」ト國際主義ト云フ

モノガ段々ト起ツテ來ル、又國際主義ニ於テモ、或ハ「インターナショナルイズム」インタルナシヨナリズムト色々ノ形式ニ於テ段々進ンデ、博愛主義ガ盛ニ進ンデ來ルニ違ヒナイ、併ナガラ今日ハ亞米利加及英國ガ斯ノ如キ態度ヲ執ツテ居ルト云フコトハ、私ハ非常ニイケンイト思フ、獨逸ノ哲學者「デンメル」ガ言ハレタ、「エボリューション」ハ、唯人文ノ進ムノミガ進化デハナクシテ、色々ノ條件ヲ具備シテ、此條件ヲ綜合シテ進ムト云フコトガ進化ノ大原則デナケレバナラヌ、然ルニ唯空漠ナル所ノオ世辭ヲ貫ツテ來タ日本ガ餘リニ頭ガ頑ナデナカッタト云フコトヲ褒メラレタノヲ以テ、日本ノ外交ト云フモノハ、行詰ツテ居ナイト云フコトヲ言ハレルト云フコトハ、私ハ非常ニ大ナル誤リデハナイカト思フノデアリマス、彼ノ「バーネル」ガ言ハレテ居ル、諸君此所ヘ進メ、併ナガラツレ以上ハ進ムコト勿レト云フコトハ、誰ガ明言スルコトガ出來ルカ、今米國ヤ英國ガ此所迄進メ三迄ハ宜イガ、四迄ハ惡イトカ、此要塞ハ取ラナクテハナラヌトカ此要塞ハ取ツテハナラヌトカ、或ハ何ハ斯ウシテハイカヌトカ、マルデ吾々ガ「デクテート」サレテ居ル、是デ三大國、五大國デアルト云フコトヲ吾々ガドウシテ考ヘルコトガ出來マセウカ、諸君ガサウ云フヤウナ責任ヲ持ツト云フナラバ、私ハ諸君ニ良心ガ有ルカ無イカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ヌト云フ状態デアリマス、私ハ思フノデアリマス、今ヤ英國ガ引心的勢力、求心的勢力ノ爲ニ、今ヤ餘程熟シテ居ル實ノヤウナモノデ、植民地ト云フモノハ彼ノ果實ノ如キ物デアル、熟スレバ遂ニ木カラ落チル、故ニ濠洲、或ハ加奈陀ノ運命ハドウ云フモノニナルカ分ラヌ、亞米利加モサウデアリマス、何時迄其大勢力ガ續クカ分ラヌ、吾々ハ東洋ニ於テハ或ハ朝鮮ナリ、或ハ支那ナリ、或ハ印度ナリヲ導イテ行カナケレバナラヌ所ノ、大ナル使命ノアルモノデ、ゴザイマス、是等ノ點ニ於テ、吾々ハ公明正大ナル所ノ態度ヲ以テ進マナケレバナラヌ、私ハ虞レルノデアリマス、彼ハ波斯ト希臘トハ大戰爭ニナッタ、或ハ羅馬「カルセーシ」ガ戰爭ニナリ、或ハ英國ト和蘭、西班牙、佛蘭西、獨逸ト云フモノガ戰爭ニナッタ、或ハ米國ト我が日本ト云フモノハ、何時如何ナル所ノ大ナル衝突ヲ起サヌトモ限ラヌノデアリマス、吾々ハ此大衝突ヲ避ケンガ爲ニ、此會議ニ列席シテ居ルノデハナイカ、唯ダ單ニ豫算ガ數億萬圓減ルト言ツテ、此會議ニ臨ンデ居ル

ノデハナイ、此大ナル衝突ヲ避ケテ、世界ノ平和ヲ招來センガ爲ニ、之ヲヤツノ居ルノデハナイカ、諸君ガ治水費教育費ヲ言フモノモ結構デアアル、結構デアアリマスケレドモ、ソレガ十分ニ吾ガ唯ダソレノミニ著目スルノデハナイ、國家ノ安危興亡ト云フモノガ、大ニ吾々ノ雙肩ニ繫ツテ居ルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、故ニ吾々ハ今回華盛頓ニ於ケル所ノ會議ハ、平和ノ戰爭ト見ルノデアリマス、「デュットランド」ノ戰爭ヨリモ大ナル所ノ戰爭ガ行ハレテ居ル、日本ハ海軍ヲ下ゲル、要塞ヲ斯ノ如クスル、サウシテ英國及米國ハ五ナラ五ト云フモノヲ持ツト云フヤウナ、大ナル紙ノ上ノ戰爭ガ行ハレテ居ル、是ガ條約ニ規定サレテモ、吾々ガ遵奉シナケレバナラヌ、詰リ惡ク言ヘバ日本ガ大ナル海軍ノ敗戦ヲシタモノト思フノデアリマス、故ニ吾々ハ大ニ我が日本ノ前途ハ如何ニナルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、然ラバオ前ハ軍國主義デアカト云フト、サウデハナイ、吾々ハ平和ヲ招來シタイト云フ熱心ナル希望ヲ持ツテ居ル、人類ノ罪惡ハ即チ戰爭デアルト云フコトヲ知ツテ居ル、併ナガラ歴史ヲ見レバ悉ク戰爭デアルガ、吾々ノ理想ハ平和ニ在ルト云フコトヲ知ツテ居ル、海牙會議ノ開設以來未ダ十分ナル諒解ナキニ、今回ハ幾分ノ芽ヲ出シタモノデアルト云フノハ喜バシイ事デアリマスケレドモ、吾々ハ其間ニ亞米利加ヤ英吉利ノ「エゴイズム」ガ色々其間ニ吾々ノ發達ヲ阻碍スルヤウナ點ガアルカラ、ソレニ向ツテハ大ナル反省ヲ請ハナケレバナラヌト思フ、然ルニ政府竝ニ議員諸君ガ、唯單ニ眼前ノ利益ニ汲々トシテ、國家ノ大勢ハ何所ニ行クカト云フコトノ大ナル點ニ付テ憤慨ノ聲ヲ放ツ者ガ少イノハ、私ハ大ニ憂フルノデアアル、私ハ未熟ナ者デ、外交ノ事ハ分リマセヌケレドモ、吾々ハ平和ヲ招來スルト共ニ、正義公道ノ爲ニ日本ノ大ナル使命ヲ持ツテ行クニハ、今一層大ニ奮發シテ行カナケレバ、我が帝國ノ前途ハ、實ニ危イト思ヒマスカラ、中野君ノ決議案ニ賛成シ、諸君ガ黨派ノ如何ヲ論ゼズ、國家ヲ思フト云フ意味カラ、政府ノ反省ヲ促シ、國民ノ自覺ヲ促シ、國民外交ノ實ヲ舉ゲルニハ極テ緊要適切デアルト思ヒマスカラ、此決議案ニ賛成スル次第デアリマス

此ノ時岩崎勳君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シ院議起立ヲ以テ採決ノ結果多數ヲ以テ討論ハ終局ス

ルニ決ス

次テ院議起立少數ニテ本案ヲ否決セリ

二 決議案

歐洲大戰ニ於ケル佛國々民ノ義勇トジョッフ元帥ノ偉勳トハ世界ノ平和ヲ促進シ人類ノ福祉ニ貢獻スルモノ大ナリ今ヤ元帥至高ノ使命ヲ齎シテ我カ國ヲ訪ハル兩國ノ交際益親善ヲ加フルハ我カ國民ノ洵ニ慶幸トスル所ナリ衆議院ハ茲ニ元帥ニ對シ特ニ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表ス

右決議ス

右八十一年一月三十一日大岡育造君外七名之ヲ提出ス二月一日議事日程ヲ變更シテ本案ヲ院議ニ付シ提出者(大岡育造君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

曩ニ聯合軍ノ總指揮官タリシ「ジョッフ」元帥ハ、今ヤ親シク來朝セラレテ、佛國民ノ至高ナル使命ヲ我ガ皇室及政府ニ致シ、本日ハ我ガ衆議院ヲ訪問シテ居ラレマス、吾々ハ此機會ニ於テ院議ヲ以テ歡迎ノ誠意ヲ表シタイト思フノデアリマス、私ハ「ジョッフ」元帥ヲ迎フルニ當リマシテ、先ヅ思ヒ起スコトハ「マルヌ」ノ激戰ノコトデアリマス、遺憾ナガラ歐洲ノ大戰ハ勃發ノ當初ニ於テ、聯合軍ノ勢ヒ甚ダ振ハザリシ時代デアリマシタ、若シ當時「ジョッフ」元帥ノ乾坤一擲

ノ放膽ナル作戰ヲ以テ局面ノ大轉換ヲ爲スニ非ザレバ、大戰ノ前途ハドウナッタデアラウカト思ハレルノデアリマス、「マルヌ」ノ戰捷ハ眞ニ正義ノ闕ノ第一聲デアッタノデアリマス、是ヨリシテ漸時ニ最後ノ勝利ニ向ッテ進ンダノデアリマス、「マルヌ」ノ戰捷微カッセバ、光榮アル平和モ出來難カッタノデアリマス、「ジョッフ」元帥微カリセバ正義ノ、權威モ勝ツコトガ出來ナカッタカ知レナイノデアリマス、是ハ併ナガラ私ノ一家言デアリマセヌ、軍事專家ノ定評ノアル所デアリマス、「キチナー」元帥ガ英吉利ノ議會ニ於テ斯ウ云フ評ヲ居リマス「ジョッフ」ハ嘗ニ一ノ大ナル將軍デアアルノミナラズ、又實ニ一ノ大ナル人格者デアアルト申シテ居リマス、洵ニサウデアラウト思ヒマス、偉大ナル人格者ニシテ而シテ後初テ克ク此重大ナル作戰ノ執行ガ出來ルノデアリマス、吾々ハ茲ニ我ガ國民ヲ代表シテ此偉勳赫々タル元帥ヲ迎ヘテ、親厚ナル敬意ヲ表スルノデアリマス、同時ニ又佛國民ガ克ク此人ニ託スルニ此大任ヲ以テシタル其賢明ニ對シテモ、深キ敬意ヲ表スルノデアリマス、我國ト佛國トハ多年親厚ノ間柄デアッテ、參戰以來著シク親善ヲ加ヘタノデアリマス、而シテ又昨年我ガ東宮殿下ノ佛國御訪問ト、今年「ジョッフ」元帥閣下ノ來朝トニ依リマシテ、兩國ノ友交ハ愈益、親厚ニナリマシタノデアリマス、茲ニ吾々ハ決議ヲ求メル爲ニ之ヲ朗讀致シマス

(朗讀セラレタル決議文ハ前掲セルヲ以テ略ス)

次テ表決ニ入り院議起立ヲ以テ滿場一致本案ヲ可決セリ

三 決議案

衆議院ハ議長奧繁三郎君ヲ信任セス

右決議ス

右ハ大正十一年一月三十日安達謙藏君外四名之ヲ提出ス同日議事日程ヲ變シテ本案ヲ院議ニ付シ提出者(本田恆之君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

吾々ガ唯今提案致シマシタ與議長ニ對スル不信任決議案ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、本月二十五日本院ニ於キマシテ議員鳩山一郎君ガ議員鈴木富士彌君ニ對シテ暴行ヲ加ヘ負傷セシメマシタ事柄ハ、實ニ立法院ノ神聖ヲ傷ケタル容易ナラザル重大ナ問題デアリマス、議長ハ唯今此席ニ於テ一身上ニ關スルト云フ譯ヲ以テ、此事件ヲ説明サレタ所ニ依リマスレバ、事ハ輕微デアルカラ議長ハ之ニ對シテ何等ノ處置ヲ執ラナカッタノデアアル、執ラナイ方ガ寧ロ相當ト思フタト云フ意味ノ辯解ヲサレタノデアリマスケレドモ、是ハ大ナル議長ノ誤デアラウト私共ハ考ヘマス、苟モ立法院ニ參列致シマスル議員ノ身體ニ對シテ指一本ト雖モ之ニ接觸スルト云フコトハ立法權ノ尊嚴ヲ害シ、議員ノ體面ヲ毀損スル行爲デアリマス、諸君ハ立法院ノ威嚴ヲ保ツ上ニ於テ、私ガ斯様ニ申上ゲルノニ冷笑ヲ加ヘラレルト云フコトハ其意ヲ解シ得ナイ、吾々ノ身體、吾々ノ名譽、吾々ノ自由ト云フモノハ、議員トシテノ殊ニ尊嚴ヲ受ケナケレバナラヌ、尊敬ヲ受ケナケレバナラナイ筈ノモノデアリマス、ソレデアアルノニ苟モ鈴木君ガ自己ガ意見ヲ述ベタ事ノ結果ト致シマシテ、身體ニ危害ヲ受ケタト云フ事件ガ此議院内ニ——議事堂ニ起リマシタト云フ事ハ實ニ容易ナラヌ問題デアルト私ハ考ヘル、尤モ同ジ暴行ト致シマシテ、醉漢ガ不用意ノ間ニ衝突シタト云フヤウナ出來事デアレバ、其情餘程酌量スル餘地ガアリマスケレドモ、鳩山君ノ暴行ニ至リマシテハ左様ナ簡單ナモノデナイ、鈴木君ガ官紀紊亂、綱紀頹廢ノ質問演說ニ於キマシテ、政府ヲ攻撃シ、政友會ノ或者ヲ叱責致シマシタ事柄ニ起因致シテ居ル、要スルニ鈴木君ノ政治上ノ意見、政治上ノ不誠意不都合ト云フモノヲ糺彈シタ演說ニ原因シテ、而シテ鳩

山君ガ暴力ヲ以テ之ニ復讐シタノデアリマス、鳩山君ノ暴力ハ其性質極テ惡性、憲法政治ノ本義ニ照シマシテ、斷ジテ默過スルコトハ出來ナイノデアリマス、御承知ノ通り憲法第五十二條ノ議員ノ言論ヲ保障スト云フコトハ、一體何ノ爲メデアアル、政府ノ失政ヲ糺彈スル、反對黨ノ不正ノ行爲ヲ叱責スル、斯様ノ事ハ勿論ノコト、假令如何ナル問題ニ付テモ顧慮スコトナク、忌憚ナク、議員ガ意見ヲ發表シ得ルヤウニ、憲法ガ之ヲ保障シテ居ルノデアアル、然ルニ若シモ議員ガ自分ノ自由ナル意見ヲ發表スルコトヲ遠慮シナケレバナラナイヤウニ、或ル勢力ガ之ヲ壓迫シ、或ハ名譽ヲ毀損サセ、或ハ喧嘩ヲ吹掛ケテ、是ニ膺懲ヲ加ヘルト云フヤウナ遣リ方ラスルコトヲ、議院ガ看過致シマシタナラバ殆ド立法院ノ議員ハ其自由ナル意見ヲ發表スルコトニ躊躇致シマシテ、立法院ノ働キヲ傷クルト云フヤウナ結果ニ至ルコトヲ恐レルノデアリマス、議院ノ規則ニモアリマス通り、本來憲法政治ハ言論ノ政治デアリマスカラ、言論ニ對シテ相酬ユルニハ言論ヲ以テスルノガ至當デアアル、然ルニ鳩山君ガ前申上ゲマスヤウナ不都合ナコトヲ仕出來スト云フコトハ、私ハ單リ是ハ鳩山君ヤ鈴木君ノ問題デアルトハ考ヘナイ、實ニ神聖ナル立法院ニ於テ最モ忌ムベク、最モ悲シムベキ一ノ出來事トシテ此始末ヲ著ケナケレバナラヌト考ヘル、之アルガ爲ニ、法律ハ、行政立法院ノ内部ニ他ノ勢力ヲ關與セシメナイ爲ニ、議院ノ内ハ實際ノ自治制ニナッテ居リマス、例令如何ナル事ガアリマシテモ、議院内ニ如何ナル事ガアリマシテモ、政府ノ侵害ヲ——侵入ヲ防グト云フ規定ニナッテ居ルコトハ、諸君ニ向ッテ説明スルマデモアリマセヌ、議長ト云フモノハ、斯ノ如キ事ガ出來マシタ以上ハ、之ニ對シテ法律的或ハ議長自ラ相當ノ處置トシテ認メマス以外ニ、ソレ々ノ措置ノ方法ガアルニ違ヒナイ、私ハアルト考ヘル、又我が立法院ニ於テモ段々先例ヲ調ベテ見マシテ、相當ノ處置ヲシタ例モアリマス、然ルニ與議長ハ二十五日ノ午後二時ニ起リマシタ此出來事ニ對シマシテ、爾來何等ノ處置ヲ取ラナカッタト云フコトハ、議長トシテ其職責ヲ盡シタト云フコトガ言ヘマセウカ、或ハ私共ガ之ヲ司法官憲ニ申告シタ事ニ付テハ、段々非難ヲスル人モアリマスルシ、或ハ議長ハ相當ノ處置デアアルカノ如ク、唯今

辯解ガアリマシタケレドモ、吾々ハ二十六日ノ正午ニ議長ニ會見シマシテ、鳩山君ガ鈴木君ニ暴行ヲ加ヘタ事件ニ付テ、議長ハ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトヲ確メタノデアリマス、既ニ議事堂内ニ斯ノ如キ事柄ガ起ツタ以上ハ、何等カノ善後策ヲ講ズルノガ議長當然ノ責任デアアルノデアルカラ、何等カノ處置ヲ執ラレルカト云フコトヲ確メマシタ、所ガ二十六日ノ正午ニ至リマシテ、議長ハ此事ニ付テ何等ノ考慮ヲ拂ッテ居ナイ拂ッテ居ナイト云フコトハ、議長自ラ言フノニ今マデハ何等ノ事ヲ考ヘテ居マセヌ、居マセヌガ是カラ此事ニ付テ考ヘテ見マセウト云フ事ヲ私ニ對シテ明言セラレテ居ル、吾々ハ此議長ノ明言ヲ聽キマシテ實ニ遺憾ニ考ヘタ、鈴木君ハ議院内ニ於テ議院ノ構内ニ於テ、鳩山君ノ爲ニ——鳩山君ノ暴行ニ依ッテ一ノ傷ヲ受ケタノデアアル、之ニ對シテ鳩山君ノ行動ハ議院ノ體面ヲ害スルモノトシテ、吾々ハ懲罰委員ニ付スベキ動議ヲ出シマシタ、所ガ政友會ガ鳩山君ヲ不當ニ擁護スル、不當ニ擁護スル態度ノ爲ニ吾々ハ——吾々ノ懲罰動議ト云フモノハ否決サレタノデアアル、而シテ議長ハ此鈴木君ノ被害事件、言換ヘレバ議院ガ鳩山君ニ依ッテ蹂躪セラレテ居ル所ノ此犯罪事件ニ何等ノ處置ヲ執ラナイト云フコトニナツテ、毆ラレタ者、傷ケラレタ者ハ其儘泣寢入ヲシナケレバナラヌト云フ状態ニ陥ッテ居ル、私ハ正義ノ爲ニ、又議員ノ權利ノ爲ニ、之ヲ何等カノ方法ニ依ッテ救済シテ、後ノ人ヲ戒シメ、不正漢ニ對シテ相當ナル制裁ヲ加ヘルト云フニアラズンバ、終ニ我が立法院ノ體面ヲ傷ケ、其尊嚴權威ト云フモノヲ毀損スルト考ヘマシタカラ、已ムヲ得ズ吾々ハ司法官憲ノ協力ヲ求メタト云フコトニナツタノデアリマス、議長ノ先程ヨリ段々辯解ヲ承リマスレバ、懲罰事件ト、此秩序ヲ破ツタ所ノ後始末ヲ付ケル事件トヲ混淆セラレテ居ルヤウニ考ヘマス、懲罰事件ハ否決ニナツタ、否決ニナツタノハ法ノ不備デアルト云フヤウナ事ヲ辯解ニ加ヘマシテ、而シテソレデ此事件ト云フモノハ全部終結シタカノ如ク議長ハ辯解致シマシタガ、是ハ議長ノ大ナル心得違デアアル、懲罰問題ガ否決サレマシテモ、議場ノ規律ガ破レタト云フ一ノ茲ニ事件ト云フモノハ消滅シナイノデアリマス、デアリマスカラ、假令懲罰事件ガ否決ニ遭ッテ、懲罰ノ動議ト云フモノハ片付キマシテ

モ、此鈴木君ニ對スル鳩山君ノ暴行事件ト云フモノハ現存シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ如何ニ始末スルカト云フ事ハ、マダ未解決デアアル、或ハ先刻モ申上ゲルヤウニ、議長ハ政友會ノ人デアリマシテ、鳩山君モ同ジク政友會員デアルカラ、同ジ政黨ニ屬スルト云フ緣故ノ爲ニ、情實ノ爲ニ其情實ニ糾サレテ、或ハ他ノ勢力ニ壓迫セラレテ、議長ガ當然爲スベキ所ノ職責ヲ盡サナイノデアアルマイカト云フ考モ致シマス、若シサウデアルト致シマスレバ、奧君タル者ハ衆議院議長ノ本分ヲ忘レマシテ、立法院ノ威嚴ヲ毀損スル所ノ態度ヲ執ツタモノデアルト私ハ考ヘマス、諸君斯様ナル出來事、明白ナル事柄ニ對シマシテ、議長ハ何等ノ始末ヲ付ケナイヲ以テ相當トスルト云フヤウナ辯解ヲスルト云フコトハ、曠職モ甚シキモノト思ヒマス、又只今議長ノ辯解ノ言葉ニ依リマスレバ、此出來事ヲ單ニ鳩山君對鈴木君ノ個人的關係ノ如ク考ヘテ居ルノガ大ナル心得違ヒデアアル、衝突ハ個人間ニ起リマシテモ、其被害ト云フモノハ議院ノ體面ヲ害シタト云ウテモ宜シイ、被害者ハ衆議院議員デアリマス、此衆議院ガ即チ被害者デアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、鳩山君對鈴木君ノ個人的關係デハナイノデアリマス、デ私ハ此意味ニ於キマシテ、議長ガ其職務曠廢ノ責任ヲ自ラ省ミテ、所謂立憲的政治家タル態度ニ於テ、速ニ自ラ處決センコトヲ求メル爲ニ、此決議案ヲ提出シタ次第デアリマス

討論ニ入り、鵜澤總明君、前川虎造君ハ反對、佐々木安五郎君ハ賛成ノ演説ヲ爲ス
鵜澤總明君ノ反對演説

唯今憲政會ノ本田君ヨリ去ヌル二十五日、當議院ノ食堂内ニ起リマシタ、鳩山對鈴木、此事件ニ付キマシテ、議長ノ措置ガ不當デアアル、故ニ議長ニ對シテ信任ヲセヌト云フ斯ウ云フ決議案ノ説明ガアリマシタ、縷々數千言ヲ費サレマシタガ、併ナガラ其論旨ノ在ル所ハ果シテ何レデアアルカ、實ハ之ヲ諒解スルニ苦シム者デアリマス、私共ハ此鈴木君ニ對スル鳩山君ノ事件ニ對シマシテ、寔ニ遺憾ヲ感ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ凡ソ吾々ノ議院ニ於ケル規律ノ問題、又吾々

ノ議院ニ於テ規律以外ニ更ニ刑罰ノ問題ノ起リマシタ時ニ、此議院ハ議院ヲ神聖ナラシムル爲ニ如何ナル方法ヲ執ルダケノ限度ヲ持ッテ居ルカ、又如何ナル方法ヲ執ッテ、ソレ以上ハ議院ノ圏外ヲ超エテ、居ルモノデアアルカト云フ事ニ付テハ、極テ慎重ニ考フベキモノデアラウト思フノデアリマス、先程佐々木君ニ依ッテ論ゼラレマシタ議院法ノ九十二條ニ依リマスレバ、ドウ云フ事ニナツテ居ルカト云フト、茲ニ或ル議員ガアツテ、他ノ議員ニ對シテ誹毀ヲスル、或ハ侮辱ヲスル、即チ誹毀若クハ侮辱ニ依ッテ他ノ議員ノ名譽、他ノ議員ノ身體或ハ他ノ議員ニ對スル所ノ體面ヲ汚シタ者ガアル、此場合ニ於テ議院ハ斯カル體面ヲ汚シタリ、名譽ヲ汚シタリ、或ハ身體ヲ汚シタリスル者ノアル場合ニ於テモ、尙ホ議員ハ之ニ對シテ直ニ報復セズシテ、之ニ對スル方法ハ別ニ議院ニ訴ヘル方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウナ規定ノアルコトハ、是ハ佐々木君ノ言ハレタ通りデアアル、併ナガラ此規定ト云フモノハ、議員ニ對シテ自由ニ他ノ議員ヲ誹毀セヨ、自由ニ他ノ議員ヲ侮辱セヨト云フコトヲ許シテ居ルノデハナイノデアリマス、而シテ茲ニ若シ一ツノ議員ガ居ッテ、其議員ノ言論ト云フモノガ如何ニモ亂暴デアアル……如何ニモ他人ニ對シテ大ナル侮辱ヲ加ヘルト云フヤウナ議論デアッタト假定ヲ致スノデアリマス、之ニ對シテ他ノ議員ガ忍耐ノ緒ヲ破ッテ、辛抱ノ緒ヲ破ッテ、而シテ議院ニ訴ヘルコトヲセズシテ、他ノ場合ニ於テ自ラ之ニ對スル詰問的ノ事ヲスル、之ガ爲ニ争ガ起ル、其争カラシテ或ル秩序ヲ破ル所ノ結果ガ起ッタト云フコトガアリマシテモ、此事ニ對シマシテ吾々ノ考フベキ事ハ、是ガ議院ニ於ケル秩序罰ノ範圍ニ當ル懲罰事犯デアアルカ、或ハ秩序罰ヲ超エテ居ル所ノ刑事事犯デアアルカ、此二ツヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、去ル二十五日ノ事件ニ付キマシテハ、懲罰事犯ニ當ルト云フ見解ヲ以テ本田君カラ茲ニ懲罰事犯ノ提案ヲセラレマシタノデゴザイマスガ、是ハ議員ノ多數ニ於テハ懲罰事犯トシテ議院法ニ規定セラレタルモノニ當ラナイト云フコトニ於テ否決セラレタコトハ、其當時ノ有様ニ依ッテ明白デアリマス、ソコデ今日殘ッテ居ル所ハ、此懲罰事犯ト云フモノニ依ッテ、議院ガ此本田君ノ言ハル、通り、假ニ懲罰ニシタリトシテモ、茲ニ刑法上ノ責任ハ消滅スルカト云ヘバ、ソレハ矢張消滅スルコトハ出來ナイノデアアル、ソコデ此問題ニ對シテ議長ハ先ヅ

鈴木君ニ對シテ、或ハ告訴告發ヲナサル、カト云フヤウナ事ヲ聽イタ所ガ、警務課長ニ言ハル、所ニ依ッテモ、書記官長ニ言ハル、所ニ依ッテモ、告訴告發ヲセラレナイ、斯ウ云フヤウナ御答ガアツタ、議長トシテ執ルベキ方法ハ、若シ事前デアッタナラバ斯ノ如キ懲罰事犯ノ起ラナイヤウナ手續ヲ執ラレバ宜シカッタノデアアルガ、當時議長ハ此議席ニ在リ、此議長ノ席ニ在ッテ而モ議院ノ議場以外ニ於テ起ッタ事デゴザイマスカラシテ、事前ニ於テ之ヲ豫防スルコトハ出來ナカッタノデアリマス、然ラバ事後ニ於テ、此議會ニ於テ懲罰事犯デハナイト云フ決議ヲサルレバ、殘ル所、執ルベキ適當ナル處置ト云フモノハ、本田君ニ於カレマシテハ説明ハセラレナカッタノデアアルケレドモ、併シ執ルベキシテ殘ッテ居ル其事柄ト云フモノハ、矢張告訴告發セヨト云フコトデアラウト思フ、若シサウ云フコトデアラナラバ、此事ニ就テハ既ニ本田君ガ告發セラレテ居ル、或ハ憲政會ノ諸君ガ告發セラレテ居ル、之ニ對シテ同意スルコトヲ執ルベキ所ノ理由ハナイノデアリマス、又之ヲ執ラザルコトニ依ッテ、議長ハ職責ヲ盡サスト言フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ本件ハ甚ダ遺憾ナル事案デアルト思ヒマスルガ、丁度人ヲ殺スニ政事ヲ以テスルト、刃ヲ以テスルト異ナレリヤト云フ譬ノ如ク、人ヲ誹謗スルニ——人ヲ撃ツニ腕力ヲ以テスルト、言葉ヲ以テスルト必シモ異ラザル場合ガアルノデアアル、吾々ハ先ヅ此議院ニ於ケル秩序、吾々議員ニ於ケル體面ト云フヤウナ事ヲ考ヘル場合ニ於キマシテハ、吾々議員モ自ラ言葉ヲ慎ンデ、吾々議員トシテ他ノ行政或ハ司法ノ干渉ヲ受ケナイヤウニ、吾々ノ爲スコトハ固ヨリ必要デアルト思フノデアリマス、併シ今日斯様ナ遺憾ナ問題ノ起リマシタ場合ニ、議長ノ今日迄執リ來ッタル處置ハ正當デアアル、又國民黨ノ濱田君ノ質問ニ對シマシテ、議長ノ釋明セラレタ所ハ極メテ明白デアルト私ハ考ヘルノデゴザイマス、即チ此意味ニ於テ私共ハ本田君ノ提案ニ反對ヲ致ス次第デゴザイマス

佐々木安五郎君ノ贊成演説

鳩山對鈴木君ノ問題ニ付テ議長ノ不信任案ガ出タ、之ニ對シテ議長ハ自己身上ノ件ニ係ルノ故

ヲ以テ其席ヲ退カレタト云フコトハ、手續ニ於テ先ヅ遺憾ナシト謂フベシ、序ニ政治上ノ德義トシテ、モウ一ツ私ハ希望シタイ事ガアル、是ハ法規先例ニナイカラト言ッテ退ケラレバソレ迄デアルガ、政治上ノ德義トシテ書記官長ハ議長ヲ助ケルノデアアル、此書記官長ハ、鳩山君トハ切ッテモ切レヌ資縁ガアル、政治上ノ德義ニ於テハ、書記官長ニモ此所ヲ退席シテ貫ッタナラバ、非常ナ公平ナ議事ガ行ハレルト、私ハ思フ、退席サレナケレバ是ハ御自由ナコトデ、政治上ノ德義ヲ顧ミナイカドウカト云フコトヲ、之ヲ御尋ラスレバ宜シイ、而シテ私ハ此議論ヲスルニ先ッテ、自己ノ立場ヲ明ニシテ置ク、私ハ政友會員ニアラズ、私ハ憲政會員ニアラズ、私ハ無所屬デアアル、故ニ私ハ何レノ方面ヲ員ヲシ、何レノ方面ヲ憎ムト云フコトハナイ、ダカラ私ノ言フコトハ神ノ聲ト同ジデアアル、公平無視デアアル、ソコデ此議論ハ、是ハデス、唯議院内ニ於ケル一ツノ問題トシテ見ルヨリハ、私ハ此事件ガ國民ノ思想ニ如何ニ惡影響ヲ及ボスカト云フコトヲ考ヘテ見タイト思フ、今ヤ議會否認ノ聲、直接行動ト云フ聲ハ諸君ノ耳ニハ這入ラヌカモ知レヌガ、社會ノ隅迄ニ響イテ居ル、政府ハ狼狽ヘテ直接行動者ヲ取締ラントシテ血眼ニナッテ居ルノハ、何ノザマデアアル、自カラ顧ミテ言フガ宜イ、言フ程君達ノ檻樓ヲ出スゾ、此直接行動ト云フコトハ吾々ノ執ルベキコトデハナイ、吾々ハ飽迄モ立憲政體ノ民トシテ正々堂々、言論ノ機關ニ依ッテ是ヲ是トシ非ヲ非トシテ戰フベキモノデアアル、是ガデス、言論ノ機關ニ依ラズシテ何デモ構ハヌカラ遣ッ付ケレバ宜イト云フコトハ、中岡良一ニ贊成デアルト云フノカドウカ、ヨモヤ贊成デアルトハ言ハレマイ、中岡良一ナル者ガ若シ原其人ノ政策ニ依ッテ反對ガアッテ、之ヲ覆サウト云フナラバ、中岡良一ハ自己ノ信ズル代議士ノ力ニ依ルカ、或ハ自分ガ勉強シテ代議士ニナッテ、此議場ノ真中ニ於テ原首相ト戰ッタナラバ、是ハ本當ノ文明デハナイカ、吾々ハ斯ノ如クナランコトヲ希望シタイノデアアル、而シテ諸君ノ言フ所ハ何カト云フト、言論ニ酬ユルニ暴行ヲ以テシテモ、ソレガ罪ニナラヌト云フコトニナレバ、則チ中岡良一ヲ庇護スル者ハ、政友會ガ庇護シテ居ルモノデアラウト思フ、斯ノ如キ論法ニ依ルト云フト、之ヲ春秋ノ筆法デ言ヘバ、則チ直接行動者ヲ罰セザルト云フ事ニナッテ、言論ニ酬ユルニ直接行動ヲ以テ行フノヲ宜シイト云フ事ヲ是認スル

ト云フコトニナリマシテ、此思想ノ結論カラ言フナラバ、則チ政友會ガ原敬ヲ殺シタト云フノモ同ジ事デアアル、春秋ノ筆法ヲ以テ論ズレバ其ヤウナ結論ガ附ク斯ノ如キ事ガ分ラズニ、唯、一時ノ議場ダケノ勝利ヲ得レバ宜イト云フ小サナ考デ見ズニ、斯ノ如キ事ガ如何ニ國民ノ思想ニ惡影響ヲ及ボスカ考ヘテ見ルガ宜イ、之ヲ助長スルト第二、第三ノ中岡良一ガ出ナイトモ限ラヌ、此不詳事ハ誰ガ種ヲ蒔イタノデアアルカ、此種ヲ蒔ク原因ハ之ヲ政友會ニ歸セザルベカラズト吾輩ハ言フノダ、而シテ之ニ對スル議長ノ處置ハデス、幾ラデモ執ルコトガアルノニ之ヲ執ラズ、院内ノ警察權ヲ幾ラデモ用キルナラバ用キラレル方法ガアルノニ、其方法ガアルノヲ悉ク放棄シテシマッテ、議長自ラノ職務ヲ怠ッテ遣ラナイノデアアル、遣ラナケレバ遣ラナイモノハ議長ノ値打ハナイ、況ヤ唯今鶴澤博士ニ依ッテ講釋ヲサレタル此九十三條、是ハ博士トモアラウ者ガ、ドウ云フ一體御見方ヲナサレタカ承リタイノデアアル、是ハ議員自ラ戒メルノデアアッテ、決シテソレヲ罰スル意味デヤナイト云フコトヲ言ハレタヤウニ私ハ聽イタガ、甚ダ以テ怪シカラヌ事デアアル、左様ナコトハ甚ダ以テ怪シカラヌ事デアアル、サウ言ウタ、後カラ筆記録ヲ調ベテ見ナサイ、サウ云フ事ガアルモノデヤナイ、第九十一條カラ九十二條、九十三條、是ハ總テ議員ニ係ルコトヲ規定シテアルノデ議員ガ皇室ニ對シテ不敬ノ言語ヲ弄シ、他人ノ身上ニ涉リ誹毀侮辱ノ言語ヲ用キタ者ガアル時ニ於テハ、此議院法ヲ破ッタ者トシテ議長ハ之ヲ當然懲罰委員會ニ付スベキ權利ガアル、職責ガアル、ソレカラ議場ノ秩序ヲ破ルベカラズト書イテアル、破ッタ者ガアルトキハ、之ヲ當然懲罰委員會ニ付スベキ職責能ガアル、之ヲ放棄スルト云フコトハ、議長其人ガ己ノ職務ヲ空クスルノデ、自ラガ衆議院ノ議長タル能ハズト云フコトヲ宣告シタルト同ジ事デハナイカ、己自ラ侮ッテ人之ヲ侮ルモノデアアル、議長自ラ不信任ヲ表白スルガ爲ニ、已ムヲ得ズ吾々ハ此意味ニ於テ絕對ノ不信任ヲ言フノデアアル

前川虎造君ノ反對演説

私ハ鳩山君ト鈴木君ノ問題ニ付キマシテハ、洵ニ議員ノ對面ヲ瀆ス甚シキモノト私ハ思フノデ

アリマス、併シ最初其席ニ立會ッテ明ニ證言ヲスルト云フヤウナ人モナイノデアリマス、一體此
 鬪争ナドト云フコトハ、御互ニ感情ガ亢奮シタ際ニ起ルノデアッテ、殊ニ又鳩山君ト鈴木君トハ
 私ノ上カラ言ヒマスレバ餘程深イ關係ノ有ルヤウニ承ッテ居リマス、是等ノ感情ガ激成シテヤッ
 タ事ガ、或ハ色々ナ間違トナッテ叩キ合ガ起ッタモノト思フノデアリマス、ソレデ斯ノ如キ事ガ
 ダ、此議院ノ人ト人トノ間ニ起ッタ事ハ、洵ニ私ハ悲シムベキ事デ、外部ニ對シテモ甚ダ面
 目ナイト思フ、ソコデ兎ニ角一面ニハ一方ノ御方ガ怪我ヲシテ居ルト云フ事實ガアルノデア
 故ニ此鳩山君ノ爲シタ行爲ニ對シテハ、私ハ今日ノ問題トシテ、是ハ當然別問題デアラウト思
 ノデアリマス、此事ノ善惡ヲ明ニシヤウト思ヘバ、或ハ司法處分ヲ待タナケレバナラヌカモ知
 マセヌ、併ナガラ之ガ爲ニ議長ヲ不信任デアルト云フ事ニ付テハ、私ハ聊カ疑問ガナケレバナ
 ヌノデアリマス、ソレハ議長ノ不注意ト云フコトハ十分責ムベキ値ガアルノデアリマス、何故ナ
 ラバト云フノニ、斯ウ云フ問題ハ今日初テ起ッタノデアリマセヌ、大岡議長ガ曾テ此席ニ居ラ
 レル時代ニ此議院ノ廊下ニ於テ、小寺謙吉君ト守衛長ノ間ニ斯様ナ事ガ起ッタノデアリマス、此
 場合ニ議長ハ如何ナル處置ヲ執ラレタカ、其事ハ私ガ申上ゲナクテモ、其當時居ラレタ諸君モ百
 五十人ヤ百六十人ハ確ニ此議席ニ居ラレル筈デアリマス、其事ハ私ハ別ニ申上ゲナクテモ、議長
 ハ相當ノ處置ヲ執ラレタノデアアル、其事ハ已ムコトヲ得ズシテ司法問題ニナッタ、司法問題ニナ
 テ其事ハ解決シタノデアアル、議長ハ今度ノ事ニ付キマシテハ、唯此處デ懲罰事犯ガ起サレタ所ガ
 少數デ否決ニナッタ否決ニナッタカラ是レ以上俺ノ執ルベキ手段ハ無イト言ハレルニ至ッテハ、私
 ハ是ハ議長ハ聊カ自己ノ御權限ヲ御忘レニナッテハ居ラヌカト思フノデアリマス、併シ議長ノ不
 信任ト云フコトハ極テ大切ナ問題デアアル、苟モ吾々多數ガ推シタ人デアリマス、ソレデ斯様ナ事
 デ議長ノ不信任デアアルカドウデアアルカト云フコトハ、事ノ大小輕重ニ考ヘテ、吾々ハ決メナケレ
 バナラヌコトデアアル、ソレデ私ハ何モ鳩山君ヲ辯護スルノデモナケレバ鈴木君ヲ稱揚スルノデ
 モアリマセヌ、併シ議長ガ此手續ニ於テ多少議長ノ不注意ノ點ガアッタカラト言ッテ、之ヲ不
 信任致スト云フノデアアルナラバ、議長ガ日々此處ニ立タレテヤラレル此議事ノ取締上ニ付テ、ヨリ

以上ノ吾々ハ不快ヲ感ジテ居ル事ガアルノデアリマス、是ハ諸君ノ御存ジノ通りデアリマス、ソ
 レデ私ハ自ら選ンダ所ノ議長ヲ斯様ナ輕々シキ事ニ依ッテ議長ヲ不信任スルト云フコトハ、甚ダ
 當ヲ得ナイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、故ニ此際議長ニ警告ヲスルガ宜カラウト思ヒマ
 ス、何故警告ヲスルガ宜イカト云フト、此議院規則、或ハ此議事規則ニ依リマスルト、議長ハ斯様
 ナ場合ニ於テ執ルベキ所ノ的確ナル方法ハ別ニ無イノデアリマス、無イカラト言ッテ自ラ議院ノ
 構内ニ持ッテ居ル所ノ警察權ヲ此儘ニ拋棄シナイデ、何モ干渉シナイデ、唯司法官ノ爲スガ儘ニ
 一任シテ置クト云フコトガ前例トナリマシテ、是ガ今後議場内ニ屢、行レルト云フ場合ニナレ
 バ、私ハ甚ダ吾々ノ一身ト云フモノハ極メテ危険ナルモノト言ハナケレバナラヌノデアリマス、
 ソレデアアルカラシテ、吾々ハ議長ニ向ッテ度々質問ヲ發シタ、今日モ質問ヲ發シタ、所ガ議長ハ
 法律ニ缺陷ガアルカラシテ考慮シテ居ル、他ノモノト併セテ今後ノ取締ヲスルト言フ、然ラバ今
 起ッテ居ル問題ハ如何ニスルカト云フコトニナレバ、是ハ議長ガ不注意デアアル、議長ハ確ニ當然
 爲スベキ事ヲ爲サレナシタト云フコトハ、私共モサウ云フ意味ニ感ジテ居ルノデアアル、故ニ議長
 ガ之ニ向ッテハ議長自身今後ハ十分御注意ニナッテ斯ノ如キ問題ガ起ッタ場合ニハ、議長トシテ職
 權ノ有ル範圍ニ於テ相當ノ處置ヲ執ラレテ、縦シ懲罰ニ付スベカラズト云フコトガ、是ガ多數ノ
 意嚮デアッテモ當然議長ノ有スル權能ニ於テ相當ニ御取計アルベキ筈デアアル、或ハ事ガ大キクシ
 テ事態ガ重要ナモノデアアルナラバ、逮捕シテ司法官ニ渡スノモ宜イ、又事ガ小サケレバ議長自ラ
 仲ニ這入ッテ相當ノ處置ヲ執ッテ此雙方間ノ意思ノ疏通ヲ圖ッテ、次デ此問題ヲ議場以外ニ持運バ
 ナイヤウニ御取計ニナルガ至當デアラウト考ヘル是ダケノ事ヲ私ハ議長ニ警告致シテ、此不信
 任ニ付テハ反對ヲ致スト云フ意思ヲ表明致シマス

此時岩崎勳君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シ院議記名投票ヲ以テ採決ノ結果九十六ニ對スル百九十
 三ノ多數ヲ以テ討論ハ終局スルニ決ス

次テ院議無記名投票ヲ以テ採決ノ結果七十七ニ對スル二百一ノ多數ヲ以テ本案ヲ否決セリ

四 軍備縮少ニ關スル決議案

陸軍ヲ減縮シテ政費ノ按排ヲ計ルハ我カ國目下ノ急務ナリ政府ハ速ニ案ヲ具シテ議會ニ提出スヘシ

右建議ス

右八十一年一月三十一日犬養毅君之ヲ提出ス二月七日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

國民黨ヨリ提出致シマシタ軍備縮少ニ關スル決議案ノ說明ヲ致シマス、決議案ノ本文ハ極テ簡單ナモノデアリマス「軍備ヲ縮少シテ財政ノ按排ヲ圖ルハ今日ノ急務デアアル當局者ハ案ヲ具シテ提出スヘシ」是ガ決議ノ本文デアリマス、之ニ付テ如何ナル根柢カラ吾々ハ斯様ナ希望ヲ懷クカト云フコトヲ簡單ニ説明致シタイノデアリマス、國民黨ノ案ノ大趣意ハ經濟的ニ軍備ヲ維持スルコトガ一ツナノデアアル、ソレカラ一面カラハ不生産的勞力ヲ生産的ニ向ケ換ヘル、即チ兵營ニ二箇年ヲ一箇年ハ之ヲ生産的ニ使フ方ヘ向ケル、是ガ大趣意デアリマス、而シテ此改革トシテ剩ス所ノ金ヲ以テ文化事業ニ向ケテ行ク、獨リ文化事業バカリデハナイ、兵ノ休養、將校ノ俸給、其他改善スベキモノヲ此中ニ含マシテ居ル、大體カラ申シマスルト步兵ヲ一年在營ノ制度ニ改メマシテ、戰時ノ得員ハ現在ノ儘ニスルノデアリマス、ソレ故ニ從テ師團ヲ半減シナケレバナラヌ結果ニナツテ來ルノデアリマス、現在師團ハ二十一箇師團ト申シマスルガ其實ハ二百六十四大

隊ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、實質ニ於テハ二十二箇ノ師團ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此二十二ノ師團ヲ折半シテ半デ宜シイ、斯ウ云フコトノ大體デアアル、此步兵ヲ一年制ニスル、細カイ事ヲ申シマス、此募集ヲ兩度ニ分ツテヤル、十二月ト六月、斯ウ云フノデアリマス、是ハ後ニ説明致シマス、サウ致シテ一年制一シテ此處デ戰時ノ得員ガ増スノデハナイ、現在ノ儘ニナツテ來ル譯デアリマス、ソレカラ、是ニ於キマシテ、特科兵ニハ手ヲ著ケナイコトモ一ツノ理由ヲ以テ說明致シマス、特科兵ニハ差向キ手ヲ著ケテ居ナイ、此外ニ減ズルモノガ、ドウ云フモノヲ減ズルカ、先ヅ廢スベキモノニ於テハ、陸軍幼年學校、軍醫學校、陸軍經理學校、陸軍獸醫學校、之ヲ減ジマス、ソレカラ又廢減シナクテ自然ニ是カラ無クナツテ餘裕ノ生ズルモノハ、支那本部ニ於ケル駐屯部隊ハ自然ノ結果トシテ是ハ無クナツテ來ル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ金高ヲ大約シテ此處デ申シマス、步兵一年制ニスル、隨テ師團ヲ半減ニスル、是カラ生ズル金高ガ約千九百萬圓デアアル、師團ヲ半バ減ズル上カラ生ズルノガ約二千二百萬圓デアアル、ソレカラ其外ニ唯今述ベタ如ク細カイモノヲ段々減ジテ行ク、隨テ自然ニ消滅スル所ノ支那駐屯部隊ガ無クナリマシテ、生ズルノハ一切綜合スルト約二千七百萬圓デアアル、ソレカラ是ダケガ總テ餘サレルカト云フト、總テハ餘サレヌト云フコトハ、此處デ兵ヲ給與ヲ良クシナケレバナラヌ、現在ノ兵卒ハ一箇月三圓六十錢ノ俸給ヲ貰ッテ居ル極テ僅カナモノデ、是ハドウシテモ餘程改良致サネバナラヌガ、併ナガラ財政ニモ限リガアルカラ、俄ニ之ヲ非常ニ増スト云フコトハ出來ヌガ、兎ニ角六圓迄之ヲ増スト云フ一ツノ案ヲ持ッテ居ル、ソレカラ特科ノ二年目、二年兵ノ分ハ二年目カラ九圓ヲ給與スル、ソレデ各減少シテ、戰時ノ得員ハ前ノ通りデアアルガ、士官ヲドウスルカト云フト、將校ハ豫備ニ取ル、ソコデ豫備ニ取ルノニハドウスルカト云フト、待命ノ後、豫備ニ之ヲスル譯デハナイ、俸給ヲ與ヘル、減額サレタル所ノ俸給ヲ與ヘテ、何時デモ戰時ニ出掛ケテ來ルコトガ出來ル、又時々之ヲ喚出サナケレバナラヌノデアリマスカラ、相當ノ減額サレタル俸給ヲ與ヘル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデソレ等ニ要スル金ハドウ云フモノデアアルカト云フト、兵ノ給與ヲ良クスルガ爲ニ、茲ニ六百七十萬圓、約六百七十萬圓ヲ増サナケレバナラヌ、ソレ

カラ十官ノ方ニ於キマシテハ、約四百五十萬圓増サナケレバナラヌト云フモノガ茲ニ生ズルノ
 ヲ、減ズルモノト一ツ差引キセネバナラヌモノガ茲ニ生ズル、斯ウ云フコトデアリマス、大要ハ
 斯様ナ改革案デアリマス、無論此モウ一ツ増シマスノモ此中ニ計算シナケレバナラヌト云フノ
 ハ、一年制ニ致ス爲ニ餘程教育ノ上ニ、力ヲ用キネバナラヌノデアルカラ雜役ヲ止メル——雜役
 ヲ一切止メサセル、ソコデソレハ國民黨ノ多年唱ヘマシタ問題デアリマスカラ、多ク世ニハ知
 ラレテ居リマスガ、一年間デ教練ヲ十分ニ與ヘル爲ニハ、ドウ云フコトヲスルカ、細カイ問題ガ
 澤山アルガ、大要ヲ舉ゲルト斯ウ云フコトデアリマス、雜役ヲ止メサセルノガ、是ハ御承知ノ通
 リ、純粹ナ戰鬪行爲、戰鬪動作、戰鬪技術ヲ訓練スル爲ニハ、風呂焚キデアルトカ、洗濯ハ止メタ
 方ガ宜シイ、此雜役ヲ第一ニ止メサセル、ソレカラモウ一ツハ中隊長ノ今日ノ有様ハドウナツテ
 居ルカト云フト、餘程ナ混雜ナ事務ニ當ツテ殆ド町村役場ニ類似ノ仕事ヲ執ツテ居ルノデアリマ
 ス、ソレデアリマスカラ、之ヲ何カ簡易ニスル當局者ニ分別ガナイカ、之ヲ簡易ニ致シマス、兵
 ノ教練ノ上デ下士任セデナク、之ガ當ツテ來ルコトガ出來ル、之ガ改革案デアリマス、モウ一ツハ
 軍隊語ノ改正ヲシナケレバナラヌ、軍隊語ト云フモノハ、吾々御互ニ文字ヲ知ツテ居ル者ガ見レ
 バ、極テ簡易ナモノデアリマス、サウムヅカシイモノデナイ、併ナガラ小學ダケノ教育ヲ受ケタ
 者ハ、今日ノ軍隊ノ言語ハヤカマシイ言葉デ、殆ド漢語カラ成立ツテ居ルムヅカシイ言葉デヤツテ
 居ル、小學ダケノ教育ヲ受ケタ中産階級以下、下層階級デ、此言語ヲ覺ユルコトハ中々時間ヲ要
 スル、是モ改正ヲ要スル、斯ウ云フ細カイ改正ノ簡條ガアリマス、モウ一ツハドウ云フ改正ヲヤ
 ルカ是ハ陸軍當局ニ求ムルノデアルガ、吾々ハ一切ノ國民ニモ之ヲ求ムルト云フノハ多年ノ主
 張デアリマス、現ニ此青年、學校其外ニ強制スルノデハナクシテ、射撃ノ趣味ヲ持タセルコトハ、
 吾々ハ年來唱ヘマシタガ、幸ニ近年ニナツテ、當局ハ青年團ニ武器ヲ貸與スルコトノ制度ガ定メ
 ラレ掛ツテ居リマスカラ、段々其方ニ向ク、此方デモ吾々ハ趣味ヲ以テ軍隊ノ武器ヲ取扱フト云
 フコトヲ、青年並ニ學校ノ生徒ニ之ヲ持タスト云フコトヲ國民ガ努メル——吾々ガ努メル、ソレ
 カラモウ一ツ努メルノハ、學校ニ於テ精神教育並ニ體操其外ニモ注意致スト云フコトモ幾ラカ

是ハ考ヘナケレバナラヌ、是モ吾々ハ努メテ居リマス、之ガ大要改革案デアリマス、ソコデ何故
 ニ吾々今日ノ場合、四圍ノ形勢ノ變化カラシテ、戰時ノ得員ヲ何故是マデノ通り必要トスルカ、
 現在陸軍ハ——大ナル陸軍ヲ拵ヘタノハ、露西亞帝國ノ軍力ニ對スル陸軍擴張デアッタノデア
 ルガ、此形勢ハ變化シテ居ル、何故ニ龐大ナ陸軍ヲ要スルカ、何故ニ改革シナガラソコニ戰時ノ
 得員ヲ是マデノ通りニスルカ、此問題デアリマス、ソコデ是ハ當局者ニ於カレテモ、非常ニ顧念
 サレル一點デアリマセウガ、吾々モ當局者ト或ル程度マデハ矢張之ニ顧念致シテ居ルノデアリ
 マス、要スルニ當局者ノ説明セラル、ガ如ク、露西亞カラ大陸軍ヲ今日輸送スル、新銳ノ武器ヲ
 持ツテ來ルト云フコトハ、陸軍當局ハ申サル、デアリマセウガ、吾々ハサウハ計算致シテ居ナイ、
 又實情ガサウナラウトモ思フテ居ナイ併ナガラ吾々ノ隣國ハ詰リガ不安定ノ間ニ在ルト云フコ
 トダケハ御互ニ認メナケレバナラヌノデアアル——是ハ認メナケレバナラヌノデアアル、果シテ從
 來安定シタ後ニ、幾ラノ武力ヲ以テ之ガ立ツモノデアルカ、不安定ノ間ハ御互ニ水掛論デアアル、
 支那ニ何十箇ノ師團ガアル、此將來ノ傾キガドウナル、ドウ治マルデアラウカト云フコトモ、吾
 吾ガ想像ガ著クノデアリマス、現在ノ軍隊ト稱スルモノハ、後來安定シタ後ニドウナルカ、是モ
 想像ガ著ク、想像ハ當局者ト吾々ノ間ニ多少ノ徑庭ヲ免カレヌ、ソレ故ニ吾々ハ隣國ノ形勢、四
 圍ノ状態ハ、不安ノ間ニアルト認メテ宜シイ、併ナガラ此不安ナルモノガ安定スル時機ハサウ遠
 キ未來デハナイ、吾々ハ極メテ近キ未來ニ於テ、凡ソノ見据ハ付クト云フ考ヲ持ツテ居リマスル
 ガ故ニ、今日ハ暫ク當局者ノ要求サレルガ如ク、戰時ノ得員ハ供給スルノデアアル、サウシタナラ
 當局者ハ安心サレルデアラウ、ソコデ四圍ノ形勢ガ安定サレルト云フ時ニハ、何時デモ令度ノ改
 革ハ極ク容易イノデアアル、師團ハ半減サレテ居ル、第二ノ改革ハドウスルカト云フニ、募集モ年
 年ノ募集人員ヲ減ズルダケノ話デアリマスカラ直グ出來ル——帳面ノ上デ直グ出來ル改革デア
 リマス、今日ノ陸軍當局専門家が、戰略上カラ非常ニ氣遣ハレルト云フナラバ、吾々ハ此戰時ノ
 得員ヲ現在ノ儘供給スル、併ナガラ第二ノ改革ハ帳面ノ上デ直グ出來ルノデアルカラ、第二ノ改
 革ハ安定ヲ俟ツテ爲スノデアアル、ソレハ特科兵ノ方ニ何故手ヲ著ケナイカ、特科ノ方ニ手ヲ著ケ

ナイト云フコトニ付テモ、吾々ノ間ニ議論ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ此度ノ大戦デ最モ變事ヲ受ケタモノハ何デアルカ、殊ニ舊式ノ武器ニ甘ンジテ居ッタモノハ日本ノ如キ特科デアル、ソコデ特科ノ部類ニ於テハ、當局者ニ於テモ現在如何ニシテ之ヲ維持スルカ、如何ニシテ之ヲ作り立テルカト云フコトハ、マダ研究中ノモノト私ハ見テ居ルノデアアル、ソレ程此特科ハ研究中ニアルトスレバ、吾々ノ要求ハ軍ノ根幹タル歩兵ヲ一年デ、戦争ノ得員ニ完全ニスルノデアアルカラ、是ニ附屬スルダケノ特科ヲ拵ヘ、是ニ適當スルダケノ特科ヲ拵ヘルト云フノヲ以テ、其餘ノ編制教育一切ノ事ハ、戦術ノ専門家タル陸軍當局者ヲ信賴シテ是ニ委セル、適當ダケノ特科ヲ整理シテ行ク、斯ウ云フノデ、殊ニ特科ニハ手ヲ著ケナカッタノハソレデアリマス、併ナラガラ中々吾々ノ考ヘデモ無用ト見ルモノガ澤山アルノデス、騎兵旅團、旅團ト云フヤウナ無用ナ大キナモノヲ持タナクテモ、各師團ガ相當ナモノヲ持ッテ居ルカラ宜イト云フ今日デアアルカラ、是ナゾハ無論減ズル方ノ希望ヲ持ッテ居ル、是ガ大體ノ案ノ骨子デアリマス、ソコデ今日私共最モ喜バシク存ジマスノハ、改革ノ程度ハ持合ハシテ見タナラバ、各團體或ハ異ニシテ居ルカ知レマセヌ、併ナガラ陸軍ヲ減少シナケレバナラヌ、軍力ハ經濟的ニ保タネバナラヌト云フ所ノ一致點ガ見出サレタト云フコトハ、私ハ如何ニモ喜バシイノデアリマス、此主義ヲ以テ吾々ハ進ミタイノデアリマスガ、茲ニ兩極端ノ御方ニ私ハ一ツ希望ガアルノデアリマス、兩極端ト申スト、一面ニハ無論陸軍當局者デアリマセウ、一面ニハ尾崎君、島田君ノ如キ猛烈ナル改革論者、此猛烈ナル改革論者ニ私ハ妥協ヲ見出シタイト云フノハ、私共ハ戦時ノ得員ヲ現在ト同ジヤウニスルト云フコトハ、第一次ノ改革デアアル、ソレ故吾々ノ案ニ依ッテ茲ニ師團ナル基幹ガ減少サレテ居レバ、此ニ愈、四圍ノ狀勢ガ安定サレタ時ニ、直ニ帳面ノ上デ減セラレルノデアリマスカラ、是ハ左様ニ御心配ナサラナイデモ宜イト考ヘル、兵ヲ拵ヘル、兵ヲ拵ヘルケレドモ用キルコトハ金ガ掛ルノデアリマス、殊ニ私共ハ兵ノ教育ガ苦痛ナク出來ラレル、斯ウ云フモノデアッタナラバ、兵營一年生活ハ餘程良イ、是ガ却テ教育ニナリハセヌカト云フ位ニ、私ハ思ッテ居ルノデアリマス、ソレデ陸軍當局者ニモ求メルノデアリマスガ、陸軍當局者ハ一年デハ精銳ノ者ハ出來ナイト云フコト

ヲ主張セラレル、無論之ヲ主張ニナリマセウガ、現在二年ノ中デドノ位ノ時間ヲ費シテ居ルカ、種々ノ雜役、此種々ノ雜役ノ時間ヲ割當テルト、是ハ三割五歩ニナッテ居ルノデアリマス、此三割五歩ハ戰鬪動作デハナイ、戰時行動ノ訓練デハナイ、何ヲヤッテ居ルカ、甚シキニ至ッテハ草刈、洗濯、風呂焚、飯焚、又甚シイノハ殆ンド子守ラスルト云フ用事迄ヤッテ居ルノデアアル、ソレ故ニ斯様ナモノヲスツカリ打切ッテシマッテ、純粹ノ戰鬪ノ教育ト云フコトニナリマスルト、三割五歩ト云フモノハ直グ助カル、況ヤ今日迄取ラレタル民間ノ一般ノ壯丁ヲ餘程輕蔑シテ居ラレル、歐羅巴ハ教育ガ行届イテ居ル、日本ノ教育ハ一般ニ違ヒマスガ、今日ノ青年ハ餘程進歩シテ居リマス、陸軍當局ガ考ヘラレルヤウナモノデハナイ、餘程進歩シテ居リマス、其進歩シテ居ル上ニ、陸軍ガ此頃企テラレタガ如キ民間ノ青年ニ銃器ヲ貸渡ストスレバ、國民ハ趣味ヲ以テ銃器ヲ使用スル者ガ全國到ル處ニ生ジテ來ル、若シ斯様ナ習慣ガ附イテ、鐵砲ヲ操縦スルト云フダケノ知識ガ生ジ、ムヅカシイ兵營ノ言葉ト云フモノガ簡易ニナレバ、是デ半年ヤソコラ違フデアリマス、確ニ出來ラレルノデアリマス、ソレデ相手ニスル軍隊ハドウ云フモノデアアルカ、相手ニ餘程尊敬ヲ加ヘラレテ居ルガ、日本全體ノ教育ノ普及ハ露西亞トドウデセウ、實際ノ普及ハ……支那トハドウデセウ、是ハ申サズトモ明カナモノデアアル、四圍ノ狀勢ハ斯様ナモノデアアル、吾々ノ後來敵對行動ヲ萬一ノ秋ニ執ル場合ニ、其相手ノ國民ノ教育ハ大概吾々ハ知レタモノデアリマス、日本國民ハ左様ニ輕蔑サレルモノデハナイ、今日ハ立派ニ教育ガ普及シテ居リマスカラ、陸軍當局ハ左様ニ御心配サレルヤウナモノデハナイデアラウト存ジマス、殊ニ陸軍當局ニ於テハ、第一ニ軍隊ノ心理状態ハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ餘程御懸念下サラナクテハナラヌ、現在ノ兵營ニ這入ル者ハ餘程是ハ苦痛ニ感ズル、當人モ其家族モ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ル、實際苦痛デアアル、給養ハ惡シ、隨分亂暴ナ取扱ニハ——今日ハ多少改良サレタガ、從來ハサウデアッタ、要スルニ軍隊ニ這入ル者ハ非常ニ苦痛トシテ居ルノデアアル、此苦痛ヲ輕減シテ、軍隊ニ這入ッテモ左様ナ苦痛ハ無イト云フ有様デ、樂ンデ軍隊ニ這入ランマデモ、之ヲ非常ニ苦痛トセザル程度迄ニ爲サレタイト、今日ノ軍隊ノ如キ心理状態デ、之ヲ萬一ノ秋ニ用キルト云フコトハ、餘程

困難ト感シナケレバナラヌ、ソレ故ニ給與ノ上、教育ノ上、年限ノ上ニ於テモ、當局者ハ非常ニ此處ハ御考慮ヲ煩シタイノデアリマス、私ハ茲ニ一言申シテ置キマスガ、私ハ既ニ斯ウ一致點ヲ見ル以上ハ、既往ノ事ニハ決シテ廻ラヌ積リデアリマス、陸軍當局ニ於カレテモ胸襟ヲ披イテ御互ニ研究スルト云フ態度ヲ執ラル、コトヲ希望スルノデアリマス、是迄ニサウナッテ居ラナイ、陸軍當局ハ動モスルト此議會ニ臨ンデ——此議會ニ對シテ戰略戰術ヲ用キラレル、現ニ二箇師團増加ノ時ノ記憶ヲ繰返シテ御覽ナサイ、當時ハ陸軍大臣ガ病中ニ付、當時ノ陸軍次官タル大島中將、即チ今日ノ大島大將ガ如何ナルコトヲ公言サレテ居ルカ、記録ハチヤント殘ッテ居リマス、其時ノ骨子ハ吾々ハ今ニ忘レナイノデアアル吾々ハ兵員増加ハ無意味デハナイカ、今日武器ノ進歩スル際ニ兵員ダケ増加シテモ是ハ精兵トハ言ハレナイゾ、ソレ故ニ兵員増加ヨリモ兵器ノ改良充實ガ必要デハナイカ、ソレガ急務デハナイカト言ウテ吾々ハ唱ヘタ、之ニ對シテ餘程陸軍當局トシテハ面白コトヲ言ハレタ、ソレハ記録ニ殘ッテ居ル——自動車ハ東洋ノ道ハ惡イ、西洋ノ如キ坦々タル道デナイカラ、東洋ノ軍隊ニハ自動車必要ナシ、飛行機ナルモノハ現ニ専門家カラ言ヘバ今日研究中ノモノデアアル、専門眼ヨリ見レバ、戰術上斯様ナモノガ後來用キラレルトキハ信ジナイ、ソレカラ野砲、重砲、歐羅巴ノ戰場ニハ舊イ大砲モ、新シイ大砲モヤタラニ列ベラレテ居ルガ、日本ニハ此上野砲ヤ重砲ヲ増ス必要ガナイ、殊ニ重砲ノ如キハ東洋デハ道ノ惡イ爲ニ、陸揚其他ニ向ッテ困ル、青島ノ包圍攻撃ニモ、重砲ヲ揚ゲルニ困ッタ、重砲ハ先ヅ必要ガナイ、野砲モ亦隨テ先ヅ必要ハナイ、斯ウ言ッテ居ラレル、餘程面白コトヲ言ッテ居ラレル、自動車モ不必要、飛行機モ不必要、野砲モ不必要、重砲モ不必要、唯々人員ヲ増シサヘスレバ宜イ、之ガ陸軍ノ見地カラ昔カラ言ヒ來ッタコトデアアル、昔カラドウ云フ風ニヤラレタカト言ヘバ、先ヅ兵員ヲ増シテ輪廓ヲ造ル、輪廓ヲ造ッテ人員ヲ増セバ、其人員ハ武裝ヲシナクテハ戰場ニ出ラレナイカラ、後カラ武裝ヲ求メラレル、ソレガ爲ニ今日財政ガ行詰ッテ、陸軍當局ニ於テハ餘儀ナク人員ヲ減ジテ武器ニ向ケナケレバナラヌト云フ苦痛ニ陥ッタ、是ハ陸軍專横ノ自業自得デアアル、ソレ故ニ舊來ノ習慣ヲ一掃シテ——吾々ハ決シテ陸軍ヲ呪フ者デハアリマセヌ、吾々ハ經濟的ニ

精銳ナル軍隊ヲ造ラウト云フ譯デアリマスカラ、斯様ナ戰略戰術ヲ用キズシテ、吾々ノ議會、國民ノ代表ニ對シテ胸襟ヲ披イテ互ニ研究スルト云フ態度ヲ執ラレンコトヲ希望スル、是ダケガ大要ノ説明デアリマス、若シ必要ノ場合ガゴザイマスレバ、各般ノ調査シタモノハ多數アリマス、ドウカ黨派ノ關係一切ノモノヲ捨テ、國防ト云フ單純ノ問題ノ爲ニ御互ニ研究致シタイト存ジマス

有森新吉君ハ提出者ニ、小山松壽君ハ陸軍大臣ニ質疑ヲ爲シ犬養毅君山梨陸軍大臣ハ孰レモ之ニ應答シ下岡忠治君ハ贊成演說ヲ爲ス、
有森新吉君ノ質疑

軍備縮少ニ關スル決議案ト云フモノガ出マシテ、唯今提出者ノ犬養毅氏ノ説明ガアリマシタ、私ハ之ヲ聽イテ居リマシタガ、餘リ細カ過ギタ説明デアッテ、眞ノ要點ト云フモノヲ吾々ハ理解シ得ナイ、軍備縮少トハ抑、何デアルカ、日本ノ軍備ハ縮少シナケレバナラヌカ、日本ノ軍備ト云フモノハ吾々ノ考ニ於テハ決シテ侵略的ニ出來タ所ノモノデハナイ、我國ノ軍備ト云フモノハ侵略的ニ出來タモノデハナイ、國防ノ見地カラ出來タモノト考ヘル、國防ト云フモノハ絕對的ノモノデアアル、何レノ國カラ攻メ來ルカラ斯ウスルトカア、スルトカ、云フモノデハナイ、國防ハ絕對的ノモノデアッテ我が國家ノ國民ヲ完全ニスルノニハ是ダケノ國防ガ必要デアルト云フ點カラシテ出來タモノデアアル、サレバ私ガ提出者ニ尋ネルノハ、此軍備縮少ト云フコトハ何等ノ動機ヨリ出セシヤ、如何ナル動機ヲ以テ提案者ハ此案ヲ出サレシヤ、世ノ中ニ斯ウ云フコトガアル、日本ハ軍國主義デアアル、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、如何ニモ軍國主義ト云フコトハ惡イコトデアアル、何故惡イカト言ッタナラバ、他國ヲ侵略スルカラ惡イノデアアル、獨逸帝國ハ軍國主義ト云フコトデ他ノ國カラ非常ニ惡様ニ言ハレタ、如何ニモ獨逸帝國ハサウデアアル彼ガ造ッタ所ノ軍艦、彼ガ造ッタ所ノ兵隊ヲ以テ、他國ヲ侵略シタ歴史ト云フモノハ非常ニ有ル、サリナガラ日本ノ

陸海軍ガ他國ヲ侵略シタ所ノ歴史ガ何レニ在ルカ、我が日本ノ陸海軍ト云フモノハ、常ニ戰爭ヲシタ、日露戰爭、日清戰爭、其ノ他ノ戰爭ヲシタ、是ハ何ノ爲ニ戰爭シタカト云フタナラバ、日本ノ國家ノ自衛上カラシタモノデアル、決シテ侵略デアナイ、侵略トハ言ヘマスカ、侵略トハ言ヘマスマイ、我國ガ兵ヲ用キタト云フコトヲ侵略トハ何人モ言フコトハ出來ナイダラウ、然リ、吾ハ我國ノ軍隊ニ向ッテ他國ヲ侵略シヤウト云フ爲ニ拵ヘタモノトハ言ヘナイ、我國民ハ我陸軍ナリ海軍ナリヲ、侵略シヤウト云フ意味デハ拵ヘテ居ラナイ、吾ガ陸海軍豫算案ヲ今マデ賛成シ來ッタコトハ何デアアルカ、決シテ外國ヲ侵略スル爲ニハ吾ハ一兵タリトモ、或ハ一ノ軍艦ヲ造ルノニモ賛成シテ居ナイ、吾々ニ國民ヲ護ル爲ノ陸海軍ノ豫算ニ賛成ラシテ居ルノデアアル、サレバ此動機ト云フモノハ、即チ軍國主義デアナイ、或ハ軍國主義ト云フコトヲ見出シテ、サウシテ犬養木堂——犬養毅氏ハ、此案ヲ提出セシカ、犬養氏ハ外交調査會ノ會員デアアル、外交調査會ト云フモノハ、之ヲ拵ヘル時分ニ憲政會ノ諸君ハ違憲デアアルト云フコトヲ公言シテ居ル、諸君ハ其當時外交調査會ト云フモノハ、決シテ諮問機關デアナイト云フコトヲ公言シテ居ル、諮問機關デアナイ以上ハ、國務ヲ審議スル所ノモノニ違ヒナイ、調査會ハ諮問機關デナクシテ、國務大臣ノ一ノ國務ノ執行上ニ付テ關係スル所ノ人デアアル、斯ウ云フ説明デアッタ、外交調査會ト云フモノハ、決シテ外務大臣ノ調査機關デアナイ、外務大臣ノ職權ノ一部分ヲ行フモノデアアルカノ如ク説明シタノデアアル、何トナレバ日本ノ憲法ニ於テハ、樞密院トソレカラ國務大臣ト斯ウニツアルキリデアソレデスカラ調査機關デアナイ以上ハ、實行ヲ意味スルモノデアアル、國務ノ一部分デアアル、ソレデアアルカラ吾々ハ日本ノ國防、即チ日本ノ陸海軍ガ此調査會員ナル犬養氏ノ眼ニハ、常ニ國防ノミデアハナイ、侵略主義ノモノデアアルト云フコトヲ理解シタナラバイザ知ラズ、ソナラバ或ハ軍備ヲ縮少セヨト云フ議論ガ出テ來ルダラウ、或ハ又此軍備縮少ト云フ案ヲ提出サレル其意思ノ發動ト云フモノハ、軍備縮少ヲ提出スル意思ノ發動ト云フモノハ、平和會議ノ結果ト云フ事デアアルカ、華盛頓ノ平和會議ノ結果此軍備縮少ヲ提出サレタノカドウカ、如何ニモ華盛頓ノ平和會議ハ海軍ノカト云フモノヲ各國ガ一致シテ減少スルト云フヤウナ事ニナッタ、併ナガ

ラ此モノハ未ダ決定シタモノデアナイ、巴里ニ於テ各國ガ相集ッテ、サウシテ米國カラ出シタ所ノ國際ノ條規、國際聯盟、其國際聯盟ハドウデアアルカト云フタナラバ、此國際聯盟ト云フモノハ米國ガ……國際聯盟デスカラ米國ニ於テ批准シナカッタ、米國ノ上院ハ之ヲ批准シナイデヤナイカ、然ラバ今回ノ平和會議ニ於テ決シタ所ノモノガ、何レノ國カ、或ハ批准シナイカモ分ラヌ、シタナラバ此平和會議今日議論シテ居ル所ノモノハ、必シモ實行ガ出來ルカ出來ナイカト云フ事ガ、未ダ極ラヌ問題デアアル、私ガ今提出者ニ質問スル所ノモノヲ言フ、軍備ヲ縮少スル所ノ意思ハ、何レノ點カラシテ發動セシヤ——分リマシタカ、是ハ軍國主義カラ發シタモノデアアルカ、或ハ此度ノ平和會議ニ依ッテ決マッタ所ノモノカラ生ジタモノデアアルカ、吾々ハ此二點ニ付テ十分ニ御説明ヲ伺ヒタイ、十分ニ分ラヌケレバ又他日ニ讓リマス

犬養毅君ノ應答

今日此案ヲ提出ノ動機ハ何處カラ發シタカト云フ御尋デアリマス、ソレハ有森君ハ元ト私ノ方ニ居ラレテ尙ホ御承知デアラウ國民黨ガ經濟的ニ軍備ヲ主張シタノハ殆ド十年デアアル、此度ノ事ニハ何モ關係ハアリマセヌ、ソレカラ外交調査會云々ト云フノハ、少シ見當違ヒデアルト思ヒマス、是ハ有森君ハ定メテ黨ニ居ラレタ時分ニ尋ネラレタ事ト思フ、ソレデ調査會ナルモノハ、内閣ノ機關デアハナイ、内閣ノ諮問ニ應ズルモノデアハナイ、陛下ノ御諮詢ニ應ズルノデアアル、斯様ナモノデアアル、但シ執行上ニハ責ヲ持タナイノデアアル、之ヲ答ヘタノヲ今思出サレタモノカト思ヒマス是ダケ御答シテ置キマス

小山松壽君ノ質疑

只今ノ陸軍縮少ニ關スル決議案ニ對シマシテハ吾々ハ、同志ヲ代表シテ何レ之ニ對シテ賛成ノ意思ヲ表示スル次第デアリマスガ、私ハ只今犬養毅君ノ説明ノアリマシタ決議案ニ對シテ、先ヅ陸軍當局者ハ如何ナル御所見ヲ有セラル、カヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、而シテ先刻政友會ノ

諸君ヨリ御提出ニナリマシタ同問題ニ對スル建議案ノ說明ニ對シテ、陸軍大臣ハ之ニ對シテ何等カノ所見ヲ御發表ニナルコトデアルト期待致シマシタ、即チ憲法ニ於キマシテモ、國務大臣政府委員ハ何時タリトモ發言シ得ル所ノ權能ヲ持ッテ居ルノデアリマスルカラ、此意味ニ於テ斯ノ如キ重大問題ニ對スル所見ノ御發表ハ、國民ノ齊シク聽カント欲スル所デアルト存ジマシテ、大ナル期待ヲ有シタニ拘ラズ、更ニ一言ノ意思表示ガナカッタ爲ニ發言ヲ求メタ次第デアリマス、議事ノ進行上遂ニ其機會ヲ逸シマシタガ、只今ノ同一問題ニ對シテノ前段ニ於テ御問ヒ申シマシタノニ併セテ私ハ伺ヒタイト思フ此三點ヲ列舉致シマス、第一ハ國防ノ勢力ヲ減ズル爲デナイト云フ說明モアリマシタガ、果シテ國防ノ勢力減ゼズシテ陸軍ヲ縮少シ、其經費ノ餘裕ヲ見テ政費ノ按排ヲ爲スベキ、當局ニ於テ意見アリヤ否ヤ之ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、第二ハ此問題ハ我が軍政ノ上ニ於キマシテモ、極メテ重大ナル事ト存ジマスルガ、帷幕上奏ニ關シテノ事トマデ極論セラレタル點ガアリマシタガ、殊ニ此問題ニ對シテハ、甚シキハ不可思議ナル事デアリマス、而シテ第三ニハ國民皆兵主義ニ依ル、即チ國防ノ勢力ヲ減ジナイト云フコトノ見地ニ立ッタモノデアアルカハ知リマセヌガ、此國民皆兵ニ依ッテ現在ノ陸軍ヲ國民軍ノ幹部ノ程度ニマデ其人員ヲ縮少シテ、而シテ陸軍縮少ノ主義ヲ完ウシタイト云フ御説デアッタヤウデアリマシタガ、果シテ是ニ對スル陸軍大臣ノ所見如何此三點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ極メテ明瞭ニ申上ゲマシタト思ヒマスカラ御答ヲ願ヒマス

山梨陸軍大臣ノ應答

先ヅ第一ノ御質問カラ御答致シマス、先ヅ歩兵ヲ一年現役ニシテソレデ宜シイカト、斯ウ云フノガ趣旨デアリマス、此世ノ進歩ニ伴ヒマシテ、兵器ノ精密ニナッタト云フコトハ、是ハドナタモ御認メニナルコトト思ヒマス、ソレト此精銳ナル武器ヲ使フニ致シマシテハ、集散ノ隊形、殊ニ小部隊ニ區分シ、殊ニ個人ノ動作ヲ要スルト云フコトモ、精銳ナル武器ト云フコトニ付テ、十分ニ是ハ理解アルコトト思ヒマス、又精銳ナル武器ヲ用キテ、遺憾ナク其精銳ノ威力ヲ發揮サセルト云フコトニ付キマシテハ、又熟練ヲ要スルト云フコトモ自然ノ結果ト思ヒマス、ソレデアリマスルカラ是等ノ件々ヲ思ヒマシテモ、一年ノ服役ヲ以テ之ヲ十分ニサセルト云フコトハ、中々困難デアリマス、ソレノミナラズ、此戰時ノ復員ヲ少シモ減ラサズニ、戰時ノ儘ノ計畫ノ通りノ部隊ヲ造ラウト云フコトニナリマスルト云フト、動員上頗ル茲ニ大ナル困難ガ起ルダラウト思ヒマス、ソレニ付キマシテ第二ノ問題タル師團ノ半減ト云フコトハ、頗ル攻究ヲ要スルコト、思ヒマス、今日ハ先ヅ之ヲ以テ、此問題ニ付テハ當回ハ御満足アランコトヲ切望致シマス、何レ後日詳細ニ涉リテ、此事ハ申上ゲル機ガアルダラウト思ヒマス、ソレカラ國防ノ勢力ヲ減ズル事ナクシテ、而シテ之ヲ整理緊縮シテ費用ニ餘裕ガアルヤ否ヤ、是ハ其勢力ヲ減ゼズ、即チ採用スル武器ノ補充、年月如何ニ依ッテ、其費用ノ如キハ多少ノ餘裕ヲ生ズルノト、又補充スル兵器ヲ速ニ造ラウト云フ事ニナリマスレバ、其費用ト云フモノハソコニ浮イテ來ヌ、斯ウ云フ事ニナリマスカラ、是ハ委細計畫シタ上デ其事ガ起ル、帷幕上奏ノ事ニ付テ大岡君ノ御演説モアリマシタガ、是ハ私ハ少シク事ガ違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ何レ發案者ニ能ク詳細ノ說明ヲ聽キマシタ上デ、其事ノ誤カ誤デナイカト云フコトハ分ルダラウト思ヒマス、帷幕上奏ニ依ッテ人ヲ決メテ、サウシテ其任命ヲスル、斯ウ云フ事ハソレハ事實上アリマスルガ、其人ヲ決メル事ハ成程帷幕上奏ニ依ッテ決メマスガ、ソレデ階級ヲ帷幕上奏ニ依ッテ造ルト云フコトハナイノデアリマス、即チ豫算ニ決定シテアル範圍ニ於テ、其人ヲ補充スルノデアリマス、其人ヲ誰ニスルト云フコトハ、帷幕上奏ニ依ッテ決定スル事ニナッテ居ルノデアリマスガ、之ニハ何カ茲ニ意思ノ疏通ヲ缺イタ所ガアルダラウト思ヒマス、是ハ後日能ク此所ノ所ヲ詮索シテ、後ニ決定スルコト、思ヒマス、國民皆兵デアアルカラシテ、國民ノ幹部ヲ造ルヲ以テ唯ダ基礎トスルト斯ウ云フノデアリマスルガ、此基礎ヲ造ルニモ即チ兵其者ガ無クテハ此基礎ガ出來ナイノデアリマス、即チ幹部ヲ造ルニハ、幹部ヲ造ル相當ノ兵員ガ要ルノデアリマスカラ、唯ダ幹部ヲ造ルダケノモノヲ以テ、唯ダ學校教育ヲ以テ、ソレデ指揮官ノ養成ガ出來タモノト云フ譯ニハ到底是ハ參リマセヌ、デアリマスカラ此

點ニ於テモ、マダ意見ノ疏通ヲ缺イタ所ガマダアルト思ヒマス、是ハ建議ナサレマシタ方々ノ意思ヲ能ク承ツタ後デナイト、詳細ノ御答ハ出來マセヌ

下岡忠治君ノ贊成演說

本員ハ國民黨ノ提出ニ係ル本決議案ニ贊成ヲ致ス者デゴザイマス、此機會ニ於テ極ク簡單ニ贊成ノ理由ヲ申シタイト思ヒマスルカラ、暫ク御清聴ヲ煩ハシタウゴザイマス、決議案ノ大體ノ趣旨ニ於テハ固ヨリ贊成デハアルガ、其内容ニ付キマシテハ別説ガアルノデアリマス、理由書ノ中ニ師團ヲ半減シ、又兵役年限一年説ト云フコトヲ書イテゴザイマスルケレドモ、吾々ハ直ニ此説ニ全部同意スル者デハナイ、又先刻犬養氏ヨリ段々卓見ヲ御吐露ニナリマシテ、誠ニ敬服ノ至リデゴザイマスルケレドモ、私共ハ其全部ニ共鳴スル者デナイト云フコトヲ、先以テ御斷リ申シテ置クノデゴザイマス、此度ノ歐羅巴ノ大戰爭ガ所謂有史以來ノ大變事デアッテ、此變事ノ結果トシテ、戰前ト戰後ニ於ケル所ノ各國民ノ思想ニ、一大變化ヲ來シテ居ルト云フコトハ申スマデモナイ事デゴザイマス、戰前ニ於テハ各國ニ於テ非常ニ武力ノ競争ヲ行ッテ居ッタノガ、此戰役ニ於キマシテ自ラ下火ニナッテ來タト云フコトハ、皆様御承知ノ通りデアアル、果シテ此傾向ガ幾年續クカ、遠キ將來ノ事ハイザ知ラズ當分ニ於キマシテハ、平和偃武ノ空氣ト云フモノガ、恐クハ各國ノ大勢ヲ支配スルデアラウト云フコトハ、間違ノナイ事デアラウト思ヒマス、曩ニ亞米利加ニ於テ開催セラレタル華府會議ニ於テハ、御承知ノ通り海軍ノ協定ト云フコトガ行ハレタ、即チ是ガ所謂平和ノ大精神ヲ具體化シタル所ノ、一ツデアラウト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、海軍ニ於テ既ニ然リ、何人ノ頭ニモ必ヤ陸軍ノ方面ニ於テモ、或ル制限ノ縮少ト云フ事ヲ、行ハナクテハナラヌデアラウト云フコトガ浮出ズルト云フコトハ、是ハ自然ノ事デアリマス、華府會議ニ於テハ、陸軍ノ制限ト云フコトハ問題ニナラナカッタ、併ナガラ或ハ將來是ト同性質ノ會議ニ於テハ、問題ガ擡頭スルカ知レマセヌガ、縱シサウ云フ問題ガ擡頭スルト否トニ拘ラズ、我が帝國ノ四圍ノ現狀ニ顧ミテ見マスレバ、必ヤ此陸軍ニ對シテ一大考慮ヲセナクテハナラヌト云フ、立

場ニ立至ッテ居ルト云フコトヲ私共ハ確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ治ニ居テ亂ヲ忘ルベカラズ、或一派ノ論者ノ如ク、理想的ノ平和論ヲ唱ヘテ、極端ナル陸海軍ノ制限ヲ唱ヘヤウト云フ人ガゴザイマスルガ、吾々ハ斯ウ云フ説ハ執ルノデハゴザイマセヌ、併ナガラ極ク平易ニ考ヘテ見テ、御互ニ是マデ假想敵國トシテ、非常ナル脅威ヲ感ジテ居ッタ所ノ露西亞ノ崩壞是ハ確我が陸軍ニ對シテ、一ツノ變化ヲ來スベキ所ノ一大原因デアアルト申シテ差支ナイコトハ勿論デニアル、獨逸帝國ノ瓦壞ト云フ事モ間接ニハ我國ノ兵備ニハ影響ノアルモノト私共ハ信ジテ居リマス、又殊ニ内部ノ狀態カラ考ヘテ見ルト我が國力ニ比較シテ、陸軍ト云ヒ、海軍ト云ヒ、是マデノ軍備ニ要シテ居ル所ノ費用ガ非常ニ過大デアッタト云フコトハ、是亦爭フコトガ出來ナイノデアリマス、大正三年ノ統計ニ依ッテ見ルト、當時ニ於ケル陸海軍ノ費用ガ、國費全體ノ約三割デアッタノデゴザイマスガ只今ニ於テハ陸海軍ノ費用ハ、國費ノ全體ノ四割五分カラ五割マデニ上ッテ居ルト云フ狀況デアリマスカラ、此點ダケヲ考ヘテ見マシテモ、能フベキ限リニ於テ、陸軍ナリ海軍ニ對シテ、一大節約ヲ加ヘルト云フ方針ヲ執ラナクテハナラヌト云フコトハ、是ハ疑フコトノ出來ヌ所デゴザイマス、吾々ハ此考ヲ以チマシテ、既ニ昨年ニ於キマシテ我黨ノ總裁ハ、福島縣ニ於ケル憲政會ノ大會ニ於テ、陸軍ノ緊縮ヲ行フノ急務タルコトヲ絶叫致シタノデアリマス、又本年ノ一月ニ於ケル所ノ憲政會ノ大會ニ於キマシテ、行政財政ノ整理ヲ爲シ、殊ニ世界ノ大勢及四圍ノ狀況ニ照シテ、陸軍ニ對シテ是ガ整理縮少ヲ行フベシト云フコトヲ一ツノ政策トシテ、之ヲ天下ニ發表致シタノデアリマス極ク俄思付ノ建議案トハ、少シク其趣ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ、御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、然ラバ此節減ヲ行フベキ所ノ方法程度ヲ如何ニスベキカト云フ點ニ付キマシテハ、一年兵役説、出來得ベクバ吾々之ヲ行ヒタイ、何トカシテソコマデ漕付ケタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ吾々ノ今日調査ヲシ研究ヲシタ所ニ於テハ、マダソコマデハ到達スルノガ、少シク早イデアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、先決問題トシテ少クモ教育上ノ各種ノ懸案、例ヘバ義務年限ノ延長ノ問題、其他教育ノ内容ヲ改善スル上ニ於テ一段ノ大努力ヲ行ッタ後ニ徐ロニ此問題ニ這入ッテ、敢テ晩クハナイコトデアラウカト

吾々ハ思ッテ居リマス、出來得ベクンバヤリタイ、出來得ベクンバヤリタイケレドモ、マダ今日直ニ之ヲ行フト云フコトハ、少シク早イト云フ觀察ヲシテ居ル、隨ッテ師團ノ半減ト云フ事モ、是亦實際行ヒ難イ所ノ事デアアルガ、併シ吾々ハ財政緊縮ノ大方針ノ下ニ、現在ノ兵力ヲ激減セザル範圍内ニ於テ、相當ニ陸軍ニ對スル一大節約ヲ加フル所ノ餘地ハ、澤山アルト云フ事ヲ信ジテ居ルノデゴザイマス何レ來ルベキ豫算ノ會議ニ於テハ、此點ニ關スル具體ノ意見ヲ發表スル機會ガアラウト思ヒマスルガ、兎ニ角現在ノ陸軍ニ對シテハ、一大斧鉞ヲ加フル所ノ餘地ノアルト云フコトハ斷言ヲ致スノデアアル吾々決シテ空漠ナル議論ヲシテ居ルノデハゴザイマセヌ具體的ニ言ヘバ、之ヲ試ニ具體的ニ例示ヲシテ見マス、具體的ニ例示ヲセヨト云フコトデアレバ、第一ニ軍隊ノ編成方法ヲ改正スルコトデアアル此度ノ戰爭ノ結果トシテ、新シイ兵器ヲ使フト云フコトガ非常ニ發達シタ、此新シイ兵器ヲ使フ結果ハ、自ラ步兵ノ要員等ヲ非常ニ減ラスト云フコトガ出來ルノデアリマス、例ヘバ輕機關銃ヲ使フ一中隊ノ輕機關銃ヲ、假ニ十二挺使フト云フコトデアレバ、此十二挺ノ輕機關銃ト云フモノ、威力ハ、步兵銃百八十挺ニ該當スル譯ニナルノデゴザイマスカラ……此十二挺ノ輕機關銃ニ依ッテ、小銃百八十挺ノ威力ヲ持ツト云フコトガ出來ルラバ、新シイ兵器ヲ使フトカラシテ、自ラ兵ノ要員ヲ大ニ減ズルコトガ出來ルト云フコトハ、當然ノ歸結デゴザイマス、非常ニ削減ヲ致スコトガ出來ルノデアリマス、素人考ト言フガ、總テ斯ウ云フ事ハ、常識ノ判斷ガ矢張大切ナ事デアリマス、又世ニ所謂三單位、即チ是マデ四個中隊ヲ以テ組織シテ居ッタ一大隊ヲ、三個中隊ヲ以テ一大隊トシ、又四個聯隊ニ依ッテ一師團ガ形成セラレテ居ッタノヲ、三個聯隊ヲ以テ形成スルト云フ所謂三單位、此方針ヲ執ルト云フコトニナレバ、是ハ又恐ラクハ戰後ニ於ケル世界共通ノ編成方法デアラウト思ヒマスガ、若シ之ガ行レルト云フコトデアレバ、依ッテ亦兵員ヲ減少スルト云フコトガ、非常ニ澤山出來ル譯デアアル、是等ノ方法ニ依ッテ、一面ニ於テハ兵器ノ改良ノ爲ニ臨時ノ費用ハ要リマスケレドモ、經常費ニ於テハ大ナル削減ガ加ヘラル、ト云フコトハ、是ハ常識ノ判斷ニ於テ、當然分ッテ居ル事デアリマス、又在營期間ノ事デアリマス、一年兵役ハ私共急ニ之ヲ實行スルコトハ、或ハ困難デアラウカト思フケ

レドモ、併ナガラ此在營期間ヲ或ル程度ニ短縮スルト云フコトハ出來ベキ事デアアル、現ニ大正十二年度カラハ、一箇月間在營期間ヲ短縮スルト云フコトヲ當局ニ於テモ實行スル筈デアアルガ、若シ一步ヲ進メテ先刻犬養善ノ御話ニアッタ如ク、種々煩瑣ナル手續、或ハ形式上ノ事柄ヲ改良シテ行クナラバ、恐クハ在營期間ヲ或ル程度、即チ數箇月間短縮スルト云フコトハ、決シテ不可能ノ事デハナイデアラウト私ハ信ジテ居リマス、政友會ノ津野田君ハ、一年半兵役論ヲ主張セラレテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、制度トシテハ或ハ一年半ヲ直ニ實行スルト云フコトハ困難カモ知レマセスケレドモ、或ル程度マデハ歸休兵ノ制度、歸休兵ノ方法ニ依ッテモ、在營兵ノ數ヲ減少シ、隨テ輕費ノ上ニ多大ノ節減ヲ加ヘルコトガ出來ル譯デゴザイマス、是等各種ノ方法ヲ一々具體的ニ申セバ他ニ澤山アリマスルガ、種々ノ斯ル方法ニ依ッタナラバ、現在ノ陸軍ノ軍事費ニ對シテ或ル節減、或ハ二割乃至三割五分ノ節減ハ加ヘ得ルモノト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス、先ヅ之ニ依ッテ陸軍改革ノ第一歩ヲ進メルト云フコトハ、今日ニ資スル最モ急務デアラウト信ズルノデアリマス、但シ根本的ニ互ル我が兵制根本ニ互ッテノ改良ト云フ點ハ、決シテ之ニ依ッテ出來ルモノデハナイ、此問題ハ我國ノ利害休戚ニ係ル非常ナル重要ナ事項デアアルカラシテ、最モ慎重ナル考慮ヲ要スルコト、思ヒマス、軍事專家ノ間ニ於テモ、マダ兵制上ニ關スル意見ガ一致シテ居ラヌト云フ現狀デアアルカラ、願クバ軍事專家ハ勿論、其他財政或ハ教育方面ノ人々ヲ網羅シテ、所謂國防會議、有ユル權威者ヲ集メタル國防會議ヲ設ケテ、根本的ニ日本ノ陸軍減少ノ大方針ヲ定メテ、之ニ依ッテ將來ノ一切ノ計畫ヲ立ツルト云フコトニスルノガ、最モ適切ナ方法ナリト信ジテ居ルノデアリマス、陸軍當局ニ於テモ此時勢ノ趨向ヲ察シテ、且ツ一般民意ノ在ル所ヲ能ク酌デ、願クバ此決議案ニ對シテ十分ナル考慮ヲ費シテ、而シテ吾々ノ意思ノ貫徹スベク、一大雅量ノ態度ニ出デラレンコトヲ切望ヲ致ス次第デゴザイマス、尙ホ最後ニ一言シテ置キタイノハ、只今大岡サンノ御話ニモアリマシタガ、又先月ノ二十一日我黨ノ濱口君ガ、高橋總理大臣ニ質問ヲ致サレタ際ニ、高橋サンノ答辯ガ甚ダ要ヲ得テ居ラヌ事ガアッタヤウニ思ヒマス、即チ憲政會ハ大隈内閣ノ時代ニハ、二箇師團ノ増設ト云フコトヲ賛成シタノヂヤナイ

カ、然ルニ今ニナッテ陸軍ノ軍備ヲ縮少セヨト云フコトハ、聊カ矛盾ノ嫌ナキニ非ズヤト云フ口
吻ヲ弄シテ居リマス、以テノ外ノ事デアリマス、戰前即チ大戰争前ニ於ケル所ノ日本ノ狀況ト現
在ニ於ケル日本ノ狀況ト、非常ナ懸隔ガアル、非常ニ差別ガアルト云フコトハ言フマデモナイ事
デアアル此大ナル相違ガアルノデアアルカラ、前ニハ二箇師團増設ヲ必要トシ、今日ハ陸軍ノ短縮ヲ
必要トスルト言フニ、何所ニ矛盾ガアリマスカ、斯ノ如キ牽強附會ノ言辭ヲ弄シテ一時ヲ瞞著ス
ルト云フコトハ、政友會ノ人々ノ常套ノ手段カモ知レマセケレドモ、斯ノ如キ矛盾極マルコト
ハ、實ニ黙ッテ置ケナイ事デアアル此機會ニ於テ政友會ノ諸君ナリ、或ハ内閣總理大臣ニ反省ヲ促
シマシテ、私ハ此壇ヲ降りマス

次テ本案ハ大岡育造君外十名提出陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案(二六)委員ニ併セ付託スルニ決
ス

(議事ノ經過及結果ハ第五項建議案(二六)參看)

五 決議案

政府ハ關東州ニ起リタル阿片事件ニ關スル豫審調書及之ニ關係アル一切ノ書類ヲ議會ニ提出ス
ヘシ

右決議ス

右ハ十一年二月六日山道襄一君外一名之ヲ提出ス三月四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山道襄一君)
ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ只今議題トナリマシタル決議案ノ理由ヲ説明致シマス、此決議案ハ政府ハ關東州ニ起ッタル
阿片事件ニ關スル豫審調書及之ニ關係アル一切ノ書類ヲ議會ニ提出スベシト云フノデアリマ
ス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、所謂阿片事件ナルモノニ關係ヲ致シマス刑事訴訟記録ノ全
部ヲ提出スルト云フコトヲ要求スルノデアリマス、私ガ申スマデモナク、近時帝國ノ狀態ニ付キ
マシテハ憂ベキ事ガ洵ニ多クアルノデアリマス、之ヲ一言ニシテ申シマスレバ、綱紀弛廢ノ極ニ
達シタトモ言ヒ得ルヤウナ狀態デアアルノデアリマス、而モ此綱紀弛廢ノ幾多ノ事實ノ中ニハ、此
事實ニ没頭シテ居リマス者ノ中ニハ、政黨員ガ此中ニ在リ、種々ナル議員ガ此中ニ在リ、政府
ノ大官ガ此中ニ在リ、殆ド政治家官吏等多數ノ者ガ此事件ニ關係ヲ致シテ居ルノデアリマス、今
日裁判問題トナッテ居リマスダケノ事件ニ致シマシテモ、容易ナラヌ數々ニ達シテ居リマスガ、
尙ホ更ニ今日法律上ノ犯罪トナラズシテ、所謂免レテ居リマスル所ノ幾多ノ事件モアルノデア
リマス、而モ政治上ノ犯罪、道德上ノ犯罪ニ至リマシテハ、洵ニ慨嘆ニ堪ヘザル幾多ノ事件ガア
ルノデアリマス、例ヘバ滿鐵事件ノ如キ、或ハ寶塚郵便局長事件ノ如キ、或ハ東京市ノ疑獄事件
ノ如キガゴザイマスル、是等ハ最モ重大ナル犯罪デアアルノデアリマス、帝國ノ官紀、帝國ノ官紀
ヲ案ツテ居リマスル所ノ幾多ノ重大ナル犯罪デゴザイマスルケレドモ、是等ハ皆其關係シマスル
所ガ對内的デアアルノデアリマス、唯一ッ此所謂阿片事件、阿片賣捌ノ事件ナルモノハ、内ニ於テ
ハ國家ノ綱紀ヲ紊リ、官紀ヲ紊リ引イテハ帝國ノ憲政ヲ損ヒ、而モ之ヲ外ニ對シテハ世界ノ人道
ニ背反シ、國際ノ道義ヲ紊リ居リマスル如キノミナラズ、更ニ善隣ノ和平ヲ傷ケテ居ルヤウナ
大ナル事件デアアルノデアリマス、是ガアリマスルガ爲ニ、私共ハ特ニ此阿片問題ニ付テハ、皆様
方ノ慎重ナル御考慮ニ御訴ヲ致シタイノデアリマス、元來此阿片事件ヲ取扱ヒマスルニ當リマ
シテハ、大凡私ハ四五ノ方面ニ互ッテ之ヲ取扱ハナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、即チ此

阿片事件ナルモノハ、第一ニハ國家ノ收入問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナラス、第二ニハ植民地ニ對スル統治策ノ問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナラス、第三ニハ國法ノ權威問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナリマセヌ、第四ニハ内閣ノ責任問題、即チ官紀問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナリマセヌ、第五ニハ國家ノ體面問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナラス、然ルニ今日迄ハ唯國家ノ收入問題トシテノミ此阿片事件ハ取扱ハレテアリマス、自餘ノ問題ニ對シマシテハ、本日尙ホ不十分ナル點ガ多クアリマスルガ爲ニ、國家ニ大ナル迷惑ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ此一切ノ關係書類ノ提出ヲ求メマシテ、之ニ依ッテ十分ニ真相ヲ究メ、根本的ニ此國家綱紀弛廢ノ根本ヲ矯メタイト云フ所ノ趣旨デアアルノデアリマス、之ニ付キマシテ暫ク時間ヲ拜借致シマシテ、其理由ヲ私ハ申述ベタイト思ヒマス、私共ハ此阿片事件ニ關シマシテ、第一ニ私ガ遺憾ニ思ヒマスルノハ、官紀紊亂ノ極ニ達シテ居リマスル事態デアリマス、而カモ僅ナル一部ノ官吏ガ之ニ關係シテ居ルノミナラズ、此事件ノ真相ヲ究メマスレバ、遂ニハ内閣ノ閣議ニマデ影響ヲ致シ、内閣ノ大臣諸公ノ上ニマデ其累ガ及ンデ居ルト云フ由々シキ事態ガ生ジテ居ルノデアリマス、既ニ總理大臣ニ直屬致シテ居リマスル拓殖局長官古賀廉造君ガ刑ニ坐シ、又勅任セラレテ居リマシタ所ノ大連民政署長ノ中野君ガ刑ニ坐シテ居リマスルコトハ、私ガ申サズトモ既ニ御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ此二人ノ人達ハ——此二人ノ人達ハ、尤モ重要ナ地位ニ居ル人ニハ相違ゴザリマセヌガ、尙ホ是等ヨリモ尙更ニ重大ナル所ノ國家ノ官ノ仕事ヲ致シテ居リマス所ノ人達ノ間ニ、此事ニ干與致サレテ、而モ是ガ其儘放任サレントシテアル事ハ誠ニ看過スベカラザル私ハ一大事デアルト思フノデアリマス、曩ニ此壇上ニ於テ國民黨ノ清瀨君ヨリ中野有光君ガ民政署長ヲ辭セントスルニ當リマシテ、時ノ長官山縣伊三郎氏ニ對シテ宛テマシタ所ノ書面ヲ御朗讀ニナリマシタ、本日山縣長官ハ御出席ニナッテ居リマスルガ、清瀨君ガ手紙ヲ御讀ミニナッテ官報ニ登載サレテアリマスル手紙ト、山縣長官ノ手紙ニ在ル且ツ其一部ハ古賀拓殖長官ノ手紙ニ在リマスル其手紙トハ、多少相違シテ居ルコトヲ認メラル、デアリマセウケレドモ、大體ニ於テ清瀨君ノ朗讀サレマシタ書面ハ、中野ノ認メマシタ書面ト相違ナイ

ノデアリマス、僅ニ一部相違シテ居ルノデアリマス、此書面ニ依リマスレバ、大體此阿片事件ニ對スル經過及其真相ガ述べラレテアリマス、是ハ既ニ諸君モ閱覽アリシコト、存ズルノデアリマス、洵ニ之ヲ讀ムニ當リマシテ、國家ノ爲ニ悲マザルヲ得ナイノデアリマス、中野君ガ其職ヲ辭スルニ當リマシテ、彼ガ犯セシ罪ハ兎ニ角アノ書面ヲ認メタ時ニ方リテハ、其本心ニ其善心ニ立返ッテ此書面ヲ書キシコトハ明瞭デアリマス、此書面ノ上ニ於テ其字句ノ上ニ於テ、此文章ノ全體ヲ通ジテ、其眞面目ニ立返リ、本心ニ立返リ、懺悔致シテ居ル、是ハ明ニ書面ニ認メテアリマス、本心ニ立返ッタ其時ニ書イタ此書類ハ、所謂阿片事件ノ真相ガ暴露セラレテ居リマス、何人ト雖モ此書翰ヲ一讀ニナッタ者ハ、驚嘆禁ジ得ザリシコトヲ信ジテ疑ヒマセヌ、而モ此書面ダケヲ見テモ此阿片事件ニ連坐スベキ幾多ノ大官アリ高官アルコトハ、此一ノ書面ノ中ニ明瞭ニナッテ居ルノデアリマス、私ハ洵ニ此豫審調書ノ一節ヲ茲ニ朗讀致シマシテ、此阿片事件ニ對スル所ノ一部ノ政黨ノ、或ル一部ノ團體數十人ヲ代表スルト云フ人ヲ通ジテ、阿片特賣ノ權利ヲ得タコトガ、阿片事件ノ被告トナッテ居リマス、梶井盛ナル者ノ豫審廷ニ於テ述ベタ此ノ一節ヲ朗讀スレバ、其關係ガ明ニナルノデアリマス、豫審判事ハ梶井ニ向ッテ「特賣ヲ約スルニ至リタル動機ハ如何ト云フ質問シタトキニ、梶井之ニ答ヘテ曰ク「阿片販賣ノ問題ヲ提出シタルニ付、私ハ中野署長ノ官舎ニ至リ江崎ノ願意ヲ尋ネタルニ、中野署長ハ自分ハ赴任後日モ淺ク阿片ノ事ニ付テハ中々八釜シキニ付キ一度事務總長ノ内意ヲ聞カネバ特賣ヲ許スコトハ出來ヌト申シマシタ、依リテ歸館ノ上之ヲ遠藤ニ話シ又遠藤ニ對シ君ハ杉山總長ト懇意ノ間柄ナルニ依リ旅順ニ行キ總長ノ意見ヲ聞キ吳レト申シタルニ、同人ハ旅順ニ至リ總長ニ面會シテ歸館シ私ニ對シ阿片ノ件ハ總長ニ於テモ宜シイト申サレタル旨話シタルニ依リ、茲ニ始メテ特賣事件ガ具體的ニ進行スル様ニナリタルモノデアリマス」更ニ豫審判事ハ「其後ハ如何」之ニ答ヘテ「五月中ノ事デアリマスガ、大連ホテル滯在中野ニ面會シタキニ付、差支ノ有無ヲ問合セタ處差支ナキニツキ官舎ニ來レト電話ガアリマシタカラ早速中野方ヘ行キタルニ中野ハ私ニ對シ阿片ノ件ハ杉山總長ニ於テ異議ナキニツキ特賣ハ許可シテ宜シイト申サレマシタ依テ早速ホテルニ歸リ之ヲ遠藤江崎ニ

モ語リマシタ……此所ニ於テ阿片特賣ヲ實行スル計畫ハ全ク成立シタノデアリマス」ト答ヘテ居ルノデアリマス、更ニ豫審判事ガ「五萬圓ヲ東京へ送り大連ヲ出發後古賀長官ニ面接シタルコトアリヤ」アリマス、前回申立ノ如ク此五萬圓ハ遠藤良吉方ニ於テ折半シタル後、古賀長官方ニ參リ此度御盡力ニ依リ好結果ヲ得マシタ、此レニツキ大連へ出向シ、私ハ中野署長ニ特賣ノ申込ヲシタル所、實ハ中野ハ新米且微力ニシテ容易ニ拂ラザリシニヨリ、遠藤ヲ旅順ニ派シ、杉山總長ノ諒解ヲ得漸ク解決ガ出來マシタ……又前利益金トシテ五萬圓ヲ受取り來リ、之ヲ遠藤ニ折半シ御蔭デ借金ヲ返シ電話ヲモ供ヘツケマシタト申シテ禮ヲ述ベタル所、古賀長官ハ其ハ結構デアッタト申サレマシタ」ト此處ニ書イテアリマス、更ニ中野署長ガ豫審廷ニ於テ述ベラレタ一句ヲ引用致シマス「梶井ヨリ特賣ノ願出ヲ爲シタル際一時之ヲ留保シ、後ニ至リ蒲原ヨリモ特賣ノ願出ヲナシタルニツキ私ガ此兩名ニ對スル許可ニ關シ他ノ新聞社等ノ口ト共ニ杉山總長ヲ經テ林長官ノ諒解ヲ得タノデアリマス」ト此所ニ書イテアリマス、更ニ茲ニ奇怪至極ナル一ノ書面ガアリマス、其書面ノ一節ヲ茲ニ私ハ讀上ゲナケレバナラヌ、其文中ニ「此度古賀ノ申立ニ依リ杉山總長宰相ニ上京ヲ命ゼラレ、手嚴シキ警告ヲ加ヘラレ餘程恐縮致候由、之ニ尙古賀ヨリ是マデノ小賣人ハ全然新タニ取替ヘル方針ヲ以テ一時ニ決行スル事ヲ止メ四五名宛漸次取替ヘルモ裏面ハ飽マデ嚴密ナル取締ヲ行フ方針ノ點迄訓示致候由」云々ト書イテアリマス、諸君モ此手紙ヲ見ラレマシテ、被告ノ小島ガ豫審判事ニ答ヘタ阿片政策ニ關スルコトガ分リ、「又古賀長官ト杉山總長ト意見一致セザルタメ古賀長官ヨリ首相ニ申出デ杉山總長ノ上京ヲ命ジ古賀ノ意見ノ如ク行ハシムル爲メ警告シ杉山總長之ニ服從シタル事ヲ記シタルモノト思ヒマス」ト而モ本人ノ蒲原ガ答ヘテ居リマス、サウシテ「是ハ私ヨリ小島ニ宛テ手紙デアリマス、大正八年ト思ヒマス」ト答ヘ、而モ「最後ニ此手紙ヲ出シタ當時ニ古賀長官方ニ出頭シタル際古賀長官ヨリ手紙ニ書キアル通りノ御話ガアリマシタカラ之ヲ小島ニ通知致シマシタ」ト答辯致シテ居リマス、即チ此書面ニ依リマスレバ杉山總長ニ對シ原總理大臣ハ能ク東京ニ呼寄セテ、阿片ヲ秘密ニ賣レト所謂犯罪ヲ爲スガ如キ辯明ニナッタト云フ手紙デアリマス、故ニ諸君モ新聞デ御覽ニナツテ居リ

マセウガ、昨年九月六日ニ旅順ノ公判廷ニ於ケル檢察官ノ安岡ガ、私一人デ調べタケテ尙ホ足ラズ、此上證人ヲ呼ブト云フナラ杉山ヲ喚問スルヨリ、寧ロ原總理ニ質問シタラ尙ホ能ク分ルデアラウト言ッテ居リマス、即チ此手紙ニ書イテアル通りデ總理大臣自ラ此阿片特賣ヲセシメタト云フコトハ、一層明白ニ檢察官ニ依ッテ書カレテ居リマス、凡ソ世ノ中ニ犯罪ハ多クゴザイマセウケレドモ、是レ以上ナル犯罪ハ恐ラク私ハ無カラウト思フ、而モ小島貞二郎ノ供述シマシタ所ノ豫審ノ供述ヲ見マスレバ、閣議ニ依ッテ——内閣々議ヲ以テ、阿片ヲ秘密ニ賣ラシムルコトヲ決定致シテ居ラル、ノデアアル、即チ小島ナル者ハ御承知ノ如ク阿片ヲ賣リマス所ノ理事デ、最モ其主任者デアッタモノデリマス、彼ガ豫審廷ニ於テノ申立ニ依レバ「梶井ガ申シマスニハ一月中旬頃ノ閣議ニ其議案ガ出テ吸者ノ保護ト關東州ノ收入増加ノ方法トシテ、秘密ニ阿片ノ販賣ヲ繼續スルコトニ閣議ガ決定シタノデアアル」ト云フコトノ申立ヲシテ居ルノデアリマス、此吸者ヲ保護スルト云フコトハ「國際協約ニモ許サレテ居ル事デアリマスカラ、敢テ答ムベキ事デアアリマセヌ、併ナガラ政費——收入ノ増加ヲ圖リマスガ爲ニ阿片ヲ賣リマス如キハ、是レ即チ國際ノ信義ヲ紊リ、而シテ大ナル犯罪デアアルノデアリマス、而モ此犯罪ヲ一月中旬頃ノ閣議ニ於テ、秘密ニ阿片ノ販賣ヲ繼續スルト云フコトヲ決定シタト云フコトニ至リマシテハ、言語道斷ノ事デハゴザイマセヌカ、貴族院ノ一議員ノ人ハ、綱紀肅正ノ問題ニ對シテ質問ヲ發セラレ、之ニ對スル内閣大臣諸公ノ御答辯ガ、吾々ノ關係スル所デハ無イト言ハレタトキニ、閣議ヲ以テ惡事ヲスルコトヲヨモヤ決定スル者ハ居ルマイト云フ、一種ノ冷評的ノ言葉ヲ使ハレテ居リマスガ、此所ニハ明白ニ閣議ヲ以テ國際ノ信義ヲ破リ、帝國ノ國法ノ尊嚴ヲ蹂躪スルヤウナ事ガ行ハレテ居ルデアリマセヌカ、斯ノ如キ事ハ——斯ノ如キ事ハ單ニ一被告ノ陳述デハナイノデアリマス、總テノ者ノ——多クノ被告ノ陳述シテ居ル所デアリマス、嘘ト仰セニナレバ尙ホ其次ノ事ヲ申上ゲル、豫審判事ガ其閣議ノ模様ハ、梶井遠藤ガ如何ニシテ之ヲ知リシカト思フカト問ウタニ對シテ「梶井、遠藤ハ政黨員デアリマスカラ、時々原首相並ニ古賀長官ニ接スル時機ガ多イカラ、是等ノ人ヨリ聞イタノデアリマス」更ニ古賀長官ニ依ッテ陳述サレタル所ヲ讀上ゲマスレバ——若

シ嘘ト言フナラバ政府ノ大官デアリ、總理大臣ノ最モ信任シテ居ラレマシタ古賀長官ノ豫審廷ニ於テ述ベラレタ事ハ、ヨモヤ間違ハナカラウ、ヨモヤ間違ハナカラウト思ヒマス、私ハ是モ併セテ讀ムコトノ必要ガアルト思ヒマス、嘘ダト言フナラバ有ユル證據書類ヲ提供致スノデアリマス、古賀廉造ノ答デアリマス「大正八年一月下旬カ二月初旬頃、閣議ニ於テ關東廳ノ阿片拂下ニ關スル制度ヲ全廢セントノ議論ガ起リ、私ハ閣議ニ列セザルヲ以テ其大體ヲ聞キタルモノナラガ、其際原總理ヨリ更メテ拓殖局長官タル私ニ閣議ノ大體ノ内容ヲ話サレマシタ」ト云フコトガ前提デアリマス、其要旨ハ「此度外務省ヨリ關東州ニ於ケル阿片制度ノ全廢論ヲ主張シタルノハ勿論全廢ハ可ナラン、而モ從來ノ慣例アル事デモアルシ、果シテ全廢シテ差支アリヤ否ヤ、此點ニ付キ能ク研究セラレタシトノ事デアリマシタ、私ハ宮尾民政署長官ト相談シマシタガ、同人ハ全廢可ナランモ關東州ノ收入少クナルノミナラズ、之ヲ廢スルトキハ、癮者ニシテ倒レル者アリ、癮者殊ニ多數勞働者ハ關東州ヲ去ル者多カラシ、衛生上人道今俄ニ全廢スルコトハ困難デアルトノ事デアリマシタカラ、私モ諒解シ、就テハ將來臺灣制度ニ倣ヒ漸禁主義ヲ執リ、漸次全廢スルコトヲ計ルガ可ナラン、先ヅ今日ノ場合從來ノ販賣量數ヲ減少シテ十分ノ一位ニ制限シ、關東廳ノ收入ヲ約五十萬圓位ニシタラドウデアラウ、併シ是ハ實際或ハ實行シ難キ議論ナルヤモ知レザル故、先以テ五分ノ一位、即チ百萬圓位ノ收入ト爲スノ方法ニ定メテハ如何ト申シタ所、宮尾ハ百萬圓位ヲ關東都督府ノ豫算ヲ編成スルコトガ出來ルヤ否ヤ研究シテ見マセウ、從來阿片ニ依ル收入ニテ支辨セシ補助金其他事業費ヲ節約シテ百萬圓程度ノ收入ニ至ラシムルコトニシテ見マセウ」ト云フ話ノアリマシタコトヲ古賀長官ガ述ベテ居ル、此事ヲ古賀長官ハ述ベテ居リマスガ、更ニ他ノ記憶ニ依ッテ見マスレバ、又此總テ豫審調書ナドニ依ッテ見マスレバ、斯様ニ言ッテ置イテ、而モ百萬圓位ノ收入ニ減少シヤウト言ヒナガラ、是マデハ五百萬圓七百萬圓ノ年收ガアッタ、是等ノ阿片ヲ販賣シテ居ッタノデアリマスガ、更ニ此實際ノ書類ニ依ッテ見マスレバ、此阿片ノ收入ハ年々甚シク増加致シテ居ルノデアリマス、此阿片ノ收入ガ増加致シマシタ、大正四年ニハ二百二十萬圓、大正五年ニハ二百五十萬圓、大正六年寺內内閣ノ——有名ナル

選舉干渉ヲセラレマシタ寺內内閣ノ時ニハ突如トシテ五百四十萬圓ノ賣上高ガアッタノデアリマス、更ニ其翌年ニハ四百八十萬圓、大正八年ニハ百萬圓程度ニスルト言ヒナガラモ、二百二十五萬圓ノ賣上、大正九年度ニハ三百七十三萬圓ヲ賣上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ唯ダ數字デアル、表ニ現サレテ居ル所ノ、公ニ示シ得ル所ノ數デアリマスガ、更ニ此外ニハ毎年仕入金ナドニ對シテハ、隨分多額ノ金ガ——收入ガ此外ニ得ラレテ居ルノデアリマス、私ヨリ申シマスレバ殆ド最モ多ク賣ラレマシタ年ニハ、大正六七年頃カラ以來一千萬圓許リノ阿片賣上ノアッタ年ガ、多クアッタト云フコトハ推想スルニ難カラナイ、幾多ノ材料ガアルノデアリマス、斯様ナ事ヲ致シテ居ラレマスガ、皆様モ御承知ノ如ク帝國ノ刑法二百三十六條ニハ「阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス」ト云フ、立派ナ帝國ノ國法ガ存在致シテ居ルノデアリマス、然ルニ拘ラズ帝國政府及關東州ニ在リマシタ所ノ帝國ノ官憲、及是等ト共通ヲ致シマシタ帝國ノ政治家、或ハ有志ト稱スル如キ者ハ、此儼然タル帝國ノ刑法アルニ拘ラズ、多數ノ所謂政費ノ收入増加ヲ圖リマスガ爲ニ、豫算ニ計上サレタル倍額、三倍、四倍ニ當リマシヤウナ多數ノ阿片ヲ賣ッタト云フコトハ、一面ニ於テ國法ノ尊嚴ヲ蹂躪シテ居ルト同時ニ、一面ニ於テハ大ナル犯罪ヲ構成シテ居ルト云フコトヲ、私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス、尙ホ私ノ最モ諸君ト共ニ考慮スベキ一事ハ、此阿片ヲ賣上ゲマシタル、所謂犯罪ヲ構成致シテ居リマスルヤウナ此阿片賣上ノ金ヲ使ヒ、不逞朝鮮人ヲ招待致シ、或ハ之ヲ懷柔スル名ノ下ニ、是等ノ金ヲ非常ニ支出致シテ居ルト云フ一事デアリマス、此古賀拓殖長官ガ其令息デアアル邦夫氏ニ對シテ送リマシタル所ノ書面、是ハ裁判所ニ沒收サレマシタ、其中ニ何ト書イテアルカト申シマスレバ「是ハ本年私ヨリ長男ニ宛テタル書面ニシテ鄭トアルハ鄭安立ノ事デ、同人ハ不逞鮮人ノ頭株ヲ近來ハ大分ニ志ヲ變ジテ日本ノ爲ニ盡サントシテ居ル人物デアリマス、之ヲ懷柔センニハ東拓ニ於テ宜シク之ヲ爲サネバナラヌ筈デアリマスケレドモ、其運ビニ至ラザル故、其事ヲ書キマシタモノデアリマス」ト云フコトガ茲ニ書イテアリマス、此鄭安立ト云フ人間ハ皆様モ御承知ノ方モゴザイマセウガ、是ハ彼ノ一昨々年デアリマシタ、朝鮮ノ義和宮

ヲ支那ノ滿洲、或ハ上海方面ニ誘出サントシテ、安東縣マデ伴レテ落延ビマシタ金姜ト云フ上海ヨリ來マシタ一人ガアリマス、此義和宮ヲ先キニ取り出シタノハ金姜デ、上海ノ不逞鮮人ノ元兇デアリマス、此鄭安立ハ吉林及滿洲ニ於ケル不逞鮮人ヲ代表致シマシテ、同ジク同時ニ京城ニ乘込ミマシテ、此義和宮ヲ誘出サントシタ計畫ヲシテ居ッタ一人デアリマス、之ニ付テハ朝鮮總督ハ甚ダ怠慢ニシテ、私カラ言フナラバ寧ロ故意、寧ロ故意ニ此鄭安立ヲシテ京城ヨリ遁レ得セシメテ居リマス、所謂制令處分ヲ受クベキ所ノ朝憲紊亂ニ付サルベキ所ノ行爲ヲナシテ居ル此鄭安立、是等ニ對シテ古賀長官ハ、阿片ノ金ヲ使ッテ彼此セントシタ形跡ガ書カレテアルノミナラズ、皆サンモ御承知デゴザイマセウガ、立派ニ此豫審調書ノ中ニ書カレテアリマス、中ニ此有名ナル有名人呂運亨ヲ東京ニ呼寄セルニ當リマシテ、此阿片ノ金ヲ使ッテアッタト云フ事實ガ明ニナツテ居ルノデアリマス、是モ一ツノ道筋ダケハ私ハ御話申上ゲテ置カナケレバナラヌ、中野民政署長ガ申シテ居リマスル事ニ於テモ、確ニ金一萬五千圓關東廳ノ東京出張所主任田中千吉マデ送リタル金、此金ハ有名ナル朝鮮人呂運亨ヲ東京ニ呼寄セル費用デ、是ハ東京ノ或方面ヨリ必要アリトノ事ニテ、杉山總長ノ内命ニ依ッテ戒煙部ニ特別ニ保管シ居ル資金中ヨリ一時流用シ、又其保管金ヲ以テ後ニ之ヲ補充シテ置キマシタモノデアリマス、ト云フコトヲ、明白ニ答ヘテ居ル、更ニ杉山四五郎君ハ宮崎縣知事ヲシテ居ラレル顯官デアアル、政府ノ大官ノ一人デアアル杉山君、當時此關東廳ノ事務總長タル杉山君ガ、大正十年五月十七日ニ證人トシテ呼バレマシテ、豫審判事ノ面前ニ於テ陳述シテ居ラル、コトノ中ニモ、明ニ此事ハ書カレテアリマス、是ハ既ニ御承知ノ事デゴザイマセウカラ、此内容ヲ讀上ゲルコトハ私ハ茲ニ致シマセヌガ、明ニ杉山君ハ此金ヲ送ッタコトヲ證言シテ居ラレマス、更ニ又之ニ依ッテ關東廳ノ事務官デアアル東京出張所ノ主任ヲ致シテ居リマシタル、此田中千吉君ノ豫審廷ニ於ケル供述ノ中ニモ、明白ニ之ガ認メテアリマス、又古賀長官ノ言フコトニモ之ガ明白ニ述ベラレテアリマス、唯ダ是ニ於テ私共考ヘナケレバナラヌ事ハ、杉山君ガ豫審廷ニ於テノ證人トシテノ言葉ノ中ニ、一ノ偽證罪ヲ構成スル所ノ事柄ガ述ベ立テラレテアルノデアリマス、即チ杉山君ノ此金ト云フモノハ、阿片ヲ賣上ゲテ關東

廳ノ收入トナル所ノ特許料、即チ雜收入ノ金ヲ以テ、此一萬五千圓ハ拂ッタノデアアルト云フ居ラレマスケレドモ、其後ニ於テ關東廳ノ雜收入ノ中ニ入りマス金ノ中ヨリ、一萬五千圓ト云フモノハ少シモ公納金ヨリ引去ッテナイノデアリマス、ナイノミナラズ、今回ノ關東廳カラヤラレマシタ所ノ附帶私訴ニ對シテ、百二十萬圓ノ附帶私訴ノ中カラモ、此一萬五千圓ノ金ト云フモノハ控除セラレテアルノデアリマス、取除カレテアル點カラ見マシテ、確ニ今日古賀或ハ中野、或ハ其他ノ者達ガ被告トナツテ居リマス所ノ背任ノ行爲、背任行爲ヲ致シマシタ此金ノ一部ヲ使ッテ、以テ此呂運亨ヲ招致シタト云フコトハ、茲ニ明瞭ニナルノデアリマス、中野或ハ古賀ト云フ如キ人達ハ、既ニ公判ニ付セラレテ居リマスルケレドモ、此之ニ命ジマシテ此取次ヲシ、之ニ介在シテ居リマス關東廳ノ前長官ノ林、今ハ宮崎縣知事ノ杉山四五郎ノ如キハ、明ニ之ニ關與シテ居ラレルト云フ事實ハ、何レ公判ノ進ミマスニ從ヒマシテ、種々ナル事態ヲ惹起スデアラウト云フコトヲ、私ハ今日ヨリ斷言ヲ致シテ置キマスガ、更ニ政府ハ之ニ對シテ何等ノ處置ヲ執ッテ居ラヌト云フコトハ、私ハ洵ニ怪訝ニ堪ヘナイ所デアアルト謂ハザルヲ得ナイノデアリマス、ノミナラズ、ノミナラズ此呂運亨ニ對シマスル所ノ金ニ付テ、呂運亨ガ帝國「ホテル」ニ滞在致シテ居リマシタ其費用ヲ支拂スルニ當ッテモ、拓殖局書記官入江海平ナル者ガ振出シタ小切手ニ依テ之ヲ拂ハレテアル、其事實ニ徵シテモ明白デアアルノデアリマスガ、茲ニ吾々ガ餘程考慮シナケレバナラヌ事ハ、此國憲ヲ犯シ、人道ヲ無視シ、國際條約ニ背反シマシタル所ノ阿片ノ賣捌ヲ爲シタ所ノ金、現ニ之ニ依ッテ犯罪人ヲ造リ出シテ、今日公判ニ付セラレテ居ルヤウナ斯ノ如キ金ニ對シテ、總理大臣直屬ノ拓殖局長官、或ハ關東廳ノ長官、事務總長、民政署長、其他ノ多クノ官吏ノ嘗テ此中ニ介在致シマシテ、朝憲紊亂ノ行爲ノアル所ノ、不逞鮮人ノ此呂運亨ノ如キ者ヲ帝都ニ招致シ、國務大臣ガ相集ッテ饗宴ヲ催シ、而シテ公務ノ大官ガ之ヲ東京ノ新聞通信社邊リノ操觚者ニ紹介ヲ致シ、政府當局者ガ自ラ宮内省ニ交渉ヲ致シテ、畏多クモ禁苑ノ拜觀ヲ得セシムルヤウナ方法ヲ執ッタト云フコトニ對シマシテハ、假令法律上ノ罪ハ之ヲ免ル、ト致シマシテモ、政治上ノ罪及日本帝國ノ國民トシテ、所謂其臣節ニ顧ミマシタナラバ、如何様ナル事柄ニナラウ

カト云フコトヲ私ハ問ヒタイノデアリマス、斯ノ如キモノハ此官紀紊亂ノ最モ甚シキモノデアリマス、斯ノ如キモノニ對シテハ吾々ハ晏然トシテ、之ヲ看過スルコトハ出來ナイノデアリマス、更ニ吾々ハ最モ看過スルコトノ出來ナイ所ノ事實ハ、黨略政治ノ爲此阿片問題ガ利用セラレタル一事デアリマス、此事ヲ私ガ申述ベマスレバ、或ハ諸君ノ中ニハ御憤慨ナサル方モアルカモ知レマセヌ、併ナガラ心靜ニ私ハ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ今日何人々々ト云フヤウナ個人ノ名ヲ茲ニ讀上ゲテ、故ラニ何ノカンノト人ヲ傷ケルヤウナ言葉ヲ弄バウトハ思ヒマセヌ、又唯ダ併シ已ムヲ得ナイ場合ハ、一二人ノ人ニ對シテ——其名ヲ舉ゲナケレバナラヌ人ニ對シテハ之ヲ舉ゲナケレバナリマセヌケレドモ、兎ニ角私ハ今日少シク此事實ヲ申述ベテ、皆サンノ大ナル御考慮ヲ加ヘテ戴クコトヲ希望致スノデアリマス、即チ安岡檢察官、曩ニ述ベタル原總理大臣ヲ召喚スルナラバ、阿片事件ノ真相ハ最モ能ク分ルト言ヒマシタ、此安岡檢察官ハ、矢張昨年五月四日ノ旅順ノ公判廷ニ於テ、中野民政署長ガ彼ハ二十幾萬圓ノ金ヲ受取リ其金ノ支出ニ付テハ古賀氏ニ送り、或ハ馬賊懷柔ノ爲ニ出シ、或ハ犯罪捜査ノ爲ニ出シタト云フヤウナ申開ヲシテ居リマス其時ニ安岡檢察官ハ憤然トシテ起ツテ、何ト申シタカト云フナラバ、議會解散後三、四、五ノ三箇月間ニ六十八箱ト云フ巨額ヲ拂下ゲタル二十五萬圓ト云フ金ヲ送ツタノハ、政友會ノ選舉費用ニスル爲デアラウト云フコトヲ斷言致シテ居ルノデアリマス、其席ニハ政友會ニ御關係アラルル人モ、其辯護人トシテ其席ニ居ラレタノデアリマス、併ナガラ當時安岡君ハ此發言ハ致シマシタケレドモ、何人モ之ニ對シテ一言ノ御辯明ニナツタコトモ無カッタノデアリマス、私ハ此點ニ對シテ此安岡檢察官ノ言ウタ言葉ニ付テハ、甚シキ私ハ殘念ト疑トヲ有セザルヲ得ナイノデアリマス、更ニデス、更ニ私ハ尙ホ一ノ事ヲ申上ゲナケレバナラヌコトハ、此三井物産ガ關東州ニ阿片ヲ取次ギマスノハ、全部三井物産ノ手ヲ經ルノデアリマス、其三井物産ノ雜貨部、即チ阿片取扱ノ雜貨部ノ主任ヲシテ居リマシタ、地位アリ名譽アル所ノ紳士デアアル横井半三郎君、此阿片ノ取次ヲ致シマス、此横井半三郎君ガ、此阿片ノ一切ノ管轄ヲ致シテ居リマス所ノ中野民政署長ニ宛テマシタ所ノ、此一ツノ手紙ガ裁判所ニ取押ヘラレテアルノデアリマス、其手紙ノ一齣

ヲ私ハ讀ミ上ゲマス、此横井半三郎君ノ手紙ノ一齣ニ、斯ウ書イテアリマス、「特賣ニ因ル政友系ノ利益問題ヲ解決シ總選舉ノ如キ費用多キ緊急問題ノ消ユタル以上此際ヲ以テ斷然打切ニ相成リ候テハ如何林長官ニ依リ一旦聲明セラレタル以上小賣ノ増加ハ豫算ヲ出シ申ベク特賣ハ已ムヲ得ズト存シ候ガ政友系ノ利益問題ハ一時的ノモノト過看スベク永續シテ物議ノ種トモ相成リ申スベク閣下ノ責任ニ重大ヲ加フベキモノニ付キ此際唯タ打切り可然様奉存候」ト云フ手紙ヲヤツテ居ルノデアリマス、是ハ關東州ニ阿片ヲ入レマス所ノ一手ニ引受ケテ居ル人ガ、關東州デアリマス賣捌キマシタコトヲ、一手ニ監督致シテ居リマス所ノ一手ニ與ヘタ書面中ニ、斯ク明々白々ニ記載セラレテアリマスノミナラズ、此中野民政署長ガ豫審廷ニ於テ述ベマシタ中ニ、是ト同様ナル事柄ヲ申立テ、居リマス、此中野君ノ申立ノ短イ一句ヲ申上ゲマス、「特賣人ヲ制限シ公益團體ニ限り認可スルノ方針ヲ執ルヤウニナリタル當時林長官及杉山總長ノ默認ヲ經テ」ト申シテ居リマス、サウシテ「梶井ハ代議士團體ヲ標榜シテ特賣人タルコトヲ乞ヒシニ付其團體ニ特賣セシムル主意ニテ且ツ又同人ヲ代表者ト認メ又蒲原ハ支那人ノ有力者及日本人ニシテ支那政治ニ關係アル人ヲ代表シテ來リタル者ニ付默認シタ」ト書イテアリマス、是ハ中野君自身ガ斯様ニ自ラ認可スルニ至ツタル徑路ヲ、茲ニ明白ニ陳述シタル一句デアリマス「ソレハ代議士團體ノ代表者梶井盛、支那政治有志家ノ代表者蒲原基輔ト云フ意味ニテ古賀ガ申サレタルコトハ相違アリマセヌ」其次ニ「其代議士團體トハ何々ニ屬スル或代議士集合ノ團體ヲ想像シマシタ」ト茲ニ言ウデアリマス、是ハ新聞紙上デ御覽ノ通りデアリマス、「代議士團體ト是マデ申立テタノハ關東代議士ヲ指スカ」主トシテ政友會ノ關東派ニ屬スル二三十名ノ代議士團體ヲ指シタモノデアリマス「ト言ツテ居ルノデアリマス、茲ニ御斷リヲ致シテ置キマスルガ、此「關東」ト云フ文字ハ、中野君ハ關西ノ中國邊ノ人デアリマス、中國邊ノ者ハ東京ヨリ東ノ方ヲ指シテ、皆ナ一樣ニ關東ト思ツテ居ルノデアリマス、御互ガ能ク關東トカ東北トカ言ヒマス言葉ノヤウナ、嚴密ナ境ノナイコトヲ私茲ニ一言申述ベテ、此文字ノ解釋ヲ致シテ置キタイノデアリマス、ソレカラ中野ノ陳述ニ「私ハ阿片特賣ヨリ利益ヲ受クベキ代議士團體員ハ然ルベク分配シテ貰フベキモノト思ツテ古

賀へ送金シタルモノデアリマス」ト書イテアリマス、是ハ金ヲ何故ニ送ツタカト云フ判事ノ問ニ對シテ、代議士團體へ送ツテ貰ハウト思フテ古賀ニ送ツタト云フノデアリマス、「最初古賀サンガ阿片ノ事件ニ付團體ノ爲トテ紹介サレタカラ古賀ニ於テ其人名ガ分リ居ル故適當ニ分配シテ呉レルモノト思ヒ送ツタモノデアリマス」署長「是ハ小島貞二郎ニ豫審判事ガ問ウタ事デアリマシテ署長ハ即チ中野デアリマス」署長ハ何故ソシナ大金ヲ受取ル必要ガアルカ」詰リ此金ハ二十五萬圓デアリマス、署長ノ申サレルニハ總選舉ニ付テ十八餘リ大連ニ入込ミ金ノ無心ヲ言ツテ困ルトノコトデシタト云フノデアリマス、其人間ガ當選ヲ致シテ居ルカ居ラヌカハ知リマセヌガ、何者カ十八餘リ選舉間際ニ中野ノ所ニ迫ツテ、二十五萬圓ノ阿片ノ金ヲ分配ヲ受ケルコトヲ迫ツタト云フ事實ハ、明ニアルト認メナケレバナラヌノデアリマス、又大河平ト云フ此阿片賣捌ノ事ニ關係致シテ居リマシタル一人ノ申シマスルニハ、豫審判事ガ「中野民政署長ニ金八萬五千圓ヲ交付スルニ至リシ事情ハドウデアアルカ」ト言ツタ時ニ、大河平ガ答ヘテ居リマス、「昨年三月頃私ガ中野署長官舎ニ赴イタ際、署長ハ政黨員ニ頼マレ八萬五千圓ヲ他カラ借入レテ融通シテヤッタトノコトデアリマシタカラ、其辨濟ハ私ノ分ニ屬スル分配金ヨリ埋メマセウト申シタ所、署長ハ然ラバサウ願フト云ハレマシタ」ト書イテアリマス、即チ是ハ大正九年ノ三月選舉ノ前デアリマス、此時ニハ既ニ今ノ十八餘リガ參ツテ中野ヲ責メテ居ツタ外ニ、現金八萬五千圓此阿片ノ賣上ゲタ所ノ金八萬五千圓ヲ受取ツタ所ノ、所謂政黨員ト云フ者ガアルト云フコトガ玆ニ明白ニナツテ居ルノデアリマス、更ニ又豫審判事ガ「蒲原ハ小島ヨリ送付ヲ受ケタル金ヲドウシタカ」ト云フコトヲ問ヒマシタ時ニ、大河平ト云フ者ガ證人トシテ答ヘテ居リマス中ニ、「一昨年八月當時小島ノ言フ所ニテハ蒲原ハ收得金ヲ古賀殖殖局長ニ引渡シ、同長官ハ之ヲ政友會ノ黨費ニ充當スルトノコトデアリマス」ト玆ニ明ニ述ベテ居リマス、而モ其當ノ蒲原基輔ハ豫審判事ガ終了致シマシタ後ニ、檢事ニ向ツテ蒲原自身ガ申述ベタコトガアリマス、「阿片ノ利益金ハ歸國ノ際持歸リ、其一部ハ古賀長官ニ提出シタ」ト云フコトヲ明ニ「今日ハ死ンデ居リマセヌケレドモ、蒲原基輔ガ豫審終結後ニ於テ之ヲ申立テ、居リマス……私ハ以上黨略政治ノ爲ニ阿片間

題ガ利用セラレ、阿片ノ賣上代金ガ利用セラレマシタル、此豫審調書ニ現レタル事實ヲ申上ゲタノデアリマス、私ガ申スマデモナク、一昨年ノ選舉ニ付キマシテ度、此議場ノ問題ニモナツテ居タノデアリマスガ、殊ニ所謂檢察官ノ職ニ居リマス松岡君マデガ、公判廷ニ於テ堂々ト今私ガ申述ベタヤウナ事ヲ申立テ、居ル、世間モ亦是ト同様ナル幾多ノ事實ヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、度々本議場ニ於テモ質問ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是等ノ事ハ若シ——若シモデス——若シ此阿片ノ金ヲ所謂犯罪ヲ構成スル如キ、國際ノ信義ニ悖ルガ如キ所ノ不徳ヲ働イタル、其不徳ニ依ツテ儲ケタル金ニ依ツテ選舉ヲ行ヒ、之ニ依ツテ當選シタル者アリト致シマスレバ、先日關君ノ所謂不名譽ナル云々ト申サレマシタガ、洵ニ斯様ナ事アリト致シマスレバ、議員トシテ御同様ニ、默過スルコトノ出來ナイ事デアリマシテ、假令政友會デアラウト憲政會デアラウト、國民黨デアラウト、無所屬デアラウト、其黨派ノ如何ヲ問ハズ、諸君ト吾ト御互ニ共通ノ問題ト致シテ、之ヲ十分ニ御探究致シ、之ヲ十分ニ矯正シナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ私ノ最モ残念ニ思ヒマスル事ハ、此阿片ノ如キモノヲ賣拂ヒマシテ、サウシテ之ニ依ツテ帝國ノ所謂政費ノ一部ヲ支出致シテ居ルト云フコトニ對シテ、私ハ深ク遺憾ヲ感ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テハ恐ラク諸君モ私ト御同感デアラレルコトヲ信ジテ疑ヒマセヌ、斯ノ如キモノヲ以テ所謂政費ノ一部ニ充テルト云フコトハ、日本帝國ノ如何ニ道義心ガ低キカ、如何ニ日本ノ政治ガ幼稚デアルカト云フコトヲ世界ニ示スモノデアリマス、而モ一面ニ於キマシテハ之ガ爲ニ國家ノ體面ノ傷ツケラレルコト實ニ大ナルモノガアルノデアリマス、私共ハ此點ニ於テハ特ニ諸君ト共ニ十分ノ考慮ヲ費シタイト思フノデアリマス、此阿片ニ付キマシテ、曩ニ千九百九年上海ニ於キマシテ、日本、支那、英吉利、佛蘭西、獨逸、和蘭、伊太利、露西亞、葡萄牙、亞米利加、暹羅、波斯ノ十二箇國ノ元首ガ各委員ヲ派遣致シマシテ、阿片會議ヲ開イタノデアリマス、而シテ之ガ爲ニ協約ヲ締結スルコトニ決定致シマシテ、各其全權委員ヲ任命セラレ、其委員ハ御互ニ委任狀ヲ示シマシテ、是レノ有效妥當ナルヲ認メタル後ニ協約ヲ取結ビマシタ、其協約ノ中ニ於キマシテ、第四章ノ第十七條中ニ「支那ト協約ヲ締結セル締結國ハ、支那ニ於ケル自分ノ租借地、居留地ニ於テ阿

片禁煙ヲ制限監督スル爲メ必要ナル處置ヲ執リ支那政府ト同一歩調ヲ以テ前記ノ場所ニ存スル煙館又ハ類似ノ建物ヲ廢止シ、娛樂場及妓樓ニ於テ阿片ヲ使用スルコトヲ禁止スヘシ」更ニ其十條ニハ「支那ト條約ヲ締結セル締約國ハ支那政府ト同一歩調ヲ以テ支那ニ於ケル租借地及居留地ニ存スル阿片販賣店ノ數ヲ漸次削減スル爲メ必要ナル處置ヲ採リ尙租借地及居留地ニ於ケル阿片ノ小賣ヲ制限監督スル爲メ必要ナル處置ヲ採ルヘシ、但既ニ適當ノ處置ヲ爲シタルモノハ此ノ限リニ在ラス」右ノ證據トシテ全權委員ハ本協約ニ記名調印ヲシタノデアリマス、之ニ對シマシテ斯ノ如キ條約ヲ取結バレマシタ、更ニ又諸君モ御承知ノ千九百十一年ノ十一月ノ「ヘーグ」ニ於テ國際阿片會議ヲ開カレマシタ、是等ニ於テ申合セマシタ所ハ、所謂阿片癮者ニ對シテハ——阿片ノ中毒ニ罹ッテ居ル者ニ對シテハ已ムヲ得ナイノデアラウ、之ニ飲マシタノ阿片ハ已ムヲ得ナイケレドモ、他ハ斷ジテ阿片ヲ賣ルコトハ世界ノ人道ニ反スルカラシテ賣ラナイヤウニシヤウト云フ、世界ノ國際的ノ申合セガ出來テ居ルノデアリマス、然ルニ此申合セニ反シタル行爲ノアリマスルト云フコトハ、關東州ニ於キマシテノ大正八年ニ調ベマシタル阿片ノ癮者ノ數ハ、二千七百八十五人デアリマス、是ダケノ阿片癮者ガ居リマスルガ、其人間ガ假ニ平均致シマシテ、一日ニ一匁ノ阿片ヲ吸ハナケレバナラヌト假定シテ、其一日ノ料金を平均シテ見マシレバ大正八年ノ平均ハ一圓三十三錢七厘トナリマス、即チ三百六十五日ノ吸煙量ハ三百六十五日デ、其料金が四百八十八圓五厘トナリマス、即チ一年ヲ通ジマシテ此二千七百八十五人ノ料金を年額ニ見マシレバ、百二十七萬二千三百三十八圓七十五錢ト云フ金ヲ舉ゲマスレバ、是ハ所謂世界ノ人道ニ背反スルモノデモナケレバ、國際協約ニ反スル事デモナイノデアリマス、然ルニ先刻私ガ申上ゲマシタル如ク、大正八年ニ於テハ二百二十五萬圓ト云フ多額ノ阿片ヲ賣捌イテ居ルノデアリマス、而モ大正八年ニ政府當局ノ組マシタ所ノ豫算ハ僅ニ七十萬圓ト云フ高ニ過ギナカッタと思フノデアリマス、百萬圓ヲ越シテ居ラナカッタ、然ルニモ拘ラズ斯ノ如キ多額ノ阿片ヲ賣上ゲテ、而シテ金ヲ儲ケテ、其金ヲ以テ種々ナル仕事ヲシ、中ニハ驚クベキ所ノ惡事ヲ致シテ居ル人モアッタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、尙ホ諸君ニ私ハ御記憶ヲ願ッテ置カナケレ

バナラヌコトハ、又御同様ニ是ハ餘程注意シナケレバナラヌコトハ、遠藤良吉ノ豫審廷ニ於テ述ベテ居ラレル所ヲ見マスレバ、此昨年ノ五月二十八日ニ、遠藤君ガ豫審廷ニ於テ述ベテ居ル所ニ依リマスレバ「歸京ノ上減縮事情ヲ當時外交調査委員タリシ元田肇ニ對シ事由ヲ聞キシ所元田ノ申スニハ青島ニ於テ多量ナル阿片ノ賣下ゲヲ爲シタルコト外國側ニ於テ知リ八釜シクナリシニ付、外務省ヨリ絕對禁止」云々斯様ナ事ガ言ッテアルノデアリマス、外交調査委員デアリ、今ノ鐵道大臣デ居ラレマス元田君ニ、此豫審調査書ノ上デ見マスレバ、盛ニ遠藤君ガ阿片ノ運動ヲシテ居ラル、眞最中、盛ニ元田氏ト往復シテ、元田氏ハ閣議ノ内容迄話サレマシタ、殊ニ青島ニ於テ非常ナ多額ノ阿片ヲ賣ッテ多額ノ金ヲ取ッテ居ル、是ガ外國ニ知ラレテ抗議ヲ申込マレタト云フ事ガ、陳述ノ中ニアルノデアリマス、此一事ハ私ハ此經過ヲ多ク語ル事ヲ好ミマセヌ、是ハ私今日要求致シマスル阿片事件ニ直接關係ハアリマセヌカラ、多ク語ル事ハ好ミマセヌガ、諸君ガ之ニ依ッテ常ニ元田君ノ處ニ遠藤君ガ阿片ノ賣拂ニ對スル醜運動ト稱スル犯罪ヲ構成スル運動ヲシテ居ラル、トキニ、常ニ出入シテ阿片問題ニ付テ語ッテ居ラレル、而モ青島ニ於テモ尙ホ一層大ナル關係ガアルト云フコトヲ語ッテ居ラレル、是ハ吾々一切ノ書類ヲ調べマシテ、尙ホ一層諸君ト共ニ滿洲ニ於ケル阿片事件ノミナラズ、青島ニ於ケル所ノ阿片事件ニ對シテモ、國家ノ爲ニ御互ニ考慮シナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、而モ政府ハ此阿片問題ニ對シ、政府ハ制令ヲ出シテ置キナガラ、政府ノ出シマシタ所ノ其布令ニ背反スル所ノ行爲ヲ執ッテ居ラレルノデアリマス、大正八年ノ四月十八日ニ、拓殖局長官古賀廉造、關東廳ノ長官林權助男ニ對シテ、此阿片取締ニ關スル依命通牒ヲ發シテ居ラレマス、其時ニ於テ臺灣ト同様ニ漸減主義ヲ執ッテ、年ト阿片ノ賣高ヲ減ジテ行ッテ、五六年ノ間ニハ——近イ内ニ於テハ全然關東州ニハ阿片ヲ賣ラヌヤウニシナケレバナラヌト云フコトヲ依命通牒ヲ發シテ、其參考トシテ送ラレマシタ所ノ外務次官カラ、拓殖局長官ニ宛テ、送ッテ此書面ヲ別冊ニ添ヘテアルノデアリマス、此書面ハ御同様ガ國際信義ノ上帝國ノ國法ノ權威ヲ尊重スル上ニ、御同様ニ心得テ置カナケレバナラヌカラ、一應私ハ茲ニ讀上ゲマス、「先ニ閣議決定ノ主旨ニ基キ關東州ニ於ケル阿片取締規則案トシテ

別紙過般御送附相成閱覽致候然ルニ本案ハ全禁主義ニアラズシテ臺灣ニ於ケル前例ヲ踏襲シ癮者制度ヲ設ケントスルモノニシテ根本主義ニ於テ贊成ヲ表シ難キ次第ハ別信大正八年四月七日附通り機密送第一九號ヲ以テ申進置候通りニ有之候得共癮者制度設定ガ過度ノ便法トシテ萬止ムヲ得ザル儀ニ候得バ之レガ運用ハ極メテ嚴正ナルベキハ勿論事情ノ許ス限リ速ニ之ヲ撤廢スル方途ニ出デザルベカラズト存セラレ候ニ付キ大要左記ノ方針ヲ以テ之ヲ實行セラル、樣致シ度即チ一、癮者ノ認定ハ醫師ノ診斷ニ依ルベキ事、二、癮者ノ認定ヲ爲スベキ期間ハ一箇月間ニ限定スベキ事、三、癮者トシテ認定セラルベキ者ハ從來關東州ニ住所又ハ生活ノ本據ヲ有スル者ニ限ルベキ事、就テハ右ノ趣旨ニ依リ別紙案ニ適當ノ修補ヲ加ヘラレ尙ホ撤廢時期ニ關シテモ御立案ノ上更ニ御協議相成候樣致度此般申進候也幣原外務次官、大正八年四月七日、古賀拓殖局長官殿「ト書イテアリマス、此何ニ依ッテ見マスレバ、日本ノ此帝國ノ表面ノ方針ト致シマシテモ、二千七百八十五人ノ阿片癮者ニ對シテ阿片ヲ供給スル以外ニハ、一切一片ノ阿片モ賣ルコトガ出來ナイコトハ、是ハ帝國ノ方針トシテ、之ガ法ノ上ニ限定セラレテ居ル、然ルニモ拘ラズ、大正八年度ニ於テハ、豫算ヲ超過シテ非常ニ多額ナル阿片ヲ賣上ゲテ居ル、而モ之ニ阿片ノ仕入金百萬圓ヲ加ヘマスレバ、三百何十萬圓以上ノ阿片ヲ賣ッテ居ラル、ノデアリマス、今私ガ申上ゲマシタ約百萬圓以上ノ阿片ハ阿片癮者ニ供給シテ適當ナル金額デアリマス、其以上ニ賣リマシタモノハ、確ニ帝國ノ刑法ヲ犯シ、帝國ノ決定シタル方斜ヲ破ルノデ、外務省ガ斯クマデニ固ク通牒ヲ發シテ居ルニ拘ラズ、其約束ヲ破ッテ、帝國ノ當時ノ當局ガ此不都合ナル行爲ヲ爲シタト云フコトハ、爰ニ明瞭ニ相成ッテ居ルノデアリマス、更ニ驚クベキ事ハ、中野君ノ書面ノ中ニモ書イテゴザイマス、關東州ニ於テ左様ニ澤山ノ阿片ヲ賣ッタト云フコトハ、關東州ノ阿片癮者ニ阿片ヲ供給スルニアラズシテ、更ニ關東州ノ阿片ヲ上海トカ天津デアルトカ云フヤウナ方面ニ行ッテ、支那内地ニ向ッテ關東州カラ盛ニ阿片ヲ賣拂ッタ其賣拂ッタ、阿片ハ所謂關東州ノ當局者帝國政府ノ當路者ガ爲シタト云フニ至ッテハ、大ナル犯罪ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、而モ今回ノ此豫審ノ決定書ヲ見マスルト云フト「戒煙部ハ大連宏濟善堂ニ何等ノ關係ナク關東廳ノ

經理ニ屬シ其損益ハ同廳ノ收支ニ關スヘキモノナリ」ト書イテアル、即チ阿片癮局、阿片ヲ賣リマスル所ノ阿片癮局ノ中ノ戒煙部、其阿片ヲ賣ル所ハ即チ關東廳ノ役所ノ一部デアアル、其役所ノ一部ニ這入ッテ、來ル所ノ金ヲ、古賀トカ中野トカ其他ノ者ガ二割ト云フ口錢ヲ特賣人ニ遣ッテ、其二割ト云フノハ多過ギル、詰リ關東廳ノ役所ノ一部ニ入ル金ヲ彼等ガ報酬ノ名ニ依ッテ遣ッタト云フノデ今度ノ裁判ニ於テハ、背任罪トセラレテ居ルノデアリマス、然ラバ戒煙部ハ關東廳ノ役所ノ一部デアルトスレバ、茲ニ驚クベキ事ノ出來マスルコトハ、大正九年ノ頃ニ於キマシテ、政府ハ世界ノ列國ノ聲明ヲシテ居ル、其聲明ノ中ニハ日本ノ官廳ニ於テハ斷ジテ阿片ハ賣ラヌノデアルト云フコトヲ聲明シテ居ルノデアアル、又此國際協約ニ依ッテモ斷ジテ癮者以外ニハ阿片ヲ賣ルコトハ相成ラヌト云フコトガ國際ノ協約ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ豫審決定ニ依レバ、此背任罪ノ爲ニ、戒煙部ガ役所ノ一部ト云フコトニナレバ、彼ノ大正九年ニ於テ世界ニ對シテ聲明シタ所ノ聲明ヲ裏切り、或ハ上海若クハ海牙ニ於ケル此國際協約ノ君主ノ委任狀ヲ持ッタ全權ガ調印シタ所ノ此國際協約ヲ破ッタト云フ一大事件ヲ茲ニ起シテ居ルノデアリマス、此事ハ政黨ニ關係スル事デアリマセヌ、黨人ニ關係スル事デアリマセヌ、國家ノ威信問題トシテ、國家ノ信用問題トシテ、斷ジテ輕々ニ看過スルコトノ出來ナイ重大ナル事件デアアルノデアリマス、詰リ私ハ此際ニ諸君ニ一ツノ御考慮ヲ求メテ置キタイ事ハ、昨大正十年ノ四月ニ東亞新聞記者大會ガ東京ニ開カレマシタ其際ニ、支那カラモ或ハ男子或ハ婦人ノ新聞記者ガ多數參リマシタ、其參リマシタ者ガ大會ノ席上ニ於テ、支那ノ若キ新聞記者ガ何ト演說致シマシタカ、其演說ハ當時日本ノ爲ニナラヌト云フノデ、新聞ニ掲載スルコトハ見合セマシタガ、其時ニ言ッタ事ハ今日隱サントシテ隱スコトノ出來ナイ事デアリマスカラ、私ハ其一節ヲ爰ニ讀ミマス、其所謂支那ノ目覺メタル若キ新聞記者ガ、斯ウ云フ事ヲ叫ンデ居ルノデアリマス、「阿片ヲ日本ガ賣ルト云フ事ハ如何ナル惡外交ヨリモ官僚軍閥ノ如何ナル壓迫ヨリモヨリ以上ニ支那民族ノ將來ニ大ナル慘害ヲ來ス問題デアアル、日本ガ支那ニ阿片ヲ賣ル限リ日支親善ノ語ハ唯形式的辭令ニ過ギヌ」ト叫ンデ居ルノデアリマス、諸君ハ大隈内閣ノ對支外交ヲ非難シテ、之ガ爲ニ

日支親善が阻碍セラレタト云フコトヲ、一部ノ政治家ガ叫ンデ居リマスケレドモ、併ナガラ支那ノ人達ハ如何ナル悪外交ヨリモ、如何ナル官僚軍閥ノ壓迫ヨリモ、日本人ガ阿片ヲ賣ルト云フ事ガ、日支親善ノ大阻碍ヲ爲スモノデアル、支那民族ノ將來ニ大慘害ヲ來ス問題デアルト絶叫シテ居ルノデアリマス、日支親善ヲ阻碍シタノハ、大隈内閣ノ對支外交ニアラスシテ、其最モ甚シク日支親善ヲ阻碍シタモノハ、原内閣ノ阿片問題デアル、世界ニ對スル聲明ヲ無視シ、國際協約ヲ破リ財政上收入ヲ圖ランガ爲ニ、不當ナル阿片ヲ賣ルト云フコトガ、一番日支親善ヲ阻碍スルモノデアルト云フコトヲ、支那人ハ斷言シテ居ルノデアリマス、尙ホ私ハ多クノ申上ゲタイ事ガゴザイマスケレドモ、大體ニ於テ私ハ以上申述ベタ事實ダケニ今日ハ止メ置キタイノデアリマス、以上ノ事實ニ依ッテ見マシテモ、官紀ガ非常ニ紊亂シテ居ルト云フコト、又黨略政治ノ弊ニ吾ハ堪ヘナイト云フコト、又憲法政治モ議院ノ體面モ之ガ爲ニ蹂躪セラレ、又國家ノ尊嚴モ之ガ爲ニ傷ケラレ、又國家ノ信用モ之ガ爲ニ内外ニ疑ハレテ居ルト云フコトハ明白デアリマス、即チ内閣ノ責任ヲ問フコトハ、以上ノ事實ニ依ッテ十分デアアルノデアリマス、併ナガラ尙ホ一切ノ公訴記録ヲ見レバ、其一切ノ關係書類ヲ見レバ、尙ホ一層深ク或物ヲ得ラレルコトハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、斯様ニシテ尙更ニ是以上潛ンデ居ル所ノ罪惡ノ爬羅剔抉シテ帝國ノ體面ヲ保持シ、帝國ノ信用ヲ維持シ日本帝國ノ聲明シタル事ハ動スベカラザルモノデアアル、唯一部ノ誤レル黨略政治ヲ行フ所ノ政治家ガ、斯ノ如キ不當ナル事ヲ爲シタモノデアルト云フコトヲ内外ニ向ッテ聲明スル爲ニ、是非トモ一件書類ヲ吾々ガ檢閲スル必要ガアルノデアリマス、即チ此爲ニ私ハ公訴記録ノ全部ヲ政府ニ向ッテ提出スベシト云フ要求ヲ院議ヲ以テ致シタイト云フコトヲ、尙ホ御願申上ゲマス、此事ハ先刻モ申述ベマシタ如ク、單ニ個人ヲ傷ケ、或ハ之ヲ以テ反對黨ヲ傷ケントスルモノデハゴザイマセス、國家ノ威信、國家ノ面目、國民ノ信用ヲ維持スル爲ニ、最モ必要ナル事柄デアリマスルガ故ニ、何卒此案ニ向ッテ諸君ガ御協賛下サランコトヲ切ニ希望致シマス

討論ニ入り齋藤鷲太郎君ハ反對、野田文一郎君ハ贊成ノ演説ヲ爲ス

齋藤鷲太郎君ノ反對演説

本員ハ此決議案ニ對シテ反對ノ意ヲ表明スルモノデアリマス、此決議案ニ反對致シマスル理由ハ第一番ニ是ハ法令上不可能デアルト云フ點デアリマス、第二點ト致シマシテハ、事實ノ上カラ見テ其必要ガ無イト云フ點ゴザイマス、此反對ノ本論ニ入ルニ先チマシテ、只今山道襄一君ニ於テ述ベラレマシタ所ノ此阿片事件ノ事實ニ付テ、本員ハ此阿片事件ノ辯護人ト致シマシテ、相當記録ノ精讀ヲ致シテ居ルモノデゴザイマスカラシテ、山道君ノ只今ノ御議論乃至御意見ハ、記録ノ中ノ最モ醜惡ト申シマスカ、或ハ政府若クハ政黨ニ關係ノ有リサウノヤウナ陳述ノ部分ノミヲ御採リニナッテ御演説ニナッテ居ルノデアリマス而シテ其陳述ハ他ノ陳述ニ於テ誣罔ナル事ノ判ツタモノガ多クアルノデアリマス、其誣罔ナル事ノ判ツタ他ノ陳述ヲ御引用ニナラズニ、其被告若クハ證人トシテ述ベタ人ノ虛構ノ陳述ヲ多ク引用サレテ居ルト云フコトヲ、私ハ爰ニ斷言スルノデアリマス、隨分長イ事實ノ御演説デアリマシテ、一々之ニ反駁ヲ加ヘルト云フコトハ此際避ケマシテ、最モ重要デアルト思フ點ニ付テ、私ハ其二三ヲ反駁シテ置キタイト思フノデアリマス、第一番ニ最モ私共ガ耳障リニ承リマシタノハ、公判廷ニ於キマシテ檢察官ガ、此事件ハ原總理大臣ガ、一番能ク知ッテ居ルカラシテ、原總理ヲ證人ニ喚ベト云フコトヲ言ツタト云フコトガ、新聞ニ傳ヘラレテ居リマスガ、此新聞ニ傳ヘマシタ記事ハ、非常ニ事實ガ間違ッテ居ルノデアリマス、此檢察官ガ斯様ナ事ヲ申シタノハ、阿片政策ニ關シ、即チ關東廳ノ阿片政策ノ事ニ付テ、此處ニ丁度御出席デ在ラセラル山縣長官ヲ證人トシテ喚ベト云フ申請ヲ致シマシタノニ、其必要ナシト云フ反對ノ理由ト致シマシテ、政策ノ問題ナラバ内閣デモ能ク分ルデハナイカト斯ウ云フ意味デ阿片事件ト云フ犯罪事件ノ内容ヲ原サンガ知ッテ居ルト云フコトヲ言フタノデハナイノデアアル、ソレヲ新聞記事ニ誤リ傳ヘラレタルモノヲ、如何ニモ此阿片事件ニ於テ故總理大臣ガ能ク知ッテ居ルヤウニ言ハレルト云フコトハ、是ハ甚ダ事實ヲ誣イタルモノデアリマス、ソレカラ此事件ニ付テ中野有光ノ陳述中ニ、此特賣ト云フコトニ付テハ、杉山總長及林長官當時

ノ林權助男爵ニモ能ク諒解ヲ得テ居ルト云フコトヲ言ッテ居リマス、所ガ是ハ彼ノ杉山ノ證言ヲ御覽ニナレバ直グ判ル、サウ云フ事ハ斷ジテ無イト云ウテ居ル、其他ノ點ニ於テ總テ斯ウ云フ事ハ否定サレテ居ルデアリマセヌカ、ソレカラ梶井盛ト云フ者ノ書面ノ一節ニ、首相ハ杉山ニ上京ヲ命ジテ、阿片政策ノ事ニ付テ小言ヲ言ッタト云フヤウナ一節ガアリマスガ、此書面モ是ハ或ル爲ニスル爲ニ書イタ手紙デ、全ク是ハ事實ニ反スルト云フコトハ、豫審調書ニ他ノ點ニ於テ明瞭ニナッテ居ルデアリマス、ソレカラ阿片販賣ニ關スルコトヲ閣議デ決メタト云フコトガ如何ニモ犯罪ヲスルコトヲ閣議デ決メタト云フヤウナ風ニ御解釋ニナッテ居リマスガ、此關東州ガ阿片ヲ賣ッタト云フコトハ、色々ナ沿革カラ申シマスレバ、關東州ガ日本ノ有ニ歸シテ以來、初カラヤッテ居ルデアリマス、大隈内閣ノ時分ニモヤッテ居ッタデアリマス、ソレハ形式ガ違フ、或日本人ニ是ハ今デモ諸君ノ黨派ニ屬シテ居ラレカ知ラヌガ、前代議士デアアル石本鎖太郎ト云フ人ガ、此專賣權ヲ持ッテ販賣シテ居ッタデアリマス、ソレガ後ニナリマシテ、彼處ノ支那人ノ慈善團體デアアル所ノ宏濟善堂ノ戒烟部ト云フモノニ、此阿片ノ專賣ヲ移シタデアアル、然ルガ故ニ此阿片ノ販賣ト云フコトハ、關東州占領以來ノ仕來リデアッテ、而シテ是ハ人道ノ爲メ已ムヲ得ナイカラヤッテ居ルデアリマス、今關東州ニ於テ阿片ノ販賣ト云フ事ヲ全然止メマシタナラバ、癮者トナッタル人間ヲ見殺シニシナケレバナラヌデアリマス、唯其數量等ニ付テ閣議ヲシタト云フコトデアリマシテ、是ハ私ハ決シテ此閣議ガ罪ヲ犯スコトヲ認メタト云フヤウナ御論難ハ當ラヌト思フデアリマス、ソレカラ刑法ノ犯罪デアアルト云フヤウナ風ニ、阿片ノ販賣ノコトヲ仰セラレテ居ルガ、是ハ刑法上ノ犯罪デハ斷ジテアリマセヌ、是ハ詳シク申シマスト云フト阿片ト云フモノト阿片煙膏ト云フモノ、及ビ煙土ト云フモノヲ區別スレバ、大審院ノ判例ニ依リマスレバ、目下大連ニ於テ賣下セラレテ居ル所ノ煙土ハ、阿片ニアラズト云フ立派ナ判例ガアル、ケレドモ私ハサウ云フ區々タル判例ニ囚ハレズシテ、人道ノ爲ニ關東州ノ癮者ヲ救フ爲ニヤルモノデアアルカラ刑法上ノ犯罪ニナラヌト信ズルモノデアリマス、ソレカラ黨略ノ爲ニ此阿片問題ヲ利用シタイト云フヤウナ意味ノ御論難ガアリマシテ、サウシテ安岡檢察官ガ公判廷ニ

於テ斯ウ云フコトヲ聽イタ、何故選舉ノ行ハレル前、一二箇月ニ餘計阿片ヲ賣ッタカト云フヤウナ意味ノ質問ガアッテ、檢察官モ此阿片ノ金ハ黨略ノ爲ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ肯定シタヤウニ仰セラレルガ、是ハ私ハ最モ明快ニ其然ラザルモノデアアルト云フコトヲ證明スル方法ガアルト思ヒマス、豫審調書ヲ見マスレバ、阿片ニ依ッテ得タル金ガ誰ノ所ニ幾ラ行ッタト云フコトガ明ニナッテ居ル、何モ區々タル一人ヤ二人ノ證人ノ片言隻句ヲ捉ヘテ、ソレナ事ヲ云フヨリモ、實際調書ニ依ッテ明ニナッテ居ル、其金ニ於テ、毫モ吾々政黨若クハ政府ノ爲ニ使ハレテ居ラヌ、或一二ノ官吏、或ハ一人ノ黨員ト云フヤウナ者ガアッタカ知レマセヌガ、決シテ黨略ノ爲メ、若クハ政府ガ不正ヲシタト云フ事ハ、此金ノ行場ノ上カラ頗ル明瞭デアアルデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此外交上ノ——國家ノ外ニ對シテ信ヲ失フト云フヤウナ意味ニ於テ、千九百七年ノ上海阿片會議ノ問題ヲ御引用ニナッテ居リマス、是ニ山道君ノ御讀上ゲニナッタ通り、支那政府ト同一ノ時以後十年ヲ期シテ、阿片ト云フモノヲ禁斷スルト云フコトヲ言ウタデアリマス、然ルニ支那政府ノ今日ノ有様ハ如何デアリマスカ、阿片ト云フモノハ益、支那人ノ間ニ盛ニ行ハレテ居ルデアリマス、私共ガ調ベタ所ニ依リマスト、阿片ト云フモノハ支那ニ於テ一年ニ——人口ハ統計モ能ク分ラヌ位デアリマスカラ、正確ナ數字ハ現レヌニシテモ、一年ニ三十五萬擔乃至五十萬擔ト云フ阿片ガ、支那ニ於テ消費サレテ居ルデアリマス、而シテ此支那ニ於テモ、或地方ニ於テハ栽培ヲ禁ジテ居リマスガ、或地方ニ於テハ此栽培ヲ盛ニナッテ居ルデアリマス、支那ニ於テテ産出スル所ノ阿片ノ數量ハ實ニ莫大ナモノデアリマス、少クモ二十五萬擔以上ハ支那ニ於テテ産出サレテ居ルデアリマス、支那ノミナラズ、此西伯利ノ政情安定シナイ其虛ニ乘ジテ、或地方デ栽培サレルモノガ盛ニアリマス、私ハ此關東廳ノ漸次之ヲ禁止スルト云フ方針ハ、矢張支那政府ノ方針ト步調ヲ一ニスルモノデアッテ、毫モ上海會議ノ結果ニ對シテ背信ヲ日本ガシテ居ルモノデナイト云フコトヲ確信スル者デアリマス、ソレカラモウ一ツ帝國政府ガ世界ニ向ッテ聲明致シマシタル所ノ帝國ノ官廳トシテ、阿片ヲ賣ラヌト云フコトニ背キハシナイカト云フ御議

論デアリマシタガ、今阿片ヲ取扱ッテ居リマスノハ、是ハ先程申上ゲマシタ通り、慈善團體ノ一部ノ詰リ宏濟善堂ト云フ支那ノ慈善團體ノ中ニ在リマス所ノ戒煙部ト云フモノガヤッテ居ルノデアリマシテ、決シテ關東廳ト云フ官廳自ラヤッテ居ルノデナイノデアリマスカラシテ、毫モ此點ニ付テハ御懸念ノ無イト云フコトヲ斷言致シテ置キマス、其他ハ要スルニ豫審調書ノ中、最モ惡イヤウナ部分ヲ御朗讀ニナリ、其反對ノ意味ニ於テソレガ消滅シタル事モ、ソレヲ隱シテオヤリニナッタノデ、私共甚ダ遺憾ト思フノデアリマス、本論ニ入リマシテ私ハ此豫審調書ト云フモノハ祕密デアアル、然ルニソレガ爲ニ此議院法ノ第七十四條ニ依ッテモ、之ヲ提出ヲ命ズルコトノ出來ナイモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、尙ホモウ一ツハ事實上之ヲ取寄セルコトハ不可能デアルト思フ、本件ハ最近ニ於テ公判ヲ開カレルコトニナッテ居リマシテ、其記録ヲ此所ヘ持ッテ來ルト云フコトハ、裁判ノ進行上餘程困ルコトデアリマスノミナラズ、裁判所ハ自己ノ獨立ノ見解ニ依ッテ之ヲ提出スルモシナイモ自由デアリマス、決シテ行政作用ノ監督作用ニ於テ之ガ出來ナイト思フノデアリマス、以上ノ點ニ於テ私ハ法律的ニ豫審調書ヲ政府ニ向ッテ提出セヨト云フコトハ不當デアルト云フ、故ニ法律的ニハ反對致シマス又事實ト致シマシテ、只今山道君ノ如キハ、頗ル此豫審調書ヲ御精讀ニナッテ居ルコト、私共ハ伺フノデアリマス、サウシタナラバ、山道君ハ豫審調書ノ本位ハ御持ニナッテ居ルコト、思フ、ソレヲ敢テ政府ニ向テ提出セヨト云フコトヲ仰シヤラナクテモ、必要ガアッタナラバ自分カラ御發表ニナレバ宜イノデアリマス、是ニ於テ事實上必要無ク、法律上出來ナイ事ヲ、一ツノ決議案トシテ御出シニナッテ、世ヲ騒ガシ、我黨若クハ政府ニ厭ガラセノ事ヲ言ヒ、茲ニ阿片問題ヲ事實ニ反スル或一部分ノ不利益ナル點ノミヲ捉ヘテ、中傷ノ爲ニ之ヲ行ハル、コトハ、私共ハ實ニ遺憾千萬デアルト思ヒマス私ハ以上申上ゲマシタ理由ヲ以テ、本案ニ對シテ絶對ニ反對意見ヲ表明スル者デアリマス

野田文一郎君ノ贊成演說

私ハ本案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ表明セントスル者デアリマス、只今齋藤君ノ御明論ヲ拜聽致シ

マシタガ、不幸ニシテ甚ダ分リマセヌ、先ヅ二點ニ分ッテ、第一ハ事實上必要ガ無イト云フコトヲ理由トセラレ、第二ニハ法律論トシテ、本決議案ニ於テ要求スルガ如キコトハ爲シ得ベカラザルモノト云フコトガ第二ノ理由デアッタノデアリマス、併シ第一ノ事實上ニ於テ必要無シト云フコトノ御意見ハ、其内容ヲ拜聽致シテ見マスルト、悉ク是レ贊成論デアルト謂ハナケレバナラヌ、今吾々ガ本案ヲ提出致シテ、其書類ヲ要求スル所以ノモノハ、山道君ガ此壇上ニ於テ朗讀ヲ致シ、事實ノ關係ヲ述ベマシタガ、尙ホ之ヲ一層明白ニシテ、其内容ノ全部ヲ明瞭ニシテ、責任ノ所在ヲ明ニセントスルト云フコトガ、吾々ノ要求スル趣旨デアルノデアリマス、若シ然ラバ齋藤君ガ左様ナ事實ガ無イト仰シヤルノナラバ、無イ事實ヲ明ニスレバソレデ宜シイ、書類ノ全部提供ヲシテ調査シタ上デ、責任ノ所在ガ全部明ニナルノデアアル、齋藤君ハ其事件ノ辯護ヲ擔當ナサツテ居ル關係ガアルサウデゴザイマス、種々左様ナル事ハ無イト云フコトヲ御辯ジニナリマシタケレドモ、私共ハ尊敬スル齋藤君デハアリマスルガ、齋藤君ハ辯護人トシテ御承知ニナッテ居ルコトヲ此壇ニ御述ベニナッテモ、ソレダケデハ議員トシテハ満足ヲ表スル譯ニハ參ラナイ、要スルニ事實ノ問題ニ付テハ、關東法院ヲ此所ニ延長ヲシタヤウナ積リデ此所デ辯護ヲナサツテモ、其辯護ハ吾々ニハ信用スルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、書類ヲ全部提供シテ、御互ニ十分ノ審査ヲスルト云フコトガ、國務ヲ審議スルニ當ッテ、深切デアルト謂ハナケレバナラヌ、故ニ此點ニ付テハ、是レ以上反駁ハ致シマセヌ、或ハ記録ノ中ノ惡イ部分ヲ捉ヘテ利益ノ部分ヲ言ハナイト云フコトモアリマシタ、又安岡檢察官ガ原總理大臣ヲ喚シダナラバ、尙ホ事實ガ明白ニナルデアラウト云フコトヲ申シタ、一面ニ於テ是モ事實ガ違フト言ハレマスケレドモ、是モ前段申シタ通りデアアル、又賣却ヲスルノハ人道ニ差支ハナイト言ハレマスガ、是ハ數量ノ問題デアッテ、吾々トシテモ、絶對ニ之ヲ賣ルコトガ出來ナイト云フコトハ、曾テ主張ハ致シテ居ラヌノデアアル、即チ問題ハ數量ノ問題デアアルニ拘ラズ、單ニ此重要ナル點ヲ逸シテ置イテ、賣ルコトハ人道ニ反スルモノデナイト云フガ如キコトハ、事實ヲ悉サバル、唯徒ニ此提出ヲ拒マントスルガ爲ニ、左様ナ御議論ヲナサルモノトシカ解釋スルコトガ出來ナイノデアアル、更ニ最モ問題トシテ

ノ稍、理由トハ相成リマセヌケレドモ、論議スル餘地アリトスレバ、所謂法律論デアリマス、法律上豫審調書若クハ公判ニ廻リマシテカラノ公判ノ始末書、此書類ヲ議院法ノ七十四條ニ依ッテ請求ノアリシ場合ニハ、政府ハ之ヲ提出スル義務アリヤ否ヤト云フコトガ主ナル問題デアラネバナラヌ、此點ニ付キマシテハ、實ハ豫算委員會ニ於テモ問題ニナリマシテ、司法省ノ政府委員ハ、秘密ニ互ルモノナリトシテ、其公示ヲ拒ンダノデアリマス、司法省ノ政府委員ノ申シタ事ハ、徒ニ小サキ理窟ヲ弄ンデ反對ヲシタ理由ガアルノデアリマスガ、併ナガラ只今齋藤君ノ御議論ハ、餘リニ空漠ニシテ、何ガ故ニ秘密デアルト云フコトヲ私共ハ窺ヒ知ルコトガ出來ナイ、隨テ何故ニ秘密デアルト云フコトニ對シテ、ソレヲ反駁シ論議スルコトハ頗ル困難デアリマスケレドモ、惟フニ豫算委員會等ニ於テ、司法省ノ政府委員ノ執リシ所ト、恐クハ同一ノ理由ニ依ッテ之ヲ秘密ナリト論ゼラレルデアラウト御察シ致シマスルカラ、聊カ其論議ヲ根據トシテ、反駁ヲ試ミル積リデアリマス、申スマデモナク議院法第七十四條ハ、貴族院若クハ衆議院ノ——此議院ト政府トノ關係ヲ定メタモノデアツテ、此議院法ガ憲法附屬ノ重要ナル法律デアルト云フコトハ申スマデモナイ、隨テ此七十四條ニ依ッテ議員ガ國務ヲ審査スルニ當ツテ、必要ナリトシテ報告若クハ文書ノ交付ヲ求ムル場合ニハ、之ヲ交付シ其報告若クハ文書ヲ交付シテ、國政ニ盡スト云フコトヨリモ、其秘密ヲ發表スルコトガ重大ナル損害ヲ國家社會ニ與ヘルト云フ場合デナケレバ、例外ノ範圍ニ入ルモノトシテ拒ムコトガ出來ナイノデアラウト私ハ解釋スル、是ハ議院ノ審議權ヲ尊重スル上カラ申シテ、當然ノコトデアルト思ヒマス、而シテ憲法五十九條ニ依レバ、裁判ノ對審判決ハ公開ヲスルコトガ明ニナツテ居ルノデアアルカラ、或ル被告事件ニ付テ公開ヲ開ク時ニハ、恰モ此議會ノ演壇ニ於テ總テノ事ヲ公ニ論議スル時ト其性質ハ同一デアアルノデアアル、然ルニ此處ニ於テ私共ガ或ル文書ヲ讀ンデ、是ハ秘密デアルト申シタナラバ、天下何人モ其愚ヲ嗤フノデアリマセウ、既ニ天下公衆ノ前ニ於テ公ニシタ所ノ問題ニ對シテ、是ハ秘密デアルト云フコトハ言ヘナイ、恰モ此演壇ニ於テ私ガ諸君ノ前ニ顯ハシテ演説ヲ致シテ居ッテ、私ノ顔ハ秘密デアルト一般デアアル、唯司法省ノ政府委員ノ言フ所ハ、書類ヲ示ス——成程公判廷ニ於テ書類

ヲ朗讀スルト云フコトハ、事件ヲ公ニスルコトデアアル、併ナガラ書類ヲ示スト云フコトハ、法律ガ許シテ居ラヌ、縱令被告人ト雖モ、其者ニ對シテ書類ヲ示サナイ、又多數ノ傍聽人ノ前テ書類ノ朗讀ヲ致シテモ傍聽人ガ然ラバ書類ヲ見セテ下サイト言ッテモ書類ハ見セナイ、是ハ刑事訴訟法ニ於テ、辯護人ニハ書類ノ閱覽膽寫ヲ許シテ居ルケレドモ、其以外ノ者ニハ許サナイ、許サナイト云フコトガ秘密デアアル、斯ウ云フコトガ議論ノ根據ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ實ニ大ナル誤デアアル、被告人トカ其他世間一般ノ人ニ書類ヲ示サナイト云フコトハ、ソレハ證據湮滅ノ虞ガアル爲デアアル、又一般ノ者ニ對シテ書類ノ閱覽膽寫ヲセシメナイト云フコトハ、利害關係ノ無イ者ニ示ス必要ハナイカラデアアル、故ニ只今ノ刑事訴訟法ニ於テハ、辯護人ノミ書類ノ閱覽膽寫ノ權利アリトシテアリマスケレドモ、辯護人ニアラズトモ、私訴ヲ提起シテ民事ノ原告人トナレバ、矢張刑事訴訟法ノ解釋上、書類ノ膽寫閱覽ヲ許シテ居ルノデアアル、若シ其私訴ヲ提起シタ場合デスラモサウデアレバ、況ヤ吾々ガ國務ヲ審議スルニ當ツテ、是ガ必要デアルト云フ場合ニハ、其提出ヲ拒ムト云フコトハ、絕對ニ有リ得ベカラザルコトデアルト信ジマス、又更ニ辯護士ノ職業ヲ爲サツテ居ル方ハ御存ジデアリマセウガ、民事ノ訴訟ニ於テ刑事訴訟ノ記録ノ取寄ヲ申請シテ、若シ其自己ノ私權ヲ行使スル場合ニ當ツテ、又ソレヲ證據ニ援用セシメテ居ルト云フコトハ事實デアアル、一個人ガ自己ノ權利ヲ擁護スル爲ニ必要トスル場合ニ於テスラモ、刑事訴訟ノ記録ヲ示スノニ、國務ヲ審議スルニ當ツテ之ヲ許サザルト云フガ如キハ、物ノ大小輕重ヲ誤リタル大ナル誤デアルト謂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、又只今齋藤君ノ御議論ニハ、裁判ノ進行上困ルト云フコトデアリマスルガ、是ハ齋藤君ノ言フベキ事デハナイノデ、其照會ヲ受ケタ法院ニ於テ、差支ガ有ルカ無イカト云フコトハ判斷スベキコトデアツテ、齋藤君ガ如何ニ内容ヲ能ク御存ジテ居ッテモ、辯護人デアツテモ、左様ナ事ヲ仰シヤルノハ、全ク自己ノ立場ヲ忘レタル暴論デアルト考ヘマス、又行政作用ニ依ッテヤルベキ事デナイト言ハレマスルガ、此議論モ前ニ申シタ點ニ依ッテ、其頗ル誤レルコトハ明白デアリマスルガ、内地ノ裁判所トハ更ニ此點ハ違フノデアリマス、關東廳ハ一個ノ行政官廳デアツテ、憲法ニ所謂内地ニ於ケル裁判所デハナ

イノデアリマスルカラ、此一點ダケカラ考ヘマシテモ、此議論ノ誤レルコトハ多ク反駁ヲ要シナイト考ヘマス、更ニ最後ニ決議案トスルコトガイケナイト云フ御議論デアアル、併ナガラ議院ノ意思ヲ決定ヲシテ外部ニ公表セントスルニハ、矢張決議案ニ依ッテ意思ヲ決定スルノ外ハナイ、直接ニ交渉スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、吾々ガ院議ヲ以テ物ヲ極メル場合ニ、決議案ノ形式ニ依ルコトハ、蓋シ當然デアルト思ヒマス、要スルニ今日此阿片問題ナルモノハ、天下ノ疑惑ノ中心トナッテ居ルノデアリマス、此場合ニ於テ諸君ガ左様ナ事實ハ無イノデアアル、其書類ヲ出シタナラバ、政府竝ニ與黨ニ有利ノ事實アリト云フコトヲ御主張ナサルナラバ、喜ンデ之ニ御賛成ヲナサツテ、其事實ヲ天下萬衆ノ前ニ明ニシテ世人ノ疑惑ヲ解クコトハ、正ニ諸君ノ執ルベキ途デアリマセヌカ、又法律ノ解釋ト致シマシテモ、徒ニ法文ノ末ニ拘泥シテ、瑣末ナ議論ヲ弄センヨリ、我議會ノ權利ヲ擴張シ、我議會ノ權利ヲ尊重スル所ノ根本ノ思想ニ立脚シテ、總テノ解釋ヲ爲シ、議論ヲ爲ルト云フコトハ、立憲政治ニ忠實ナル所以デナイカト思ヒマス、何レノ點ヨリ觀マシテモ、諸君ガ之ニ反對ナサルト云フコトハ、與黨竝ニ政府ニ臭イ者ガアリトシテ、國民ノ疑惑ハ愈、深クナルコトヲ覺悟ナサラナケレバナラヌノデアリマス

山縣政府委員ハ所信ヲ述フ

此決議案ニ政府ハ反對デアリマス、其理由ハ至ッテ簡單デアリマスルガ、從來關東州ノ法院ニ於テハ、豫審調書ハ法定關係人ノ外ニハ閱見セシメザル方針ヲ執リ來ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ直ニ之ヲ茲ニ提出スルト云フコトハ、今日ハ致シ兼ネル次第デアリマス、併シ調査上是非御閱覽相成リタイト云フ御考デアレバ、他ニ方法ガアラウト思ヒマスカラ、是ハ其便宜ヲ御計リ申シテ御覽ニ入ルコトガ出來マスカラ、ソレダケ御合置キヲ願ヒタイノデス、公然提出スルコトガ、少シク是迄ノ規定ニ背ク、斯ウ云フ譯デアアル、ソレカラ此際尙ホ一言申シテ置キタイノハ、先刻山道君ノ御演說中ニ、關東廳長官宛中野君ヨリ書面ガ出テ居ルト云フコトデアリマスルガ、是ハ確ニ私ハ其書面ハ受取ッテ居リマセヌ、或雜誌デ其書面ヲ私ハ見タコトモアリマスルガ、是ハ

關東廳ニモ私ニ宛テ、モ其書面ハ出テ居リマセヌカラ、ソレハ何カノ間違デハナイカト思ヒマスカラ、一言茲ニ附加ヘテ置キマス

右ニ對シ山道襄一君ハ辯明ヲ爲ス

私ハ中野署長ガ辭職セントスルニ當ッテ、山縣長官宛ニ認メタ書面ト申シマスノハ、曩ニ清瀨君カラモ申サレテ居リマス、私ハ此書面ハ山縣長官ニ出スベク中野署長ガ認メ、古賀長官カラ要求サレテ、其寫ノ一部ハ古賀長官ノ手許ニ持ッテ來テ居ルト云フコトヲ、確實ニ私ハ認メテ居ル併シ山縣長官ガ受取ッテ居ラヌト言ハレル、本人ガ言ハレルノデアリマスガ、併ナガラ中野民政署長ハ之ヲ認メテ之ヲ認メテ居ルニ相違ナイノデアリマス、諸君ガ何ト仰シヤテモ、ソレハ事實デアリマス

他ニ討論ノ通告ナク討論ハ終局ス院議起立採決ノ結果少數ニテ本案ヲ否決セリ

六 決議案

海軍軍備縮小協約成立ノ結果生スヘキ財政ノ餘裕ハ海軍縮小ニ伴ヒ必要ナル經費ニ充當スルモノヲ除クノ外主トシテ之ヲ地租及營業稅ノ改廢ニ充ツヘシ

右決議ス

右ハ十一年二月十日安達謙藏君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ贊成者(早速整爾